

武蔵村山市第七次高齢者福祉計画及び
第十期介護保険事業計画策定に向けた
アンケート調査報告書

令和8年3月

武蔵村山市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	2
II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
1 調査対象者の基本属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢区分	3
(3) 日常生活圏域	4
2 ご家族や生活状況について	6
3 からだを動かすことについて	9
4 食べることについて	16
5 毎日の生活について	21
6 地域での活動について	32
7 就労について	40
8 たすけあいについて	42
9 健康について	50
10 認知症のことについて	65
11 アドバンス・ケア・プランニングについて	79
12 介護保険制度について	80
13 普通の暮らしや高齢者福祉サービスについて	86
III 生活機能評価等に関する分析	104
1 機能別リスク該当者割合の分析	104
(1) 運動器	104
(2) 閉じこもり	105
(3) 転倒	105
(4) 口腔	106
(5) 認知	106
(6) うつ	107
2 日常生活	108
(1) 手段的自立度 (IADL)	108
IV 在宅介護実態調査	109
1 調査対象者の基本属性	109
(1) 性別	109
(2) 年齢区分	109

(3) 要介護認定者	109
(4) 日常生活圏域	110
2 A票 調査対象者本人について	111
3 B票 主な介護者様、又はご本人様にご回答・ご記入いただく項目	121
V 事業者アンケート調査	130
施設サービス系の事業者におたずねします	132
1 介護サービスについて	133
2 介護予防サービスについて	135
3 その他のサービスと事業所の運営について	138
4 介護職員のことについて	145
5 介護保険制度について	148
6 医療・介護の連携について	153
7 認知症のことについて	154
資料編	156
1 主な自由意見の要旨	156
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	156
(2) 事業者アンケート調査	160
2 調査票	162
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	162
(2) 在宅介護実態調査	174
(3) 事業者アンケート調査	178

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「武蔵村山市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の策定に向け、市民の皆様の高齢者福祉及び介護保険事業などに対する意識やニーズを把握することを目的に実施したものです。

2 調査対象

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

65歳以上で要介護1～5の認定を受けていない方から2,700人を無作為抽出

在宅介護実態調査

聞き取り調査：65歳以上で在宅で生活をしている要支援1～要介護5の認定を受けている方のうち、調査期間中に更新・区分変更申請を伴う認定調査を受ける方

郵送調査：65歳以上で在宅で生活をしている要支援1～要介護5の認定を受けている方のうち、過去数か月に更新・区分変更申請を伴う認定調査を受けている人から700人を無作為抽出

事業者アンケート調査

武蔵村山市をサービス提供エリアとする介護サービス事業者

3 調査期間

令和7年12月16日から令和8年1月9日まで

4 調査方法

郵送による配布・回収。在宅介護実態調査の一部は、認定調査時の認定調査員による聞き取り調査を実施。

5 回収状況

調査区分	配布数	有効回答数	有効回答率	
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,700通	1,304通	48.3%	
在宅介護実態調査	聞き取り調査	108通	49通	45.4%
	郵送調査	700通	307通	43.9%
	合計	808通	356通	44.1%
事業者アンケート調査	49通	33通	67.3%	

6 調査結果の表示方法

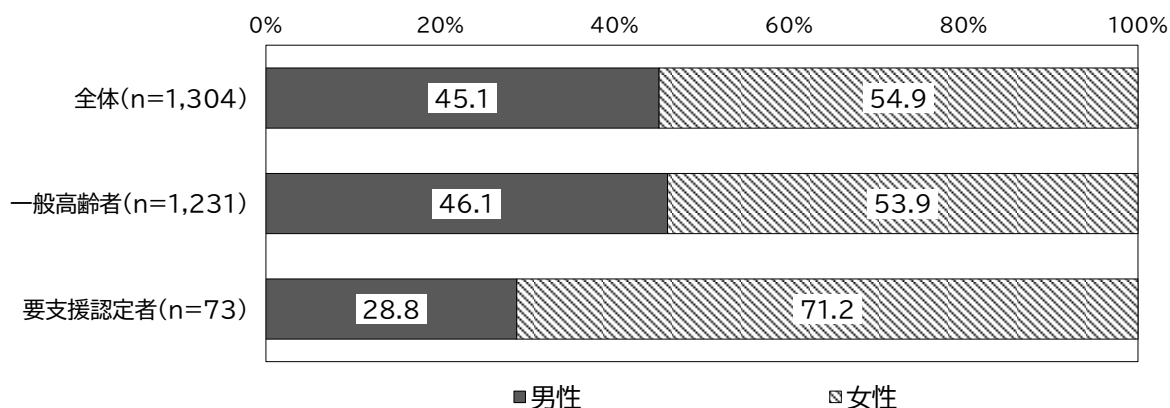
- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 選択肢が長い場合、本文や図中では省略した表現を用いることがあります。
- 圏域別、要介護認定別など、分析するものの回答者数は、無回答者を含んでいないため、回答者数の合計は全体と一致しません。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 調査対象者の基本属性

(1) 性別

調査対象者の性別について、全体では、「男性」の割合が45.1%、「女性」の割合が54.9%となっており、一般高齢者では、「男性」の割合が46.1%、「女性」の割合が53.9%と、要支援認定者では、「男性」の割合が28.8%、「女性」の割合が71.2%となっています。

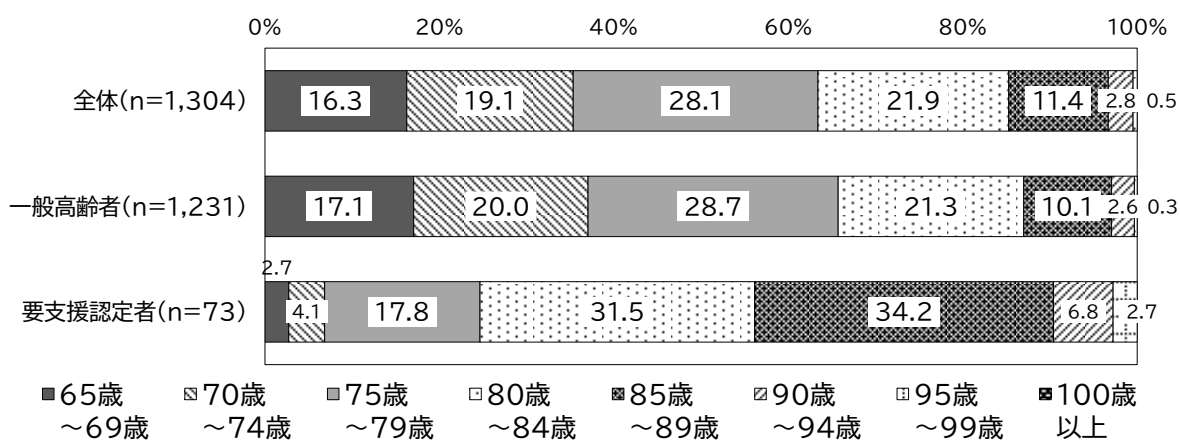


(2) 年齢区分

調査対象者の年齢について、全体では、「75～79歳」の割合が28.1%と最も高く、次いで「80～84歳」の割合が21.9%、「70～74歳」の割合が19.1%となっています。

一般高齢者についても同様に、「75～79歳」の割合が28.7%と最も高く、次いで「80～84歳」の割合が21.3%、「70～74歳」の割合が20.0%となっています。

要支援認定者では、「85歳～89歳」の割合が34.2%と最も高く、次いで「80～84歳」の割合が31.5%、「75～79歳」の割合が17.8%となっています。

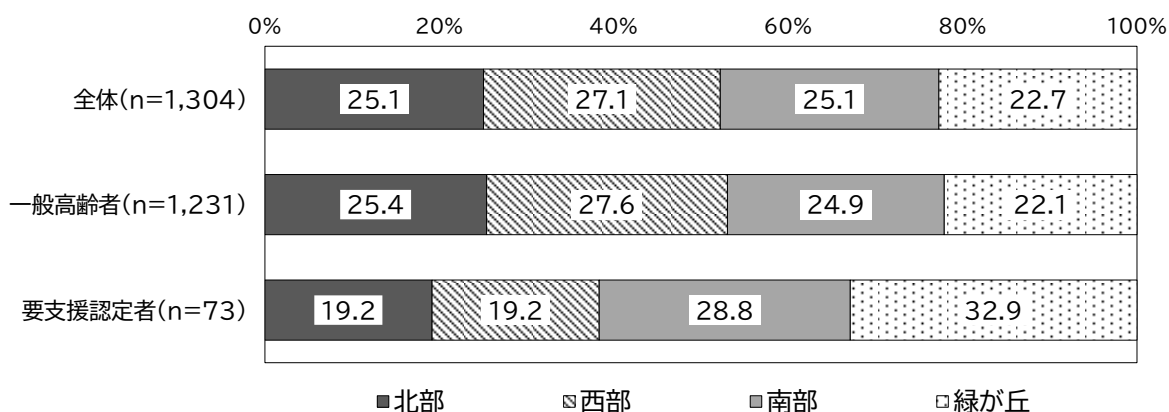


(3) 日常生活圏域

調査対象者の日常生活圏域について、全体では、「西部エリア」の割合が27.1%と最も高く、次いで「北部エリア」及び「南部エリア」の割合が25.1%、「緑が丘エリア」の割合が22.7%となっています。

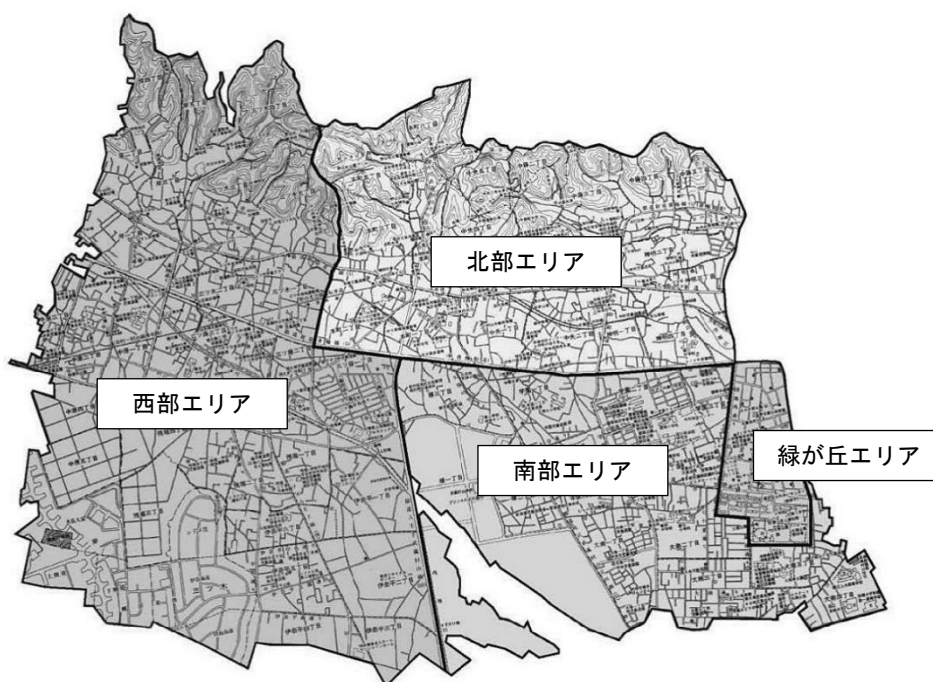
一般高齢者においても同様に、「西部エリア」の割合が27.6%と最も高く、次いで「北部エリア」の割合が25.4%、「南部エリア」の割合が24.9%となっています。

要支援認定者では、「緑が丘エリア」の割合が32.9%と最も高く、次いで「南部エリア」の割合が28.8%、「北部エリア」及び「西部エリア」の割合が19.2%となっています。



【日常生活圏域】

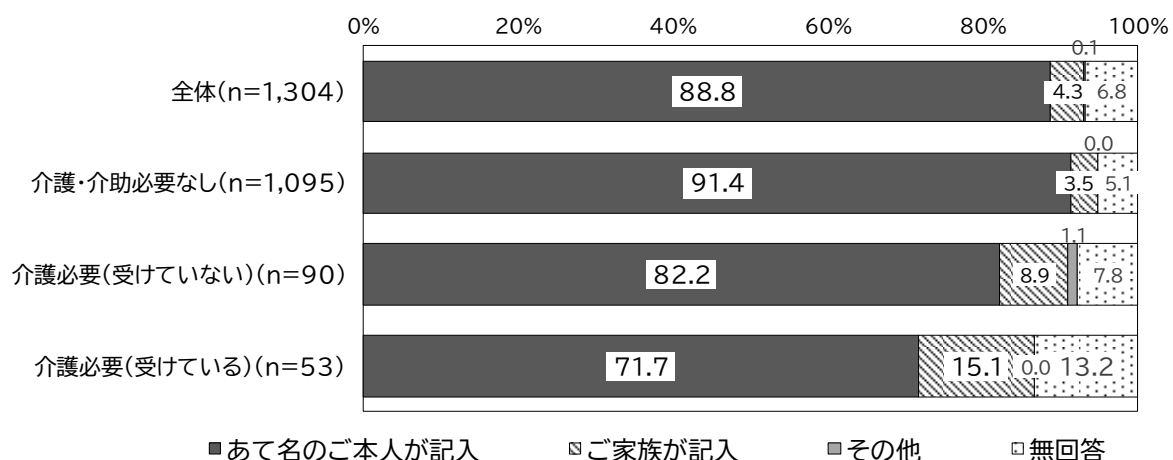
エリア名	町名
西部エリア	伊奈平、岸、残堀、中原、三ツ木、三ツ藤、大字三ツ木（横田基地内）
北部エリア	神明、中央、中藤、本町
南部エリア	榎、大南、学園
緑が丘エリア	緑が丘



■ 日常生活圏域区分図

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

全体では、「あて名のご本人が記入」の割合が 88.8%、「ご家族が記入」の割合が 4.3%、介護・介助の必要がない方では、「あて名のご本人が記入」の割合が 91.4%、「ご家族が記入」の割合が 3.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「あて名のご本人が記入」の割合が 82.2%、「ご家族が記入」の割合が 8.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「あて名のご本人が記入」の割合が 71.7%、「ご家族が記入」の割合が 15.1%となっています。

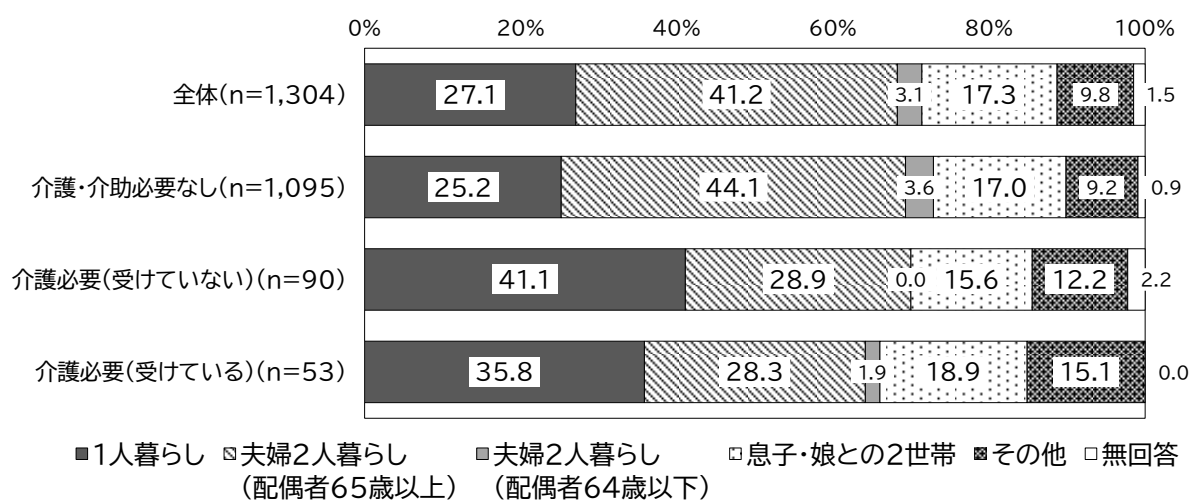


注)「介護必要(受けていない)」は、選択肢「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」の略(※以下、同じ)
「介護必要(受けている)」は、選択肢「現在、何らかの介護を受けている」の略(※以下、同じ)

2 ご家族や生活状況について

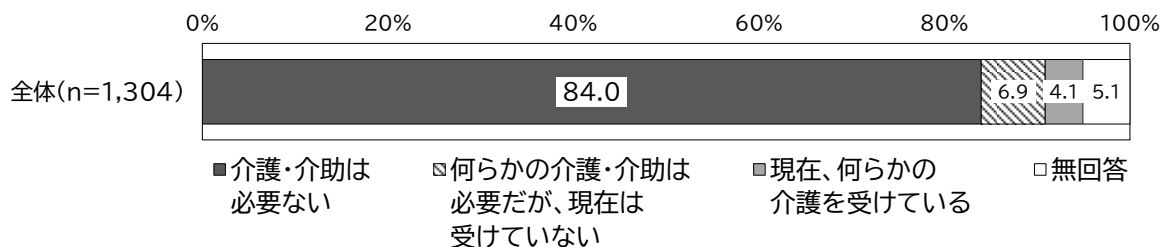
問1 家族構成をお教えてください。(1つを選択)

全体では、「1人暮らし」の割合が27.1%、「夫婦2人暮らし」の割合が44.3%、介護・介助の必要がない方では、「1人暮らし」の割合が25.2%、「夫婦2人暮らし」の割合が47.7%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「1人暮らし」の割合が41.1%、「夫婦2人暮らし」の割合が28.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「1人暮らし」の割合が35.8%、「夫婦2人暮らし」の割合が30.2%となっています。



問2 あなたは、普段の生活で何らかの介護・介助が必要ですか。(1つを選択)

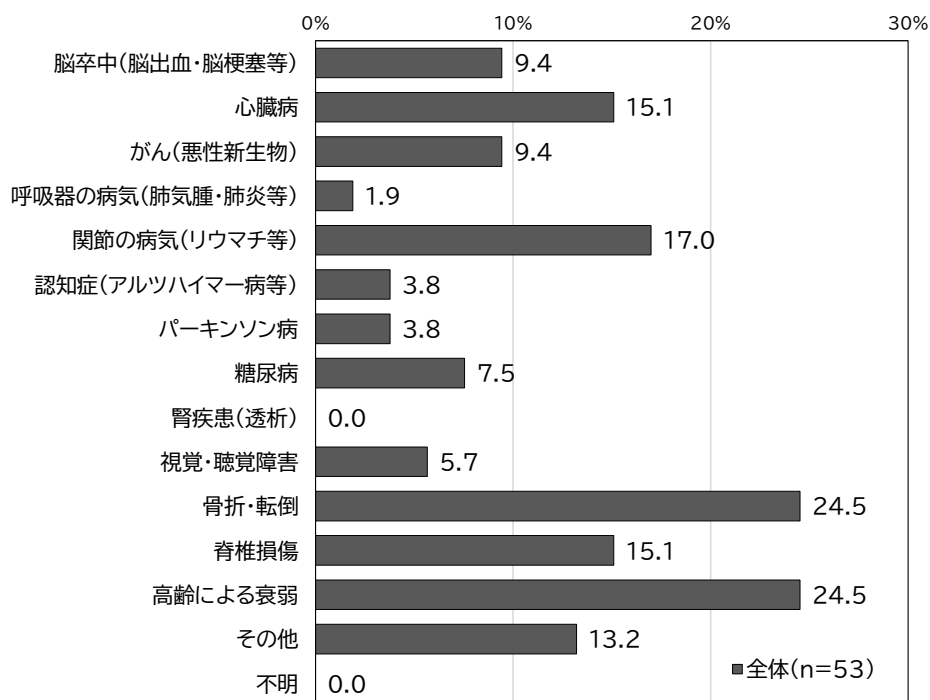
介護・介助の必要性では、「介護・介助は必要ない」の割合が84.0%、「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」の割合が6.9%、「現在、何らかの介護を受けている」の割合が4.1%となっています。



問2で「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方にお伺いします。

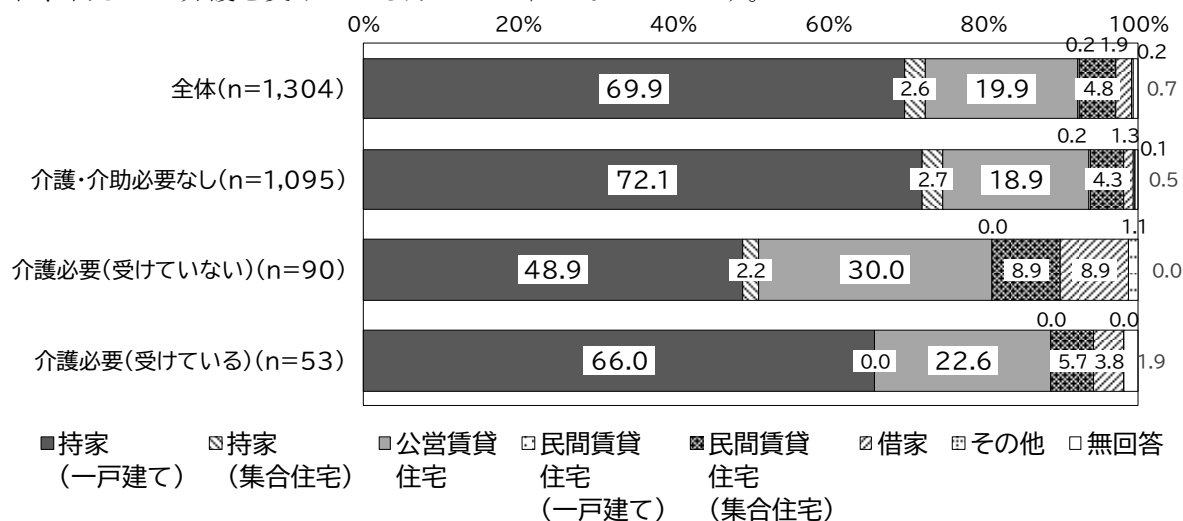
問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（複数選択可）

介護・介助が必要になった主な原因では、「骨折・転倒」及び「高齢による衰弱」の割合が24.5%と最も高く、次いで「関節の病気（リウマチ等）」の割合が17.0%、「心臓病」及び「脊椎損傷」の割合が15.1%となっています。



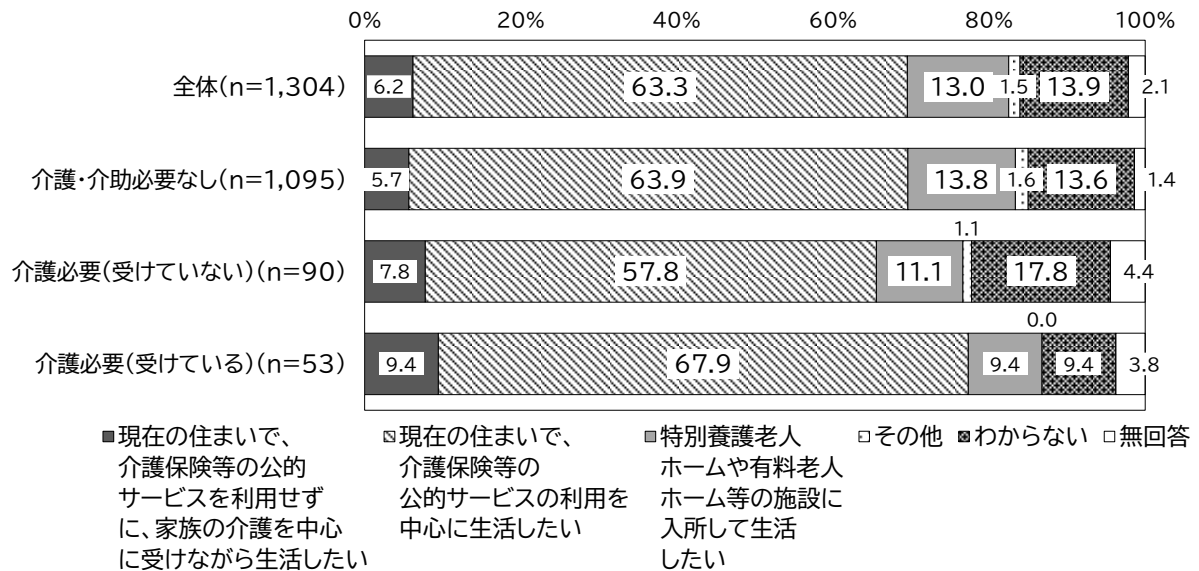
問3 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（1つを選択）

「持家（一戸建て）」の割合が高く、全体で69.9%、介護・介助の必要がない方で72.1%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方で48.9%、現在、何らかの介護を受けている方で66.0%となっています。次いで「公営賃貸住宅」の割合が、全体で19.9%、介護・介助の必要がない方で18.9%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方で30.0%、現在、何らかの介護を受けている方で22.6%となっています。



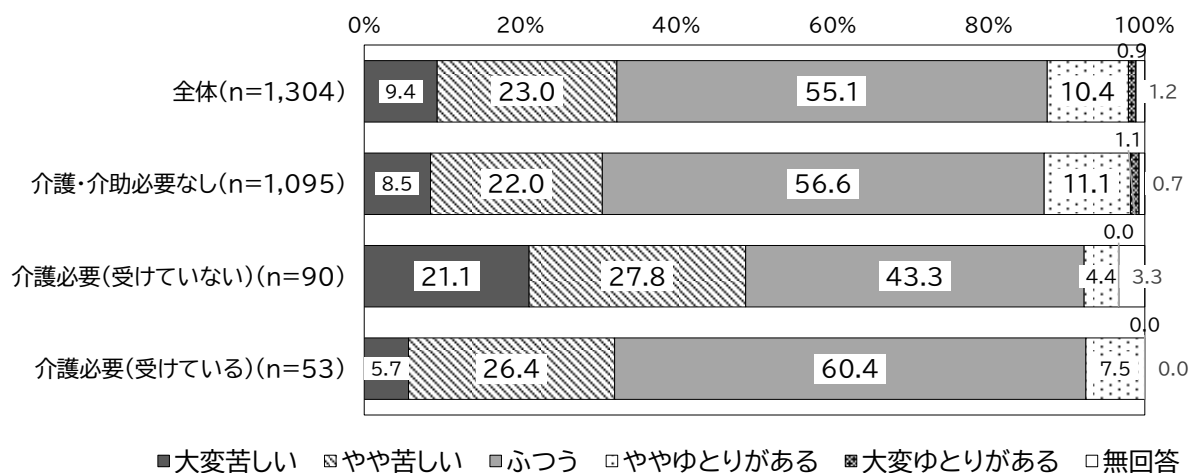
問4 あなたやあなたの家族が介護を必要とする状態となった場合に、どのような生活を希望しますか。(1つを選択)

「現在の住まいで、介護保険等の公的サービスの利用を中心に生活したい」の割合が高く、全体では63.3%、介護・介助の必要がない方では63.9%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では57.8%、現在、何らかの介護を受けている方では67.9%となっています。



問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つを選択)

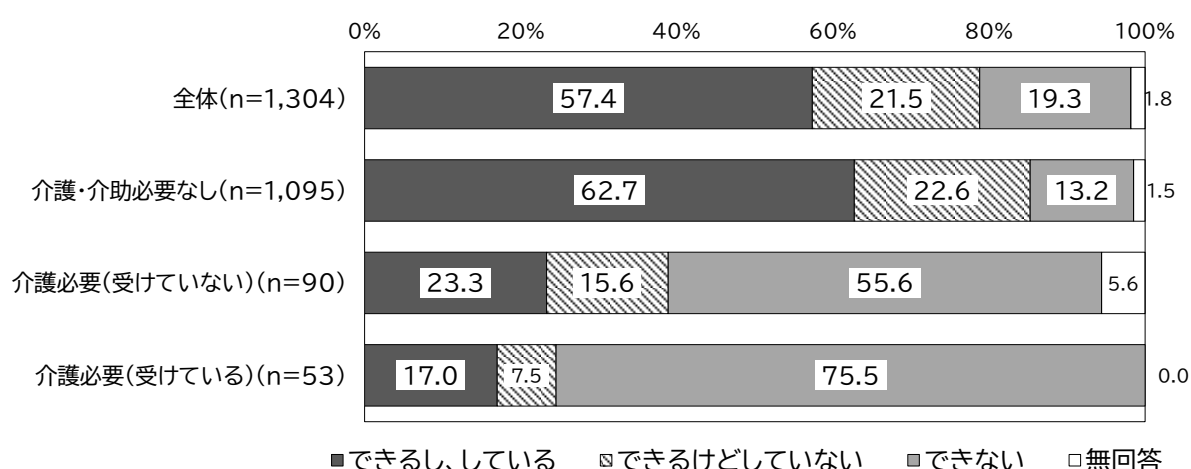
全体では、「大変苦しい」の割合が9.4%、「やや苦しい」の割合が23.0%、「ふつう」の割合が55.1%、「ややゆとりがある」の割合が10.4%、「大変ゆとりがある」の割合が0.9%となっており、介護・介助の必要がない方では、「大変苦しい」の割合が8.5%、「やや苦しい」の割合が22.0%、「ふつう」の割合が56.6%、「ややゆとりがある」の割合が11.1%、「大変ゆとりがある」の割合が1.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「大変苦しい」の割合が21.1%、「やや苦しい」の割合が27.8%、「普通」の割合が43.3%、「ややゆとりがある」の割合が4.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「大変苦しい」の割合が5.7%、「やや苦しい」の割合が26.4%、「ふつう」の割合が60.4%、「ややゆとりがある」の割合が7.5%となっています。



3 からだを動かすことについて

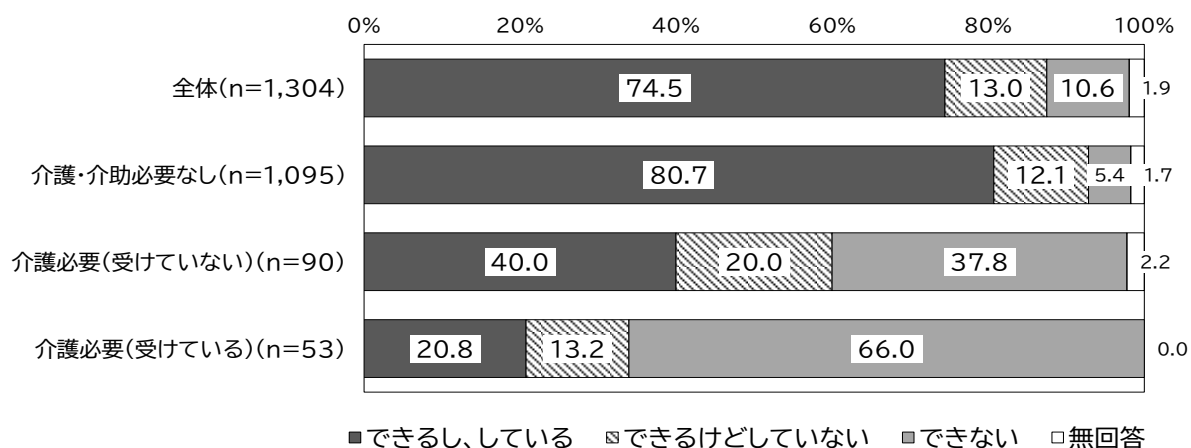
問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が57.4%、「できるけどしていない」の割合が21.5%、「できない」の割合が19.3%、介護・介助の必要がない方では、「できるし、している」の割合が62.7%、「できるけどしていない」の割合が22.6%、「できない」の割合が13.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「できるし、している」の割合が23.3%、「できるけどしていない」の割合が15.6%、「できない」の割合が55.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「できるし、している」の割合が17.0%、「できるけどしていない」の割合が7.5%、「できない」の割合が75.5%となっています。



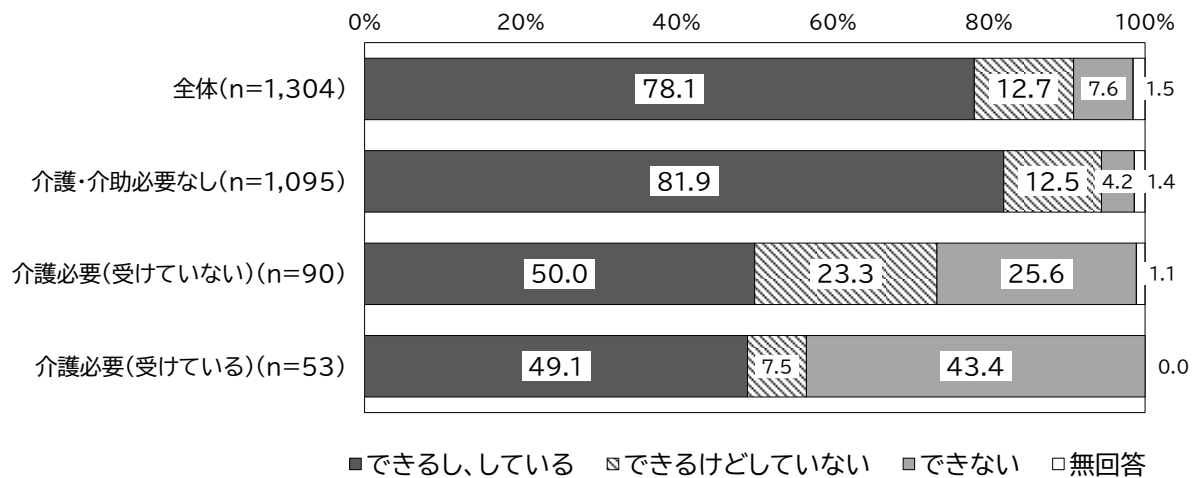
問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が74.5%、「できるけどしていない」の割合が13.0%、「できない」の割合が10.6%、介護・介助の必要がない方では、「できるし、している」の割合が80.7%、「できるけどしていない」の割合が12.1%、「できない」の割合が5.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「できるし、している」の割合が40.0%、「できるけどしていない」の割合が20.0%、「できない」の割合が37.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「できるし、している」の割合が20.8%、「できるけどしていない」の割合が13.2%、「できない」の割合が66.0%となっています。



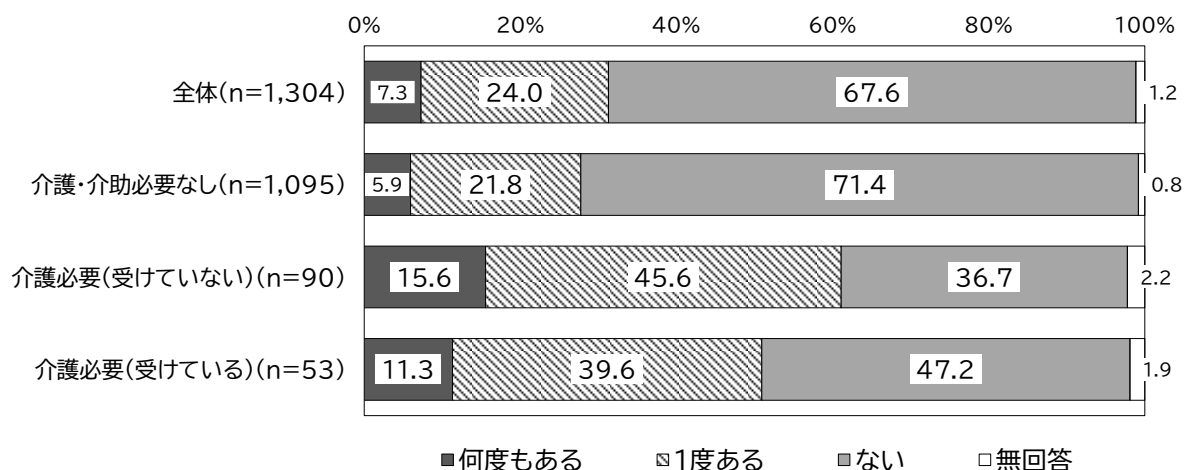
問8 15分位続けて歩いていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が78.1%、「できるけどしていない」の割合が12.7%、「できない」の割合が7.6%、介護・介助の必要がない方では、「できるし、している」の割合が81.9%、「できるけどしていない」の割合が12.5%、「できない」の割合が4.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「できるし、している」の割合が50.0%、「できるけどしていない」の割合が23.3%、「できない」の割合が25.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「できるし、している」の割合が49.1%、「できるけどしていない」の割合が7.5%、「できない」の割合が43.4%となっています。



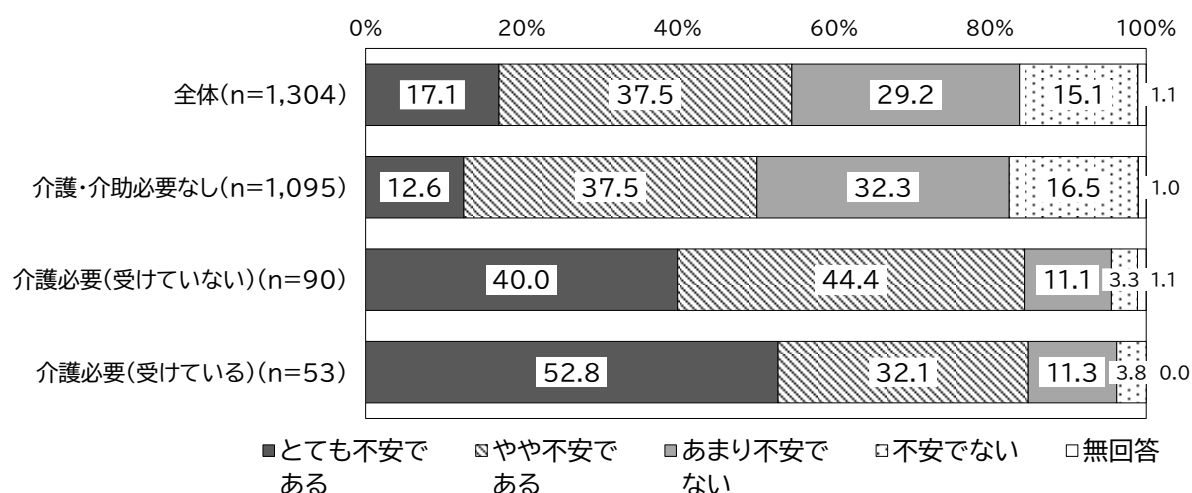
問9 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つを選択)

全体では、「何度もある」の割合が7.3%、「1度ある」の割合が24.0%、「ない」の割合が67.6%、介護・介助の必要がない方では、「何度もある」の割合が5.9%、「1度ある」の割合が21.8%、「ない」の割合が71.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「何度もある」の割合が15.6%、「1度ある」の割合が45.6%、「ない」の割合が36.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「何度もある」の割合が11.3%、「1度ある」の割合が39.6%、「ない」の割合が47.2%となっています。



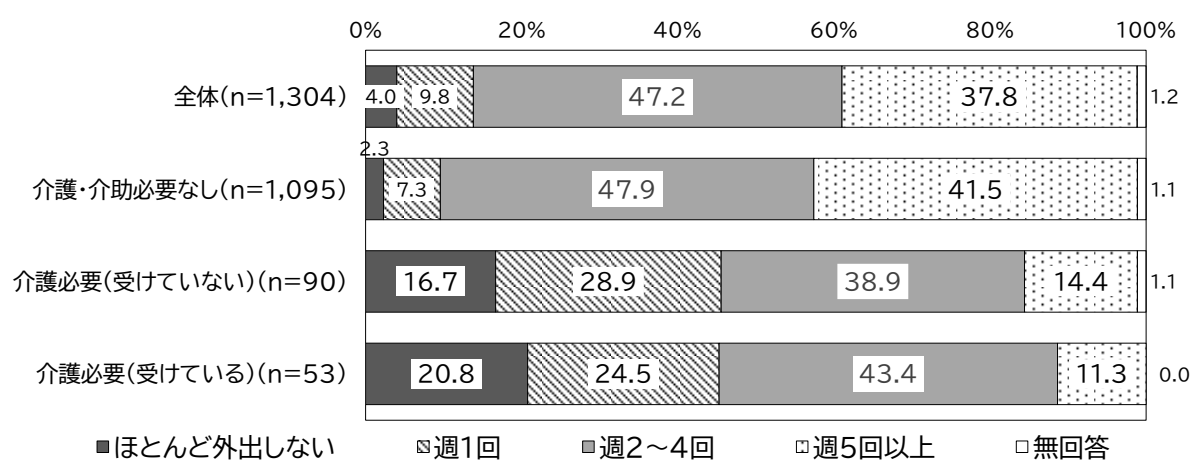
問 10 転倒に対する不安は大きいですか。(1つを選択)

全体では、「とても不安である」の割合が17.1%、「やや不安である」の割合が37.5%、「あまり不安でない」の割合が29.2%、「不安でない」の割合が15.1%、介護・介助の必要がない方では、「とても不安である」の割合が12.6%、「やや不安である」の割合が37.5%、「あまり不安でない」の割合が32.3%、「不安でない」の割合が16.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「とても不安である」の割合が40.0%、「やや不安である」の割合が44.4%、「あまり不安でない」の割合が11.1%、「不安でない」の割合が3.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「とても不安である」の割合が52.8%、「やや不安である」の割合が32.1%、「あまり不安でない」の割合が11.3%、「不安でない」の割合が3.8%となっています。



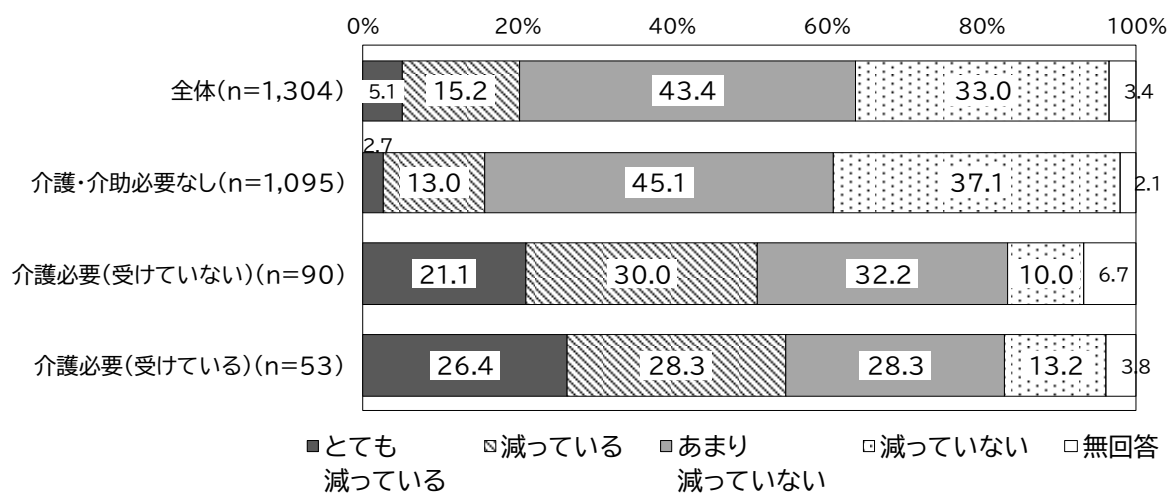
問 11 週に1回以上は外出していますか。(1つを選択)

全体では、「ほとんど外出しない」の割合が4.0%、「週1回」の割合が9.8%、「週2～4回」の割合が47.2%、「週5回以上」の割合が37.8%、介護・介助の必要がない方では、「ほとんど外出しない」の割合が2.3%、「週1回」の割合が7.3%、「週2～4回」の割合が47.9%、「週5回以上」の割合が41.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「ほとんど外出しない」の割合が16.7%、「週1回」の割合が28.9%、「週2～4回」の割合が38.9%、「週5回以上」の割合が14.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「ほとんど外出しない」の割合が20.8%、「週1回」の割合が24.5%、「週2～4回」の割合が43.4%、「週5回以上」の割合が11.3%となっています。



問 12 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つを選択)

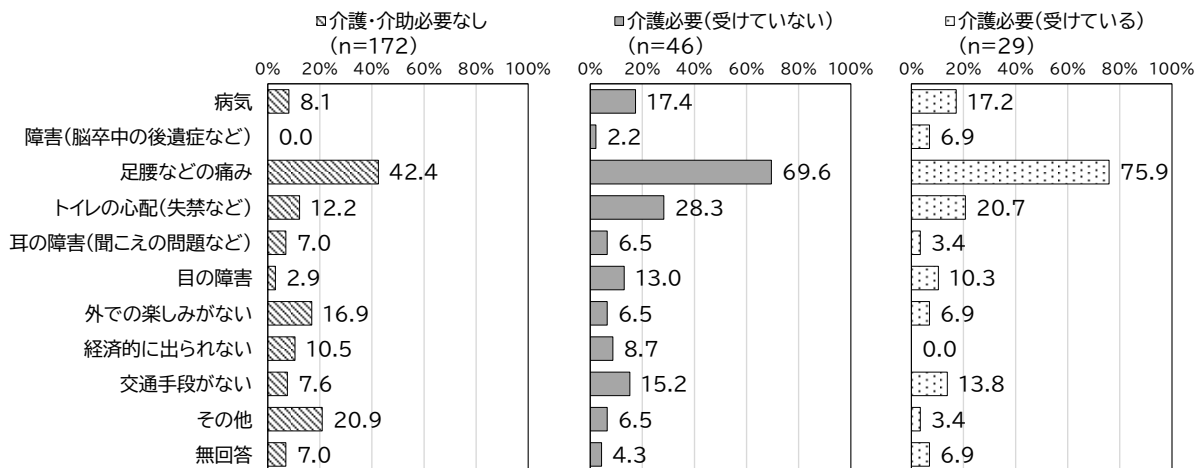
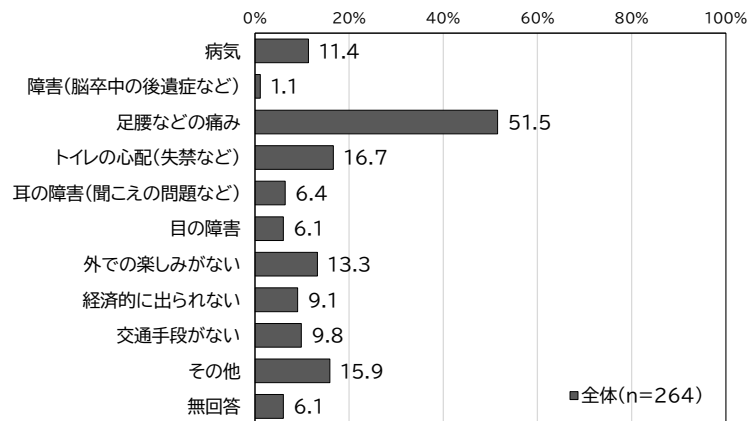
全体では、「とても減っている」の割合が5.1%、「減っている」の割合が15.2%、「あまり減っていない」の割合が43.4%、「減っていない」の割合が33.0%、介護・介助の必要がない方では、「とても減っている」の割合が2.7%、「減っている」の割合が13.0%、「あまり減っていない」の割合が45.1%、「減っていない」の割合が37.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「とても減っている」の割合が21.1%、「減っている」の割合が30.0%、「あまり減っていない」の割合が32.2%、「減っていない」の割合が10.0%、現在、何らかの介護を受けている方では、「とても減っている」の割合が26.4%、「減っている」の割合が28.3%、「あまり減っていない」の割合が28.3%、「減っていない」の割合が13.2%となっています。



問 12 で「とても減っている」「減っている」と回答した方にお伺いします。

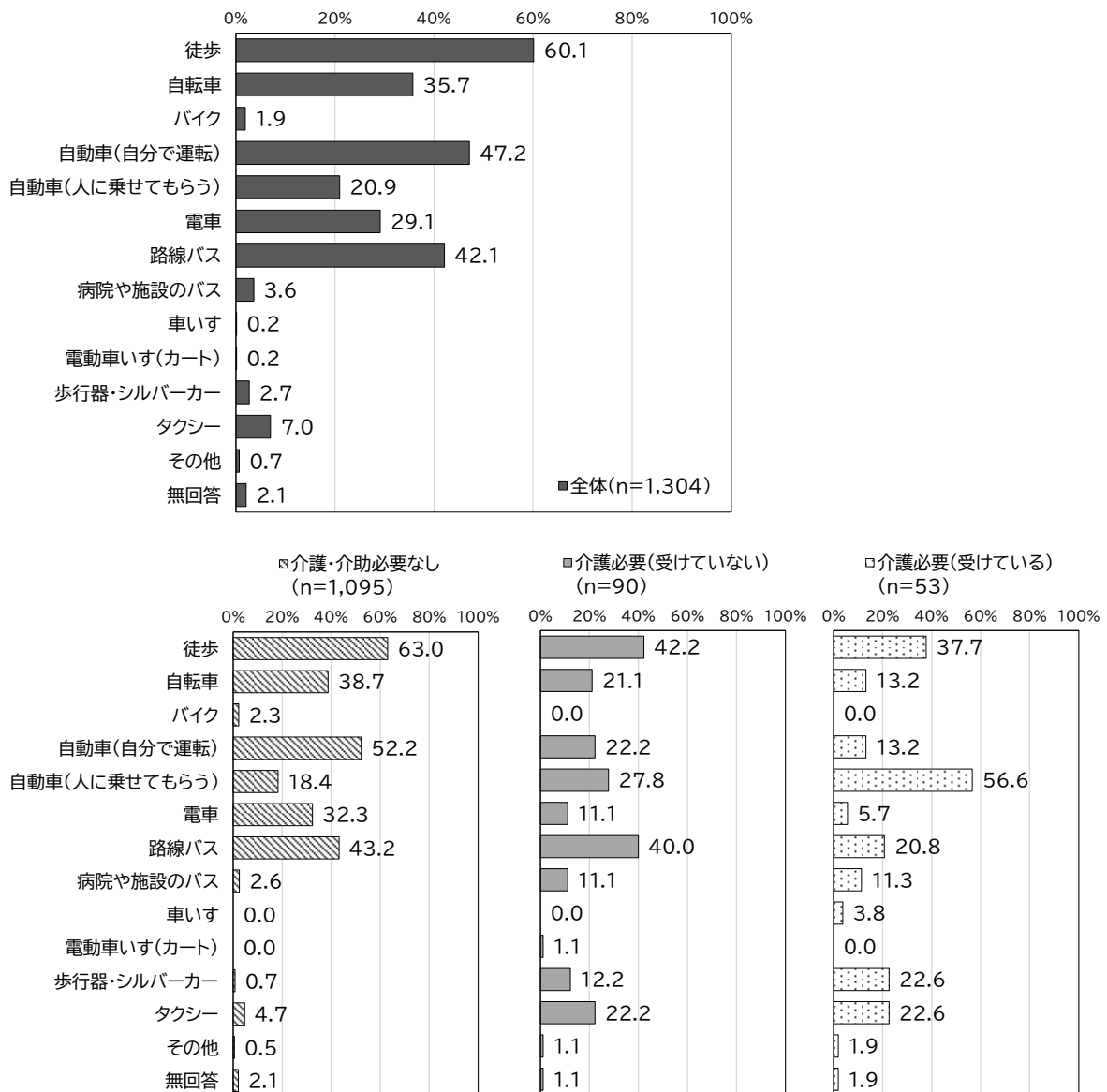
問 12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(複数選択可)

外出を控えている理由では、すべての分類において「足腰などの痛み」の割合が最も高く、全体では 51.5%、介護・介助の必要がない方では 42.4%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では 69.6%、現在、何らかの介護を受けている方では 75.9%となっています。



問 13 外出する際の移動手段は何ですか。(複数選択可)

外出する際の移動手段では、現在、何らかの介護を受けている方を除き、「徒歩」の割合が最も高く、次いで、全体及び介護・介助の必要がない方では、「自動車(自分で運転)」、「路線バス」、「自転車」、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「路線バス」、「自動車(人に乗せてもらう)」の割合が高くなっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「自動車(人に乗せてもらう)」の割合が56.6%と最も高く、次いで「徒歩」、「歩行器・シルバーカー」、「タクシー」、の割合が高くなっています。

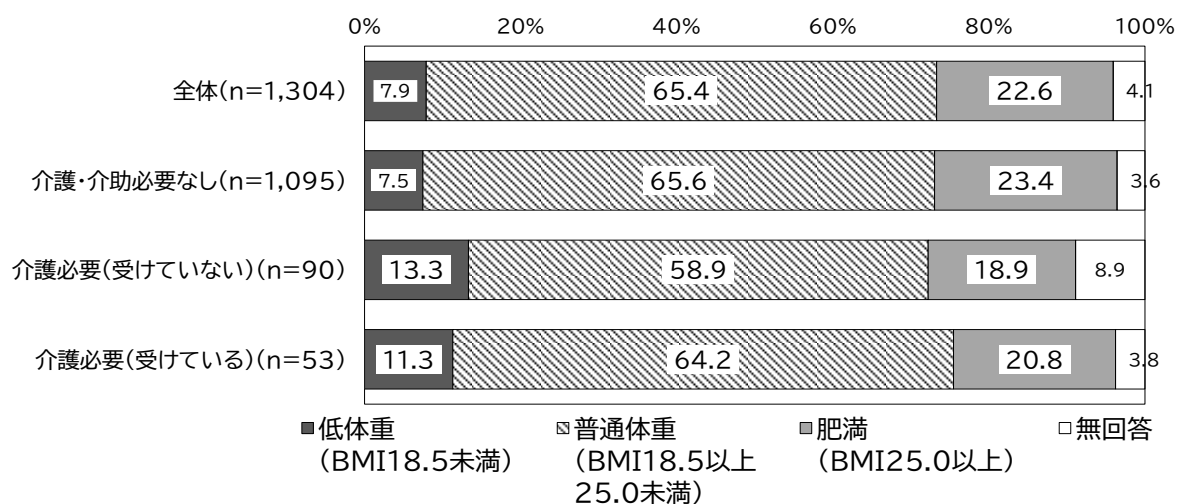


4 食べることについて

問 14 身長・体重をご記入ください。

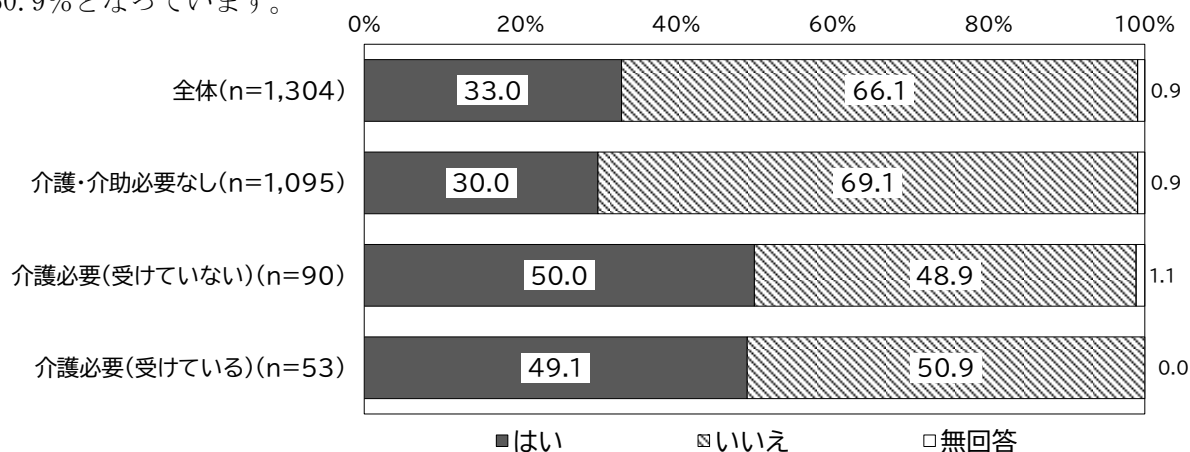
身長と体重から BMI を算出し、18.5 未満を「低体重」、「18.5 以上 25.0 未満を「普通体重」、25.0 以上を「肥満」と分類しています。

全体では、「低体重」の割合が 7.9%、「普通体重」の割合が 65.4%、「肥満」の割合が 22.6%、介護・介助の必要がない方では、「低体重」の割合が 7.5%、「普通体重」の割合が 65.6%、「肥満」の割合が 23.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「低体重」の割合が 13.3%、「普通体重」の割合が 58.9%、「肥満」の割合が 18.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「低体重」の割合が 11.3%、「普通体重」の割合が 64.2%、「肥満」の割合が 20.8%となっています。



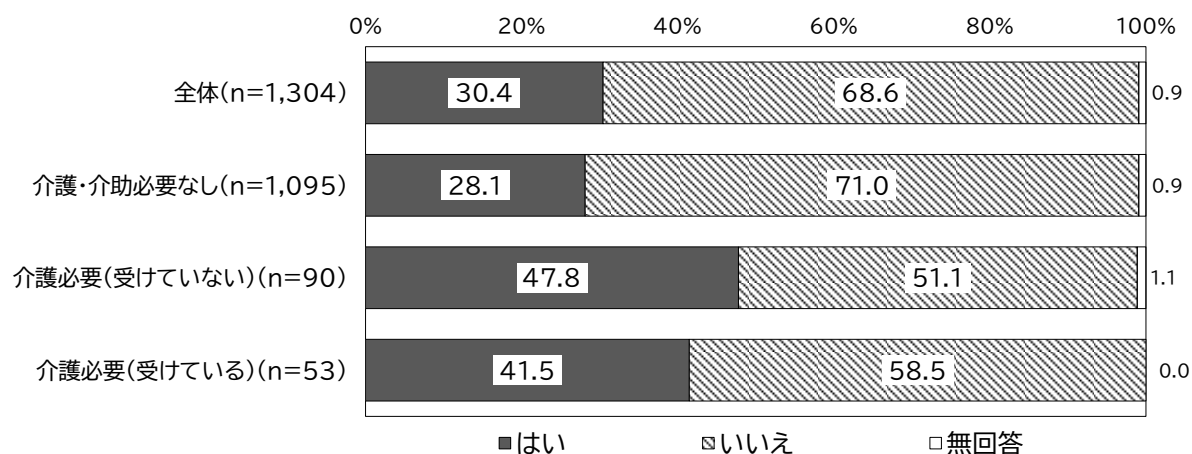
問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が 33.0%、「いいえ」の割合が 66.1%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が 30.0%、「いいえ」の割合が 69.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が 50.0%、「いいえ」の割合が 48.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が 49.1%、「いいえ」の割合が 50.9%となっています。



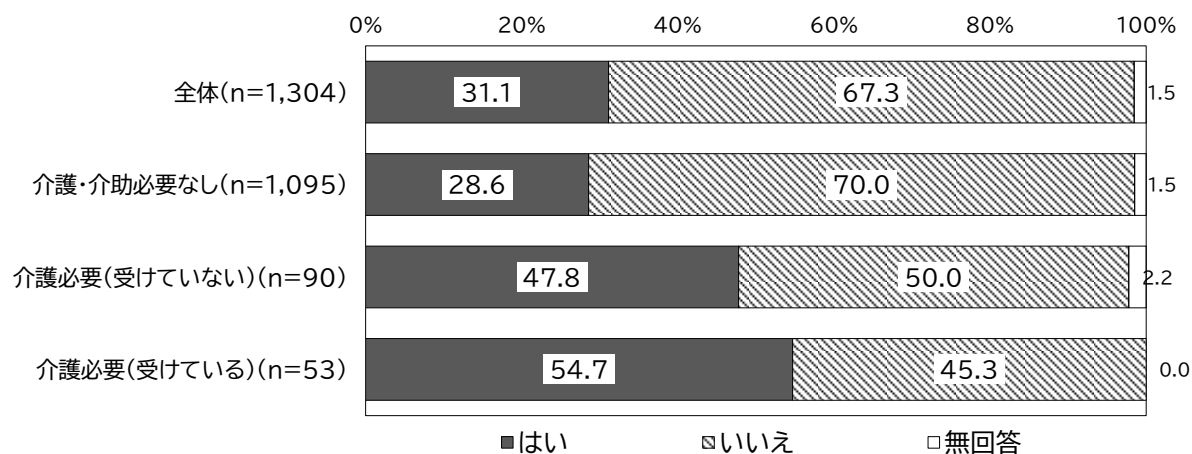
問 16 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が30.4%、「いいえ」の割合が68.6%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が28.1%、「いいえ」の割合が71.0%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が47.8%、「いいえ」の割合が51.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が41.5%、「いいえ」の割合が58.5%となっています。



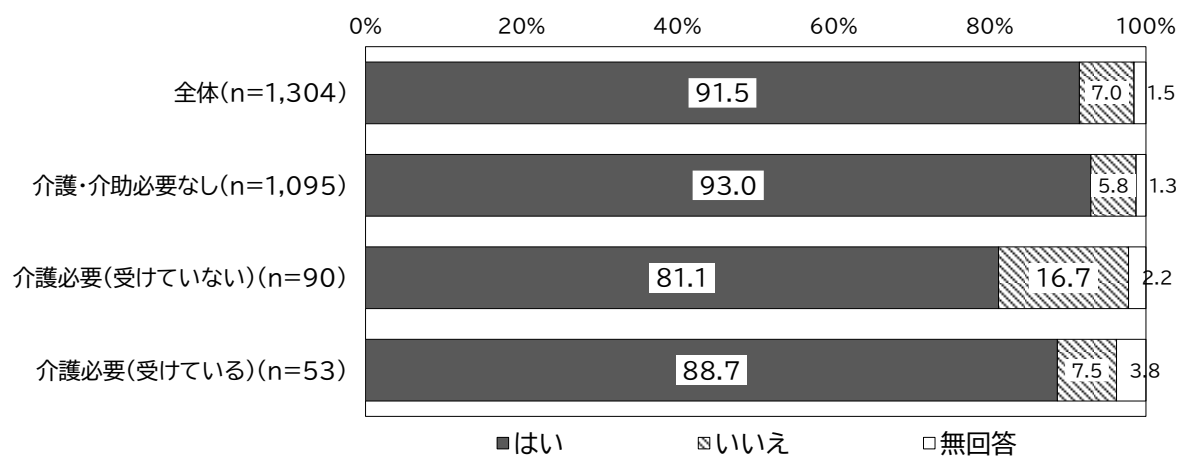
問 17 口の渇きが気になりますか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が31.1%、「いいえ」の割合が67.3%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が28.6%、「いいえ」の割合が70.0%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が47.8%、「いいえ」の割合が50.0%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が54.7%、「いいえ」の割合が45.3%となっています。



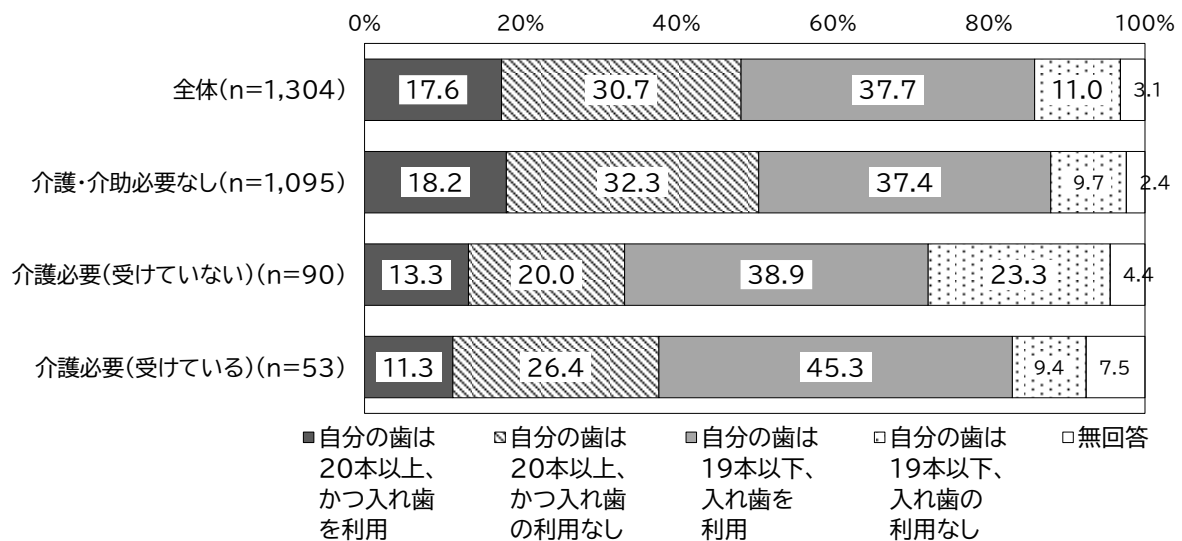
問 18 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つを選択）

全体では、「はい」の割合が91.5%、「いいえ」の割合が7.0%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が93.0%、「いいえ」の割合が5.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が81.1%、「いいえ」の割合が16.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が88.7%、「いいえ」の割合が7.5%となっています。



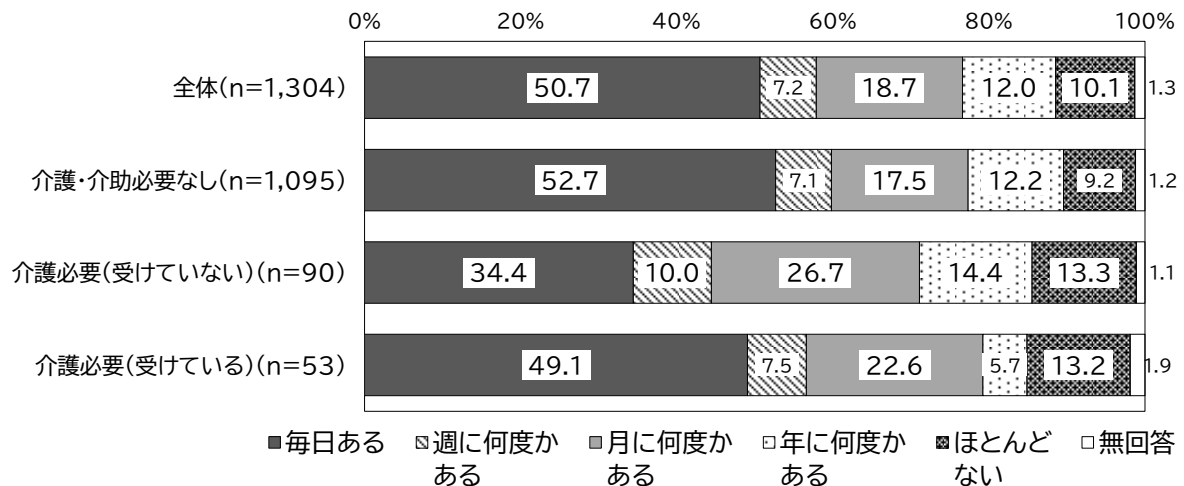
問 19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。)(1つを選択)

全体では、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 17.6%、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 30.7%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 37.7%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」の割合が 11.0%、介護・介助の必要がない方では、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 18.2%、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 32.3%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 37.4%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」の割合が 9.7%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 13.3%、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 20.0%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 38.9%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」の割合が 23.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 11.3%、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 26.4%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 45.3%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」の割合が 9.4%となっています。



問 20 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つを選択)

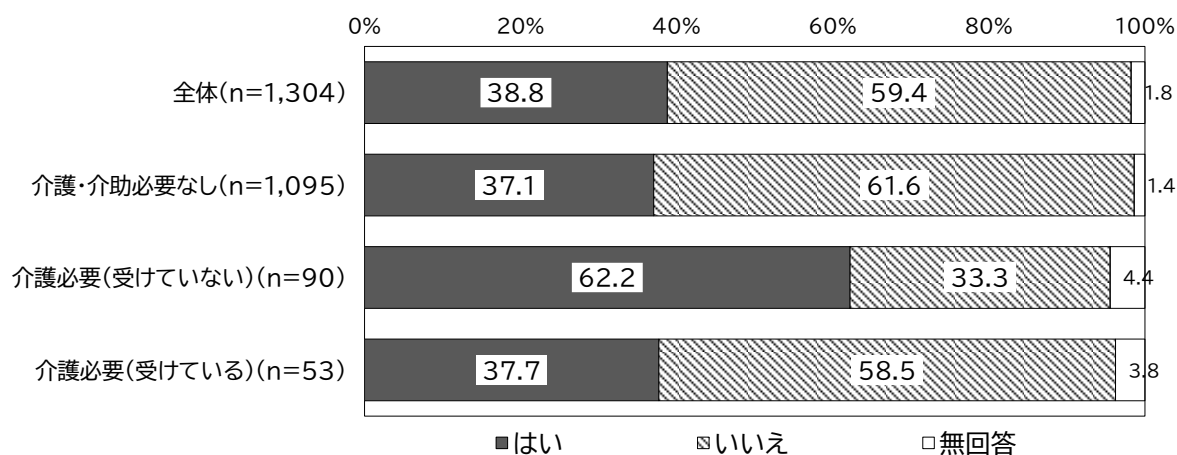
全体では、「毎日ある」の割合が 50.7%、「週に何度かある」の割合が 7.2%、「月に何度かある」の割合が 18.7%、「年に何度かある」の割合が 12.0%、「ほとんどない」の割合が 10.1%、介護・介助の必要がない方では、「毎日ある」の割合が 52.7%、「週に何度かある」の割合が 7.1%、「月に何度かある」の割合が 17.5%、「年に何度かある」の割合が 12.2%、「ほとんどない」の割合が 9.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「毎日ある」の割合が 34.4%、「週に何度かある」の割合が 10.0%、「月に何度かある」の割合が 26.7%、「年に何度かある」の割合が 14.4%、「ほとんどない」の割合が 13.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「毎日ある」の割合が 49.1%、「週に何度かある」の割合が 7.5%、「月に何度かある」の割合が 22.6%、「年に何度かある」の割合が 5.7%、「ほとんどない」の割合が 13.2%となっています。



5 毎日の生活について

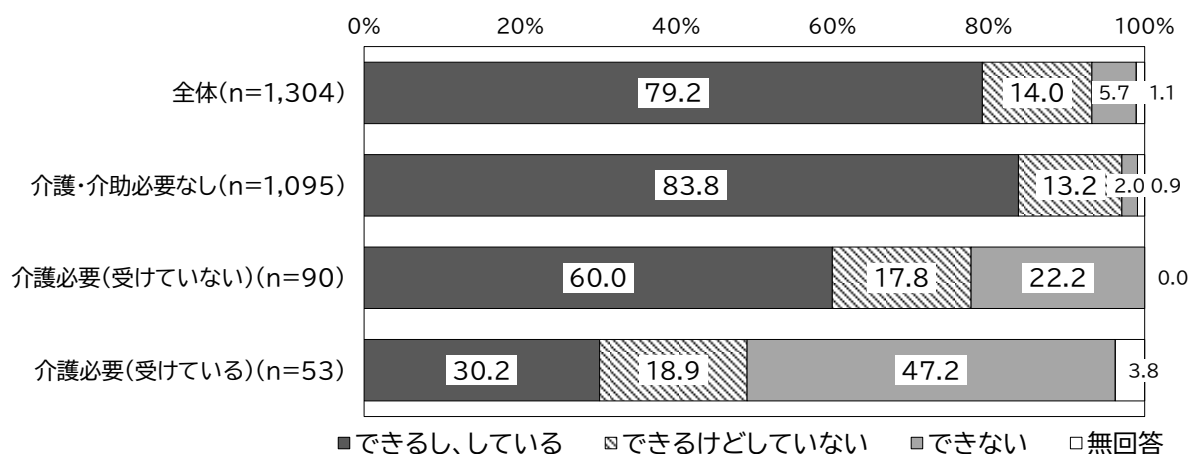
問 21 物忘れが多いと感じますか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が38.8%、「いいえ」の割合が59.4%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が37.1%、「いいえ」の割合が61.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が62.2%、「いいえ」の割合が33.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が37.7%、「いいえ」の割合が58.5%となっています。



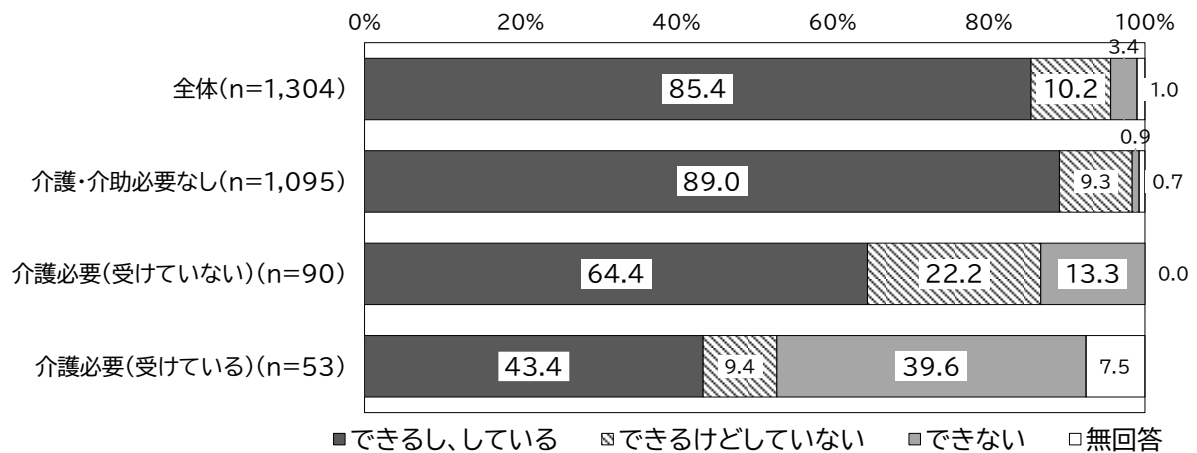
問 22 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が79.2%、「できるけどしていない」の割合が14.0%、「できない」の割合が5.7%、介護・介助の必要がない方では、「できるし、している」の割合が83.8%、「できるけどしていない」の割合が13.2%、「できない」の割合が2.0%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「できるし、している」の割合が60.0%、「できるけどしていない」の割合が17.8%、「できない」の割合が22.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「できるし、している」の割合が30.2%、「できるけどしていない」の割合が18.9%、「できない」の割合が47.2%となっています。



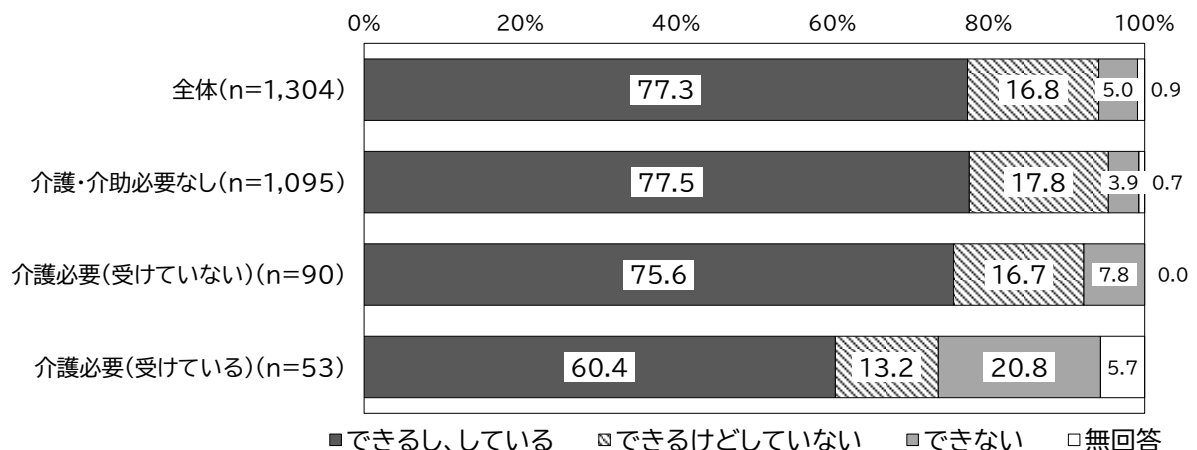
問 23 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が85.4%、「できるけどしていない」の割合が10.2%、「できない」の割合が3.4%、介護・介助の必要がない方では、「できるし、している」の割合が89.0%、「できるけどしていない」の割合が9.3%、「できない」の割合が0.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「できるし、している」の割合が64.4%、「できるけどしていない」の割合が22.2%、「できない」の割合が13.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「できるし、している」の割合が43.4%、「できるけどしていない」の割合が9.4%、「できない」の割合が39.6%となっています。



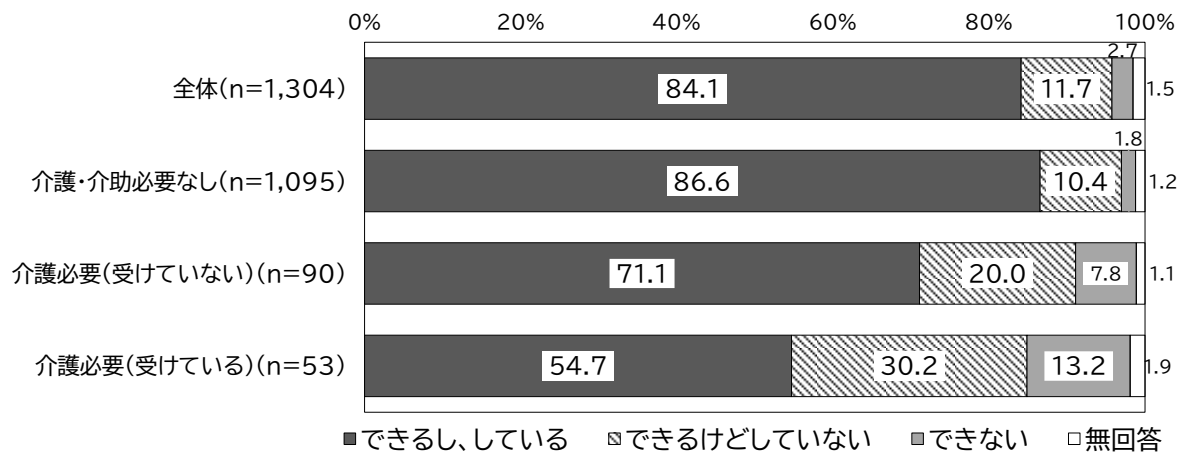
問 24 自分で食事の用意をしていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が77.3%、「できるけどしていない」の割合が16.8%、「できない」の割合が5.0%、介護・介助の必要がない方では、「できるし、している」の割合が77.5%、「できるけどしていない」の割合が17.8%、「できない」の割合が3.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「できるし、している」の割合が75.6%、「できるけどしていない」の割合が16.7%、「できない」の割合が7.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「できるし、している」の割合が60.4%、「できるけどしていない」の割合が13.2%、「できない」の割合が20.8%となっています。



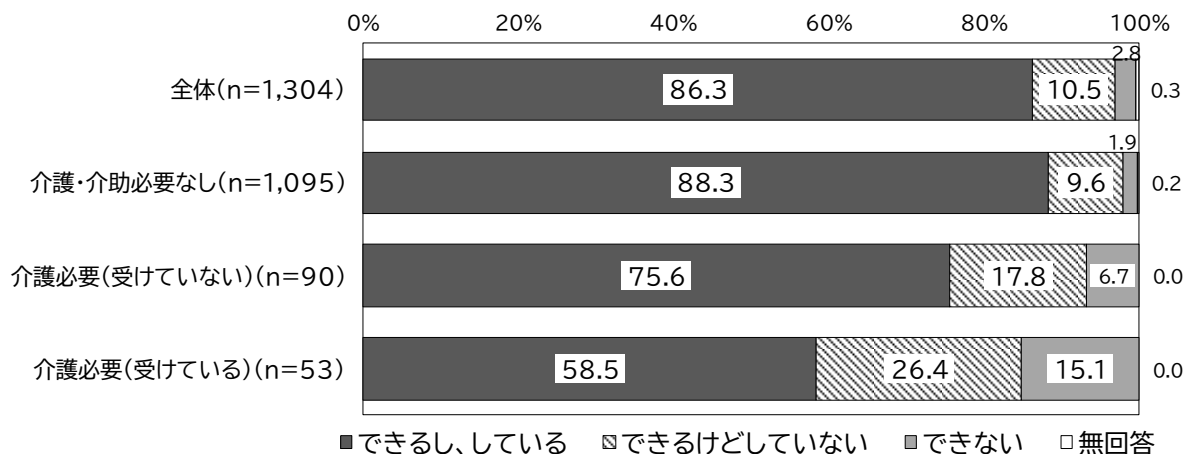
問 25 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が84.1%、「できるけどしていない」の割合が11.7%、「できない」の割合が2.7%、介護・介助の必要がない方では、「できるし、している」の割合が86.6%、「できるけどしていない」の割合が10.4%、「できない」の割合が1.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「できるし、している」の割合が71.1%、「できるけどしていない」の割合が20.0%、「できない」の割合が7.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「できるし、している」の割合が54.7%、「できるけどしていない」の割合が30.2%、「できない」の割合が13.2%となっています。



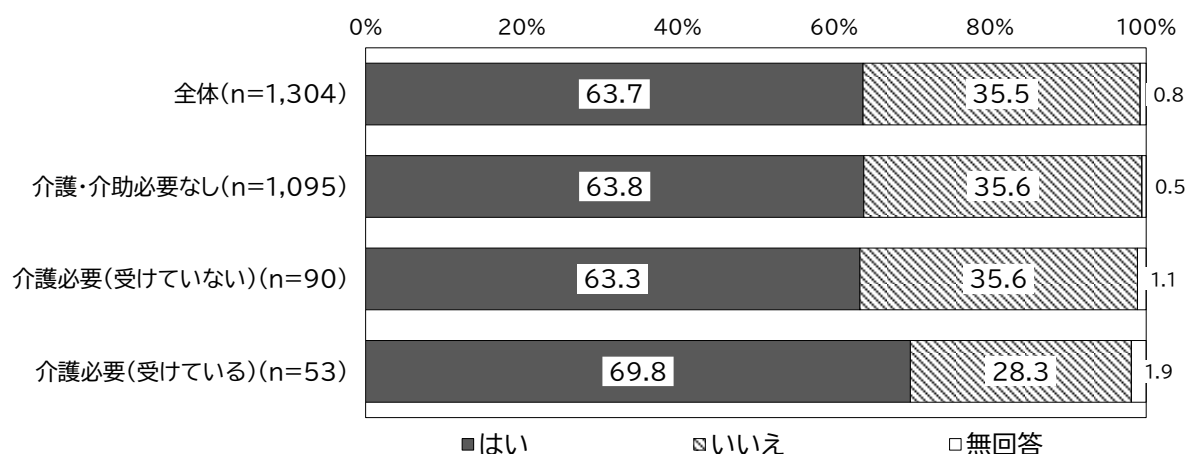
問 26 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が86.3%、「できるけどしていない」の割合が10.5%、「できない」の割合が2.8%、介護・介助の必要がない方では、「できるし、している」の割合が88.3%、「できるけどしていない」の割合が9.6%、「できない」の割合が1.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「できるし、している」の割合が75.6%、「できるけどしていない」の割合が17.8%、「できない」の割合が6.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「できるし、している」の割合が58.5%、「できるけどしていない」の割合が26.4%、「できない」の割合が15.1%となっています。



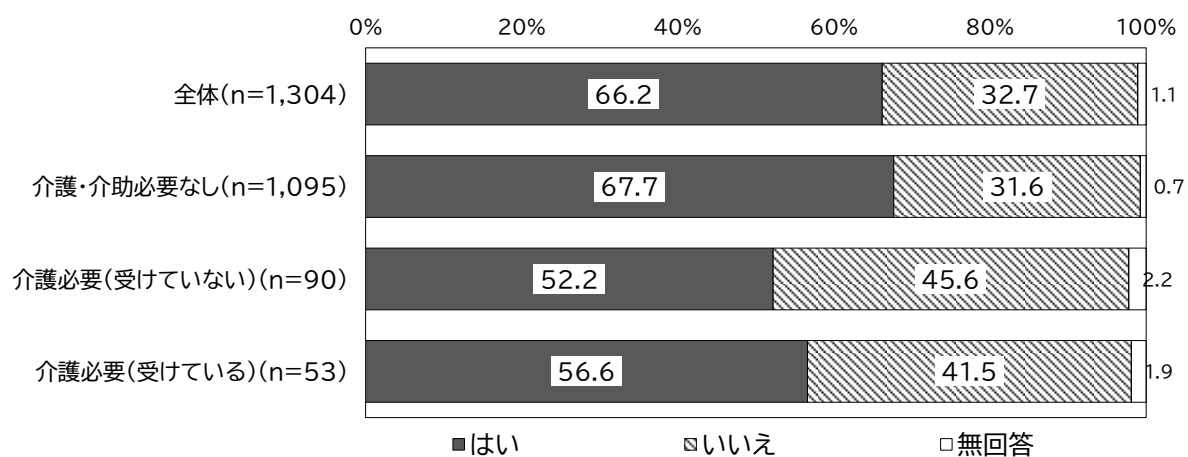
問 27 新聞を読んでいますか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が63.7%、「いいえ」の割合が35.5%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が63.8%、「いいえ」の割合が35.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が63.3%、「いいえ」の割合が35.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が69.8%、「いいえ」の割合が28.3%となっています。



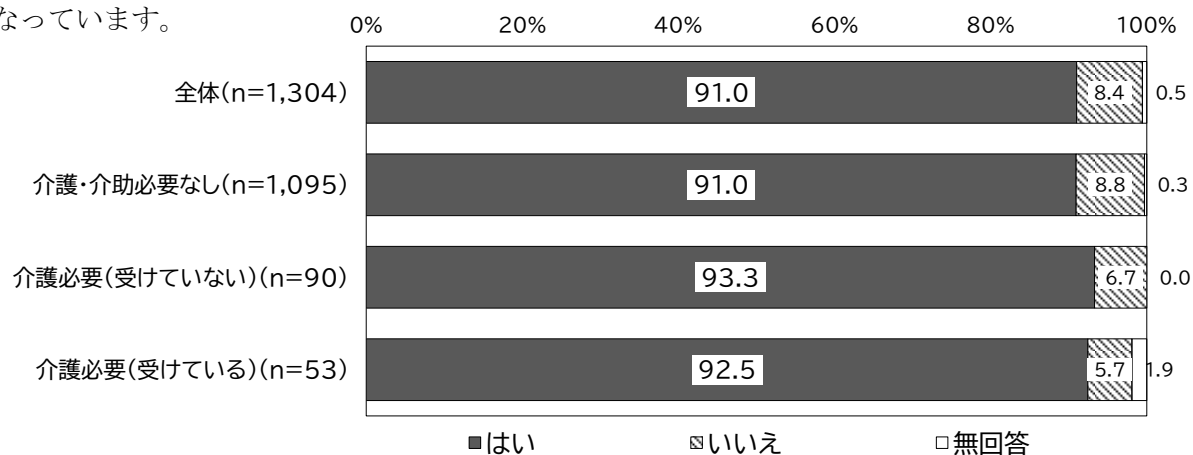
問 28 本や雑誌を読んでいますか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が66.2%、「いいえ」の割合が32.7%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が67.7%、「いいえ」の割合が31.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が52.2%、「いいえ」の割合が45.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が56.6%、「いいえ」の割合が41.5%となっています。



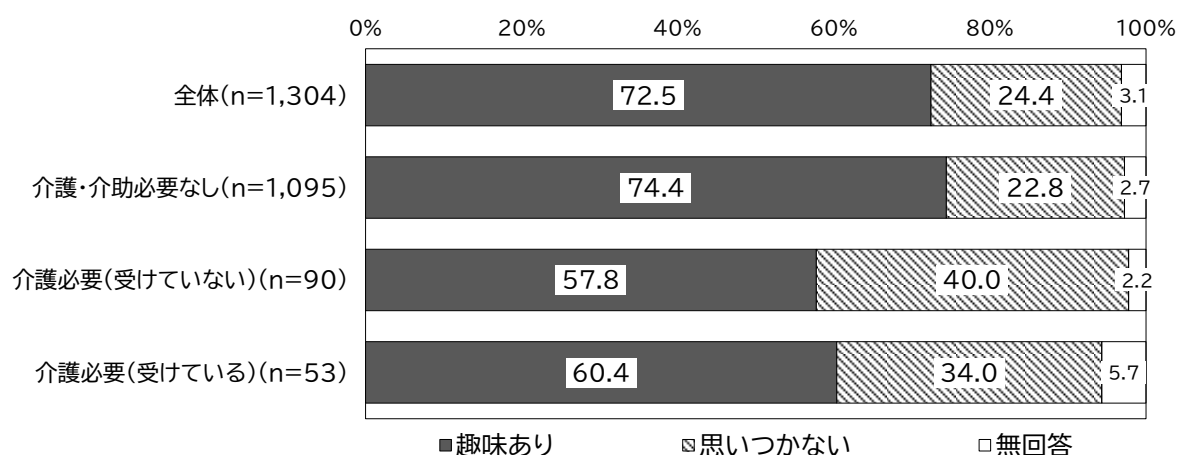
問 29 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が91.0%、「いいえ」の割合が8.4%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が91.0%、「いいえ」の割合が8.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が93.3%、「いいえ」の割合が6.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が92.5%、「いいえ」の割合が5.7%となっています。



問 30 趣味はありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください。（1つを選択）

全体では、「趣味あり」の割合が72.5%、「趣味なし」の割合が24.4%、介護・介助の必要がない方では、「趣味あり」の割合が74.4%、「趣味なし」の割合が22.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「趣味あり」の割合が57.8%、「趣味なし」の割合が40.0%、現在、何らかの介護を受けている方では、「趣味あり」の割合が60.4%、「趣味なし」の割合が34.0%となっています。



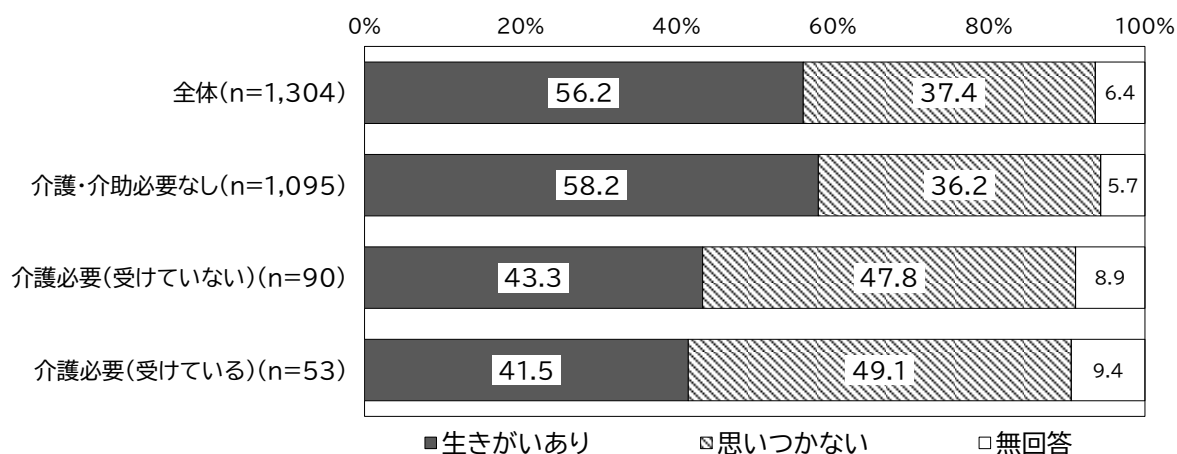
【具体的な内容（上位20位）】

順位	趣味	件数
1	読書	207件
2	ゴルフ	143件
3	園芸・ガーデニング・植木・草花	138件
4	カラオケ	82件
5	散歩・ウォーキング	79件
6	手芸(裁縫・洋裁・ビーズ等)	76件
7	旅行	75件
8	編み物	42件
9	映画鑑賞	41件
10	家庭菜園・野菜作り	40件

順位	趣味	件数
11	音楽鑑賞・演奏	38件
12	体操・ヨガ・太極拳	33件
13	スポーツ観戦	32件
14	釣り	31件
15	ドライブ	28件
16	写真撮影	27件
17	料理・お菓子作り	25件
18	グラウンドゴルフ	24件
19	卓球	21件
20	水泳	18件

問 31 生きがいがありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください。（1つを選択）

全体では、「生きがいあり」の割合が56.2%、「思いつかない」の割合が37.4%、介護・介助の必要がない方では、「生きがいあり」の割合が58.2%、「思いつかない」の割合が36.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「生きがいあり」の割合が43.3%、「思いつかない」の割合が47.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「生きがいあり」の割合が41.5%、「思いつかない」の割合が49.1%となっています。



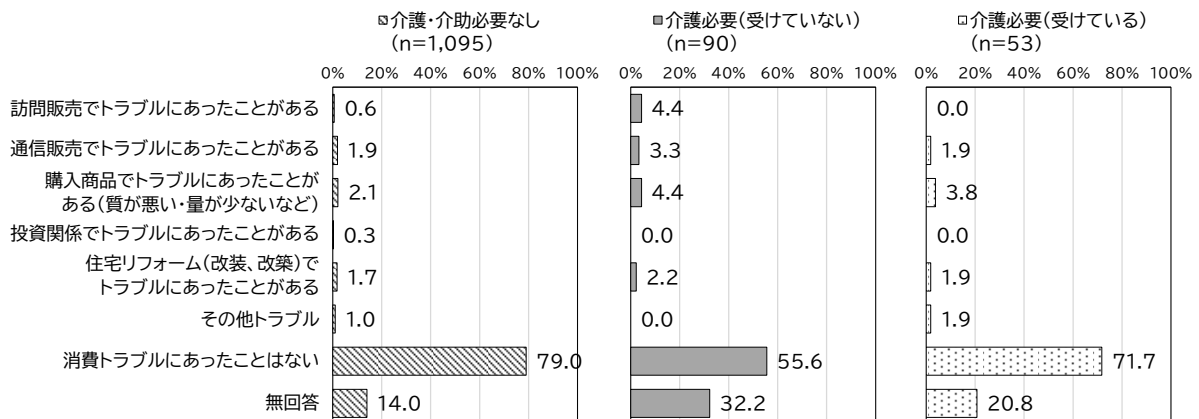
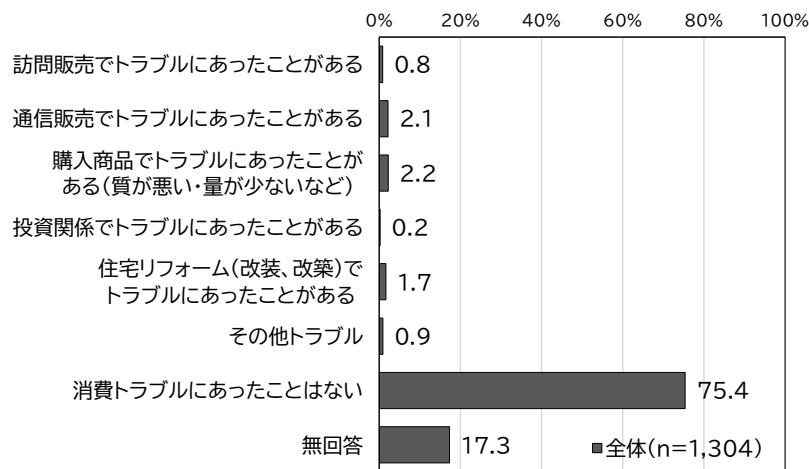
【具体的な内容（上位 20 位）】

順位	生きがい	件数
1	孫の成長・孫との時間	176件
2	家族(家族の健康・家族との時間)	112件
3	仕事(現役・パート含む)	86件
4	趣味全般(スポーツ・文化活動含む)	78件
5	旅行	52件

順位	生きがい	件数
6	健康でいること・健康維持	51件
7	友人との交流	38件
8	ペット(犬・猫など)	22件
9	家庭菜園・畑仕事・草花の手入れ	21件
10	スポーツ(ゴルフ・卓球・体操など)	20件

問 32 過去5年以内に商品購入やサービスの質、契約上のトラブルなどがありましたか。
(複数選択可)

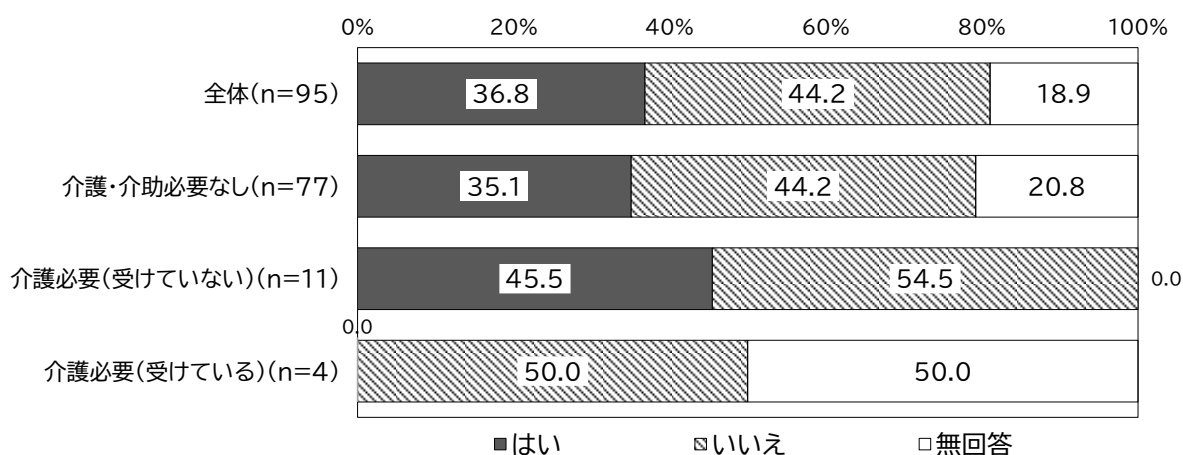
項目ごとのトラブルの割合では、概ね、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方で高く、「訪問販売でトラブルにあったことがある」及び「購入商品でトラブルにあったことがある(質が悪い・量が少ないなど)」の割合が4.4%、「通信販売でトラブルにあったことがある」の割合が3.3%、「住宅リフォームでトラブルにあったことがある」の割合が2.2%となっています。「消費トラブルにあったことはない」では、介護・介助の必要がない方が79.0%と最も高くなっています。



問 32 で「消費トラブルにあったことはない」以外を回答した方にお伺いします。

問 32-1 トラブルについて相談をしましたか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が 36.8%、「いいえ」の割合が 44.2%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が 35.1%、「いいえ」の割合が 44.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が 45.5%、「いいえ」の割合が 54.5%、現在、何らかの介護を受けている方では、「いいえ」の割合が 50.0%となっています。



問 32-1 で「はい」と回答した方にお伺いします。

問 32-2 トラブルについて、誰またはどこに相談しましたか。() 内にご記入ください。

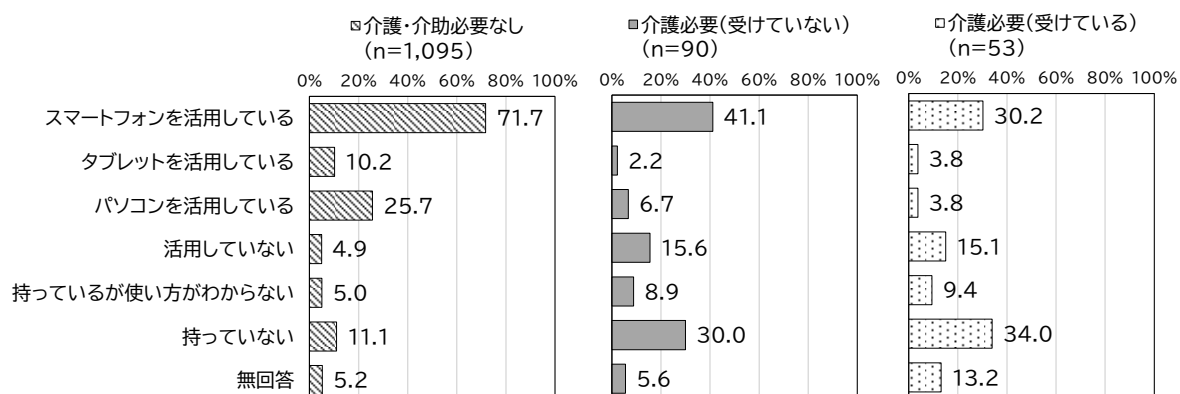
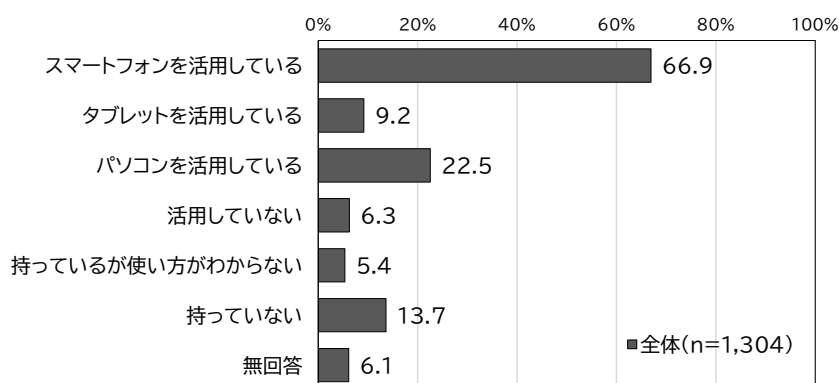
トラブルの際の相談先は、主に「警察」、「家族」、「消費生活センター（市役所含む）」、「購入先（販売店・業者）」、「カード会社・銀行」が挙げられています。

【相談先】

- ・ 公的機関（消費者センター、市役所の消費生活相談窓口）
- ・ 家族、親族（子ども、娘・娘婿、家族全般、親戚）
- ・ 購入先、業者（販売店（車販売店など）、通信販売会社、購入店、購入業者、カスタマーセンター、会社への電話）
- ・ 金融機関（カード会社、銀行）
- ・ その他（弁護士、歯科医師会、相談中（相談先不明））

問 33 スマートフォン、パソコンなどを日常的に活用していますか。(複数選択可)

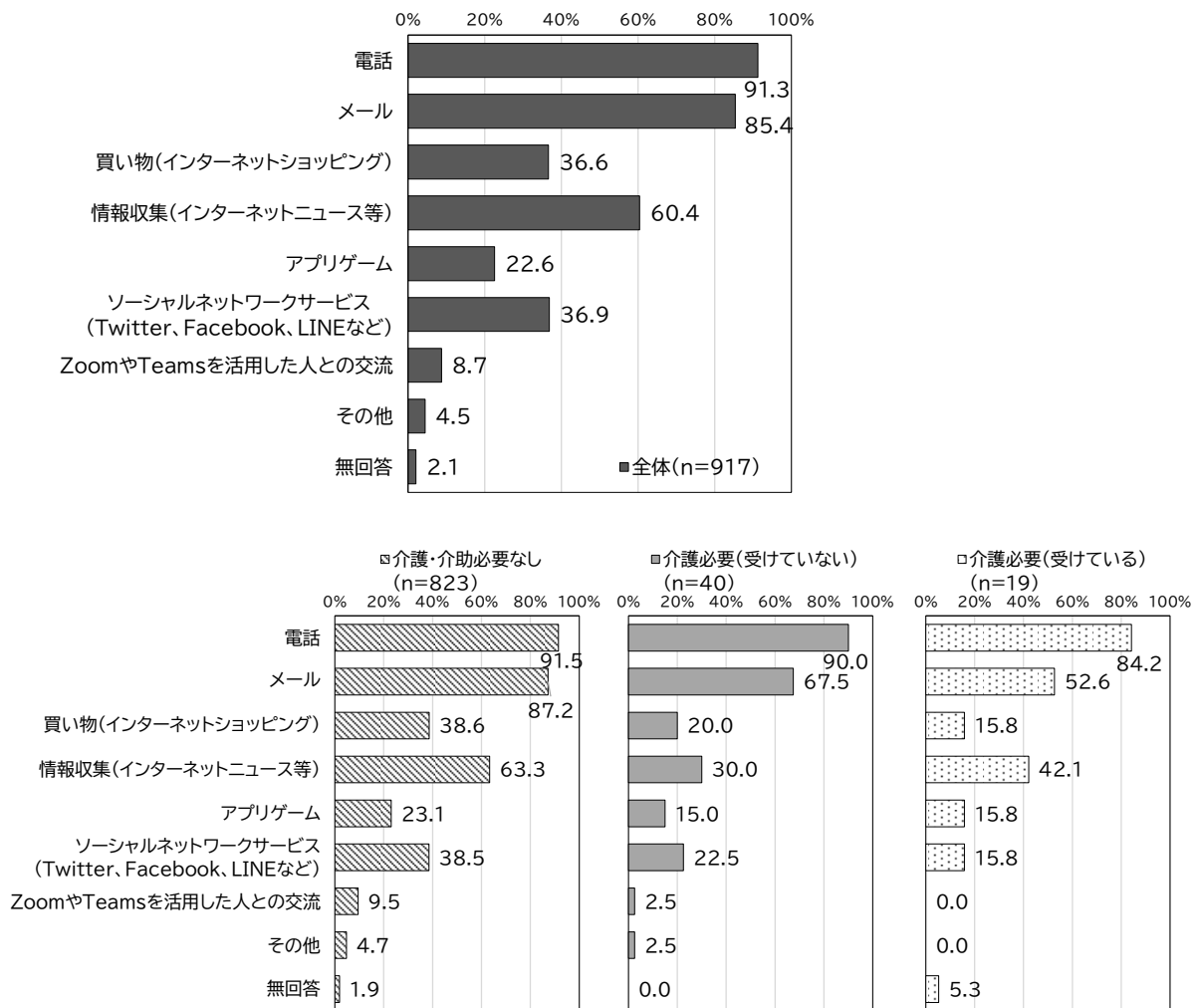
スマートフォン、パソコンなどの日常的な活用状況では、全体、介護・介助の必要がない方及び何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「スマートフォンを活用している」の割合が最も高く、それぞれ66.9%、71.7%、41.1%となっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「持っていない」の割合が34.0%と最も高くなっています。



問 33 で「スマートフォンを活用している」「タブレットを活用している」「パソコンを利用している」と回答した方にお伺いします。

問 33-1 どのようなことができますか。(複数選択可)

スマートフォンなどの活用内容では、全ての分類において「電話」、「メール」の割合が高くなっています。また、全体、介護・介助の必要がない方では「情報収集（インターネットニュース等）」の割合も高くなっています。



6 地域での活動について

問 34 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※それぞれ1つに○

参加している会・グループ等については、「趣味関係のグループ」の割合が23.1%と最も高く、次いで「収入のある仕事」の割合が22.8%、「スポーツ関係のグループやクラブ」の割合が21.2%、「町内会・自治会」の割合が19.6%、「ボランティアのグループ」の割合が9.8%、「学習・教養サークル」の割合が6.5%、「老人クラブ」の割合が6.4%、「介護予防のための通いの場」の割合が5.5%となっています。

単位:%

n=1,304	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
ボランティアのグループ	0.8	1.2	0.9	3.1	3.8	9.8	61.2	29.0
スポーツ関係のグループや クラブ	2.8	7.6	5.7	3.4	1.7	21.2	55.2	23.6
趣味関係のグループ	1.2	3.9	3.9	10.6	3.5	23.1	52.8	24.2
学習・教養サークル	0.2	0.8	1.2	2.2	2.1	6.5	61.9	31.6
介護予防のための通いの場	0.2	0.9	1.0	2.7	0.7	5.5	63.3	31.2
老人クラブ	0.2	1.1	1.0	2.1	2.0	6.4	63.5	30.1
町内会・自治会	0.3	0.8	1.2	6.4	10.9	19.6	53.8	26.7
収入のある仕事	10.8	7.5	1.5	1.6	1.4	22.8	49.8	27.5

①ボランティアのグループへの参加頻度

全体では、「参加している」の割合が9.8%、「参加していない」の割合が61.2%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が10.9%、「参加していない」の割合が61.7%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が2.2%、「参加していない」の割合が66.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が3.8%、「参加していない」の割合が66.0%となっています。

単位:%

ボランティアのグループ	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体(n=1,304)	0.8	1.2	0.9	3.1	3.8	9.8	61.2	29.0
介護・介助必要なし (n=1,095)	0.9	1.2	1.1	3.3	4.4	10.9	61.7	27.4
介護必要(受けていない) (n=90)	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	2.2	66.7	31.1
介護必要(受けている) (n=53)	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	3.8	66.0	30.2

②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度

全体では、「参加している」の割合が21.2%、「参加していない」の割合が55.2%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が22.5%、「参加していない」の割合が55.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が13.4%、「参加していない」の割合が58.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が9.5%、「参加していない」の割合が62.3%となっています。

単位:%

スポーツ関係のグループやクラブ	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体(n=1,304)	2.8	7.6	5.7	3.4	1.7	21.2	55.2	23.6
介護・介助必要なし (n=1,095)	3.3	8.0	5.8	3.6	1.8	22.5	55.5	21.9
介護必要(受けていない) (n=90)	0.0	6.7	5.6	1.1	0.0	13.4	58.9	27.8
介護必要(受けている) (n=53)	0.0	1.9	5.7	1.9	0.0	9.5	62.3	28.3

③趣味関係のグループへの参加頻度

全体では、「参加している」の割合が23.1%、「参加していない」の割合が52.8%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が23.8%、「参加していない」の割合が53.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が18.8%、「参加していない」の割合が54.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が15.2%、「参加していない」の割合が58.5%となっています。

単位:%

趣味関係のグループ	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体(n=1,304)	1.2	3.9	3.9	10.6	3.5	23.1	52.8	24.2
介護・介助必要なし (n=1,095)	1.2	3.9	4.0	11.1	3.6	23.8	53.4	22.7
介護必要(受けていない) (n=90)	0.0	3.3	1.1	11.1	3.3	18.8	54.4	26.7
介護必要(受けている) (n=53)	1.9	3.8	5.7	1.9	1.9	15.2	58.5	26.4

④学習・教養サークルへの参加頻度

全体では、「参加している」の割合が6.5%、「参加していない」の割合が61.9%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が7.0%、「参加していない」の割合が62.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が3.3%、「参加していない」の割合が63.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が1.9%、「参加していない」の割合が66.0%となっています。

単位:%

学習・教養サークル	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体(n=1,304)	0.2	0.8	1.2	2.2	2.1	6.5	61.9	31.6
介護・介助必要なし (n=1,095)	0.3	0.8	1.4	2.1	2.4	7.0	62.6	30.5
介護必要(受けていない) (n=90)	0.0	0.0	0.0	2.2	1.1	3.3	63.3	33.3
介護必要(受けている) (n=53)	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	1.9	66.0	32.1

⑤介護予防のための通いの場（お互いさまサロンなど）への参加頻度

全体では、「参加している」の割合が5.5%、「参加していない」の割合が63.3%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が5.0%、「参加していない」の割合が64.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が3.3%、「参加していない」の割合が63.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が18.9%、「参加していない」の割合が58.5%となっています。

単位:%

介護予防のための通いの場	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体(n=1,304)	0.2	0.9	1.0	2.7	0.7	5.5	63.3	31.2
介護・介助必要なし (n=1,095)	0.2	0.8	0.8	2.5	0.7	5.0	64.8	30.1
介護必要(受けていない) (n=90)	0.0	0.0	1.1	2.2	0.0	3.3	63.3	33.3
介護必要(受けている) (n=53)	0.0	3.8	5.7	7.5	1.9	18.9	58.5	22.6

⑥老人クラブへの参加頻度

全体では、「参加している」の割合が6.4%、「参加していない」の割合が63.5%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が6.6%、「参加していない」の割合が64.7%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が6.6%、「参加していない」の割合が62.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が3.8%、「参加していない」の割合が66.0%となっています。

単位:%

老人クラブ	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体(n=1,304)	0.2	1.1	1.0	2.1	2.0	6.4	63.5	30.1
介護・介助必要なし (n=1,095)	0.2	1.2	1.0	2.3	1.9	6.6	64.7	28.8
介護必要(受けていない) (n=90)	0.0	1.1	1.1	1.1	3.3	6.6	62.2	31.1
介護必要(受けている) (n=53)	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	3.8	66.0	30.2

⑦町内会・自治会への参加頻度

全体では、「参加している」の割合が19.6%、「参加していない」の割合が53.8%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が20.7%、「参加していない」の割合が54.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が14.4%、「参加していない」の割合が56.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が15.0%、「参加していない」の割合が56.6%となっています。

単位:%

町内会・自治会	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体(n=1,304)	0.3	0.8	1.2	6.4	10.9	19.6	53.8	26.7
介護・介助必要なし (n=1,095)	0.3	0.8	0.9	6.8	11.9	20.7	54.1	25.3
介護必要(受けていない) (n=90)	1.1	0.0	4.4	3.3	5.6	14.4	56.7	28.9
介護必要(受けている) (n=53)	0.0	0.0	0.0	7.5	7.5	15.0	56.6	28.3

⑧収入のある仕事への参加頻度

全体では、「参加している」の割合が22.8%、「参加していない」の割合が49.8%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が25.9%、「参加していない」の割合が48.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が5.5%、「参加していない」の割合が61.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加していない」の割合が67.9%となっています。

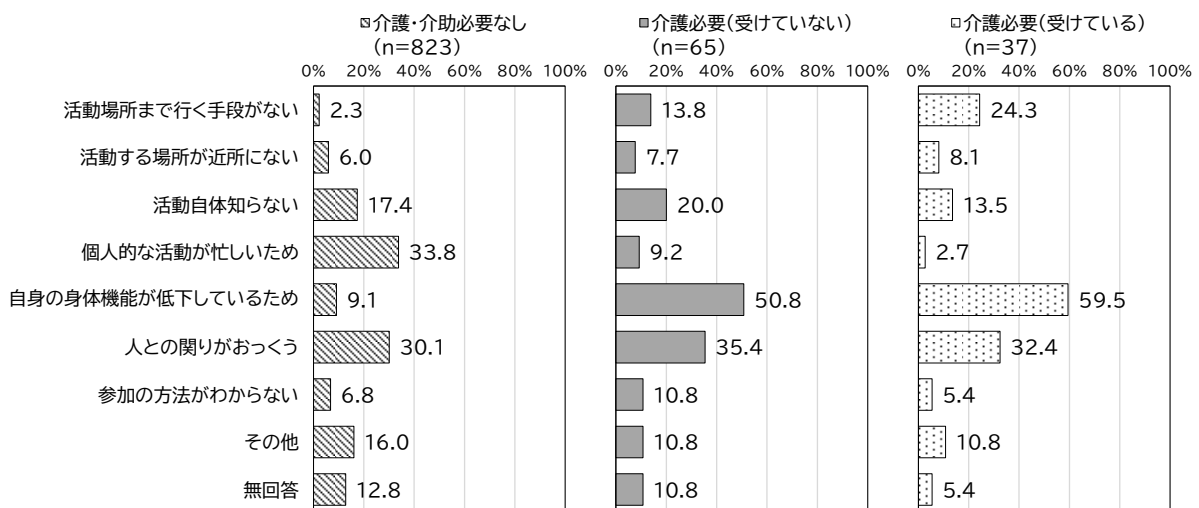
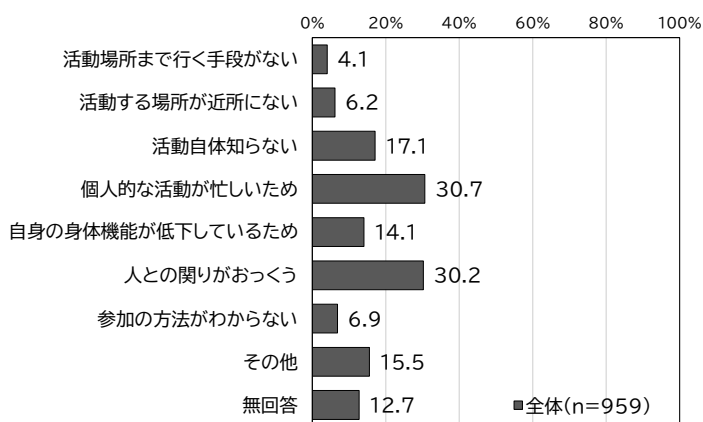
単位:%

収入のある仕事	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体(n=1,304)	10.8	7.5	1.5	1.6	1.4	22.8	49.8	27.5
介護・介助必要なし (n=1,095)	12.2	8.8	1.6	1.7	1.6	25.9	48.8	25.3
介護必要(受けていない) (n=90)	3.3	0.0	1.1	1.1	0.0	5.5	61.1	33.3
介護必要(受けている) (n=53)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.9	32.1

問 34 で「年に数回」「参加していない」と回答した方にお伺いします。

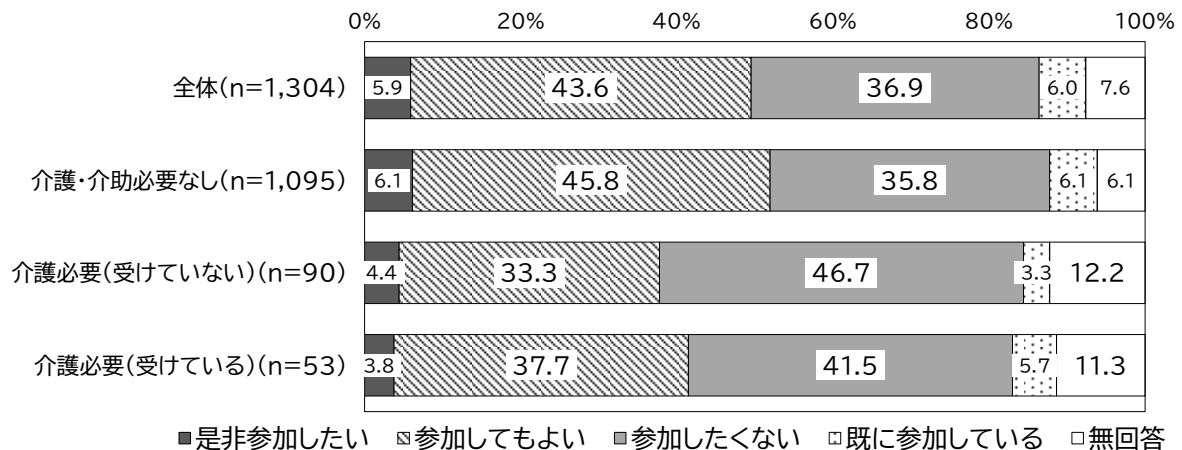
問 34-1 記載されている会やグループなどの地域での活動への参加が少ない（していない）のはなぜですか。（複数選択可）

地域への活動への参加が少ない理由については、全体及び介護・介助の必要がない方では「個人的な活動が忙しいため」の割合がそれぞれ 30.7%、33.8%と最も高く、次いで「人との関わりがおっくう」の割合がそれぞれ 30.2%、30.1%となっています。何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方及び現在、何らかの介護を受けている方では、「自身の身体機能が低下しているため」の割合がそれぞれ 50.8%、59.5%と最も高く、次いで「人との関わりがおっくう」の割合がそれぞれ 35.4%、32.4%となっています。



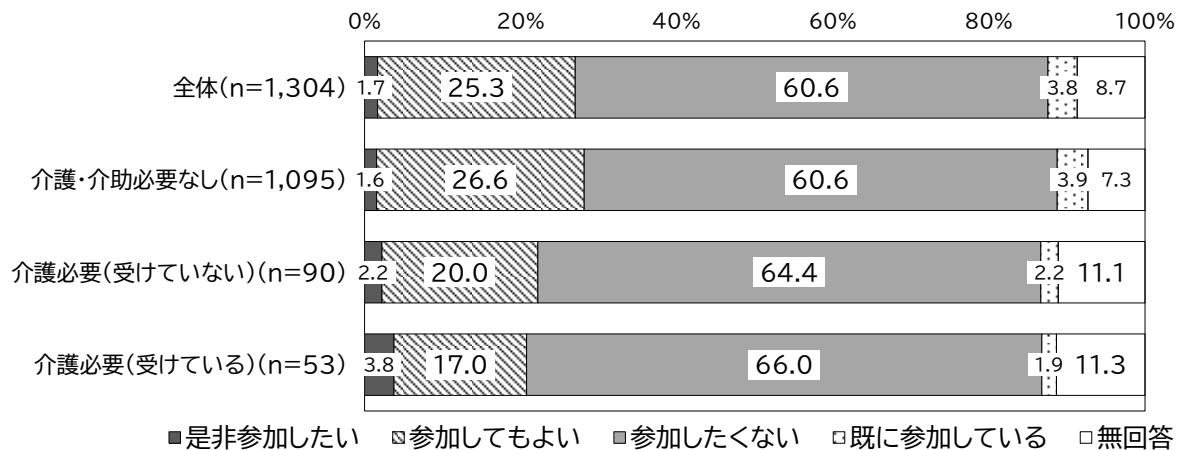
問 35 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つを選択)

全体では、「是非参加したい」の割合が5.9%、「参加してもよい」の割合が43.6%、「参加したくない」の割合が36.9%、「既に参加している」の割合が6.0%、介護・介助の必要がない方では、「是非参加したい」の割合が6.1%、「参加してもよい」の割合が45.8%、「参加したくない」の割合が35.8%、「既に参加している」の割合が6.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「是非参加したい」の割合が4.4%、「参加してもよい」の割合が33.3%、「参加したくない」の割合が46.7%、「既に参加している」の割合が3.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「是非参加したい」の割合が3.8%、「参加してもよい」の割合が37.7%、「参加したくない」の割合が41.5%、「既に参加している」の割合が5.7%となっています。



問 36 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つを選択）

全体では、「是非参加したい」の割合が1.7%、「参加してもよい」の割合が25.3%、「参加したくない」の割合が60.6%、「既に参加している」の割合が3.8%、介護・介助の必要がない方では、「是非参加したい」の割合が1.6%、「参加してもよい」の割合が26.6%、「参加したくない」の割合が60.6%、「既に参加している」の割合が3.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「是非参加したい」の割合が2.2%、「参加してもよい」の割合が20.0%、「参加したくない」の割合が64.4%、「既に参加している」の割合が2.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「是非参加したい」の割合が3.8%、「参加してもよい」の割合が17.0%、「参加したくない」の割合が66.0%、「既に参加している」の割合が1.9%となっています。

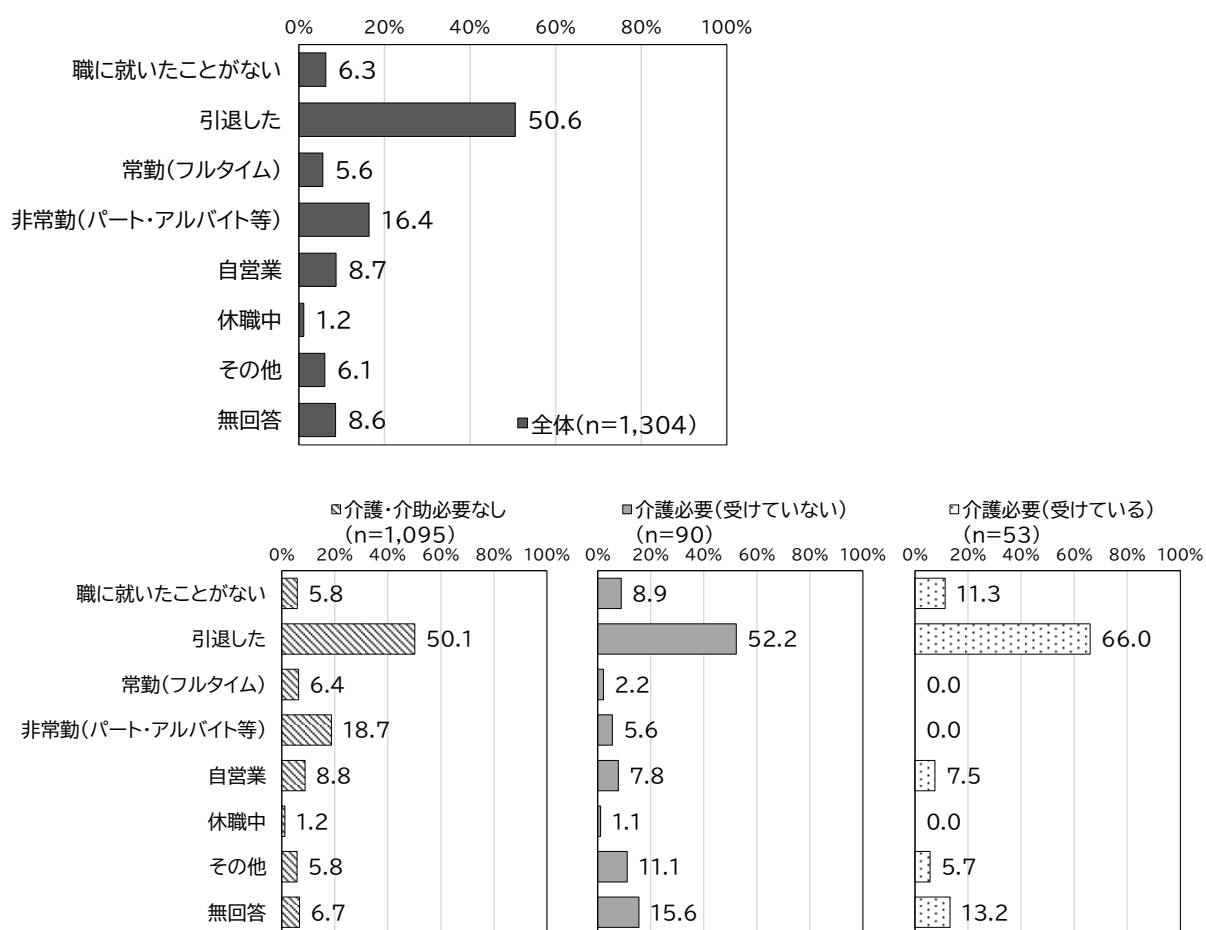


7 就労について

問 37 現在のあなたの就労状態はどれですか。(複数選択可)

就労状態では、全ての分類において「引退した」の割合が最も高く、全体では 50.6%、介護・介助の必要がない方では 50.1%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では 52.2%、現在、何らかの介護を受けている方では 66.0%となっています。

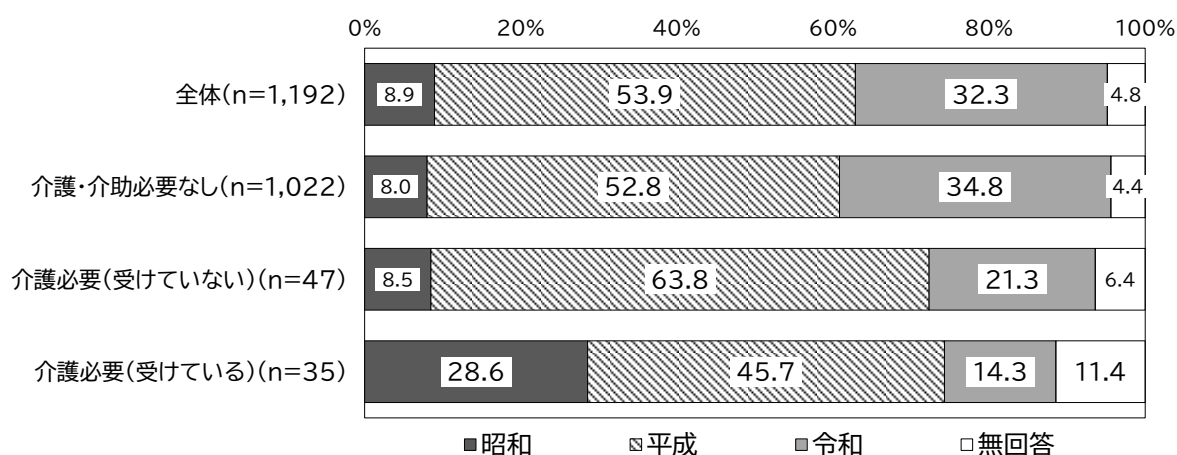
「常勤（フルタイム）」、「非常勤（パート・アルバイト等）」及び「自営業」を合わせた現在、働いている方の割合は、全体では 30.7%、介護・介助の必要がない方では 33.9%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では 15.6%、現在、何らかの介護を受けている方では 7.5%となっています。



問 37 で「引退した」と回答した方にお伺いします。

問 37-1 あなたはいつ引退しましたか。

引退した時期では、全体では、「昭和」の割合が 8.9%、「平成」の割合が 53.9%、「令和」の割合が 32.3%、介護・介助の必要がない方では、「昭和」の割合が 8.0%、「平成」の割合が 52.8%、「令和」の割合が 34.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「昭和」の割合が 8.5%、「平成」の割合が 63.8%、「令和」の割合が 21.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「昭和」の割合が 28.6%、「平成」の割合が 45.7%、「令和」の割合が 14.3%となっています。



8 たすけあいについて

問 38 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（複数選択可）

心配事や愚痴を聞いてくれる人では、全体及び介護・介助の必要がない方では、「配偶者」の割合が最も高く、次いで「友人」、「別居の子ども」の割合が高くなっています。何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「友人」の割合が最も高く、次いで「別居の子ども」、「配偶者」となっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「別居の子ども」の割合が最も高く、次いで「友人」、「配偶者」の割合が高くなっています。

心配事や愚痴を聞いてくれる人が「いない」では、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の割合が 8.9%と他の分類と比べて高くなっています。

単位:%

心配事や愚痴を聞いてくれる人	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=1,304)	49.0	16.1	35.0	27.4	11.8	46.9	1.9	5.8	2.5
介護・介助必要なし(n=1,095)	52.4	15.1	35.8	28.3	12.2	48.4	1.7	5.8	2.2
介護必要(受けていない)(n=90)	30.0	18.9	33.3	21.1	5.6	36.7	1.1	8.9	4.4
介護必要(受けている)(n=53)	34.0	26.4	43.4	30.2	11.3	39.6	3.8	1.9	0.0

問 39 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（複数選択可）

心配事や愚痴を聞いてあげる人では、全体及び介護・介助の必要がない方では、「配偶者」の割合が最も高く、次いで「友人」、「別居の子ども」の割合が高くなっています。何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「友人」の割合が最も高く、次いで「配偶者」、「別居の子ども」となっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「友人」の割合が最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「別居の子ども」の割合が高くなっています。

心配事や愚痴を聞いてあげる人が「いない」では、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の割合が 13.3%と他の分類と比べて高くなっています。

単位:%

心配事や愚痴を聞いてあげる人	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=1,304)	48.3	14.6	32.0	30.8	15.7	46.4	2.3	6.6	3.4
介護・介助必要なし(n=1,095)	51.9	14.3	33.8	32.4	16.0	47.6	2.3	6.0	2.5
介護必要(受けていない)(n=90)	31.1	13.3	24.4	16.7	8.9	36.7	2.2	13.3	7.8
介護必要(受けている)(n=53)	24.5	20.8	30.2	35.8	13.2	41.5	1.9	5.7	5.7

問 40 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数選択可）

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人では、全体及び介護・介助の必要がない方、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「配偶者」の割合が最も高く、次いで「別居の子ども」、「同居の子ども」の割合が高くなっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「別居の子ども」の割合が最も高く、次いで「配偶者」、「同居の子ども」の割合が高くなっています。

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人が「いない」では、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の割合が 16.7%と他の分類と比べて高くなっています。

単位:%

看病や世話をしてくれる人	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=1,304)	54.6	20.8	34.4	11.8	3.3	5.7	1.5	8.6	2.8
介護・介助必要なし(n=1,095)	58.4	20.1	35.3	11.6	3.3	5.7	1.4	7.8	2.4
介護必要(受けていない)(n=90)	32.2	22.2	30.0	11.1	2.2	2.2	3.3	16.7	5.6
介護必要(受けている)(n=53)	35.8	28.3	39.6	17.0	1.9	7.5	0.0	9.4	0.0

問 41 反対に、看病や世話をしてあげる人（複数選択可）

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてあげる人では、すべての分類で、「配偶者」の割合が最も高く、全体では 55.7%、介護・介助の必要がない方では 59.6%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では 34.4%、現在、何らかの介護を受けている方では 34.0%となっています。次いで全体及び、介護・介助の必要がない方では「別居の子ども」の割合がそれぞれ 24.5%、26.7%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方、現在、何らかの介護を受けている方では「そのような人はいない」の割合がそれぞれ 26.7%、22.6%となっています。

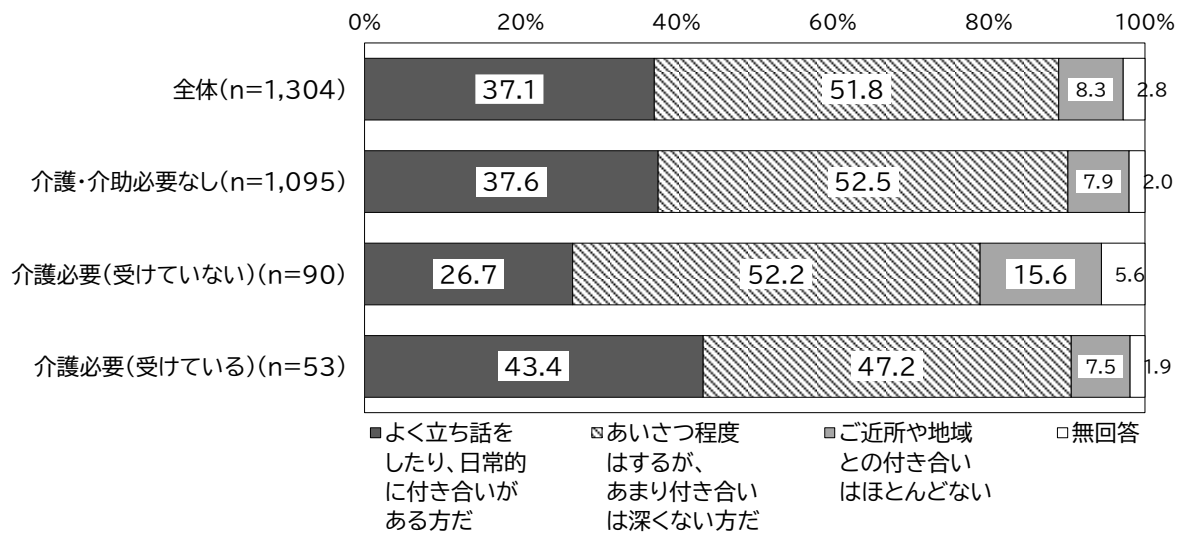
病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてあげる人が「いない」では、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の割合が 26.7%と最も高く、次いで、現在、何らかの介護を受けている方の割合が 22.6%となっています。

単位:%

看病や世話をしてあげる人	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=1,304)	55.7	19.4	24.5	16.2	4.4	8.4	1.2	12.8	5.4
介護・介助必要なし(n=1,095)	59.6	19.2	26.7	16.8	4.7	8.9	0.9	11.3	4.2
介護必要(受けていない)(n=90)	34.4	15.6	11.1	11.1	2.2	3.3	4.4	26.7	8.9
介護必要(受けている)(n=53)	34.0	17.0	13.2	11.3	0.0	3.8	1.9	22.6	13.2

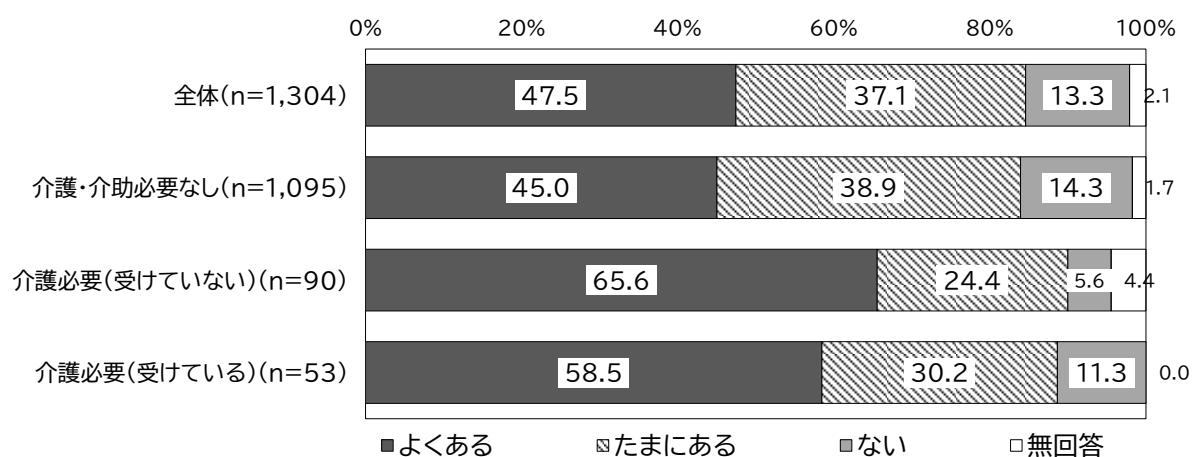
問 42 ご近所や地域の方との付き合いはどの程度ありますか。(1つを選択)

全体では、「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ」の割合が 37.1%、「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない方だ」の割合が 51.8%、「ご近所や地域との付き合いはほとんどない」の割合が 8.3%、介護・介助の必要がない方では、「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ」の割合が 37.6%、「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない方だ」の割合が 52.5%、「ご近所や地域との付き合いはほとんどない」の割合が 7.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ」の割合が 26.7%、「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない方だ」の割合が 52.2%、「ご近所や地域との付き合いはほとんどない」の割合が 15.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ」の割合が 43.4%、「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない方だ」の割合が 47.2%、「ご近所や地域との付き合いはほとんどない」の割合が 7.5%となっています。



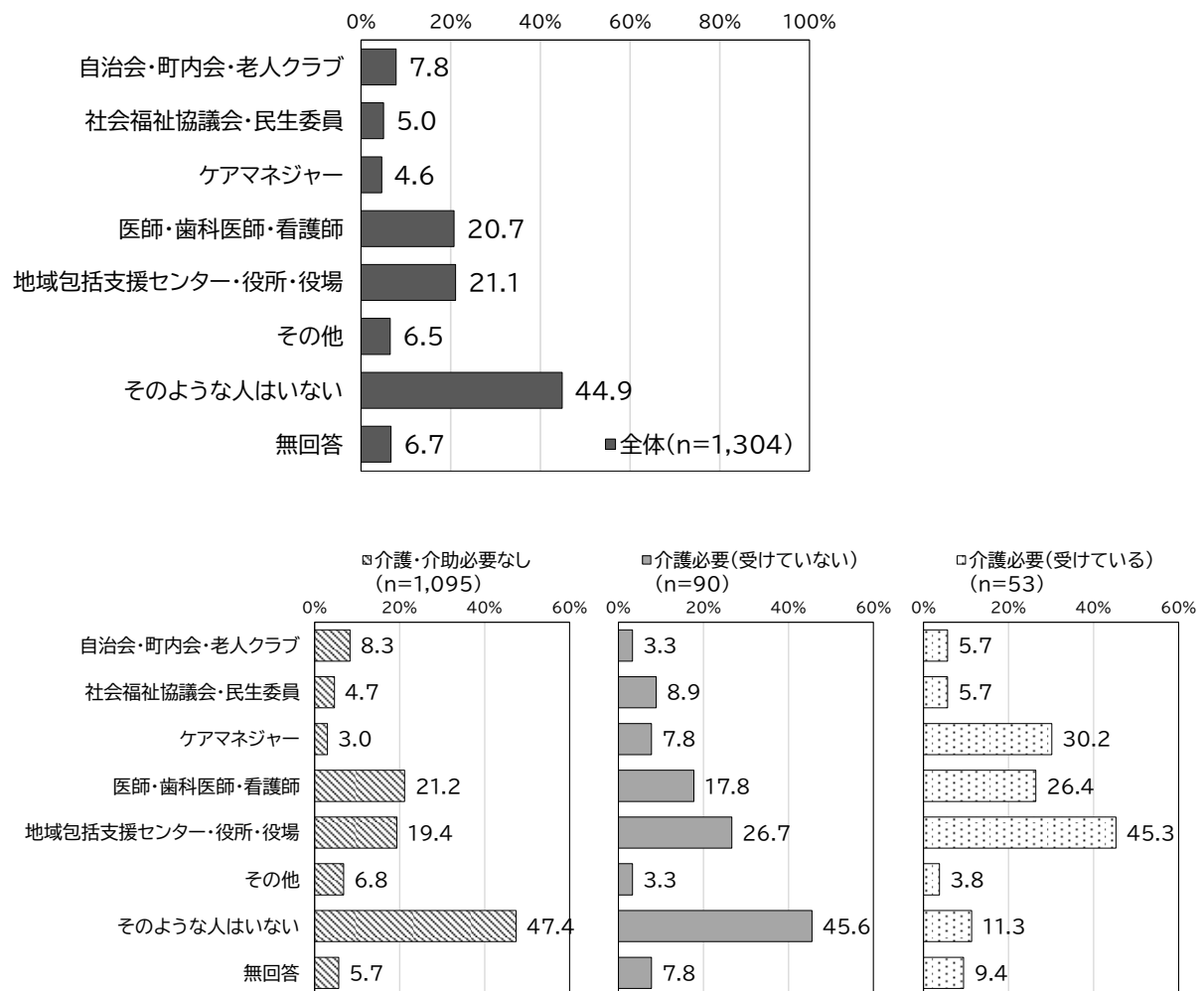
問 43 日中、1人になることがありますか。(1つを選択)

全体では、「よくある」の割合が 47.5%、「たまにある」の割合が 37.1%、「ない」の割合が 13.3%、介護・介助の必要がない方では、「よくある」の割合 45.0%、「たまにある」の割合が 38.9%、「ない」の割合が 14.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「よくある」の割合が 65.6%、「たまにある」の割合が 24.4%、「ない」の割合が 5.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「よくある」の割合が 58.5%、「たまにある」の割合が 30.2%、「ない」の割合が 11.3%となっています。



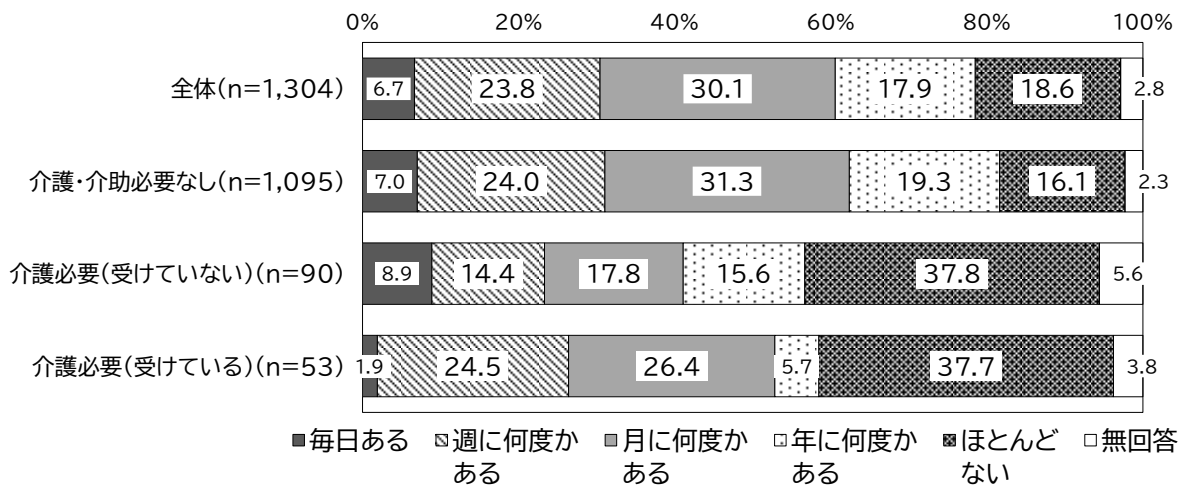
問 44 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(複数選択可)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手では、全体及び何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「そのような人はいない」の割合が最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」、「医師・歯科医師・看護師」の割合が高くなっています。介護・介助の必要がない方では、「そのような人はいない」の割合が最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」、「地域包括支援センター・役所・役場」の割合が高くなっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「ケアマネジャー」の割合も高くなっています。



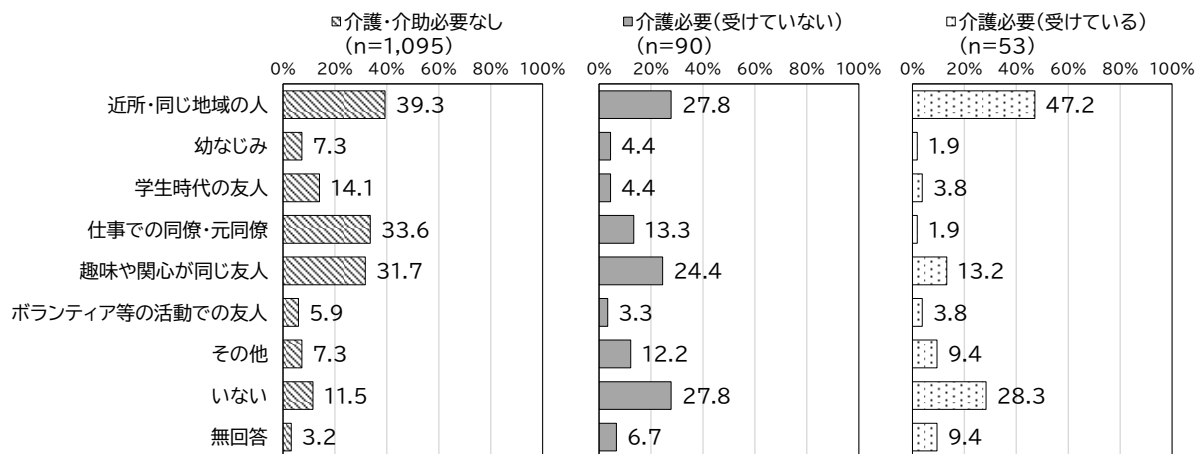
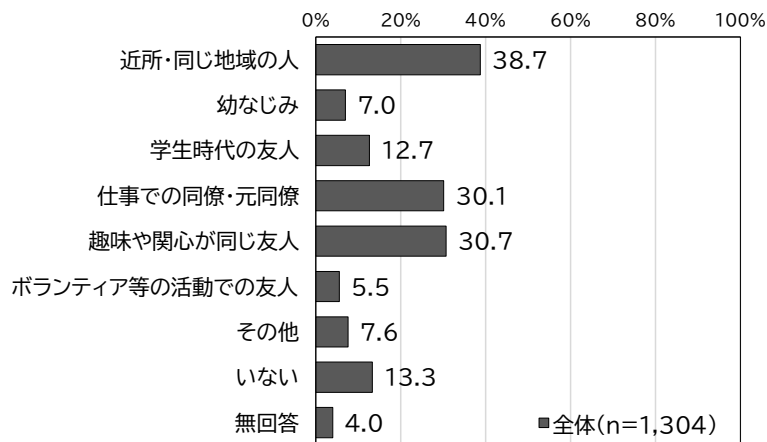
問 45 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つを選択)

全体では、「毎日ある」の割合が 6.7%、「週に何度かある」の割合が 23.8%、「月に何度かある」の割合が 30.1%、「年に何度かある」の割合が 17.9%、「ほとんどない」の割合が 18.6%、介護・介助の必要がない方では、「毎日ある」の割合が 7.0%、「週に何度かある」の割合が 24.0%、「月に何度かある」の割合が 31.3%、「年に何度かある」の割合が 19.3%、「ほとんどない」の割合が 16.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「毎日ある」の割合が 8.9%、「週に何度かある」の割合が 14.4%、「月に何度かある」の割合が 17.8%、「年に何度かある」の割合が 15.6%、「ほとんどない」の割合が 37.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「毎日ある」の割合が 1.9%、「週に何度かある」の割合が 24.5%、「月に何度かある」の割合が 26.4%、「年に何度かある」の割合が 5.7%、及び「ほとんどない」の割合が 37.7%となっています。



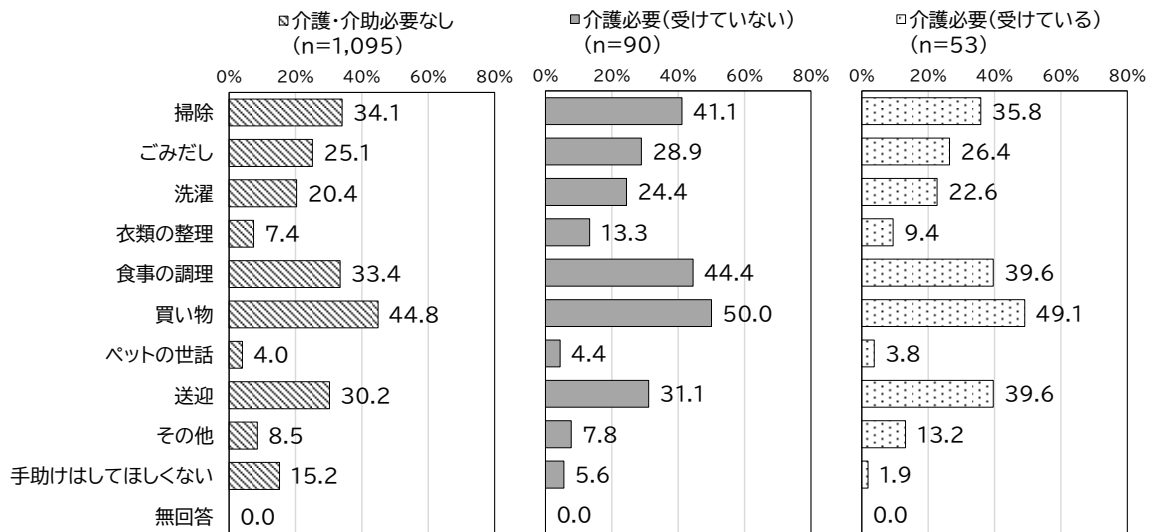
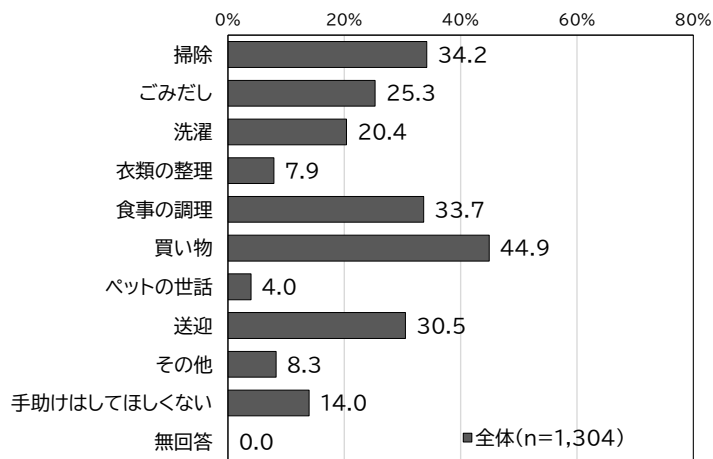
問 46 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(複数選択可)

よく会う友人・知人との関係性では、すべての分類において、「近所・同地域の人」の割合が最も高く、次いで、「仕事での同僚・元同僚」、「趣味や関心が同じ友人」の割合が高くなっています。一方、「いない」と回答された割合では、現在、何らかの介護を受けている方の割合が28.3%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の割合が27.8%となっています。



問 47 将来、あなたが日常生活で支援を必要としたときに、有償ボランティアの団体等に手助けをしてもらいたいことはありますか。(複数選択可)

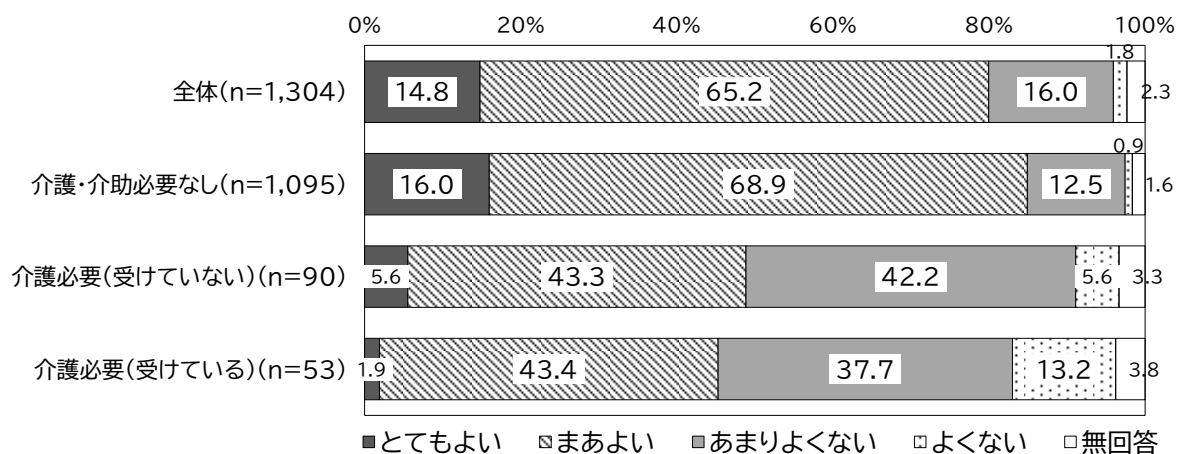
手助けをしてもらいたいことでは、全体及び介護・介助の必要がない方では、「買い物」の割合が最も高く、次いで「掃除」、「食事の調理」、「送迎」の割合が高くなっています。何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「買い物」の割合が最も高く、次いで「食事の調理」、「掃除」が高くなっています。また、現在、何らかの介護を受けている方では、「買い物」の割合が最も高く、次いで、「食事の調理」及び「送迎」、「掃除」の割合が高くなっています。



9 健康について

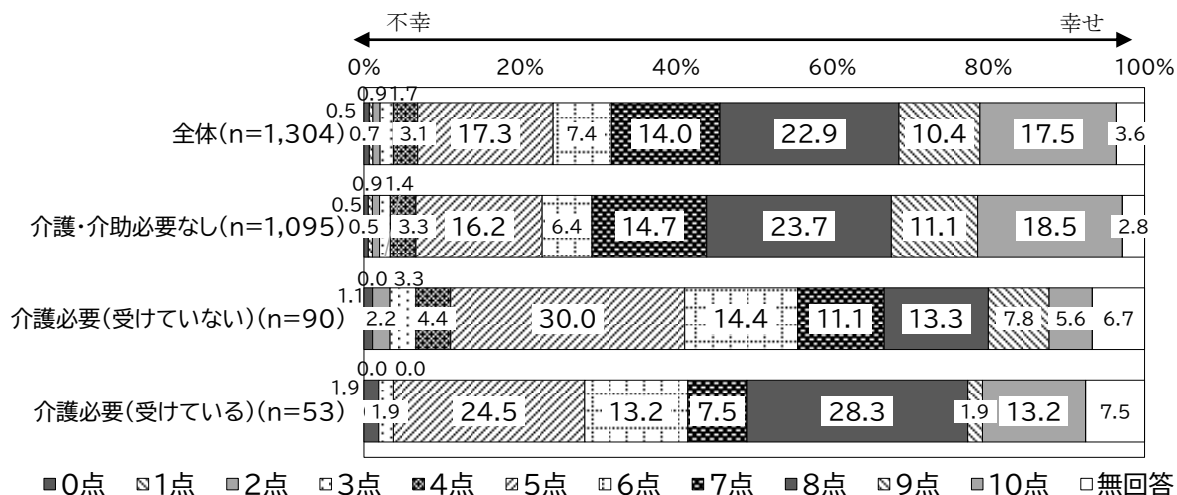
問 48 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つを選択)

全体では、「とてもよい」の割合が14.8%、「まあよい」の割合が65.2%、「あまりよくない」の割合が16.0%、「よくない」の割合が1.8%、介護・介助の必要がない方では、「とてもよい」の割合が16.0%、「まあよい」の割合が68.9%、「あまりよくない」の割合が12.5%、「よくない」の割合が0.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「とてもよい」の割合が5.6%、「まあよい」の割合が43.3%、「あまりよくない」の割合が42.2%、「よくない」の割合が5.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「とてもよい」の割合が1.9%、「まあよい」の割合が43.4%、「あまりよくない」の割合が37.7%、「よくない」の割合が13.2%となっています。



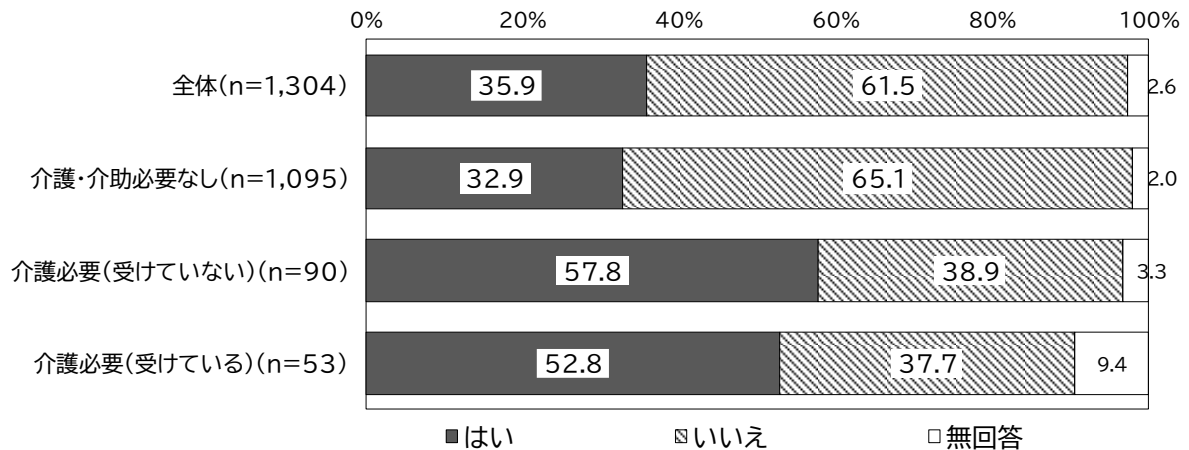
問 49 あなたは、現在どの程度幸せですか。

全体では、「8点」の割合が22.9%と最も高く、次いで「10点」の割合が17.5%、介護・介助の必要がない方も、「8点」の割合が23.7%と最も高く、次いで「10点」が18.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「5点」の割合が30.0%と最も高く、次いで「8点」の割合が13.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「8点」の割合が28.3%と最も高く、次いで「5点」の割合が24.5%となっています。



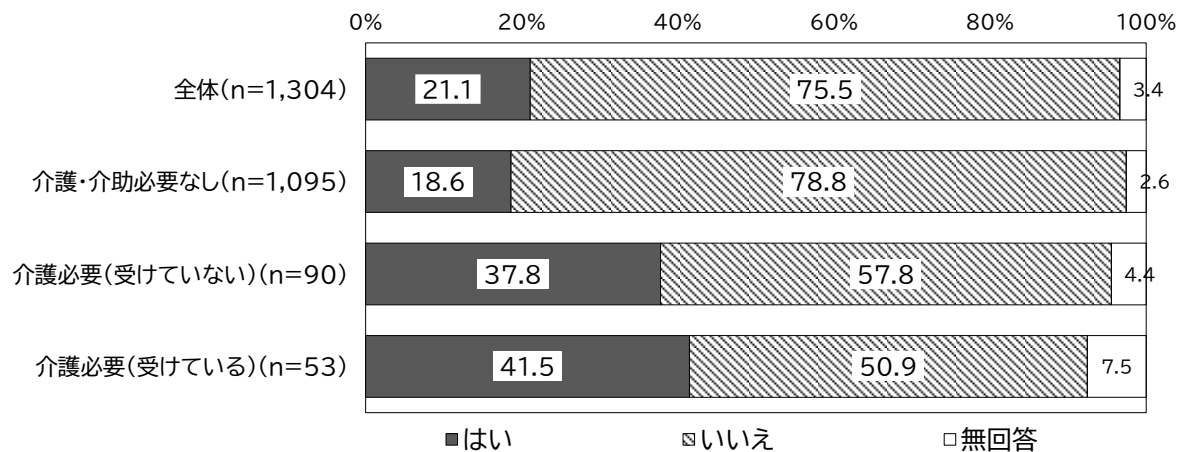
問 50 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が35.9%、「いいえ」の割合が61.5%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が32.9%、「いいえ」の割合が65.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が57.8%、「いいえ」の割合が38.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が52.8%、「いいえ」の割合が37.7%となっています。



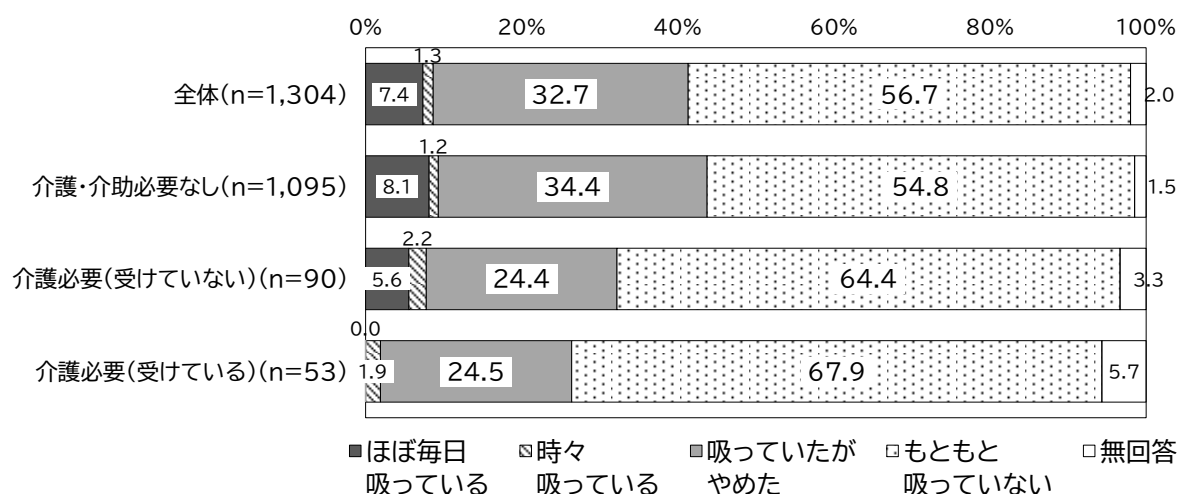
問 51 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が21.1%、「いいえ」の割合が75.5%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が18.6%、「いいえ」の割合が78.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が37.8%、「いいえ」の割合が57.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が41.5%、「いいえ」の割合が50.9%となっています。



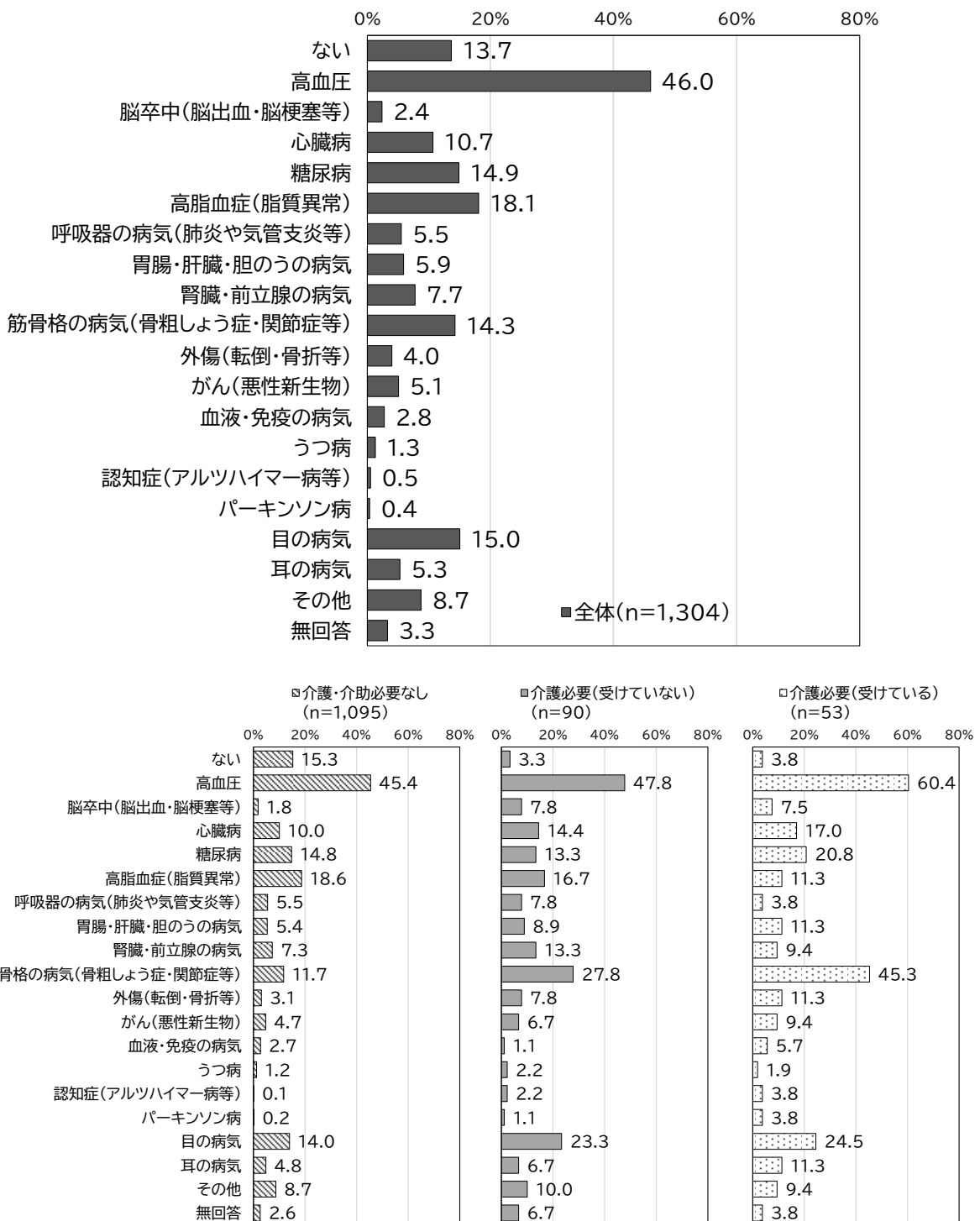
問 52 タバコは吸っていますか。(1つを選択)

全体では、「ほぼ毎日吸っている」の割合が7.4%、「時々吸っている」の割合が1.3%、「吸っていたがやめた」の割合が32.7%、「もともと吸っていない」の割合が56.7%、介護・介助の必要がない方では、「ほぼ毎日吸っている」の割合が8.1%、「時々吸っている」の割合が1.2%、「吸っていたがやめた」の割合が34.4%、「もともと吸っていない」の割合が54.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「ほぼ毎日吸っている」の割合が5.6%、「時々吸っている」の割合が2.2%、「吸っていたがやめた」の割合が24.4%、「もともと吸っていない」の割合が64.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「時々吸っている」の割合が1.9%、「吸っていたがやめた」の割合が24.5%、「もともと吸っていない」の割合が67.9%となっています。



問 53 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数選択可)

現在治療中、または後遺症のある病気では、すべての分類において「高血圧」の割合が最も高く、次いで、全体及び介護・介助の必要がない方では「高脂血症(脂質異常)」がそれぞれ18.1%、18.6%となっており、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では「筋骨格の病気」の割合が27.8%、「目の病気」の割合が23.3%となっています。また、現在、何らかの介護を受けている方では、「高血圧」に次いで、「筋骨格の病気」の割合が45.3%と高くなっています。

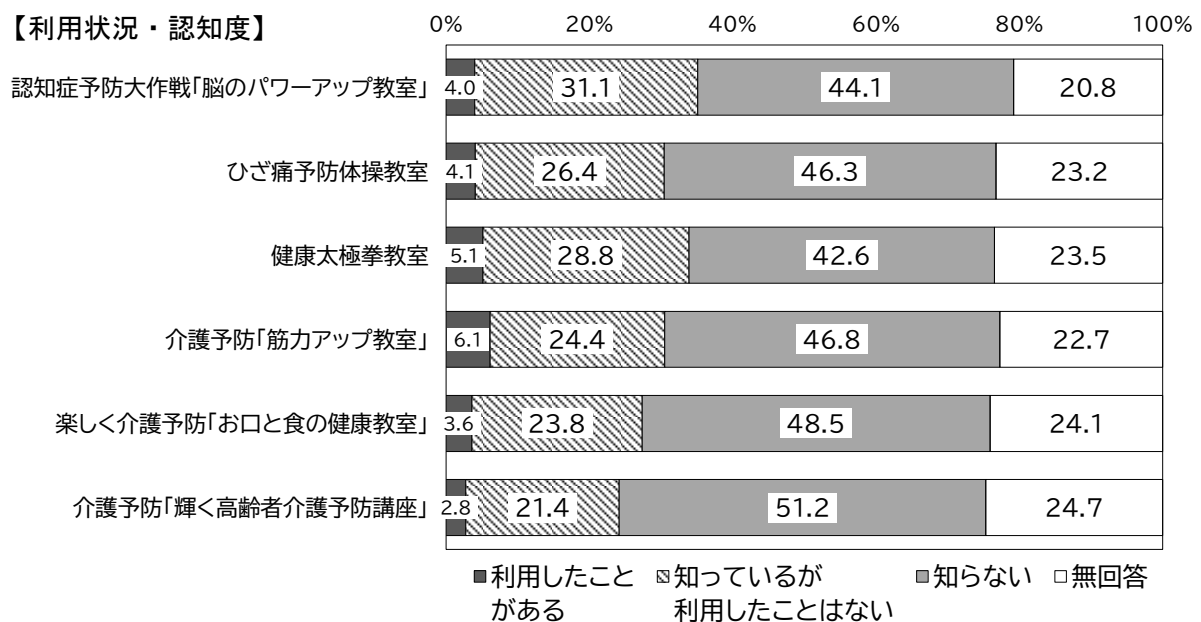


問 54 65 歳以上の高齢者を対象に、市が実施している以下の一般介護予防事業を知っていますか。また、今後利用したいと思いませんか。（利用状況や認知度、今後の利用希望それぞれ1つに○） ※各事業ごとに、対象者を限定して実施する場合があります。

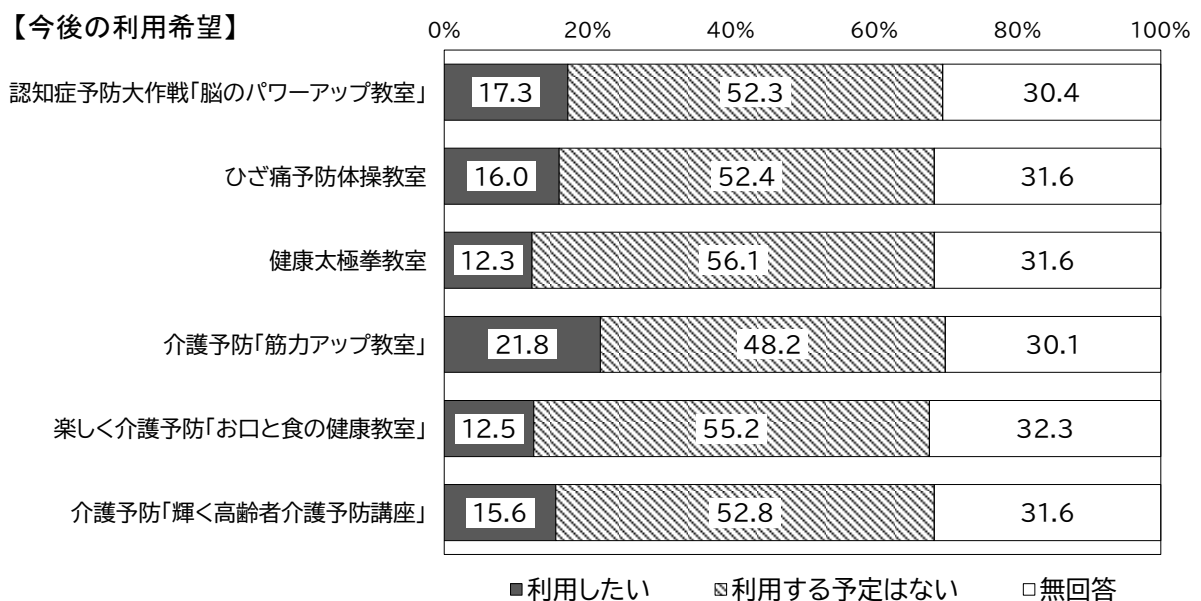
利用状況では、「介護予防「筋力アップ教室」」の割合が6.1%と最も高く、次いで「健康太極拳教室」の割合が5.1%、「ひざ痛予防体操教室」の割合が4.1%、「認知症予防大作戦「脳のパワーアップ教室」」の割合が4.0%となっています。認知度（「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた割合）では、「認知症予防大作戦「脳のパワーアップ教室」」の割合が35.1%と最も高く、次いで「健康太極拳教室」の割合が33.9%となっています。

今後の利用希望では、「介護予防「筋力アップ教室」」の割合が21.8%と最も高く、次いで「認知症予防大作戦「脳のパワーアップ教室」」の割合が17.3%、「ひざ痛予防体操」の割合が16.0%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

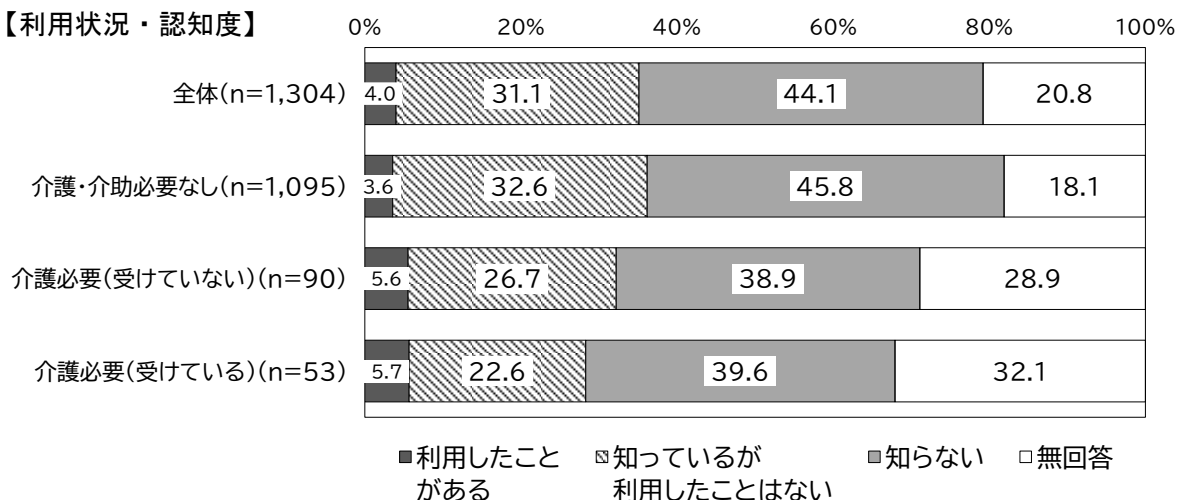


① 「認知症予防大作戦「脳のパワーアップ教室」」の利用状況・認知度、今後の利用希望

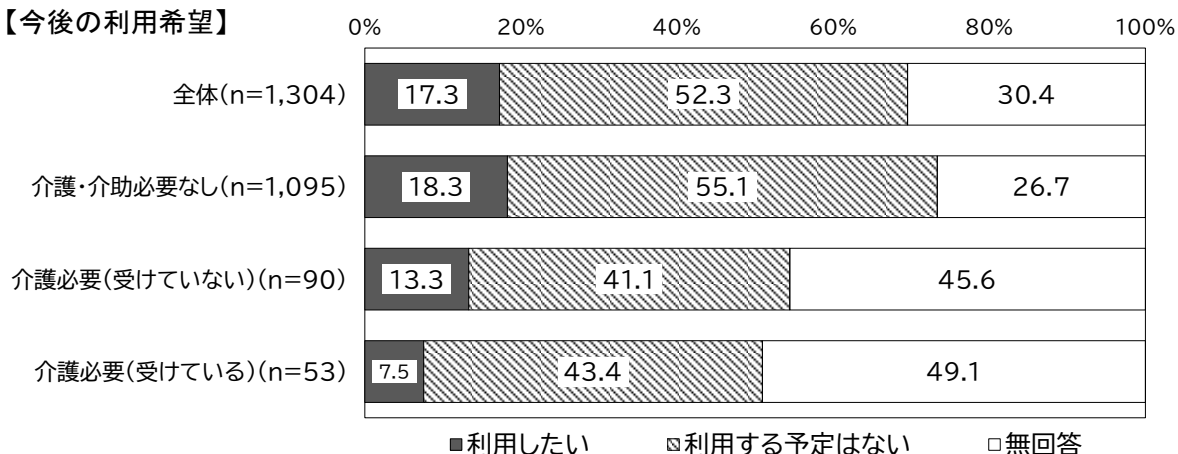
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が4.0%、「知っているが利用したことはない」の割合が31.1%、「知らない」の割合が44.1%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が3.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が32.6%、「知らない」の割合が45.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が5.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が26.7%、「知らない」の割合が38.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が5.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が22.6%、「知らない」の割合が39.6%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が17.3%、「利用する予定はない」の割合が52.3%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が18.3%、「利用する予定はない」の割合が55.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が13.3%、「利用する予定はない」の割合が41.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が7.5%、「利用する予定はない」の割合が43.4%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

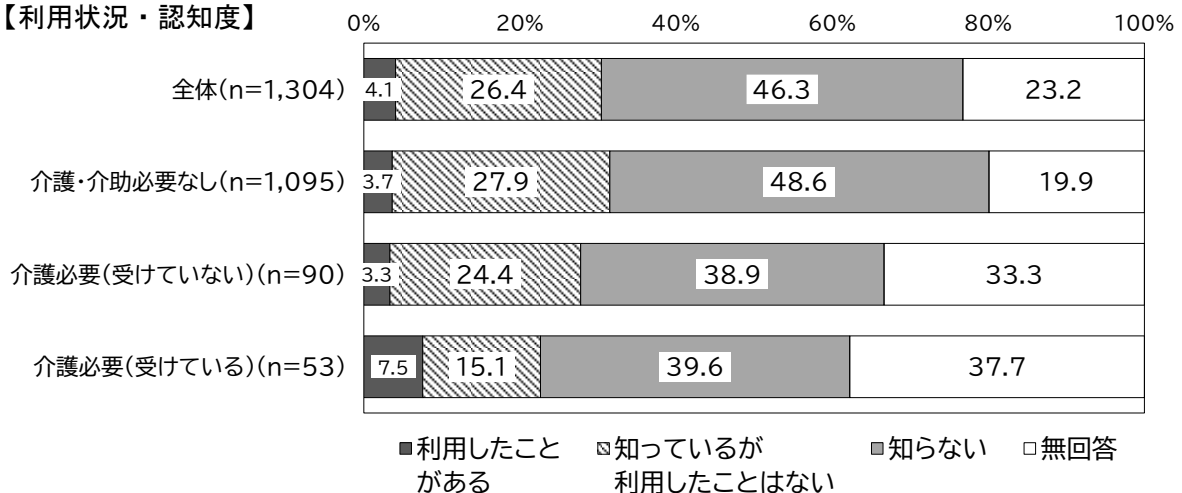


② 「ひざ痛予防体操教室」の利用状況・認知度、今後の利用希望

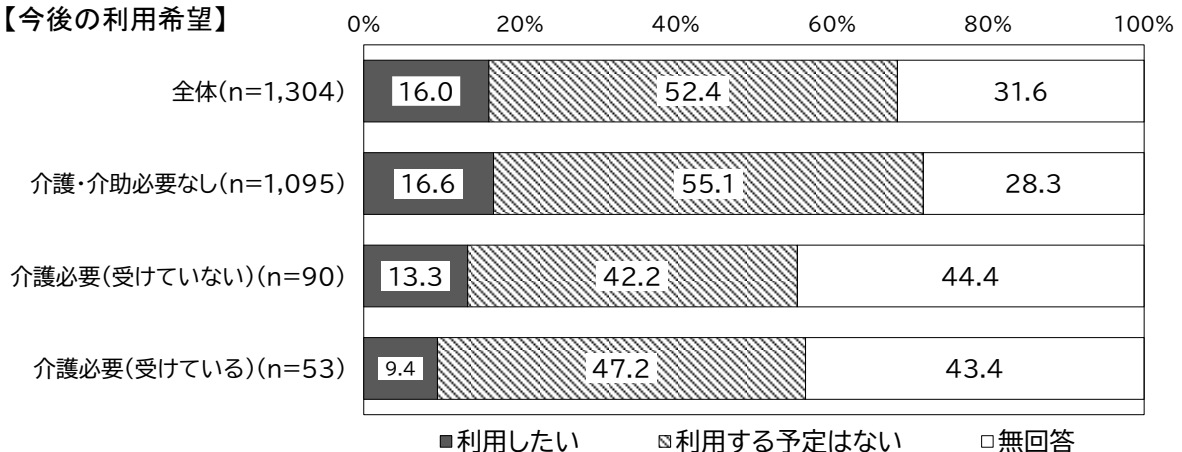
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が4.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が26.4%、「知らない」の割合が46.3%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が3.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が27.9%、「知らない」の割合が48.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が3.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が24.4%、「知らない」の割合が38.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が7.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が15.1%、「知らない」の割合が39.6%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が16.0%、「利用する予定はない」の割合が52.4%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が16.6%、「利用する予定はない」の割合が55.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が13.3%、「利用する予定はない」の割合が42.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が9.4%、「利用する予定はない」の割合が47.2%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

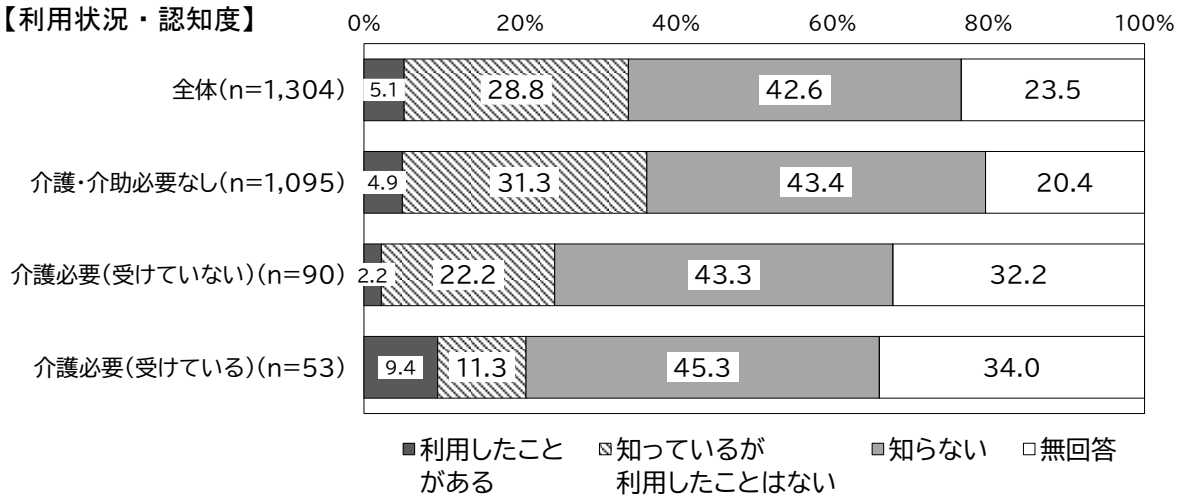


③ 「健康太極拳教室」の利用状況・認知度、今後の利用希望

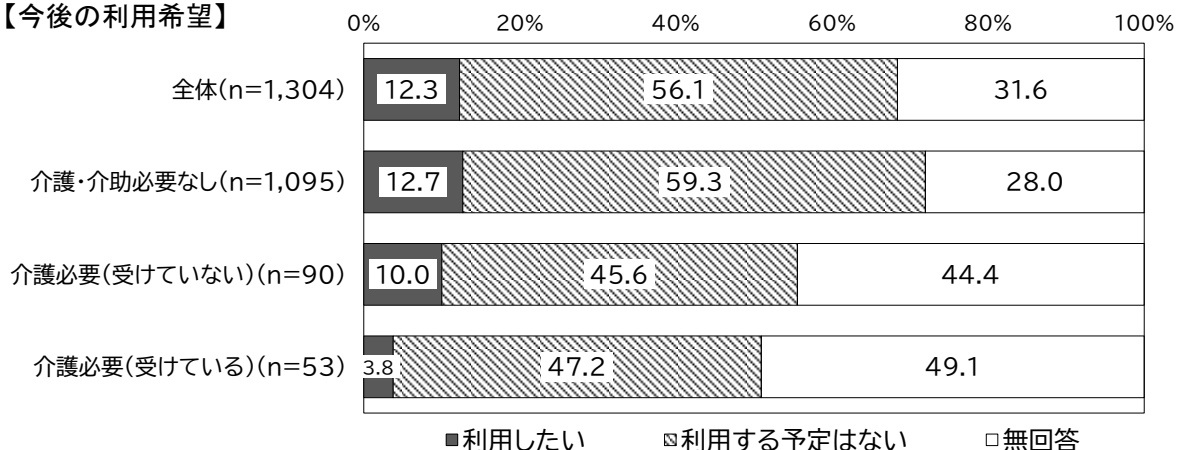
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が5.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が28.8%、「知らない」の割合が42.6%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が4.9%、「知っているが利用したことはない」の割合が31.3%、「知らない」の割合が43.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が2.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が22.2%、「知らない」の割合が43.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が9.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が11.3%、「知らない」の割合が45.3%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が12.3%、「利用する予定はない」の割合が56.1%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が12.7%、「利用する予定はない」の割合が59.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が10.0%、「利用する予定はない」の割合が45.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が3.8%、「利用する予定はない」の割合が47.2%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

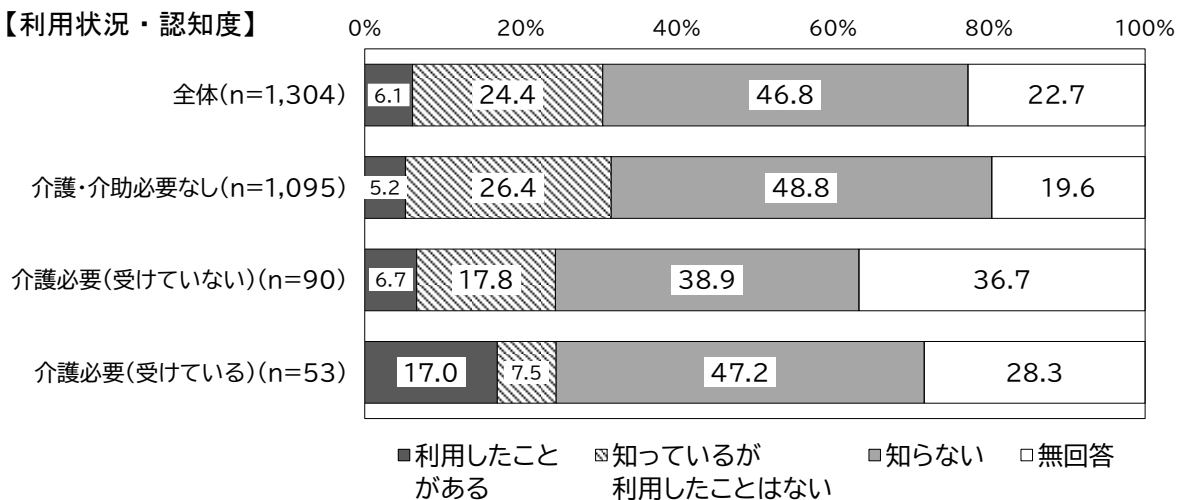


④ 「介護予防「筋力アップ教室」」の利用状況・認知度、今後の利用希望

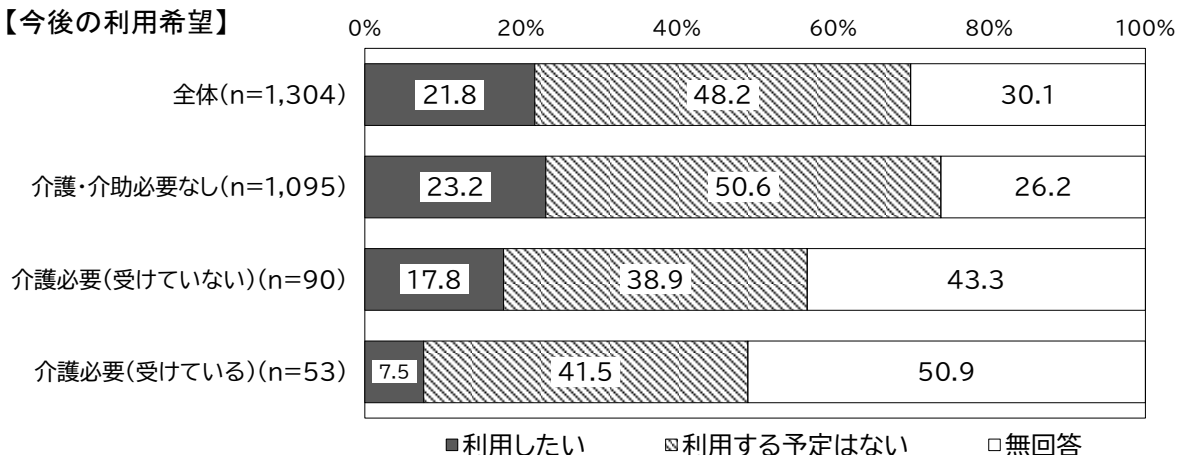
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が6.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が24.4%、「知らない」の割合が46.8%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が5.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が26.4%、「知らない」の割合が48.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が6.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が17.8%、「知らない」の割合が38.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が17.0%、「知っているが利用したことはない」の割合が7.5%、「知らない」の割合が47.2%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が21.8%、「利用する予定はない」の割合が48.2%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が23.2%、「利用する予定はない」の割合が50.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が17.8%、「利用する予定はない」の割合が38.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が7.5%、「利用する予定はない」の割合が41.5%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

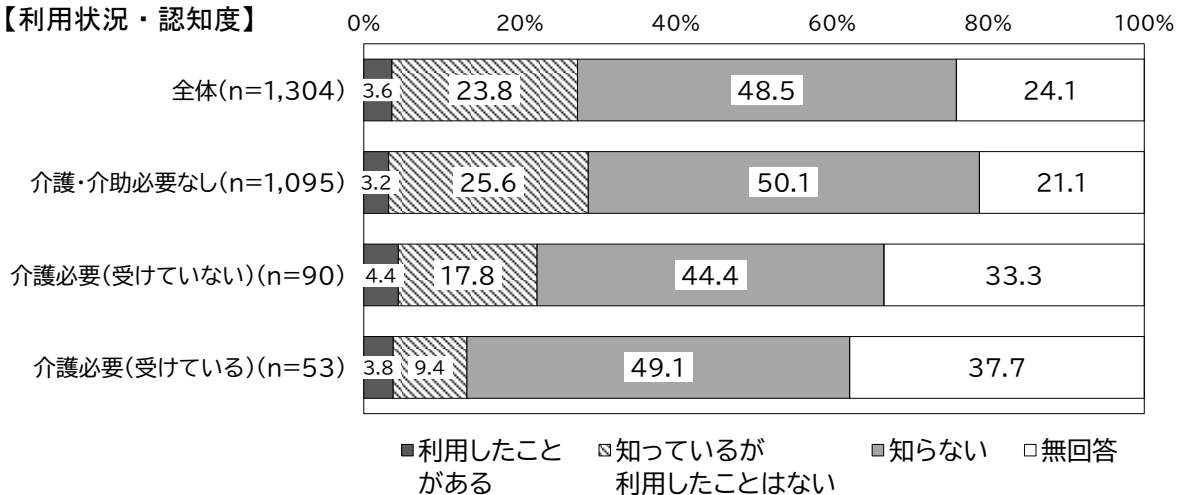


⑤ 「楽しく介護予防「お口と食の健康教室」」の利用状況・認知度、今後の利用希望

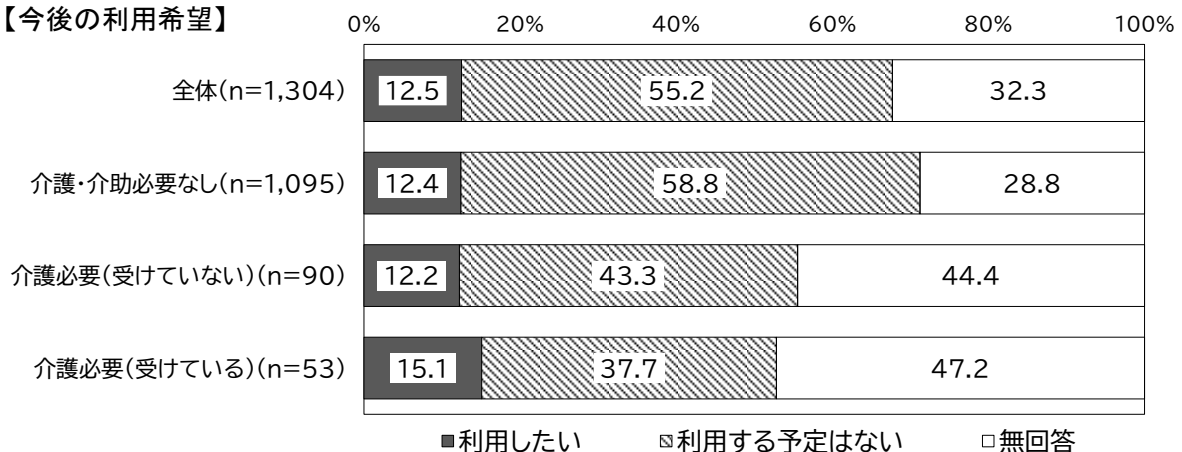
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が3.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が23.8%、「知らない」の割合が48.5%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が3.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が25.6%、「知らない」の割合が50.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が4.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が17.8%、「知らない」の割合が44.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が3.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が9.4%、「知らない」の割合が49.1%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が12.5%、「利用する予定はない」の割合が55.2%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が12.4%、「利用する予定はない」の割合が58.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が12.2%、「利用する予定はない」の割合が43.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が15.1%、「利用する予定はない」の割合が37.7%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

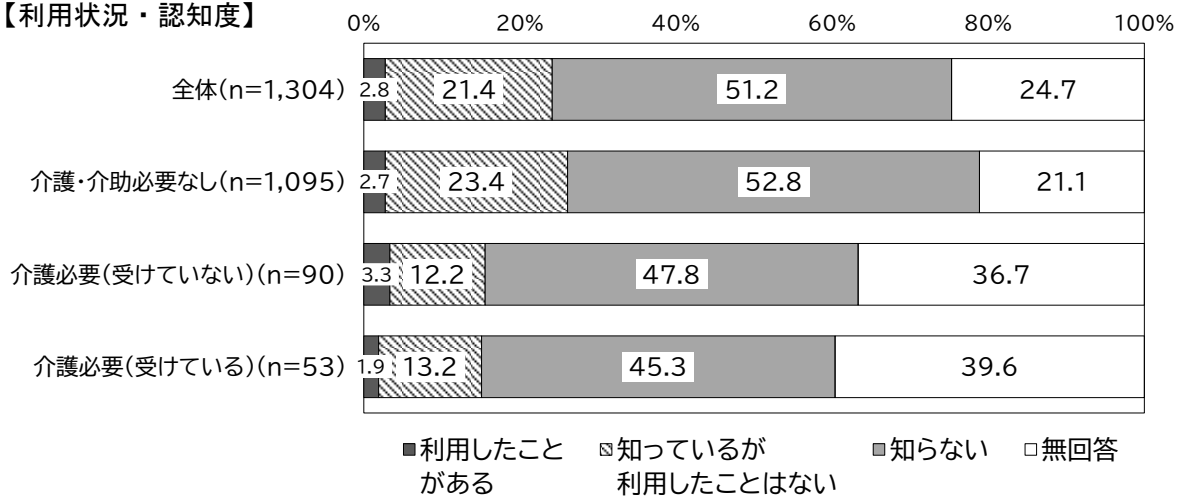


⑥ 「介護予防「輝く高齢者介護予防講座」の利用状況・認知度、今後の利用希望

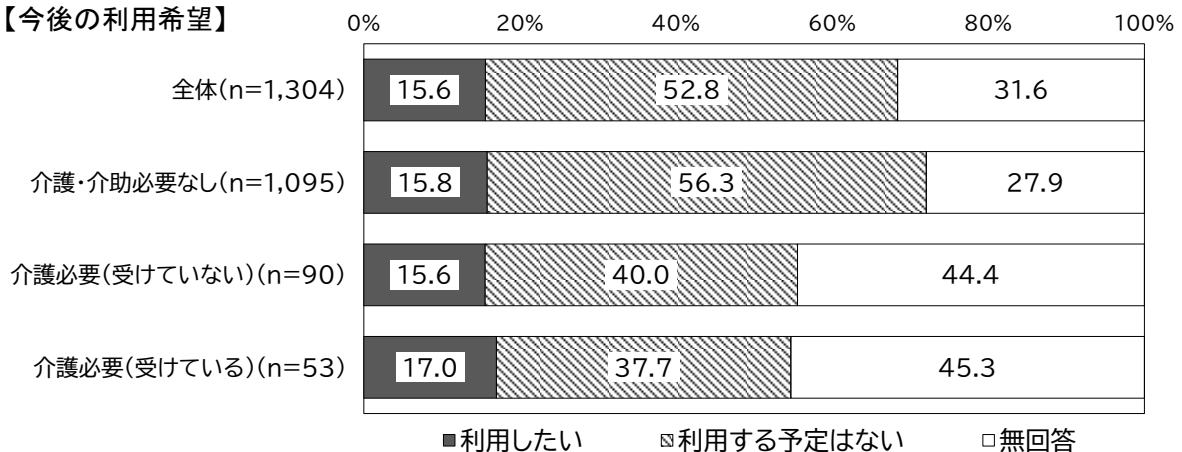
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が2.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が21.4%、「知らない」の割合が51.2%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が2.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が23.4%、「知らない」の割合が52.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が3.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が12.2%、「知らない」の割合が47.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が1.9%、「知っているが利用したことはない」の割合が13.2%、「知らない」の割合が45.3%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が15.6%、「利用する予定はない」の割合が52.8%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が15.8%、「利用する予定はない」の割合が56.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が15.6%、「利用する予定はない」の割合が40.0%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が17.0%、「利用する予定はない」の割合が37.7%となっています。

【利用状況・認知度】



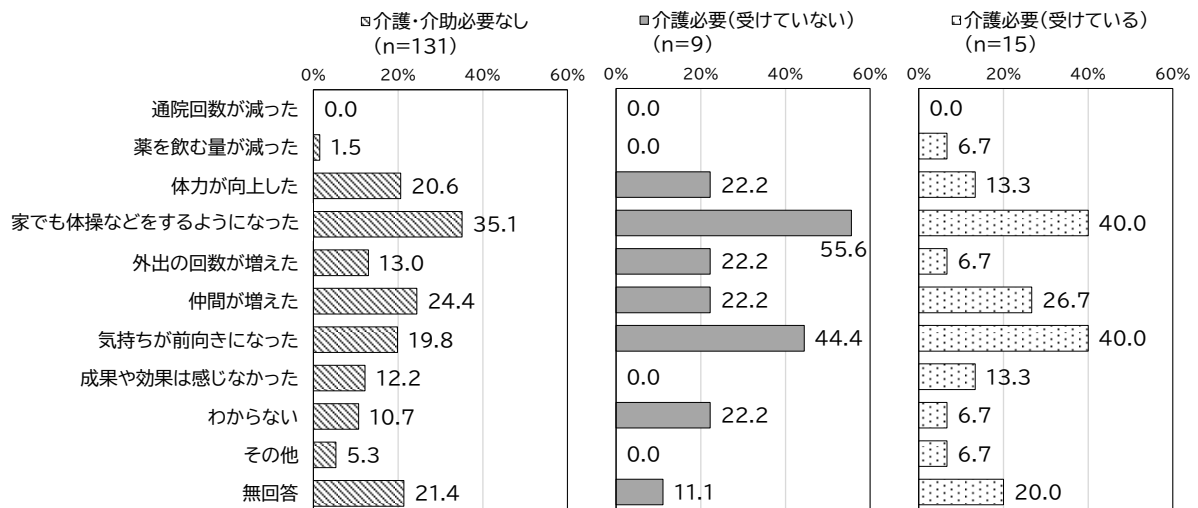
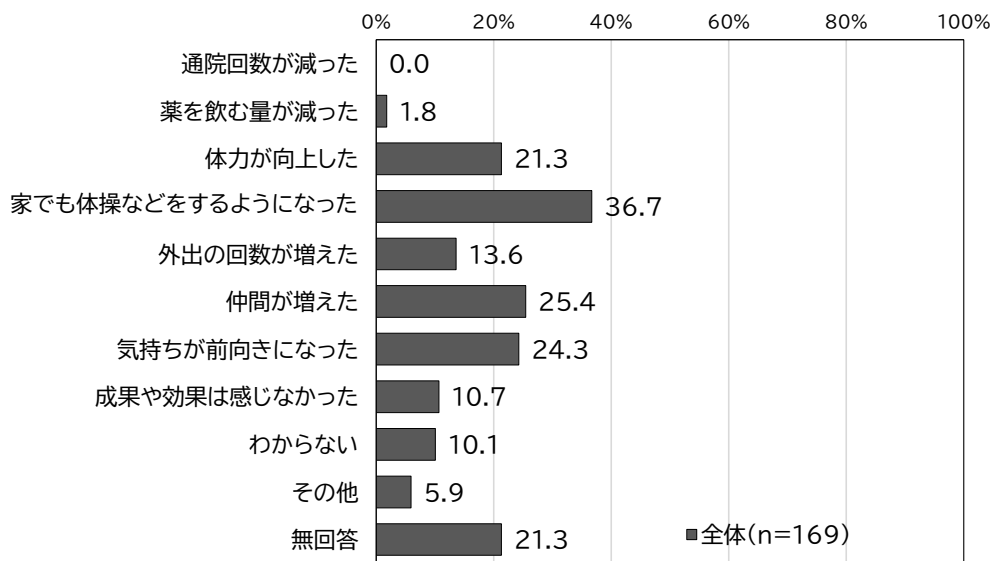
【今後の利用希望】



問 54 で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。

問 54-1 介護予防教室などに参加したことにより、成果や効果はありましたか。(複数選択可)

成果や効果については、全体では、「家でも体操などをするようになった」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「仲間が増えた」の割合が 25.4%、「気持ちが前向きになった」の割合が 24.3%となっています。何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方及び現在、何らかの介護を受けている方では、「気持ちが前向きになった」の割合がそれぞれ 44.4%、40.0%と高くなっています。



問 55 健康づくりや介護予防について、上記（問 54）以外にあればいいと思う事業があれば、ご記入ください。

現在、市が実施している一般介護予防事業以外で、あればいいと思う事業では、「ウォーキング・散歩・ウォーキング教室」の回答が最も多く、次いで「水泳・水中ウォーキング・プール利用」、「体操・ストレッチ・筋トレ・ピラティス」が挙げられています。

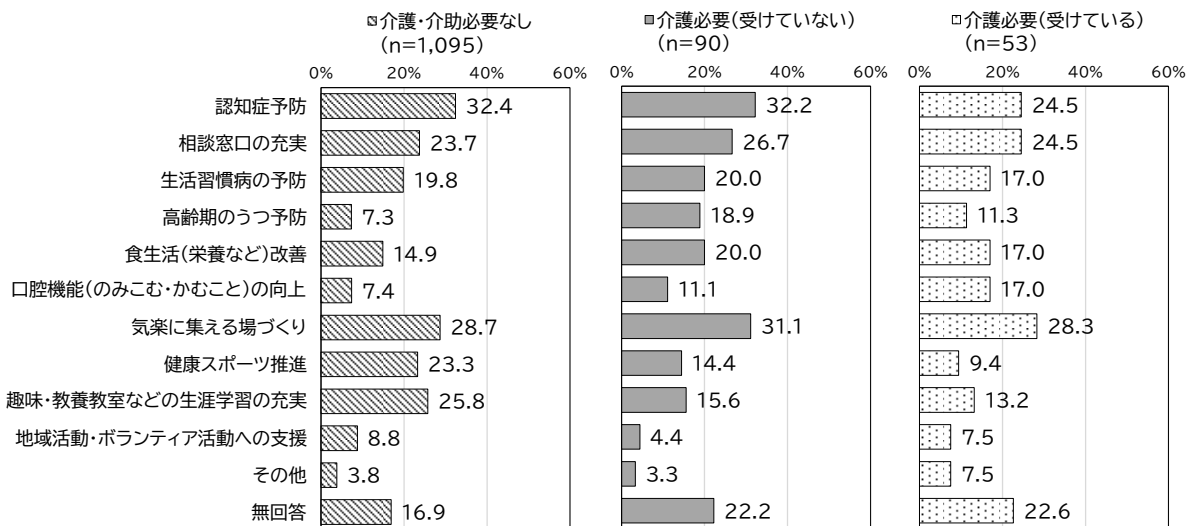
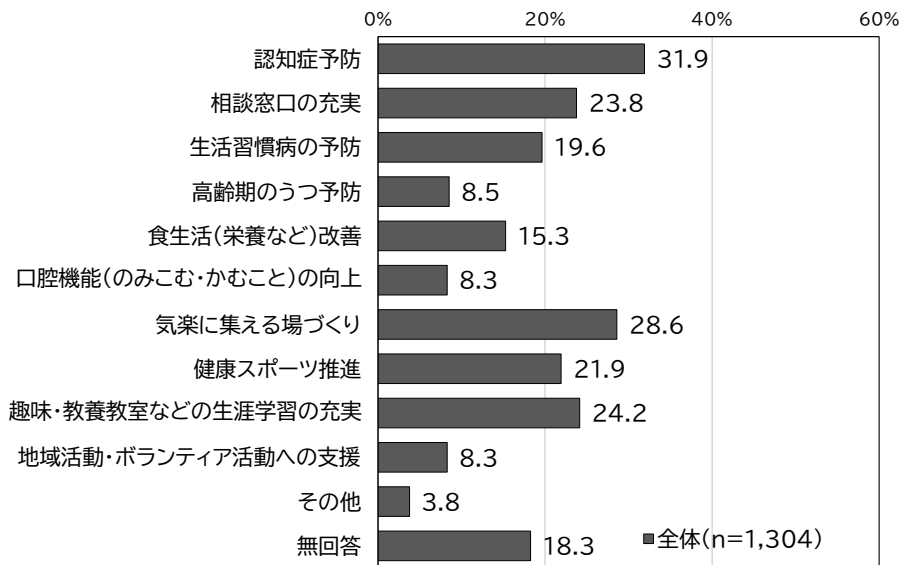
【あればよいと思う事業】

順位	事業	件数
1	ウォーキング・散歩・ウォーキング教室	62件
2	水泳・水中ウォーキング・プール利用	54件
3	体操・ストレッチ・筋トレ・ピラティス	41件
4	麻雀・将棋・囲碁・頭の体操	18件
5	ヨガ・気功・体幹トレーニング	14件
6	カラオケ・コーラス・音楽教室	13件
7	料理教室・栄養指導・食事会	10件
7	スポーツ(卓球・テニス・ゴルフ・グラウンドゴルフ)	10件
9	交流・仲間づくり・サロン	9件
10	スマホ教室・PC教室	7件
11	ガーデニング・園芸・野菜づくり	6件
11	ダンス(社交ダンス・リズムダンス)	6件
11	歴史散策・名所巡り・地域ツアー	6件
14	温泉・入浴施設の利用(かたくりの湯含む)	5件
14	健康測定(体力・骨密度・血管年齢など)	5件
14	手芸・ギター・着付けなど文化教室	5件
17	ボランティア活動+運動(清掃ウォーク等)	3件
18	英語教室	2件
18	軽作業・仕事の継続	2件
	特になし	78件

注) 設問の意図と異なる内容のものについても上記に記載しておりません。

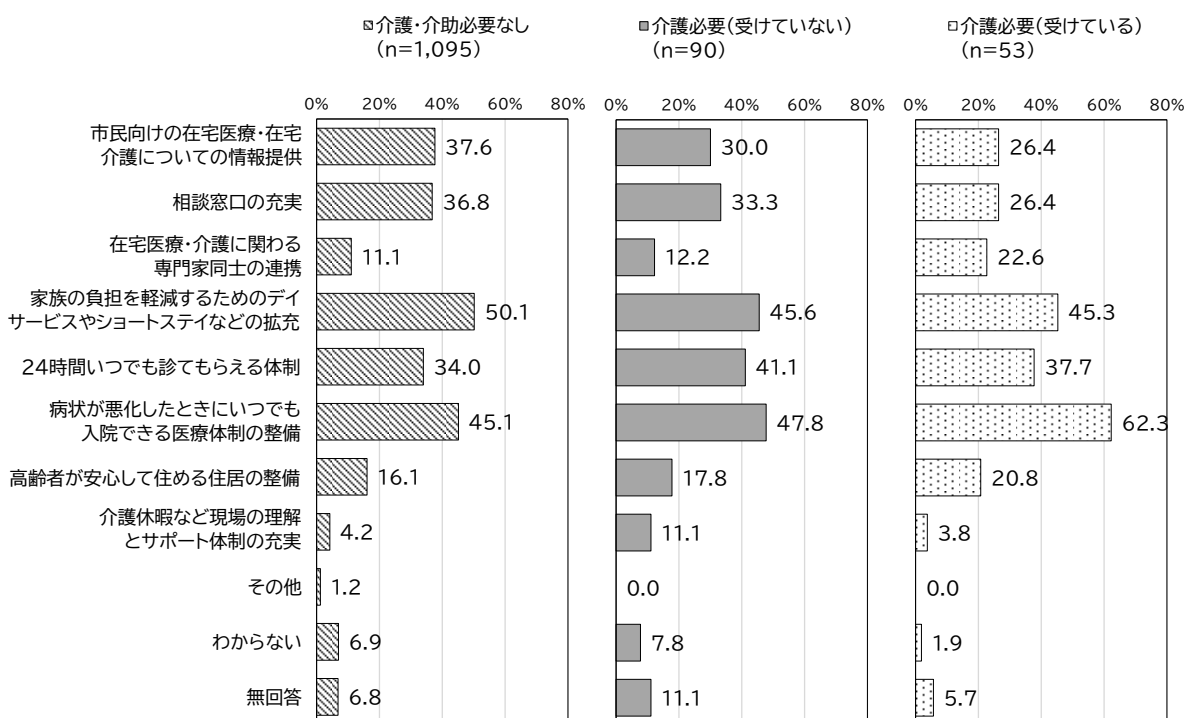
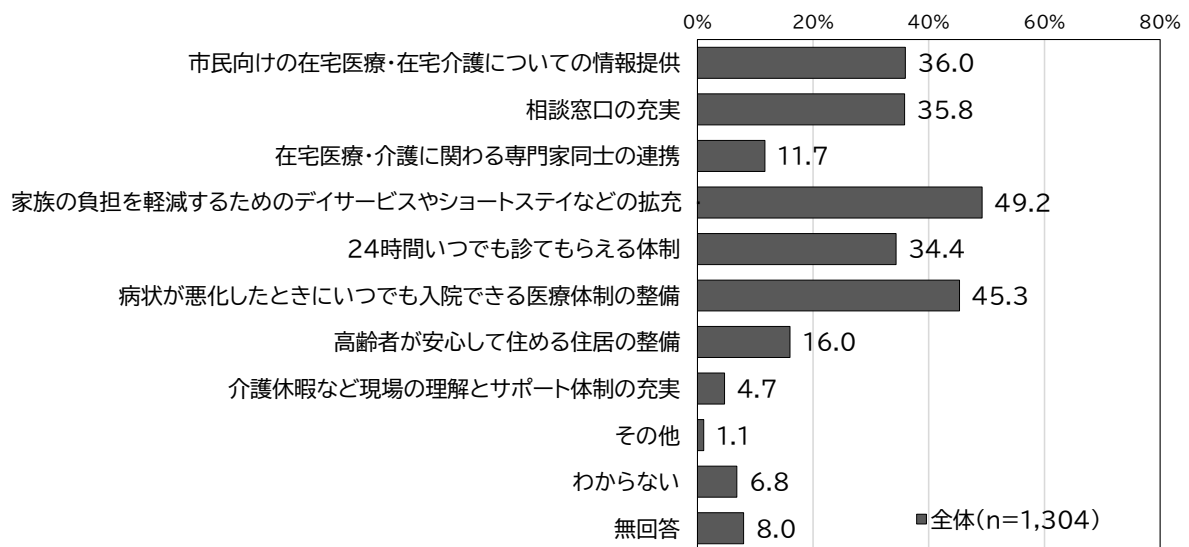
問 56 健康づくりや介護予防として、より充実した方がよいと思うことは何ですか。
(複数選択可)

健康づくりや介護予防として、より充実した方がよいと思うことでは、全体では、「認知症予防」の割合が 31.9%と最も高く、次いで「気楽に集える場づくり」の割合が 28.6%、「趣味・教養教室などの生涯学習の充実」の割合が 24.2%となっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「気楽に集える場所づくり」の割合が 28.3%と最も高くなっています。



問 57 介護が必要になった方が、在宅での生活を続けていくために必要なことは何ですか。
(3つまで選択可)

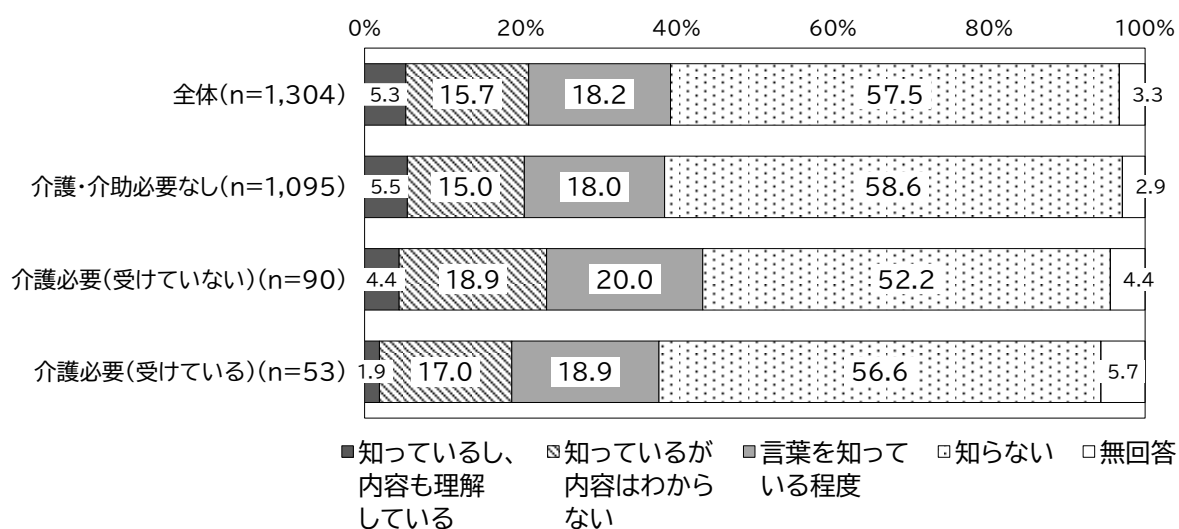
在宅での生活を続けるために必要なことでは、全体及び介護・介助の必要がない方では、「家族の負担を軽減するためのデイサービスやショートステイなどの拡充」の割合がそれぞれ49.2%、50.1%と最も高く、次いで「病状が悪化したときにいつでも入院できる医療体制の整備」の割合がそれぞれ45.3%、45.1%となっています。何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方及び現在、何らかの介護を受けている方では、「病状が悪化したときにいつでも入院できる医療体制の整備」の割合がそれぞれ47.8%、62.3%と最も高く、次いで「家族の負担を軽減するためのデイサービスやショートステイなどの拡充」の割合がそれぞれ45.6%、45.3%となっています。



10 認知症のことについて

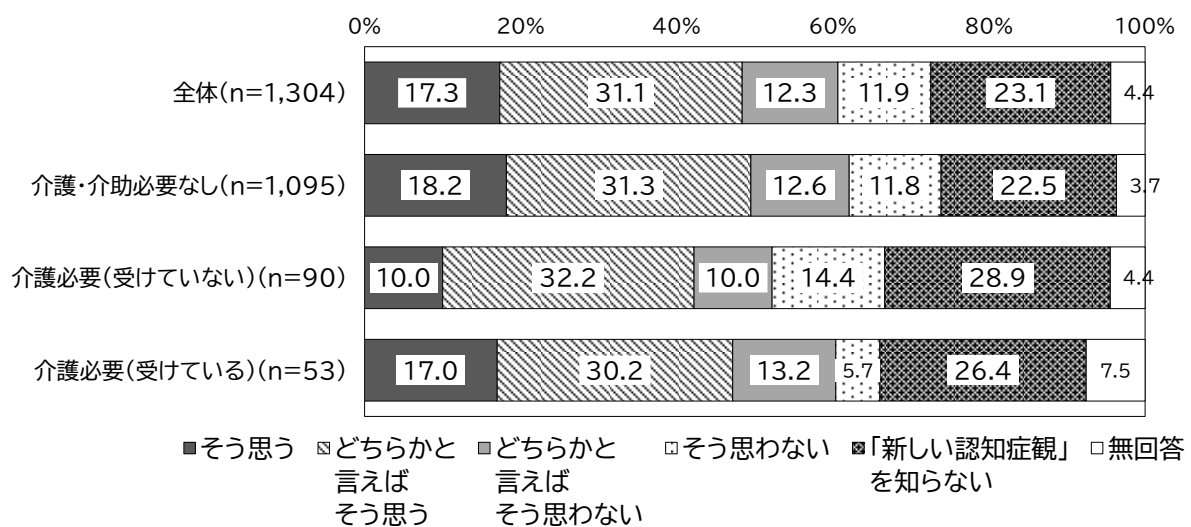
問 58 令和6年1月1日に「認知症基本法」が施行されたことを知っていますか。(1つを選択)

全体では、「知っているし、内容も理解している」の割合が 5.3%、「知っているが内容は分からない」の割合が 15.7%、「言葉を知っている程度」の割合が 18.2%、「知らない」の割合が 57.5%、介護・介助の必要がない方では、「知っているし、内容も理解している」の割合が 5.5%、「知っているが内容は分からない」の割合が 15.0%、「言葉を知っている程度」の割合が 18.0%、「知らない」の割合が 58.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「知っているし、内容も理解している」の割合が 4.4%、「知っているが内容は分からない」の割合が 18.9%、「言葉を知っている程度」の割合が 20.0%、「知らない」の割合が 52.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「知っているし、内容も理解している」の割合が 1.9%、「知っているが内容は分からない」の割合が 17.0%、「言葉を知っている程度」の割合が 18.9%、「知らない」の割合が 56.6%となっています。



問 59 令和6年12月に「認知症施策推進基本計画」において示された、「新しい認知症観」に関してお尋ねします。「認知症になったら何もできなくなるのではなく、住み慣れた地域で仲間等つながりながら、希望を持って暮らすことができる」と思いますか。

全体では、「そう思う」の割合が17.3%、「どちらかと言えばそう思う」の割合が31.1%、「どちらかと言えばそう思わない」の割合が12.3%、「そう思わない」の割合が11.9%、「新しい認知症観」を知らないの割合が23.1%となっています。思うの割合（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合）は、全体では48.4%、介護・介助の必要がない方では49.5%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では42.2%、現在、何らかの介護を受けている方では47.2%となっています。



問 59－ 1 上記の回答の理由を教えてください。

「新しい認知症観」の理念に対する共感が多く見られ、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けたい、仲間とのつながりを保つことが大切だという意見がありました。一方で、その実現には条件があると考える人が多く、「認知症の程度による」、「軽度なら可能だが重度では難しい」といった意見が多くありました。また、家族の負担や徘徊などのリスク、経済的負担を理由に、在宅生活の継続は現実的に難しいとする意見がありました。

介護経験者からは、会話や関わりで穏やかに暮らせたという肯定的な意見がある一方、暴力や急な症状悪化などで在宅介護が限界だったという意見もありました。

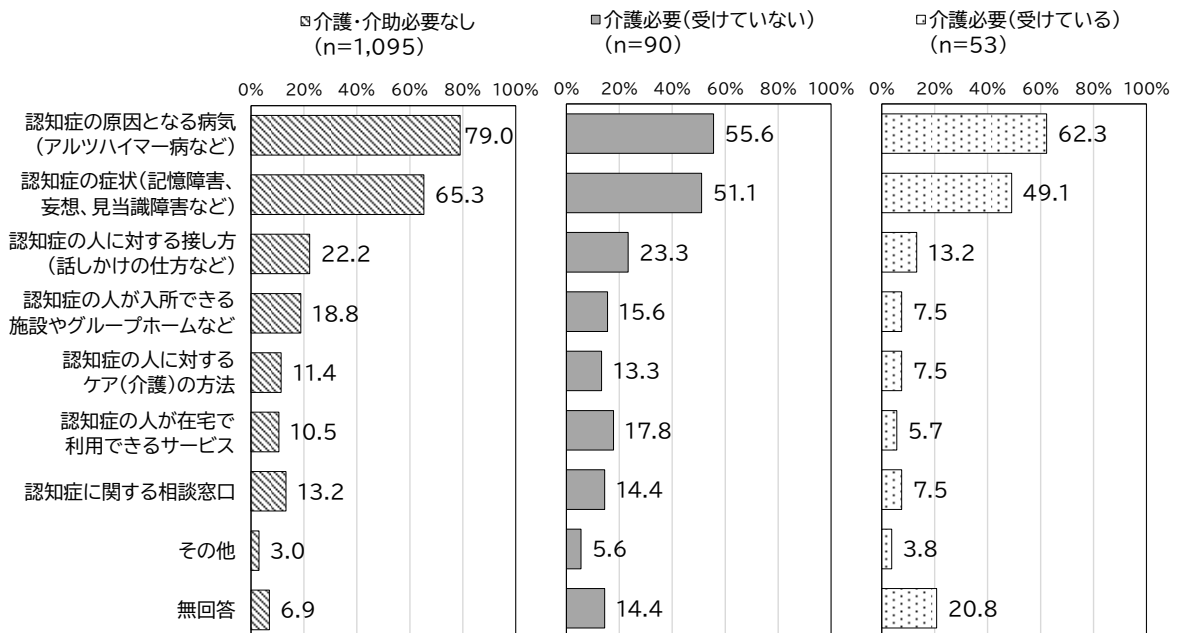
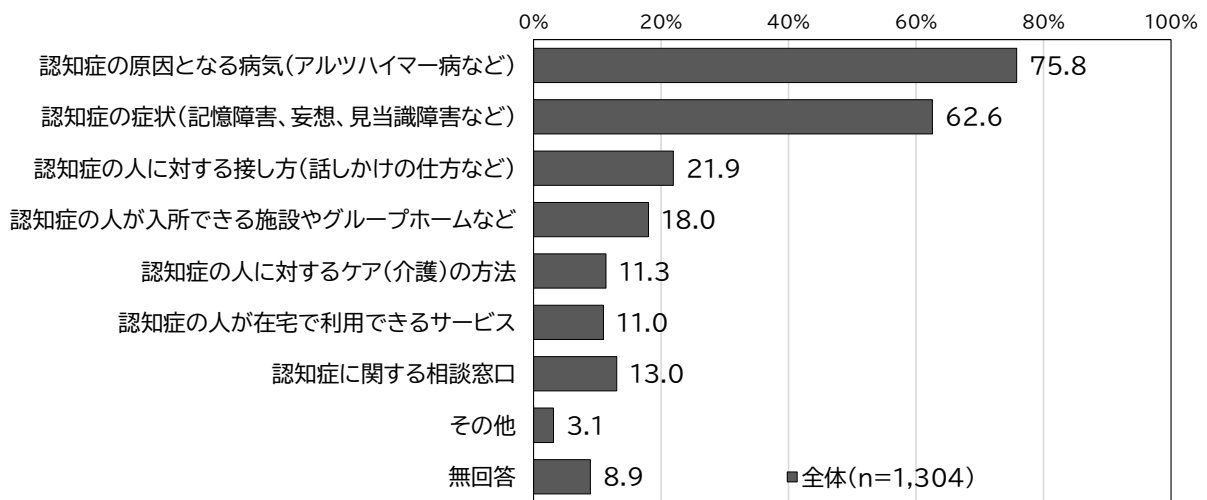
「新しい認知症観を知らなかった」、「内容がよくわからない」といった意見も多くありました。

【主な意見】

- ・ 理念への共感：「住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい」、「仲間とのつながりが大切」
- ・ 程度によるという指摘：「軽度なら可能だが重度は難しい」、「症状に個人差がある」
- ・ 家族負担への不安：「介護のストレスが大きい」、「徘徊や事故のリスクが心配」
- ・ 地域のつながり不足：「仲間づくりが難しい」、「近所付き合いが希薄」
- ・ 支援体制の不足：「人手不足」、「行政の取り組みが見えない」、「情報が届かない」
- ・ 介護経験からの実感：「穏やかに暮らせた例もある」、「現実には綺麗事ではない」
- ・ 情報不足：「新しい認知症観を知らなかった」、「内容がよくわからない」
- ・ 希望としての受け止め：「そうありたい」、「理想だと思う」

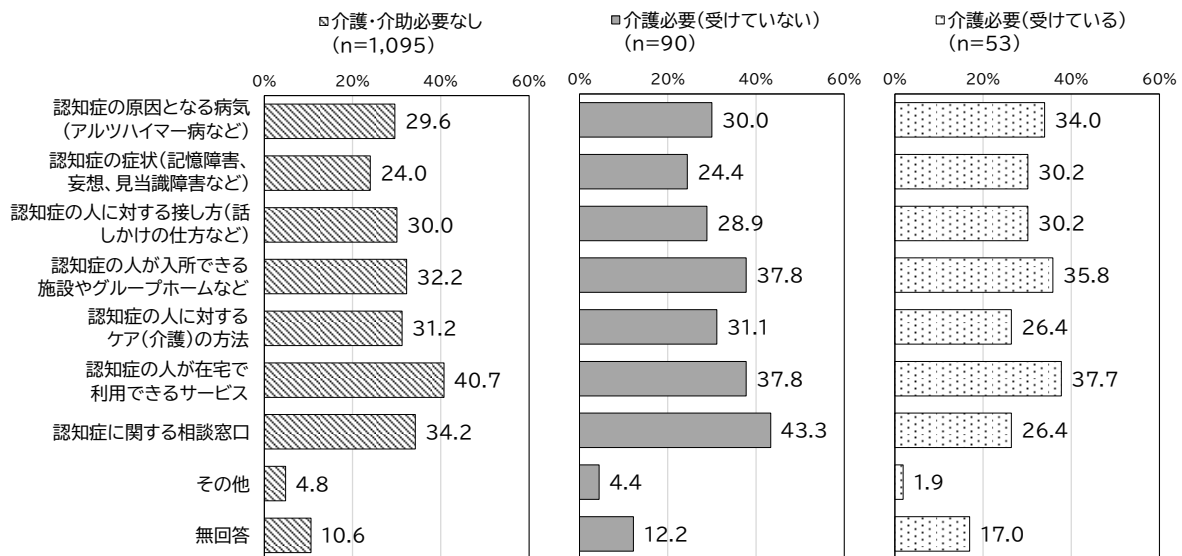
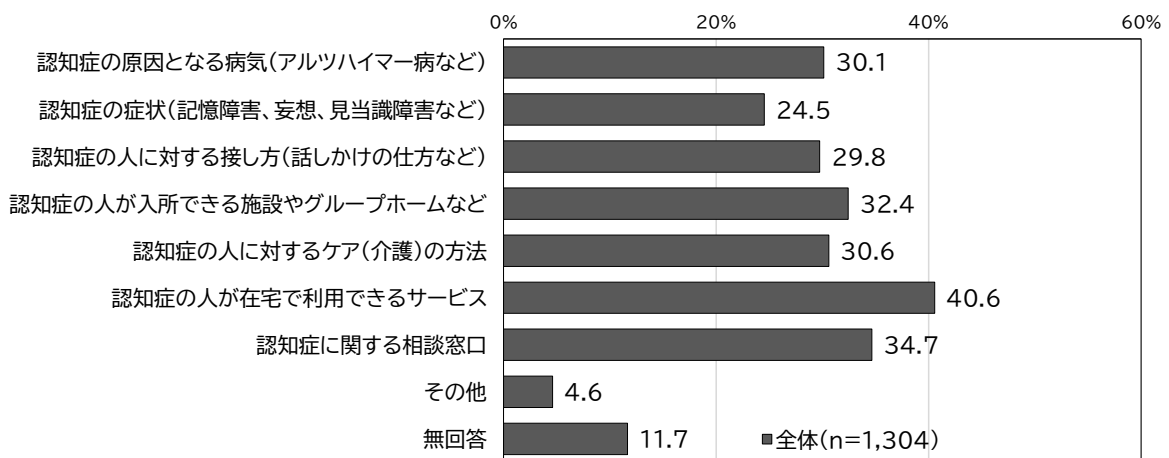
問 60 あなたが認知症について知っていることは何ですか。(複数選択可)

認知症について知っていることでは、すべての分類で「認知症の原因となる病気（アルツハイマー病など）」の割合が最も高く、全体では75.8%、介護・介助の必要がない方では79.0%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では55.6%、現在、何らかの介護を受けている方では62.3%となっています。次いで「認知症の症状（記憶障害、妄想、見当識障害など）」の割合が高く、全体では62.6%、介護・介助の必要がない方では65.3%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では51.1%、現在、何らかの介護を受けている方では49.1%となっています。



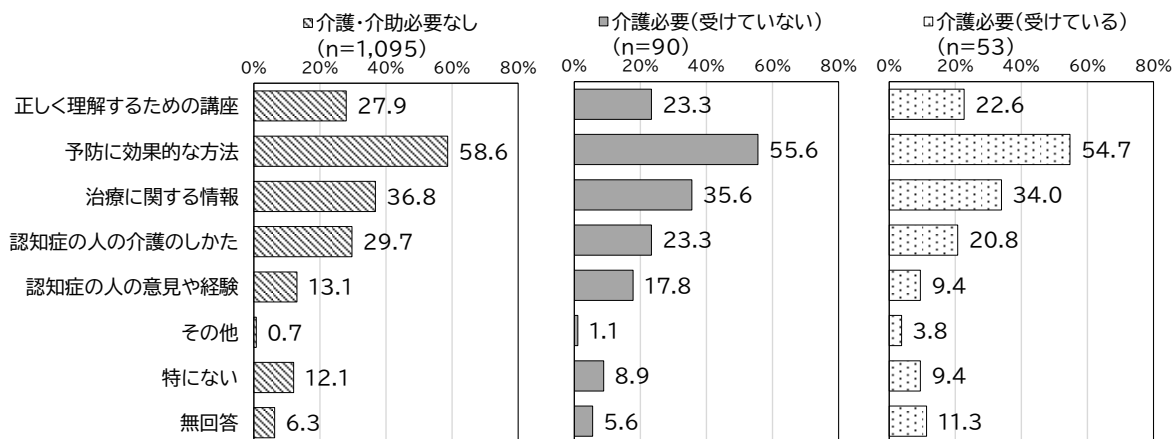
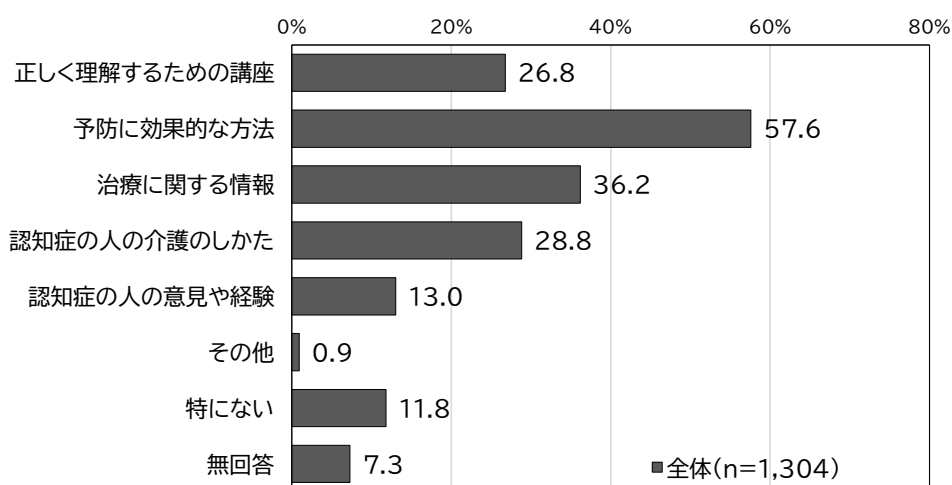
問 61 あなたが認知症について知りたいことは何ですか。(複数選択可)

認知症について知りたいことでは、全体及び介護・介助の必要がない方では「認知症の人が在宅で利用できるサービス」の割合がそれぞれ40.6%、40.7%と最も高く、次いで「認知症に関する相談窓口」の割合がそれぞれ34.7%、34.2%となっています。何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「認知症に関する相談窓口」の割合が43.3%と最も高く、次いで「認知症の人が入所できる施設やグループホームなど」及び「認知症の人が在宅で利用できるサービス」の割合が37.8%となっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「認知症の人が在宅で利用できるサービス」の割合が37.7%と最も高く、次いで「認知症の人が入所できる施設やグループホームなど」の割合が35.8%となっています。



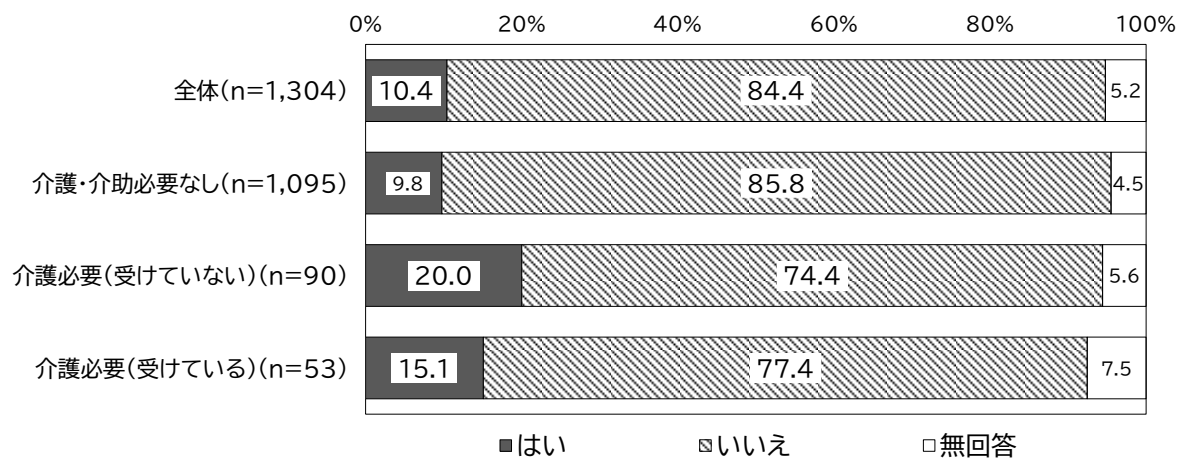
問 62 あなたは、認知症のどのようなことに関心がありますか。(複数選択可)

認知症で関心のあることでは、すべての分類で「予防に関する効果的な方法」の割合が最も高く、全体では 57.6%、介護・介助の必要がない方では 58.6%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では 55.6%、現在、何らかの介護を受けている方では 54.7%となっています。次いで「治療に関する情報」の割合が高く、全体では 36.2%、介護・介助の必要がない方では 36.8%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では 35.6%、現在、何らかの介護を受けている方では 34.0%となっています。



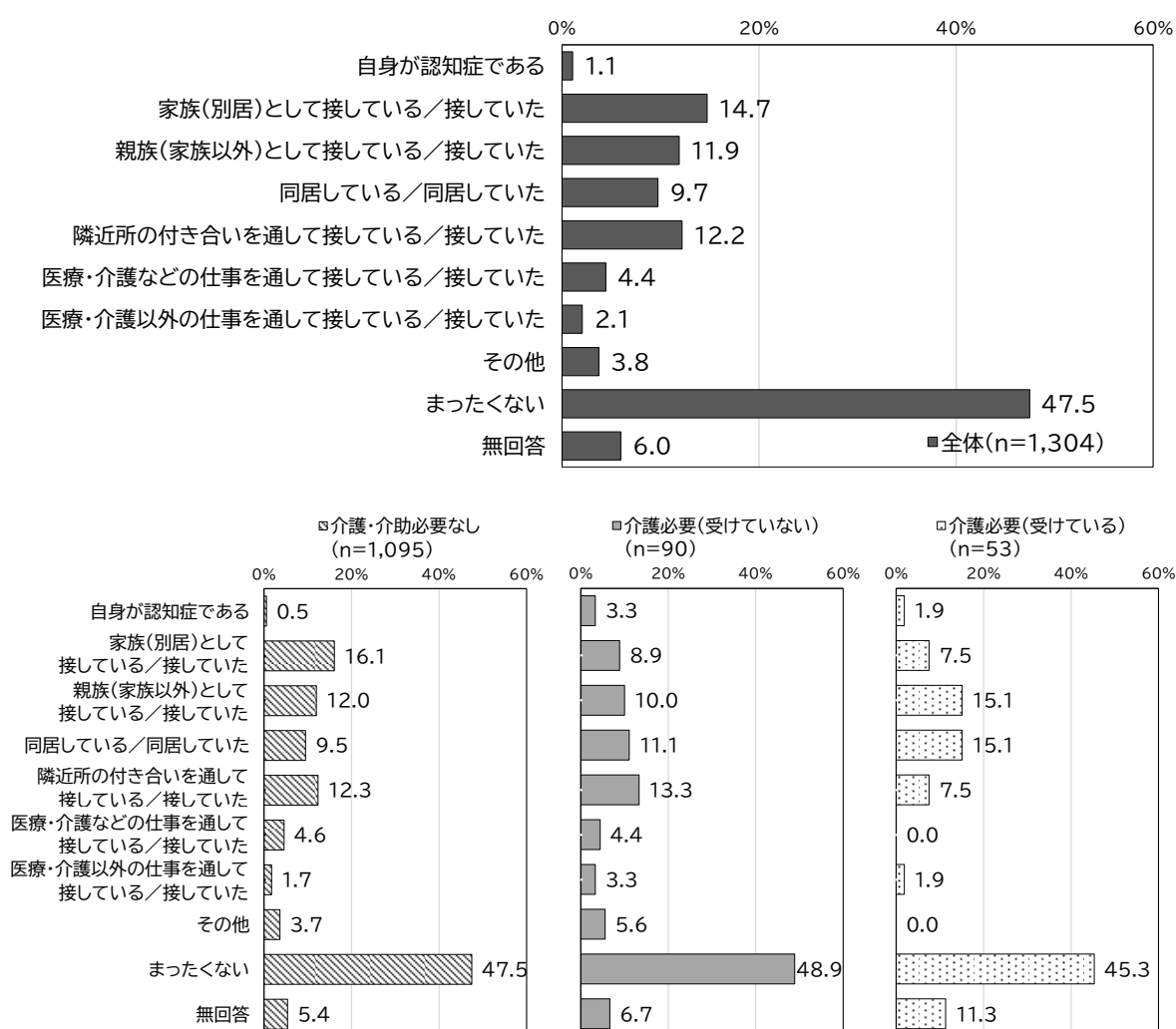
問 63 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が10.4%、「いいえ」の割合が84.4%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が9.8%、「いいえ」の割合が85.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が20.0%、「いいえ」の割合が74.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が15.1%、「いいえ」の割合が77.4%となっています。



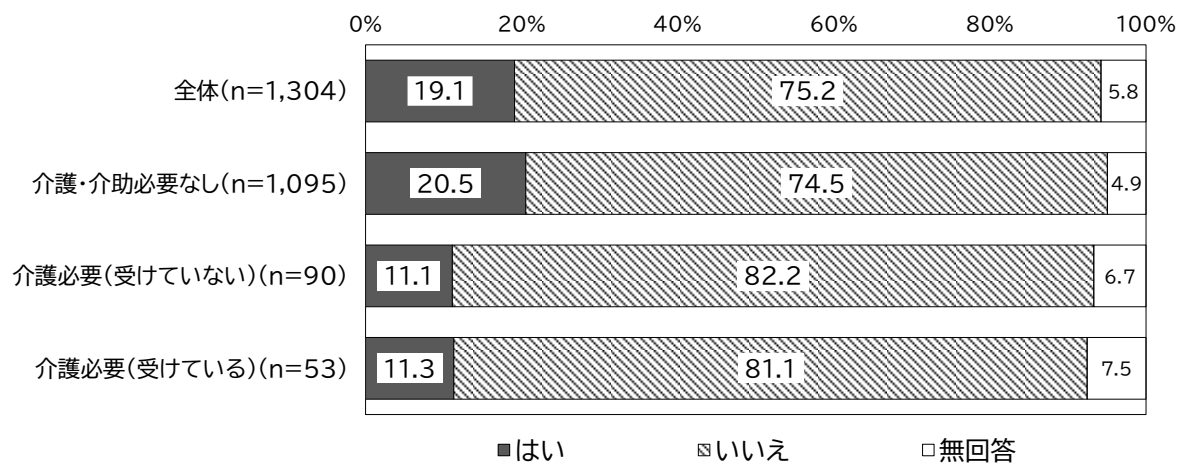
問 64 あなたは、認知症の人に接していますか、または接したことがありますか。(複数選択可)

認知症で関心のあることでは、すべての分類で「まったくない」の割合が最も高く、全体では47.5%、介護・介助の必要がない方では47.5%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では48.9%、現在、何らかの介護を受けている方では45.3%となっています。次いで、全体および介護・介助の必要がない方では「家族(別居)として接している/接していた」の割合がそれぞれ14.7%、16.1%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では「隣近所の付き合いを通して接している/接していた」の割合が13.3%、現在、何らかの介護を受けている方では「親族(家族以外)として接している/接していた」及び「同居している/同居していた」の割合が15.1%となっています。



問 65 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つを選択)

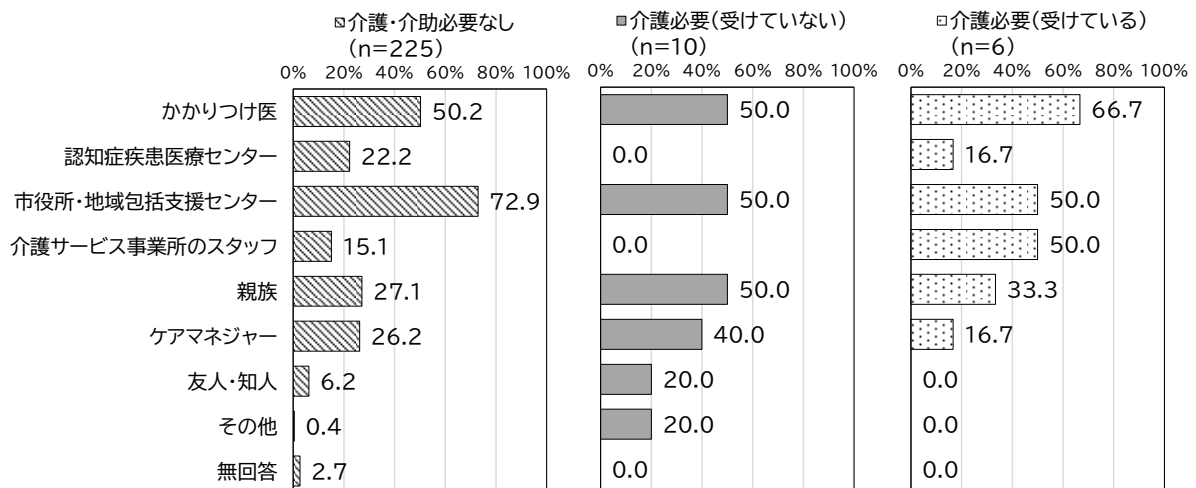
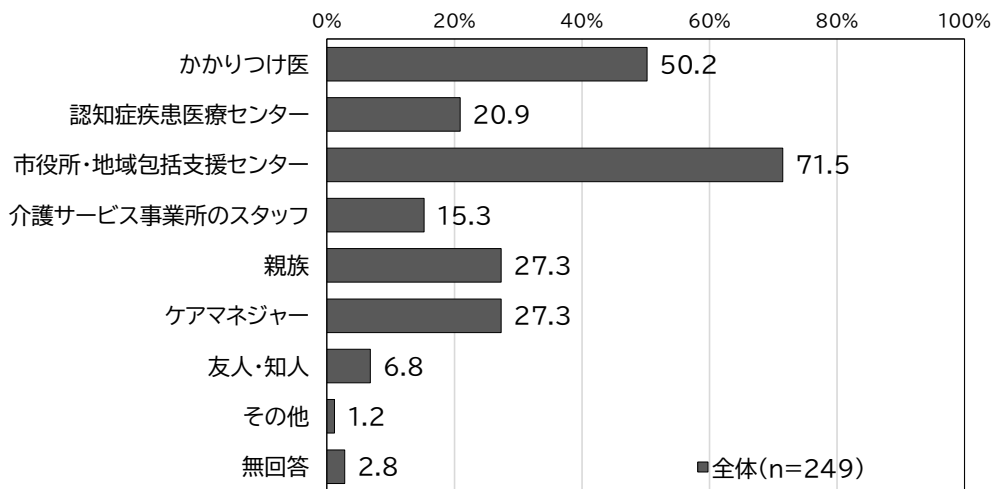
全体では、「はい」の割合が19.1%、「いいえ」の割合が75.2%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が20.5%、「いいえ」の割合が74.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が11.1%、「いいえ」の割合が82.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が11.3%、「いいえ」の割合が81.1%となっています。



問 65 で「はい」と回答した方にお伺いします。

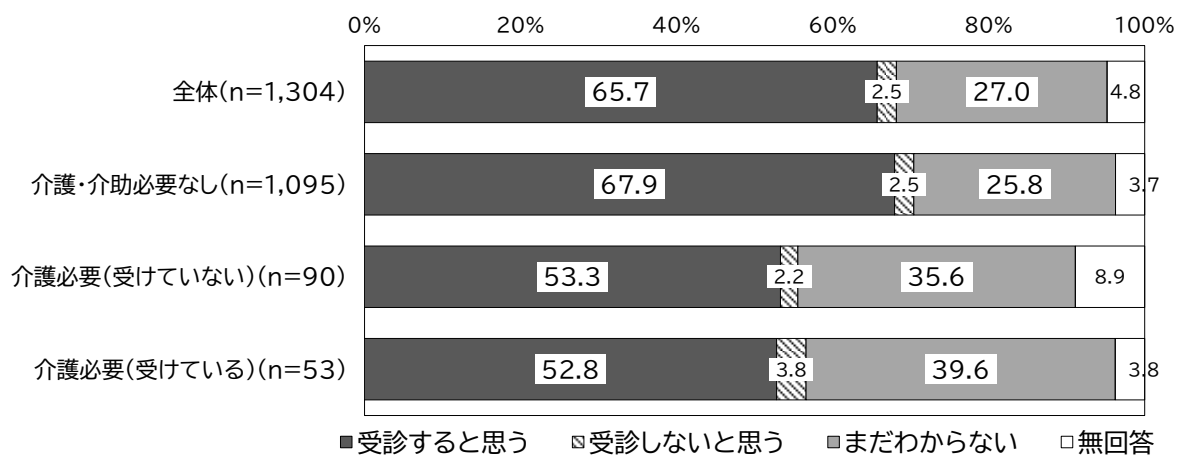
問 65-1 あなた自身やご家族などが認知症になったときに、どこに（誰に）相談しますか。
 または、どこに（誰に）相談しましたか。（複数選択可）

全体及び介護・介助の必要がない方では、「市役所・地域包括支援センター」の割合がそれぞれ 71.5%、72.9%と最も高く、次いで「かかりつけ医」の割合が同率で 50.2%となっています。何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「かかりつけ医」、「市役所・地域包括支援センター」及び「親族」の割合が 50.0%となっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「かかりつけ医」の割合が 66.7%と最も高くなっています。



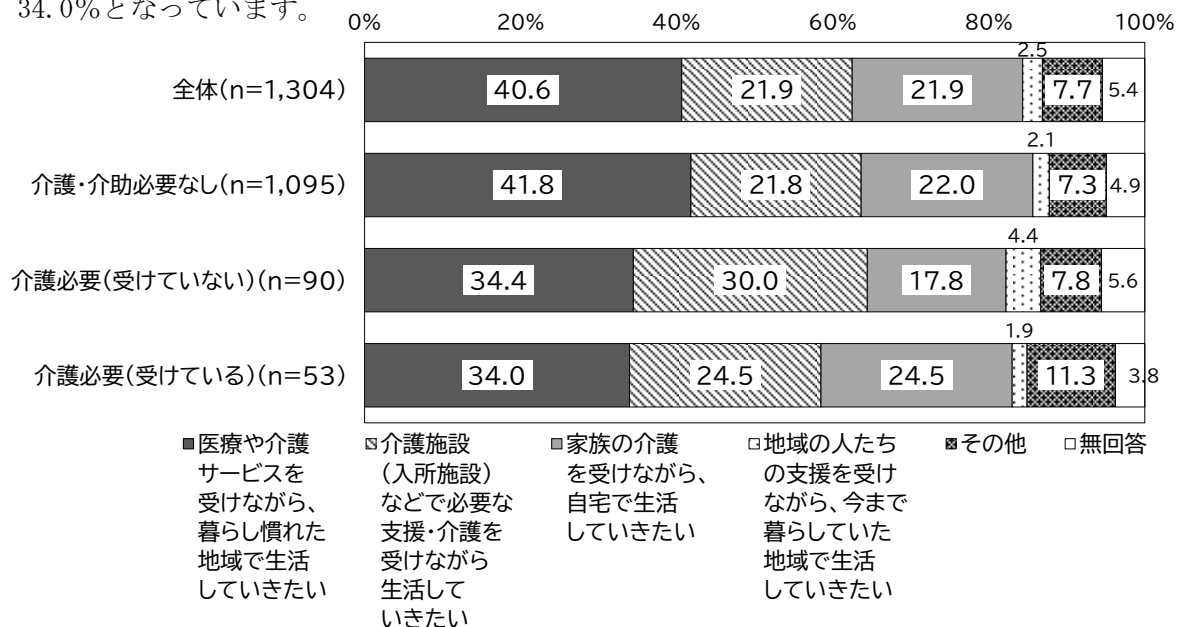
問 66 もしあなたが、自分のことを「認知症かもしれない」と思ったり、周りの人から受診を勧められたら、医療機関を受診しますか。(現在、自身や家族が認知症である場合は、現在の心境に近いと思われる項目を選択してください。)

全体では、「受診すると思う」の割合が 65.7%、「受診しないと思う」の割合が 2.5%、「まだわからない」の割合が 27.0%、介護・介助の必要がない方では、「受診すると思う」の割合が 67.9%、「受診しないと思う」の割合が 2.5%、「まだわからない」の割合が 25.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「受診すると思う」の割合が 53.3%、「受診しないと思う」の割合が 2.2%、「まだわからない」の割合が 35.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「受診すると思う」の割合が 52.8%、「受診しないと思う」の割合が 3.8%、「まだわからない」の割合が 39.6%となっています。



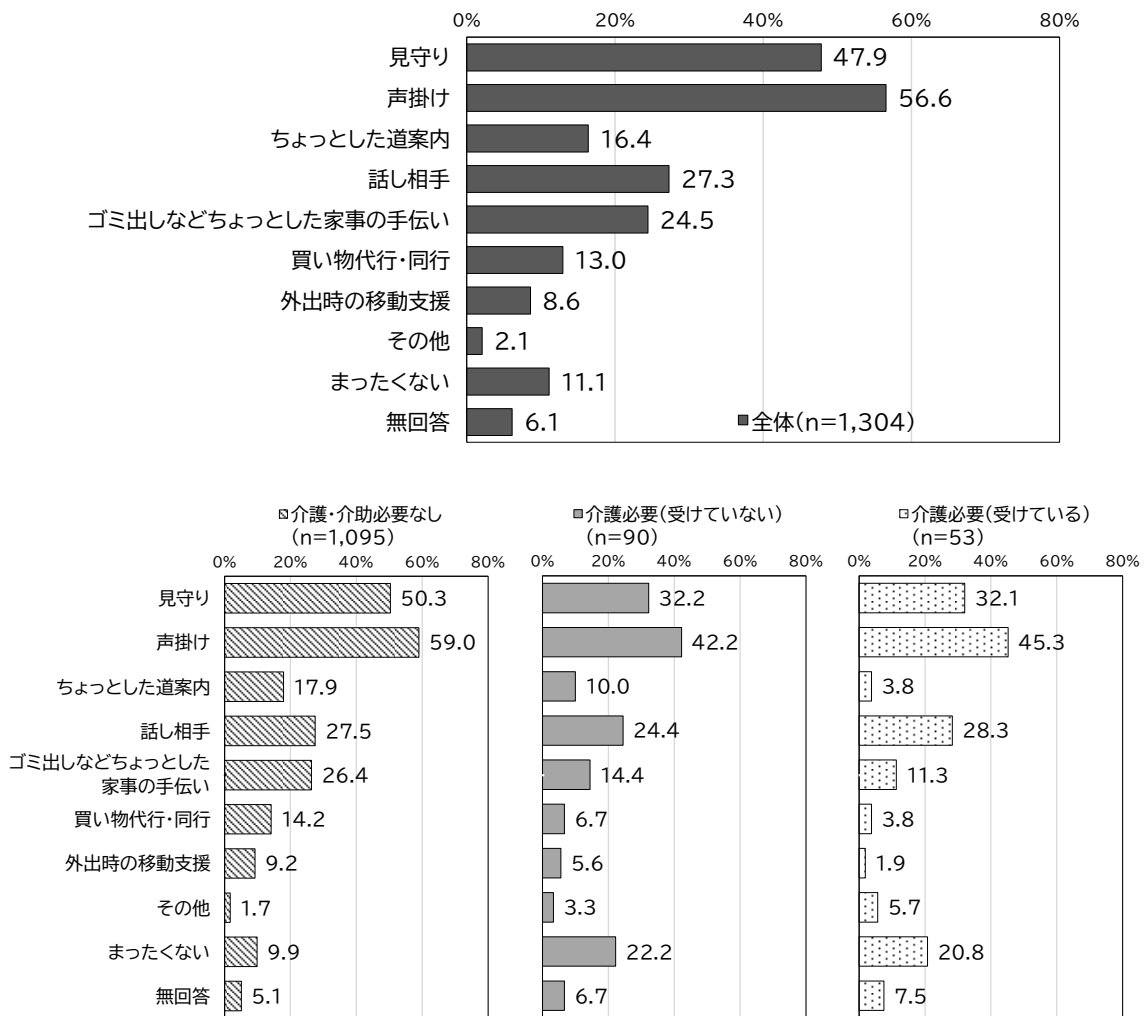
問 67 あなたがもし認知症になったらどのように暮らしたいですか。(1つを選択)

すべての分類で「医療や介護サービスを受けながら、暮らし慣れた地域で生活していきたい」の割合が最も高く、全体では 40.6%、介護・介助の必要がない方では 41.8%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では 34.4%、現在、何らかの介護を受けている方では 34.0%となっています。



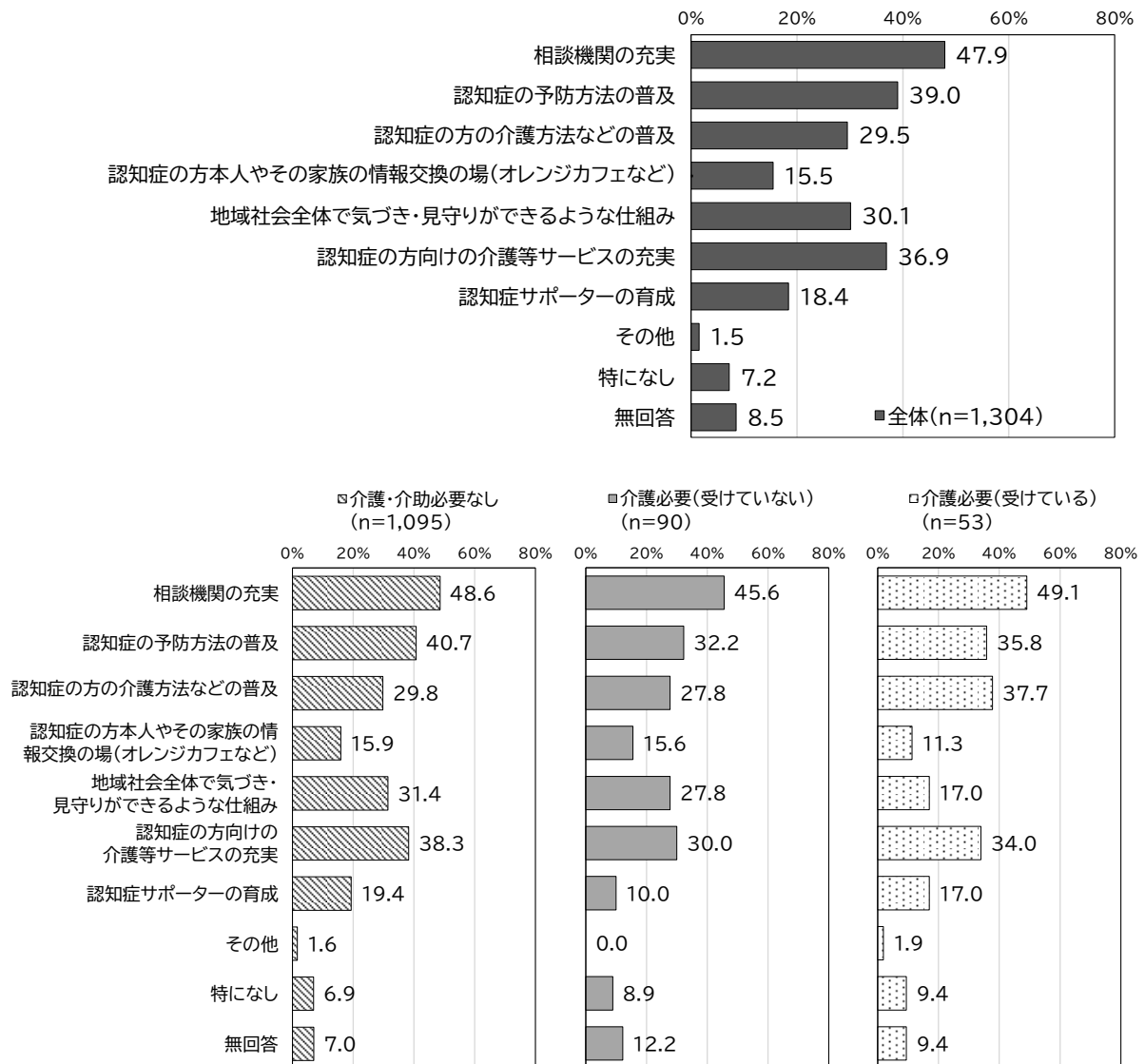
問 68 あなたが地域で暮らす認知症の人にできる（できそうな）支援は何ですか。（複数選択可）

地域で暮らす認知症の人にできる（できそうな）支援では、すべての分類で「声掛け」の割合が最も高く、全体では 56.6%、介護・介助の必要がない方では 59.0%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では 42.2%、現在、何らかの介護を受けている方では 45.3% となっています。次いで「見守り」の割合が、全体では 47.9%、介護・介助の必要がない方では 50.3%、介護・介助の必要がない方では 32.2%、現在、何らかの介護を受けている方では 32.1% となっています。



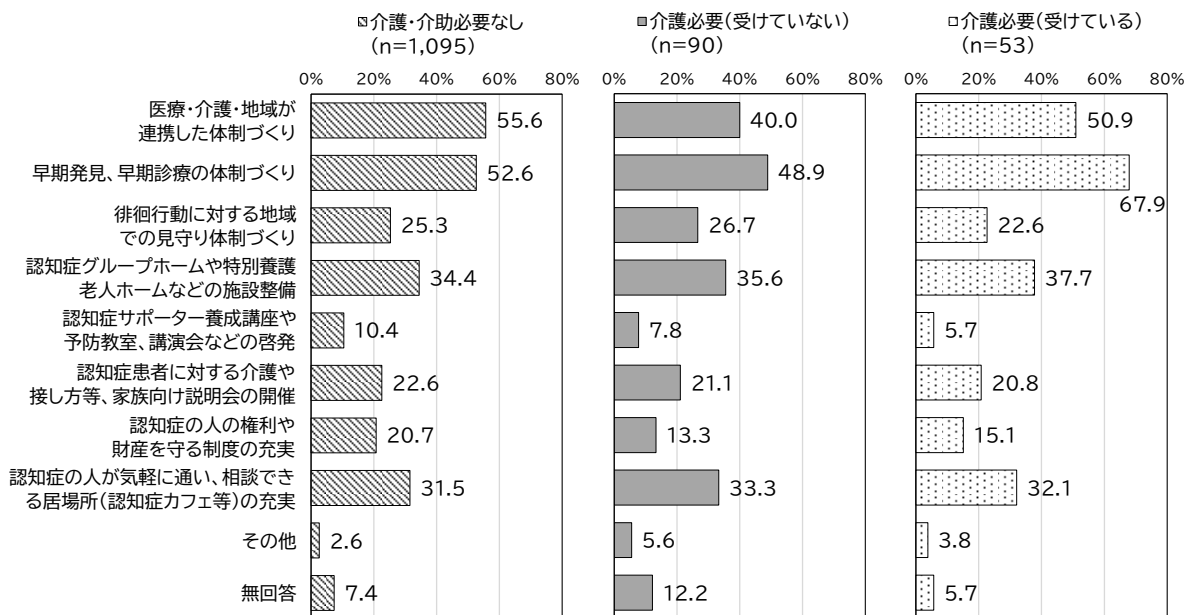
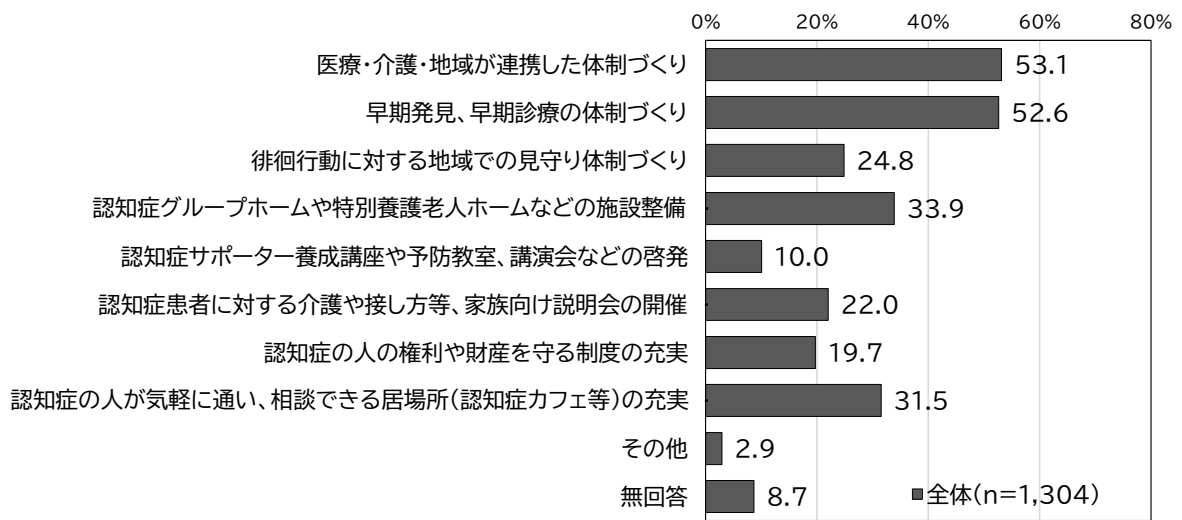
問 69 認知症に対する取組として必要だと思うことはありますか。(複数選択可)

認知症に対する必要な取組では、すべての分類で「相談機関の充実」の割合が最も高く、全体では47.9%、介護・介助の必要がない方では48.6%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では45.6%、現在、何らかの介護を受けている方では49.1%となっています。次いで、全体、介護・介助の必要がない方及び何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では「認知症の予防方法の普及」の割合がそれぞれ39.0%、40.7%、32.2%、現在、何らかの介護を受けている方では「認知症の方の介護方法などの普及」の割合が37.7%となっています。



問 70 今後、認知症施策を進めて行くうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(複数選択可)

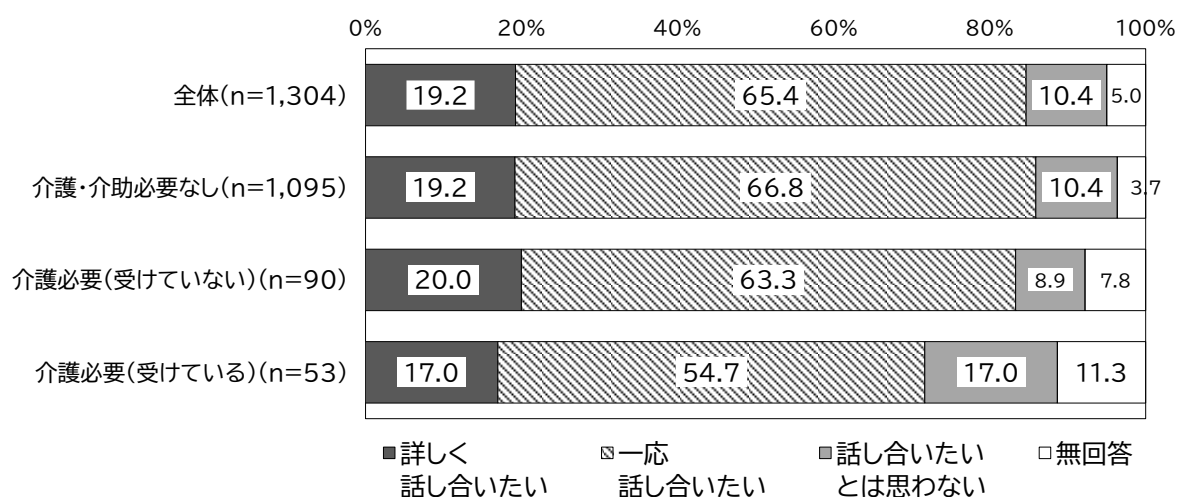
認知症施策を進めて行くうえで、重点を置くべきだと思うことでは、全体及び介護・介助の必要がない方では、「医療・介護・地域が連携した体制づくり」の割合が最も高く、それぞれ 53.1%、55.6%、次いで「早期発見、早期治療の体制づくり」の割合がそれぞれ同率で 52.6%となっています。何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方及び現在、何らかの介護を受けている方では、「早期発見、早期治療の体制づくり」の割合が最も高く、それぞれ 48.9%、67.9%、次いで「医療・介護・地域が連携した体制づくり」の割合がそれぞれ 40.0%、50.9%と高くなっています。



11 アドバンス・ケア・プランニングについて

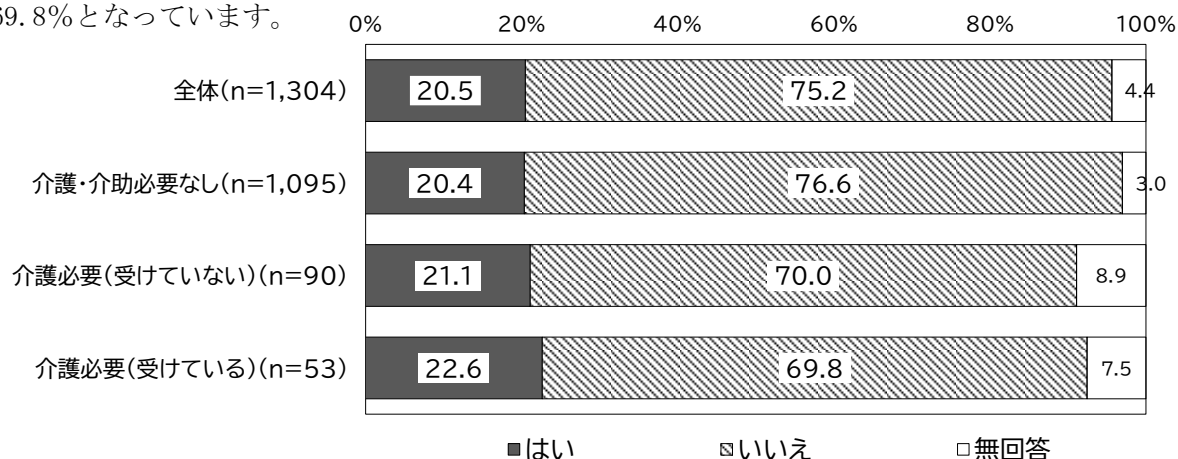
問 71 あなた自身が人生の最終段階で受けたい、あるいは受けたくない医療やケアについて、ご家族や、医療・介護の関係者と、どの程度話し合っておきたいと考えていますか。(〇は1つ)

全体では、「詳しく話し合いたい」の割合が19.2%、「一応話し合いたい」の割合が65.4%、「話し合いたいとは思わない」の割合が10.4%、介護・介助の必要がない方では、「詳しく話し合いたい」の割合が19.2%、「一応話し合いたい」の割合が66.8%、「話し合いたいとは思わない」の割合が10.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「詳しく話し合いたい」の割合が20.0%、「一応話し合いたい」の割合が63.3%、「話し合いたいとは思わない」の割合が8.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「詳しく話し合いたい」の割合が17.0%、「一応話し合いたい」の割合が54.7%、「話し合いたいとは思わない」の割合が17.0%となっています。



問 72 そのような話し合いをしたことはありますか。(1つを選択)

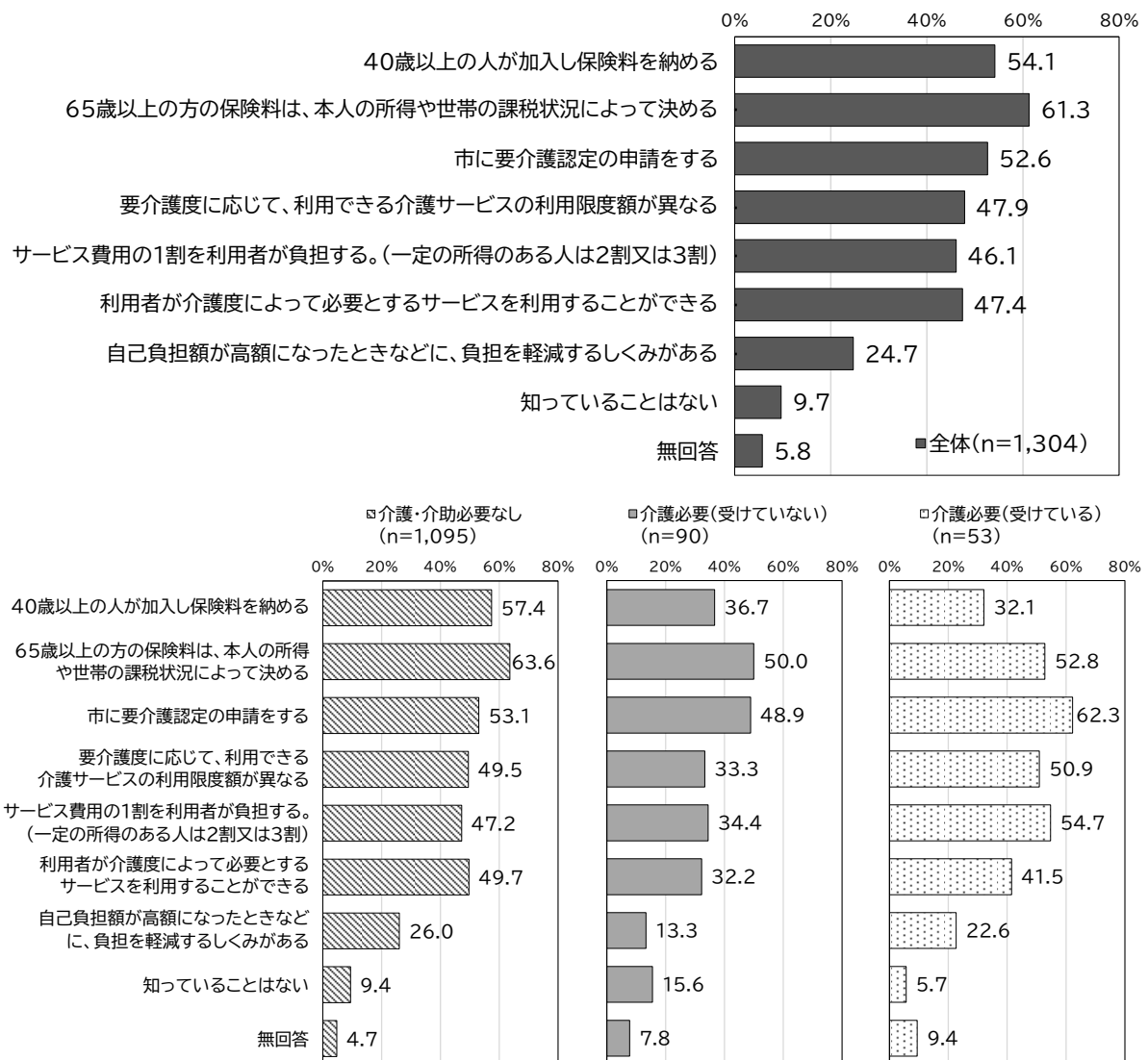
全体では、「はい」の割合が20.5%、「いいえ」の割合が75.2%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が20.4%、「いいえ」の割合が76.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が21.1%、「いいえ」の割合が70.0%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が22.6%、「いいえ」の割合が69.8%となっています。



12 介護保険制度について

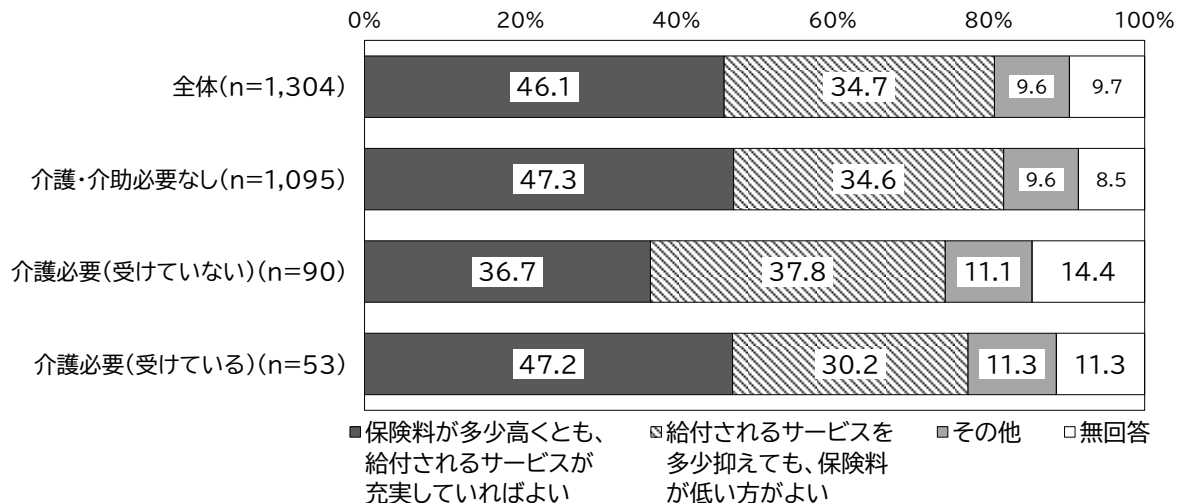
問 73 介護保険制度について知っていることすべてに○をつけてください。(複数選択可)

全体及び介護・介助の必要がない方では、「65歳以上の方の保険料は、本人の所得や世帯の課税状況によって決める」の割合が、それぞれ61.3%、63.6%と最も高く、次いで「40歳以上の人が加入し保険料を納める」の割合が、それぞれ54.1%、57.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「65歳以上の方の保険料は、本人の所得や世帯の課税状況によって決める」の割合が50.0%と最も高く、次いで「市に要介護認定の申請をする」の割合が48.9%となっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「市に要介護認定の申請をする」の割合が62.3%と最も高く、次いで「サービス費用の1割を利用者が負担する(一定の所得のある人は2割又は3割)」の割合が54.7%となっています。



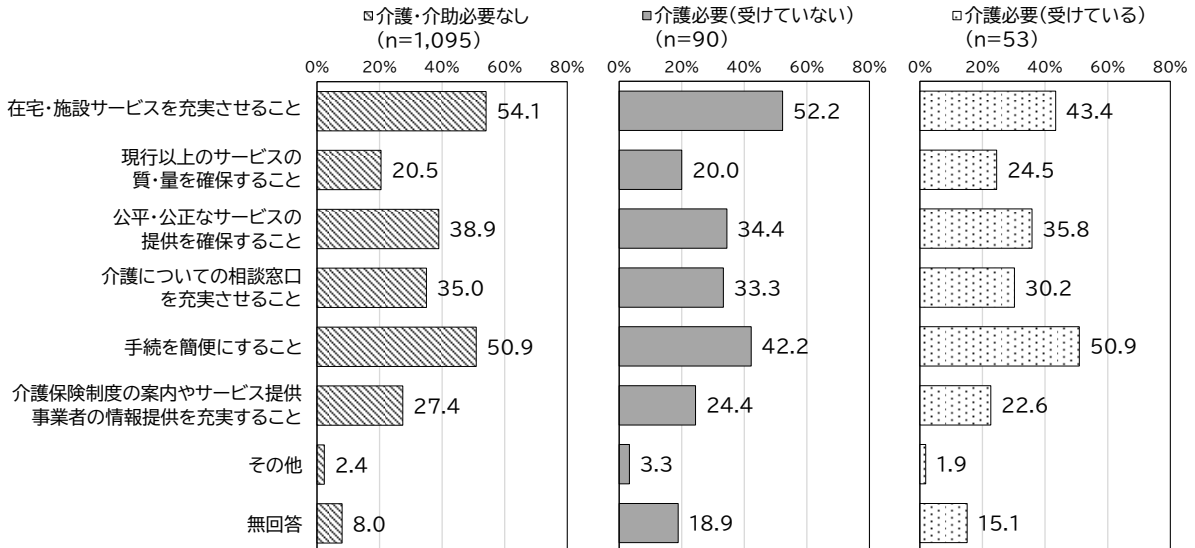
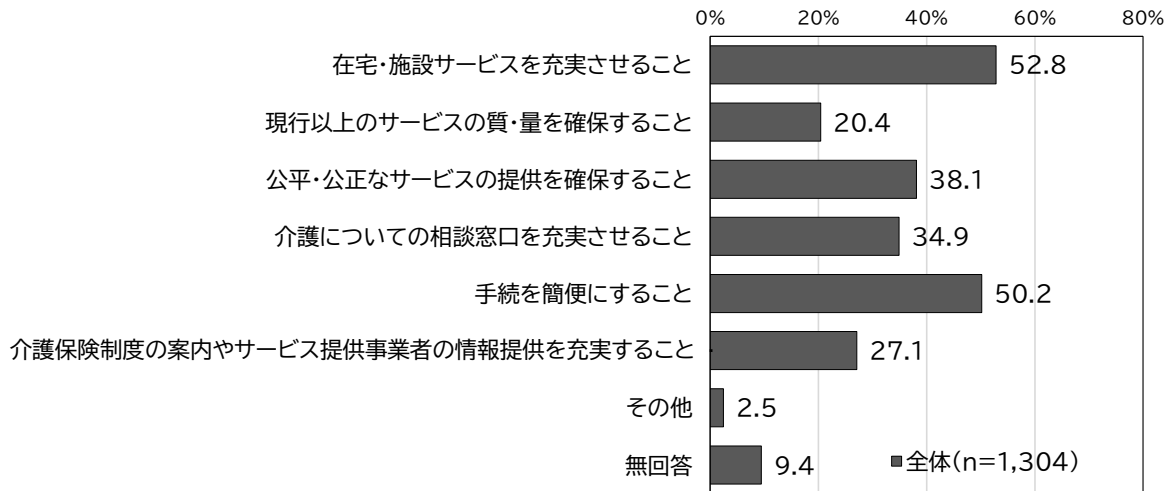
問 74 介護保険料と介護保険サービスのあり方について、あなたのご意見に最も近いものはどれですか。(1つを選択)

全体では、「保険料が多少高くとも、給付されるサービスが充実していればよい」の割合が46.1%、「給付されるサービスを多少抑えても、保険料が低い方がよい」の割合が34.7%、介護・介助の必要がない方では、「保険料が多少高くとも、給付されるサービスが充実していればよい」の割合が47.3%、「給付されるサービスを多少抑えても、保険料が低い方がよい」の割合が34.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「保険料が多少高くとも、給付されるサービスが充実していればよい」の割合が36.7%、「給付されるサービスを多少抑えても、保険料が低い方がよい」の割合が37.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「保険料が多少高くとも、給付されるサービスが充実していればよい」の割合が47.2%、「給付されるサービスを多少抑えても、保険料が低い方がよい」の割合が30.2%となっています。



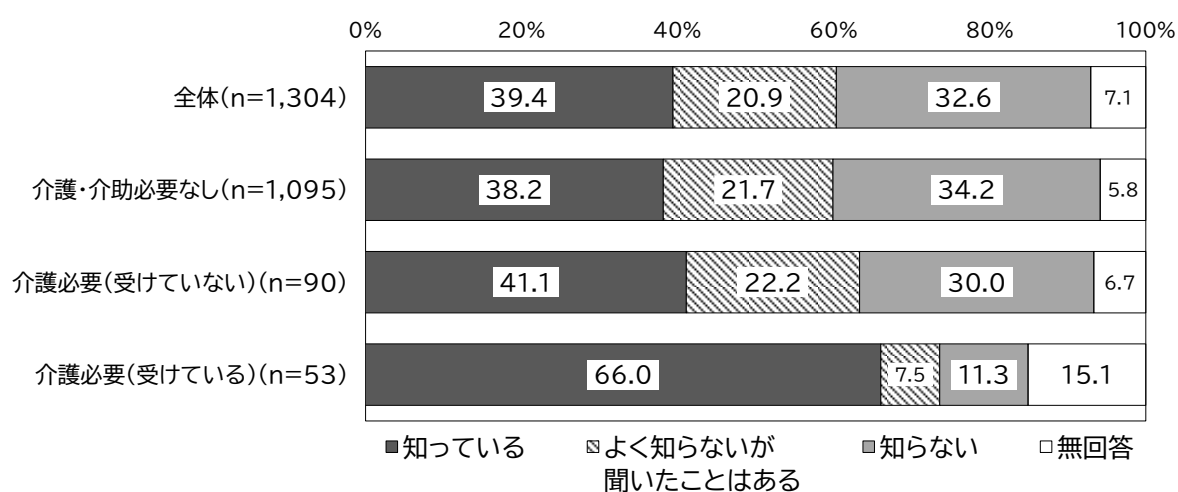
問 75 介護保険制度について、市に期待することは何ですか。(複数選択可)

全体、介護・介助の必要がない方及び何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「在宅・施設サービスを充実させること」の割合が、それぞれ52.8%、54.1%、52.2%と最も高く、次いで「手続きを簡便にすること」の割合がそれぞれ50.2%、50.9%、42.2%となっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「手続きを簡便にすること」の割合が50.9%と最も高く、次いで「在宅・施設サービスを充実させること」の割合が43.4%となっています。



問 76 市内に4か所ある地域包括支援センターを知っていますか。(1つを選択)

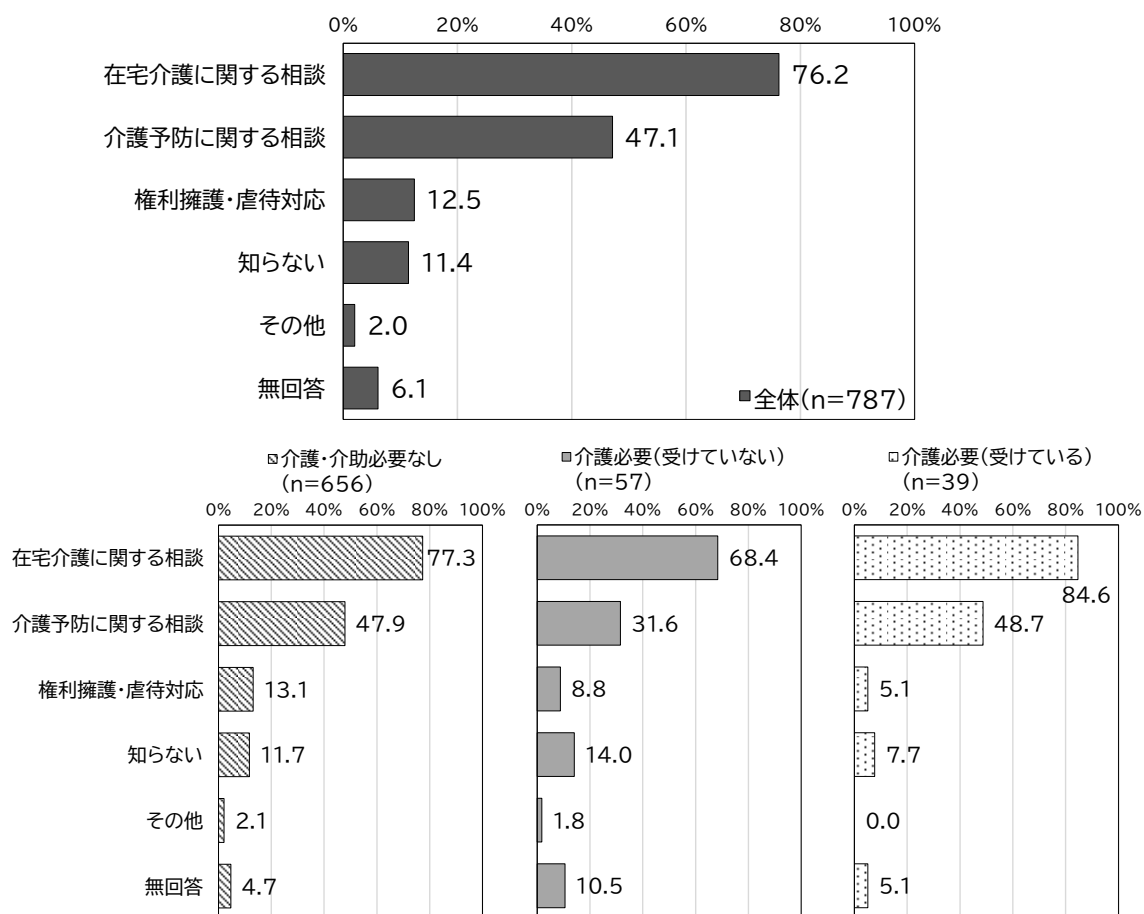
市内に4か所ある地域包括支援センターを知っている割合は、全体では、「知っている」の割合が39.4%、「よく知らないが聞いたことはある」の割合が20.9%、「知らない」の割合が32.6%、介護・介助の必要がない方では、「知っている」の割合が38.2%、「よく知らないが聞いたことはある」の割合が21.7%、「知らない」の割合が34.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「知っている」の割合が41.1%、「よく知らないが聞いたことはある」の割合が22.2%、「知らない」の割合が30.0%、現在、何らかの介護を受けている方では、「知っている」の割合が66.0%、「よく知らないが聞いたことはある」の割合が7.5%、「知らない」の割合が11.3%となっています。



問 76 で「知っている」「よく知らないが聞いたことはある」と回答した方にお伺いします。

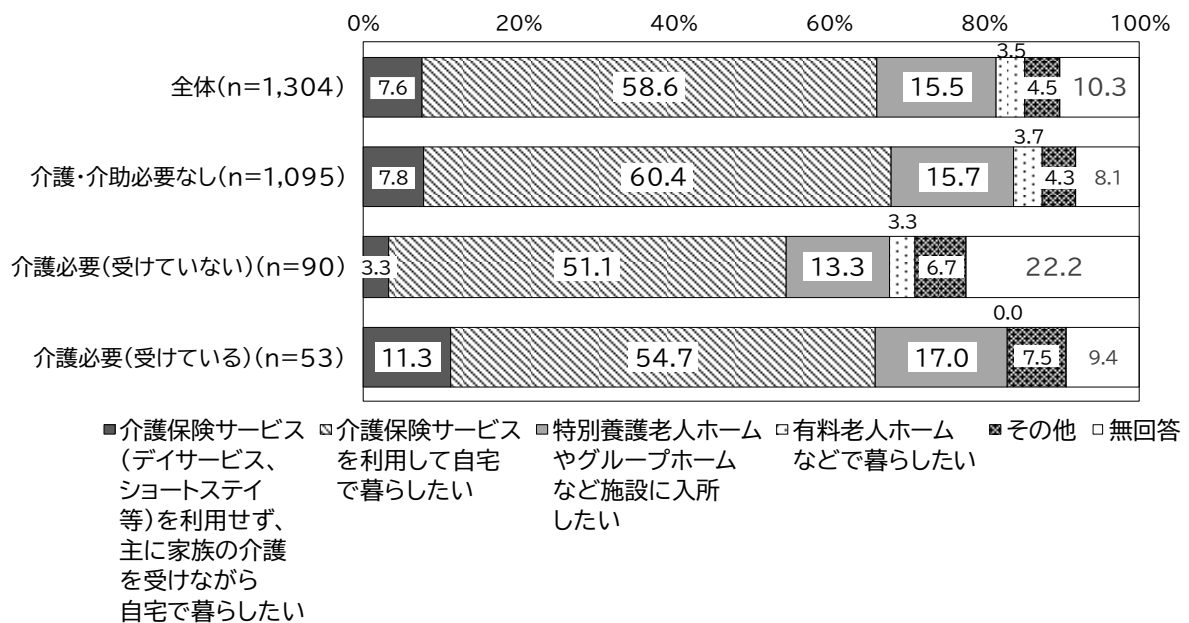
問 76-1 地域包括支援センターが行っている次の活動のうち、あなたが知っていることすべてに○をつけてください。(複数選択可)

全ての分類において、「在宅介護に関する相談」の割合が最も高く、それぞれ全体は 76.2%、介護・介助の必要がない方は 77.3%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方は 68.4%、現在、何らかの介護を受けている方は 84.6%となっています。次いで「介護予防に関する相談」の割合が全体は 47.1%、介護・介助の必要がない方は 47.9%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方は 31.6%、現在、何らかの介護を受けている方は 48.7%となっています。



問 77 あなたが、もし介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。
(1つを選択)

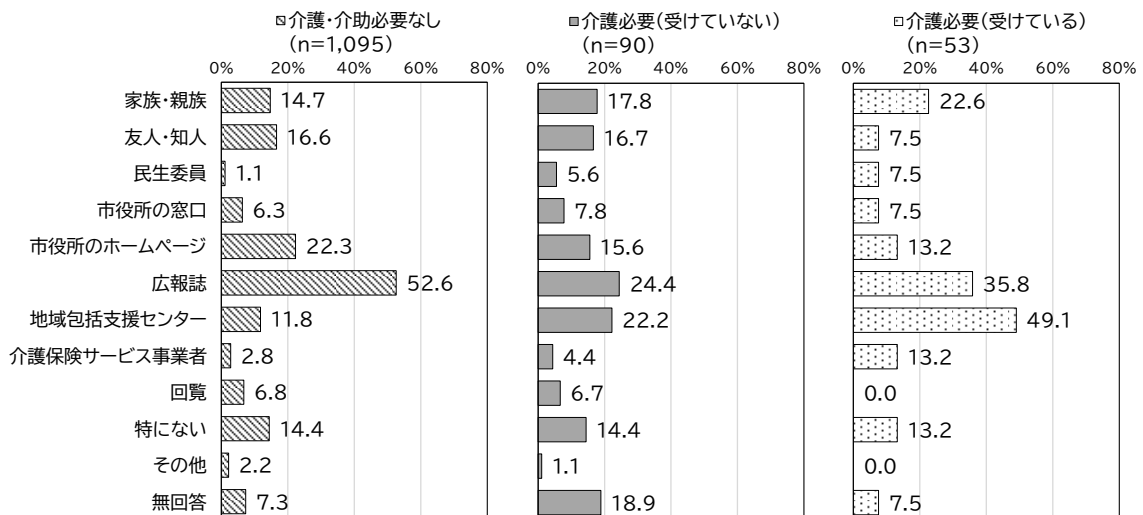
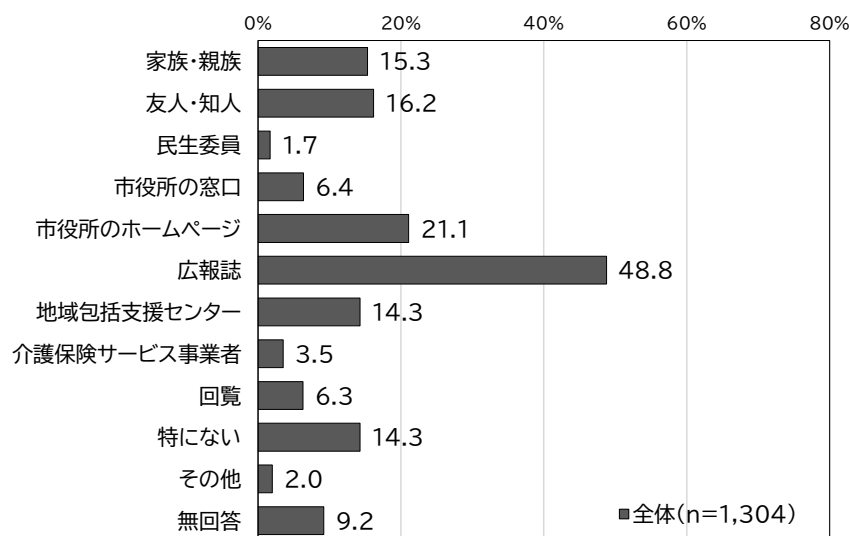
介護が必要になった場合の暮らし方について、全体では、「介護保険サービス(デイサービス、ショートステイ等)を利用せず、主に家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい」の割合が7.6%、「介護保険サービスを利用して自宅で暮らしたい」の割合が58.6%、「特別養護老人ホームやグループホームなど施設に入所したい」の割合が15.5%、「有料老人ホームなどで暮らしたい」の割合が3.5%となっています。介護・介助の必要がない方では、「介護保険サービス(デイサービス、ショートステイ等)を利用せず、主に家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい」の割合が7.8%、「介護保険サービスを利用して自宅で暮らしたい」の割合が60.4%、「特別養護老人ホームやグループホームなど施設に入所したい」の割合が15.7%、「有料老人ホームなどで暮らしたい」の割合が3.7%となっています。何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「介護保険サービス(デイサービス、ショートステイ等)を利用せず、主に家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい」の割合が3.3%、「介護保険サービスを利用して自宅で暮らしたい」の割合が51.1%、「特別養護老人ホームやグループホームなど施設に入所したい」の割合が13.3%、「有料老人ホームなどで暮らしたい」の割合が6.7%となっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「介護保険サービス(デイサービス、ショートステイ等)を利用せず、主に家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい」の割合が11.3%、「介護保険サービスを利用して自宅で暮らしたい」の割合が54.7%、「特別養護老人ホームやグループホームなど施設に入所したい」の割合が17.0%となっています。



13 普段の暮らしや高齢者福祉サービスについて

問 78 市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報は、主にどこから得ていますか。
(複数選択可)

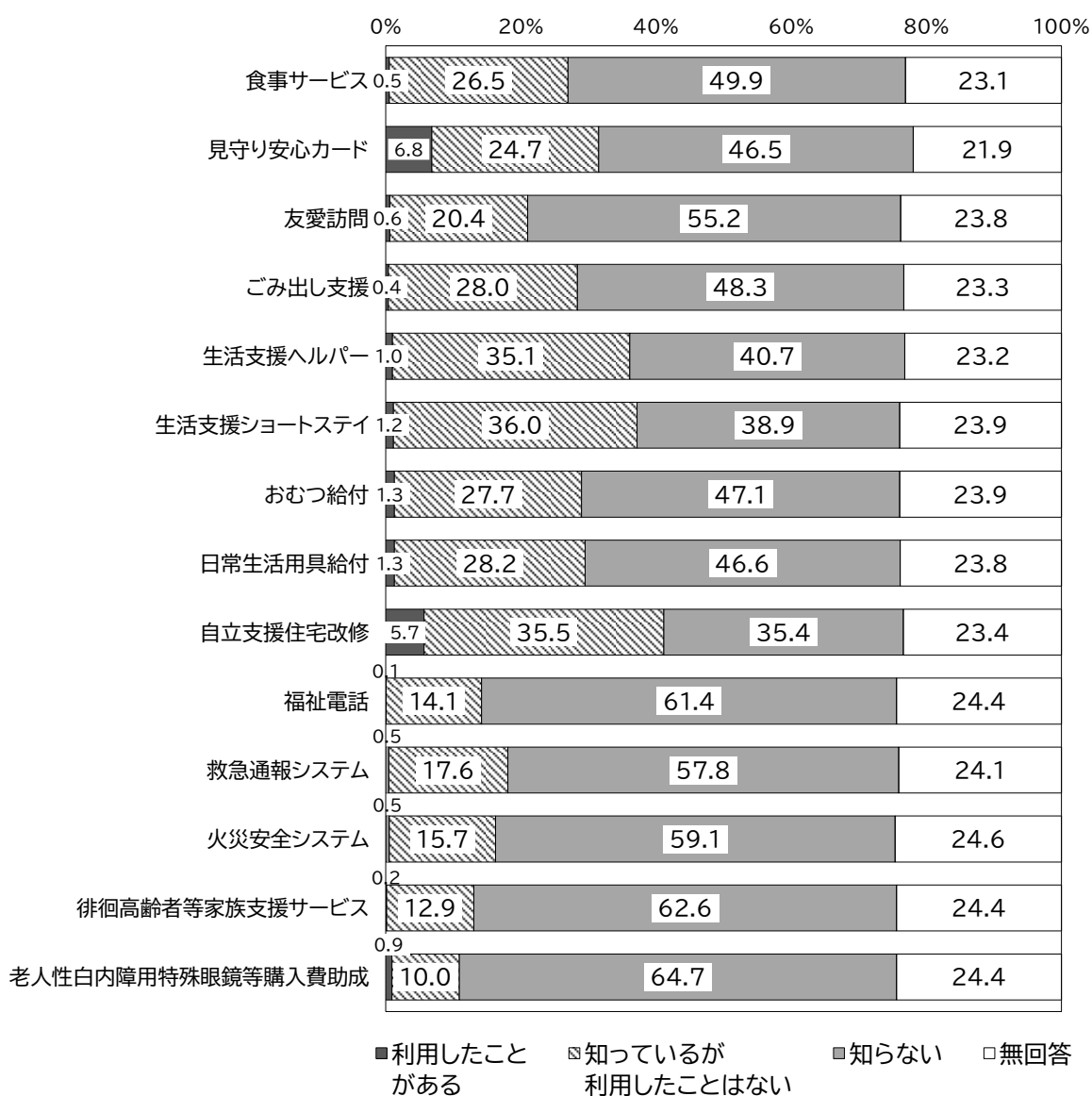
全体、介護・介助の必要がない方及び何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「広報誌」の割合が、それぞれ 48.8%、52.6%及び 24.4%と最も高く、次いで、全体及び介護・介助の必要がない方では、「市役所のホームページ」の割合が、それぞれ 21.1%、22.3%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「地域包括支援センター」の割合が 22.2%となっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「地域包括支援センター」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「広報誌」の割合が 35.8%となっています。



問 79 市が実施している以下の高齢者福祉サービスを利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いませんか。(利用状況や認知度、今後の利用希望それぞれ1つに○)
※各サービスを受けるには一定の要件があります。

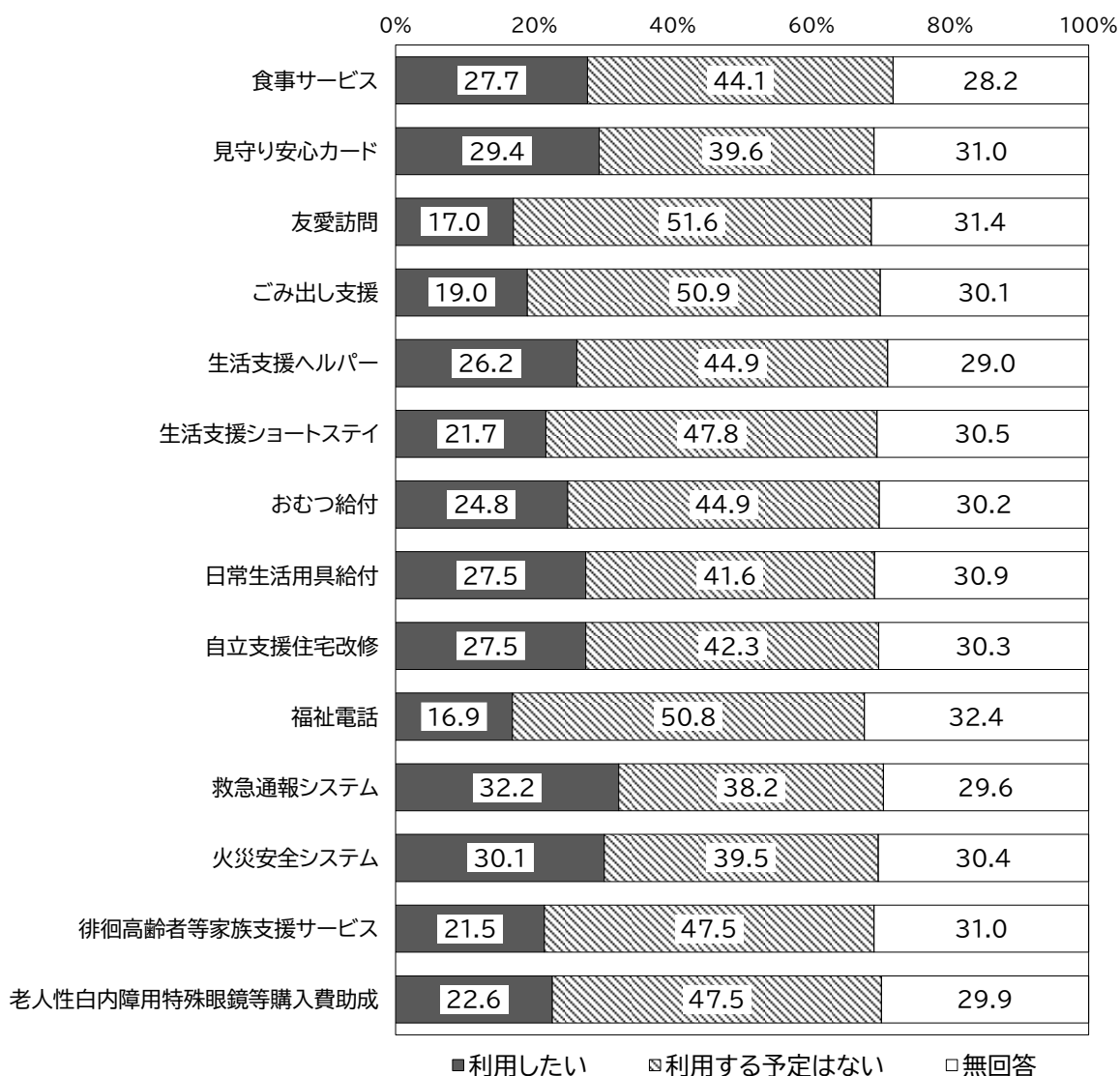
利用状況では、「見守り安心カード」の割合が6.8%と最も高く、次いで「自立支援住宅改修」の割合が5.7%となっています。認知度（「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた割合）では、「自立支援住宅改修」の割合が41.2%と最も高く、次いで「生活支援ショートステイ」、「生活支援ヘルパー」、「見守り安心カード」の割合が高くなっており、「老人性白内障用特殊眼鏡等購入費助成」、「徘徊高齢者等家族支援サービス」、「福祉電話」、「火災安全システム」などの認知度が低くなっています。

【利用状況・認知度】



今後の利用希望では、「救急通報システム」の割合が32.2%と最も高く、次いで「火災安全システム」、「見守り安心カード」、「食事サービス」、「日常生活用具給付」、「自立支援住宅改修」などの割合が高くなっています。一方、「利用する予定はない」の割合では、「友愛訪問」の割合が51.6%と最も高く、次いで「ごみ出し支援」、「福祉電話」、「生活支援ショートステイ」、「徘徊高齢者等家族支援サービス」、「老人性白内障用特殊眼鏡等購入費助成」などの割合が高くなっています。

【今後の利用希望】

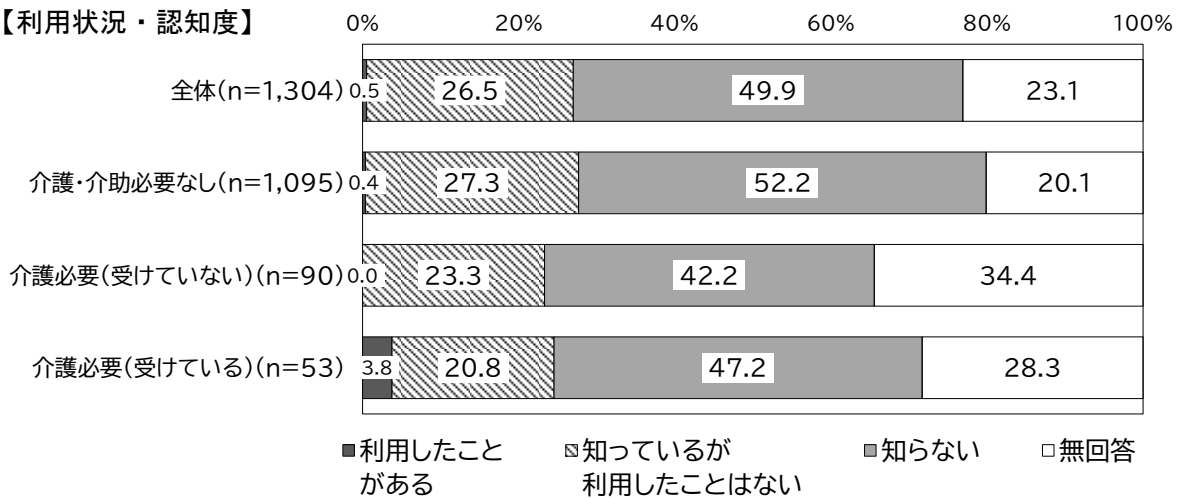


① 「食事サービス」の利用状況・認知度、今後の利用希望

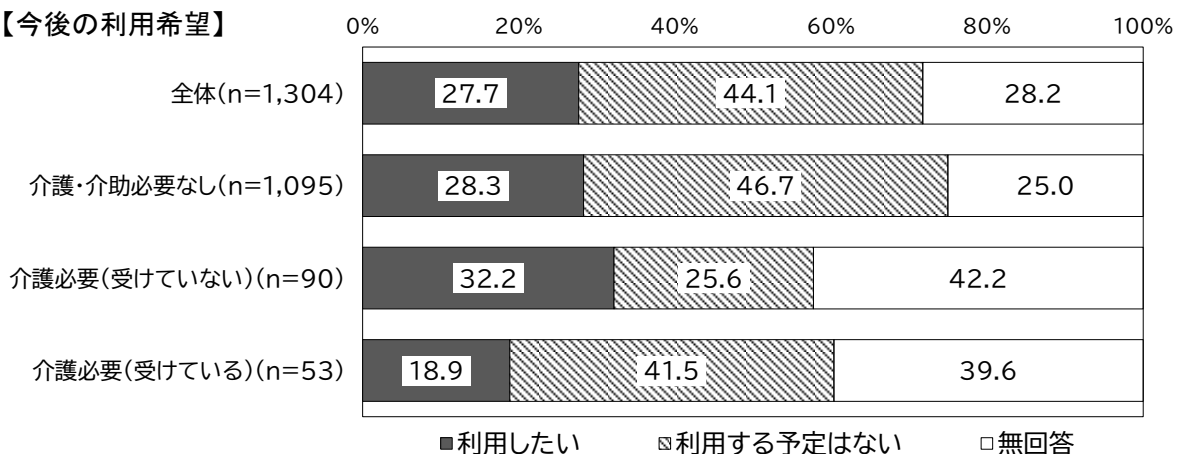
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が26.5%、「知らない」の割合が49.9%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が27.3%、「知らない」の割合が52.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が0.0%、「知っているが利用したことはない」の割合が23.3%、「知らない」の割合が42.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が3.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が20.8%、「知らない」の割合が47.2%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が27.7%、「利用する予定はない」の割合が44.1%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が28.3%、「利用する予定はない」の割合が46.7%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が32.2%、「利用する予定はない」の割合が25.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が18.9%、「利用する予定はない」の割合が41.5%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

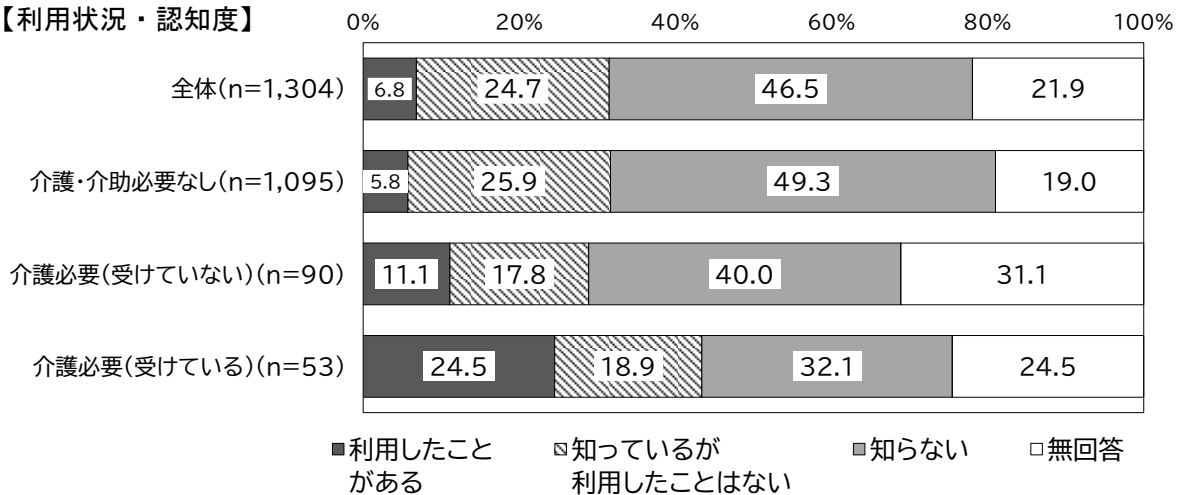


② 「見守り安心カード」の利用状況・認知度、今後の利用希望

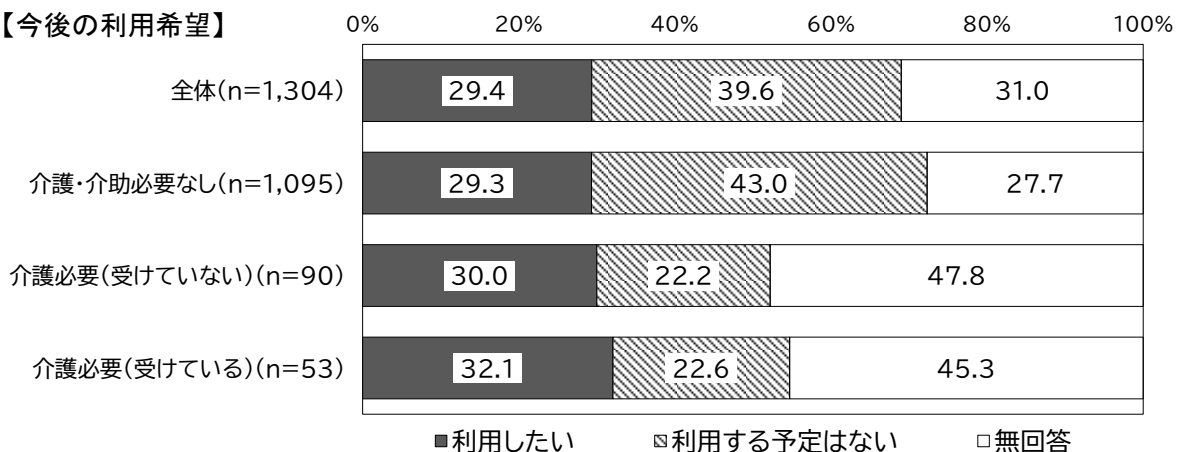
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が6.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が24.7%、「知らない」の割合が46.5%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が5.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が25.9%、「知らない」の割合が49.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が11.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が17.8%、「知らない」の割合が40.0%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が24.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が18.9%、「知らない」の割合が32.1%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が29.4%、「利用する予定はない」の割合が39.6%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が29.3%、「利用する予定はない」の割合が43.0%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が30.0%、「利用する予定はない」の割合が22.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が32.1%、「利用する予定はない」の割合が22.6%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

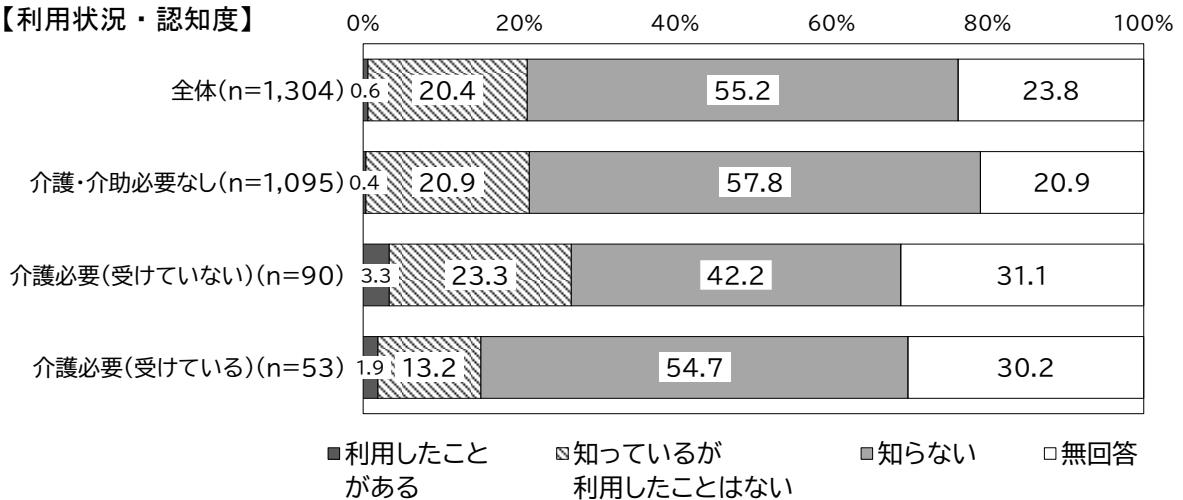


③ 「友愛訪問」の利用状況・認知度、今後の利用希望

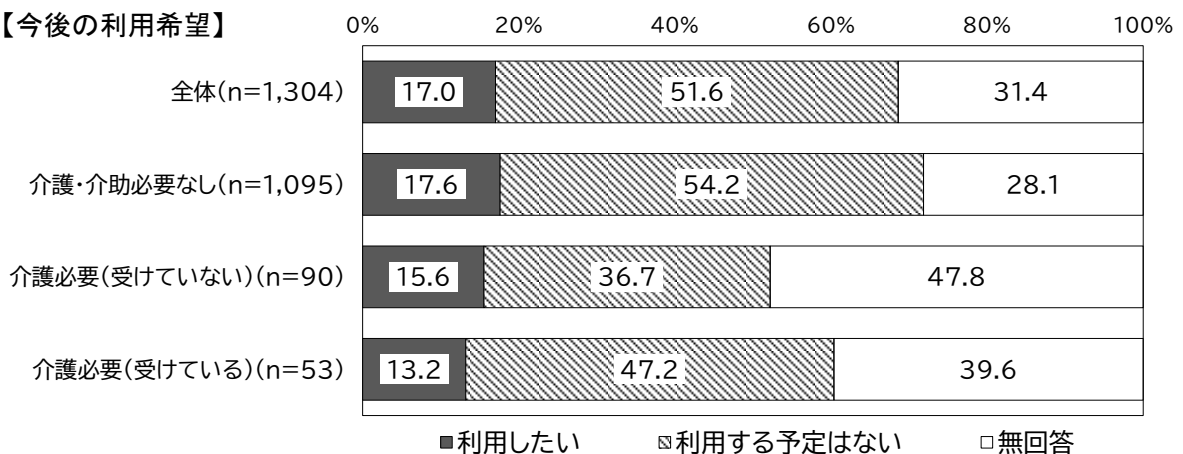
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が20.4%、「知らない」の割合が55.2%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が20.9%、「知らない」の割合が57.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が3.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が23.3%、「知らない」の割合が42.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が1.9%、「知っているが利用したことはない」の割合が13.2%、「知らない」の割合が54.7%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が17.0%、「利用する予定はない」の割合が51.6%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が17.6%、「利用する予定はない」の割合が54.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が15.6%、「利用する予定はない」の割合が36.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が13.2%、「利用する予定はない」の割合が47.2%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

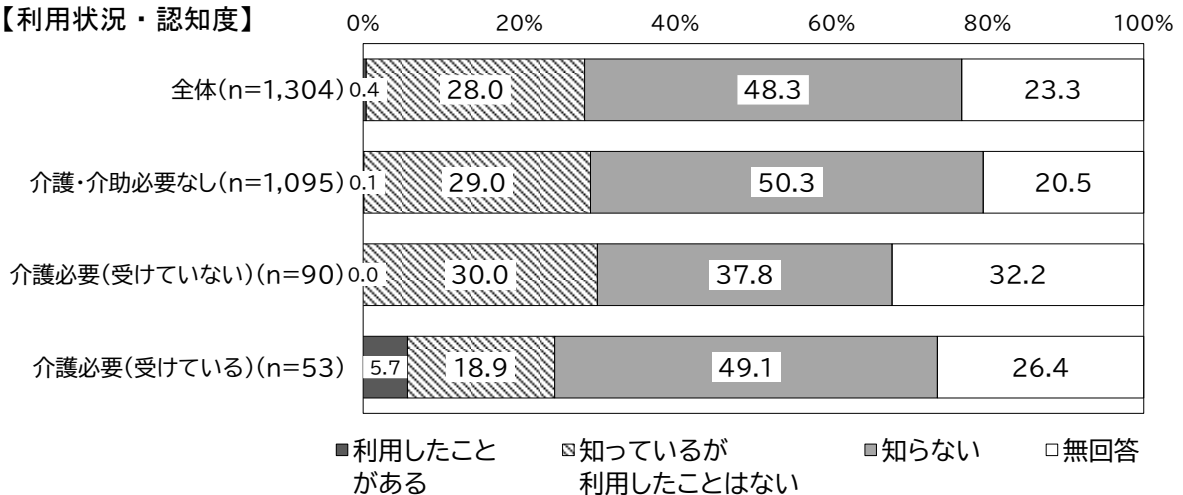


④ 「ごみ出し支援」の利用状況・認知度、今後の利用希望

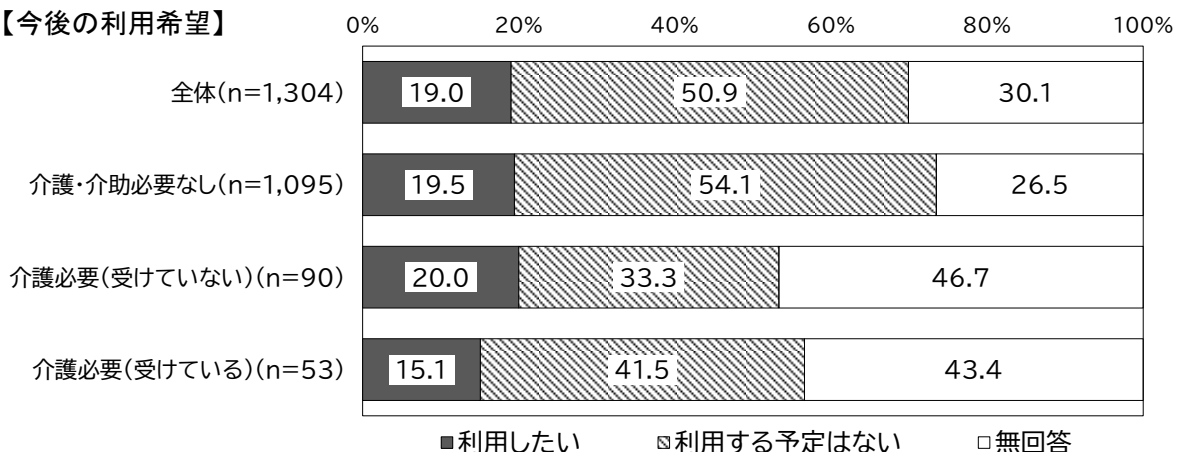
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が28.0%、「知らない」の割合が48.3%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が29.0%、「知らない」の割合が50.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が30.0%、「知らない」の割合が37.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が5.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が18.9%、「知らない」の割合が49.1%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が19.0%、「利用する予定はない」の割合が50.9%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が19.5%、「利用する予定はない」の割合が54.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が20.0%、「利用する予定はない」の割合が33.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が15.1%、「利用する予定はない」の割合が41.5%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

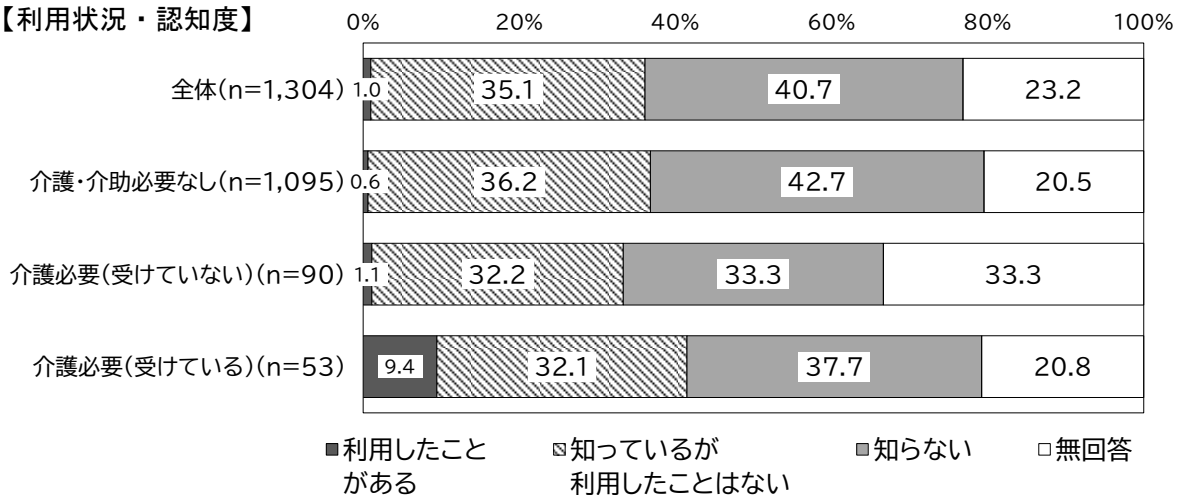


⑤ 「生活支援ヘルパー」の利用状況・認知度、今後の利用希望

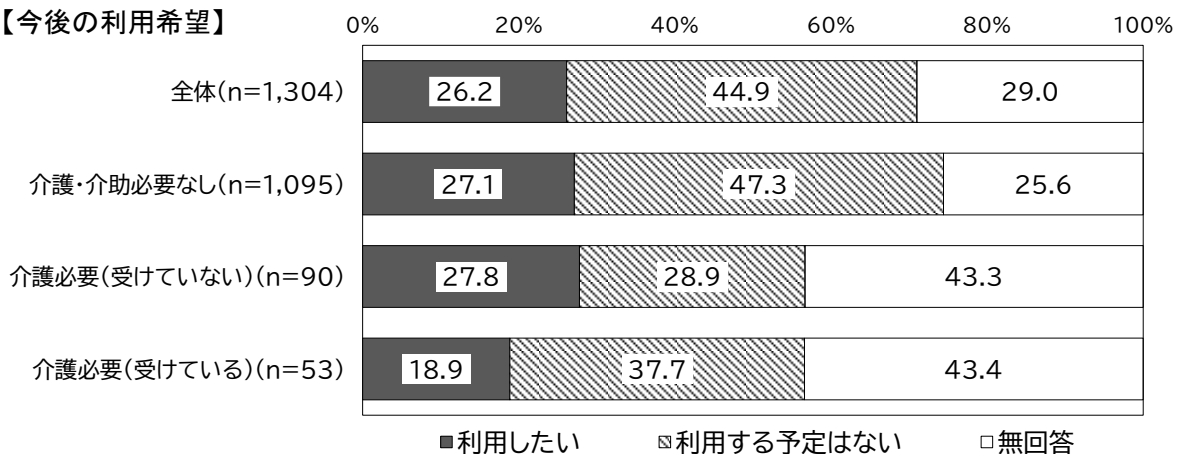
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が1.0%、「知っているが利用したことはない」の割合が35.1%、「知らない」の割合が40.7%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が36.2%、「知らない」の割合が42.7%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が1.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が32.2%、「知らない」の割合が33.3%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が9.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が32.1%、「知らない」の割合が37.7%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が26.2%、「利用する予定はない」の割合が44.9%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が27.1%、「利用する予定はない」の割合が47.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が27.8%、「利用する予定はない」の割合が28.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が18.9%、「利用する予定はない」の割合が37.7%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

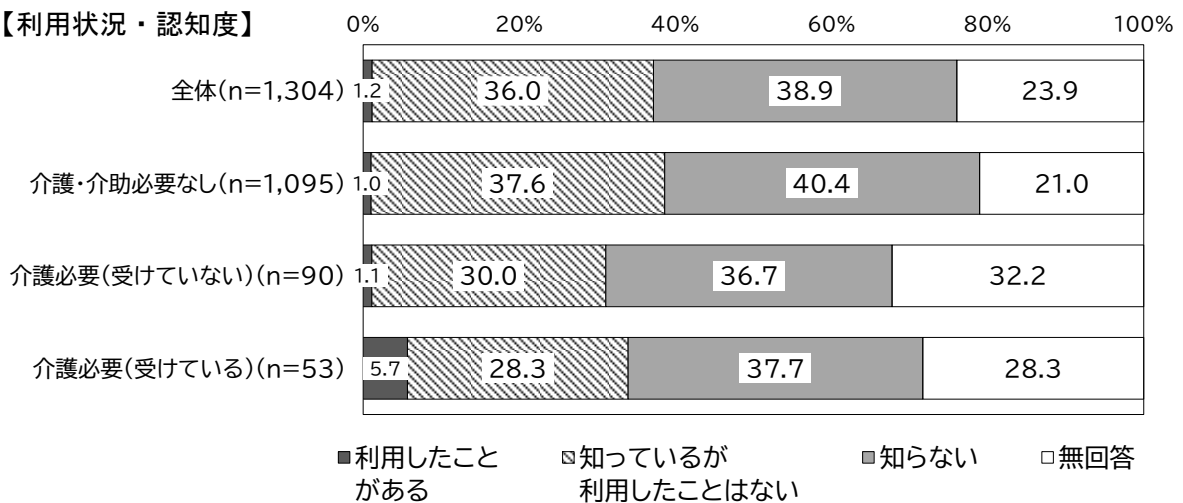


⑥ 「生活支援ショートステイ」の利用状況・認知度、今後の利用希望

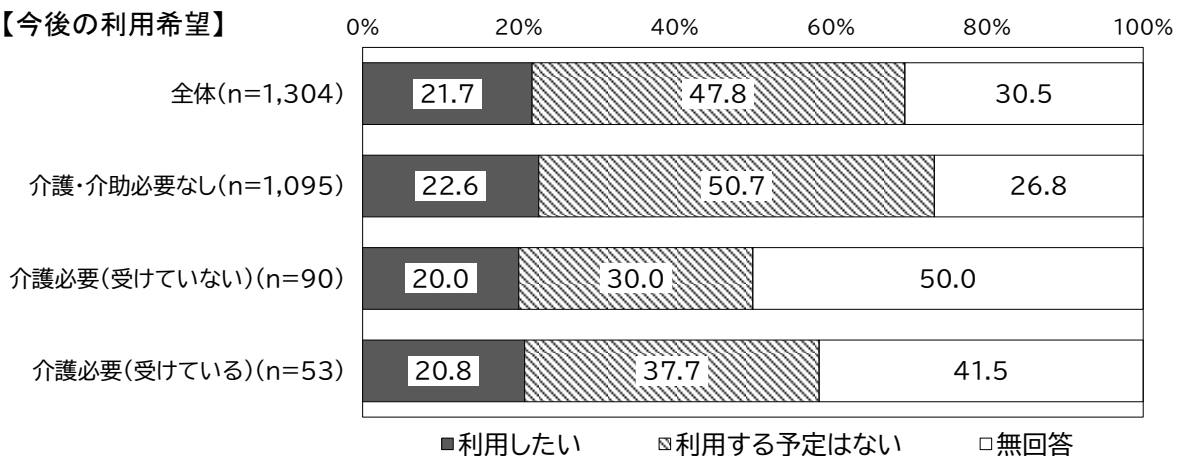
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が1.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が36.0%、「知らない」の割合が38.9%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が1.0%、「知っているが利用したことはない」の割合が37.6%、「知らない」の割合が40.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が1.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が30.0%、「知らない」の割合が36.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が5.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が28.3%、「知らない」の割合が37.7%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が21.7%、「利用する予定はない」の割合が47.8%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が22.6%、「利用する予定はない」の割合が50.7%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が20.0%、「利用する予定はない」の割合が30.0%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が20.8%、「利用する予定はない」の割合が37.7%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

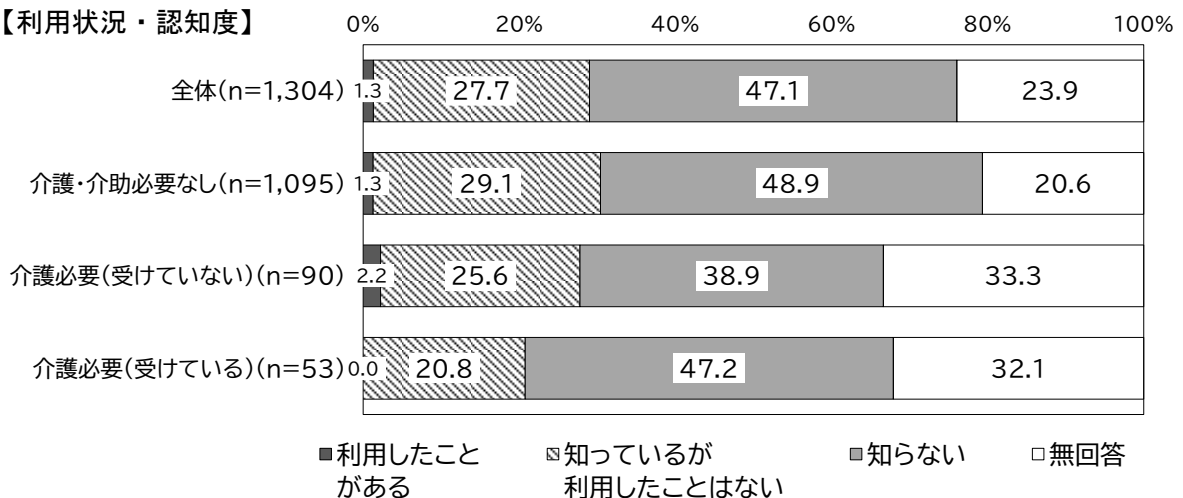


⑦ 「おむつ給付」の利用状況・認知度、今後の利用希望

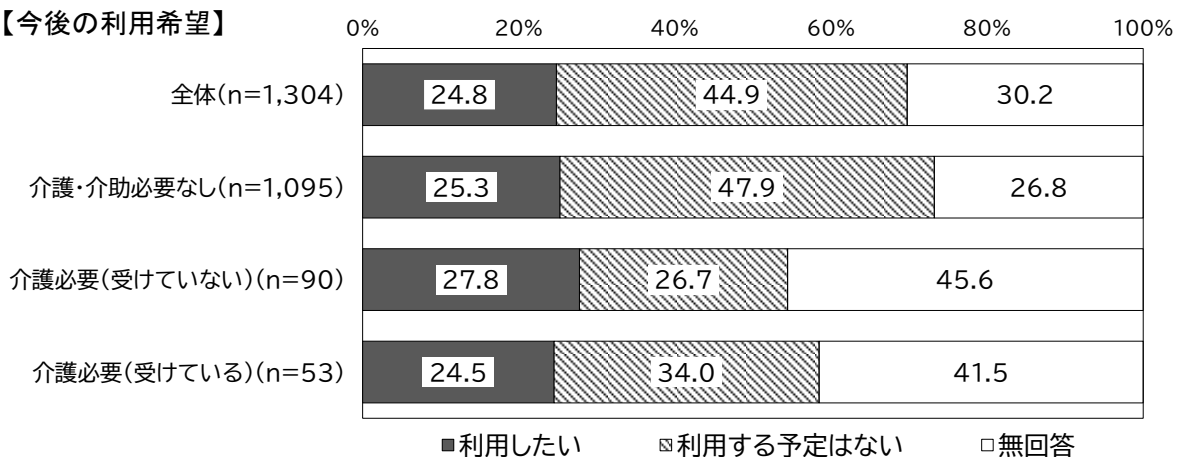
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が1.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が27.7%、「知らない」の割合が47.1%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が1.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が29.1%、「知らない」の割合が48.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が2.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が25.6%、「知らない」の割合が38.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が20.8%、「知らない」の割合が47.2%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が24.8%、「利用する予定はない」の割合が44.9%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が25.3%、「利用する予定はない」の割合が47.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が27.8%、「利用する予定はない」の割合が26.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が24.5%、「利用する予定はない」の割合が34.0%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

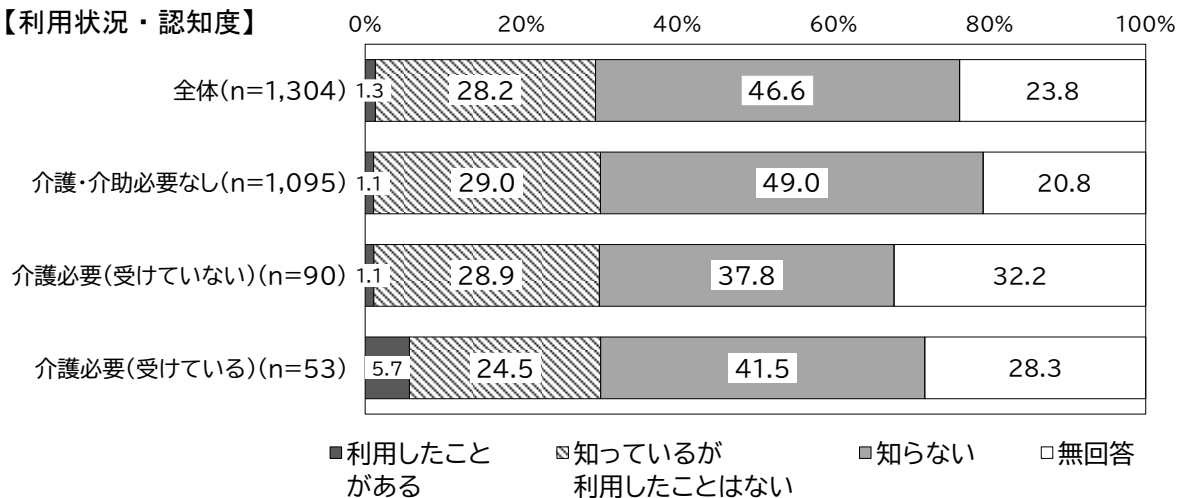


⑧ 「日常生活用具給付」の利用状況・認知度、今後の利用希望

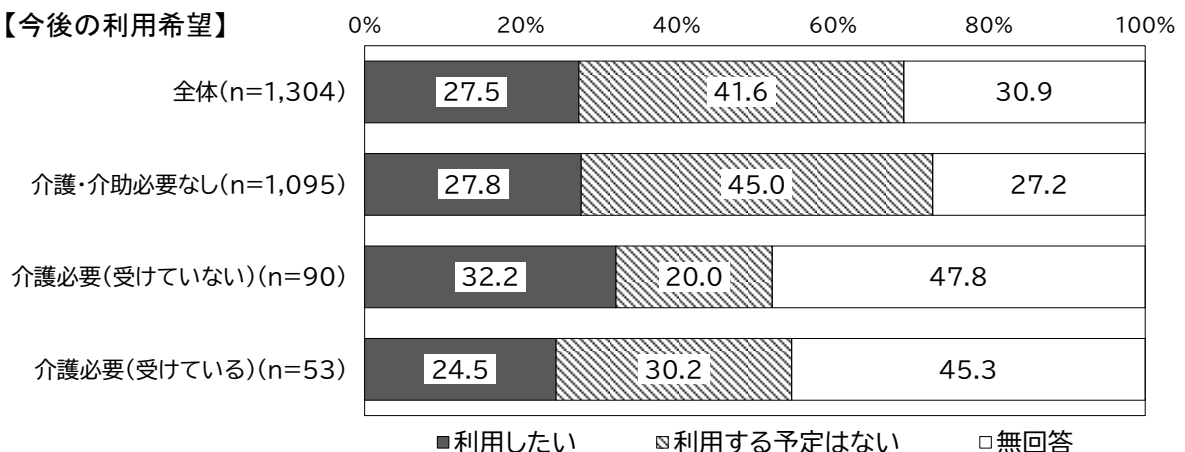
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が1.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が28.2%、「知らない」の割合が46.6%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が1.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が29.0%、「知らない」の割合が49.0%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が1.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が28.9%、「知らない」の割合が37.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が5.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が24.5%、「知らない」の割合が41.5%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が27.5%、「利用する予定はない」の割合が41.6%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が27.8%、「利用する予定はない」の割合が45.0%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が32.2%、「利用する予定はない」の割合が20.0%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が24.5%、「利用する予定はない」の割合が30.2%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

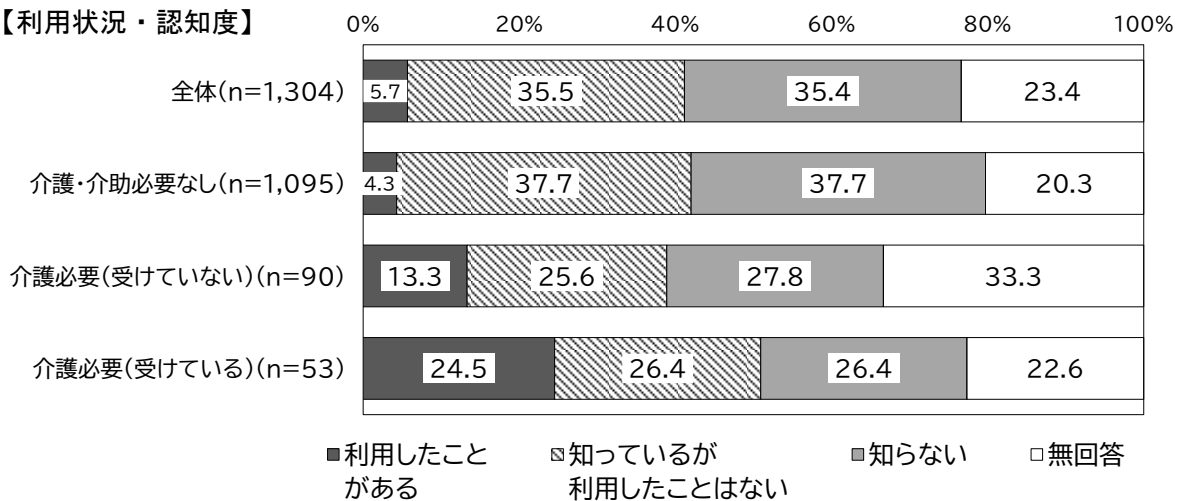


⑨ 「自立支援住宅改修」の利用状況・認知度、今後の利用希望

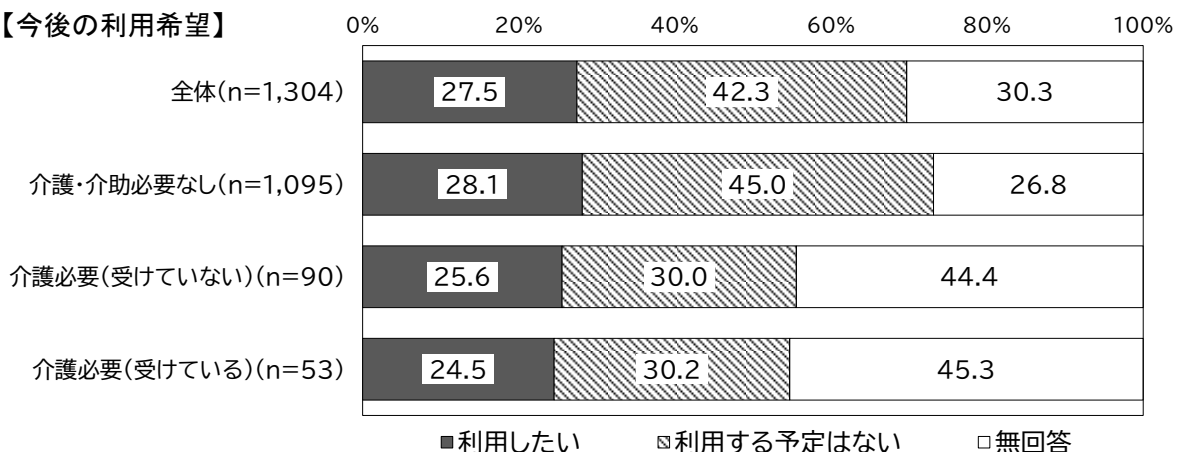
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が5.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が35.5%、「知らない」の割合が35.4%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が4.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が37.7%、「知らない」の割合が37.7%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が13.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が25.6%、「知らない」の割合が27.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が24.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が26.4%、「知らない」の割合が26.4%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が27.5%、「利用する予定はない」の割合が42.3%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が28.1%、「利用する予定はない」の割合が45.0%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が25.6%、「利用する予定はない」の割合が30.0%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が24.5%、「利用する予定はない」の割合が30.2%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

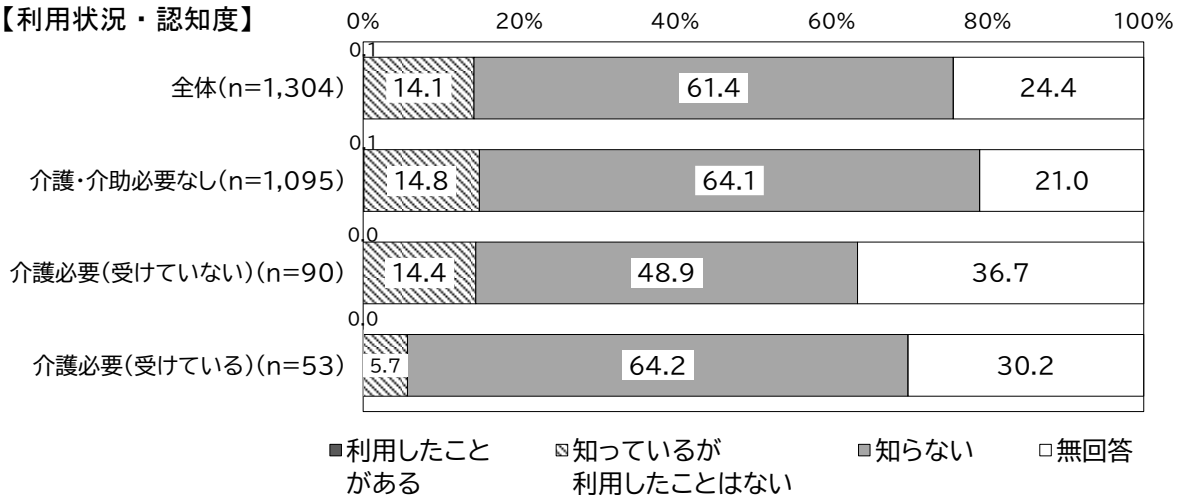


⑩ 「福祉電話」の利用状況・認知度、今後の利用希望

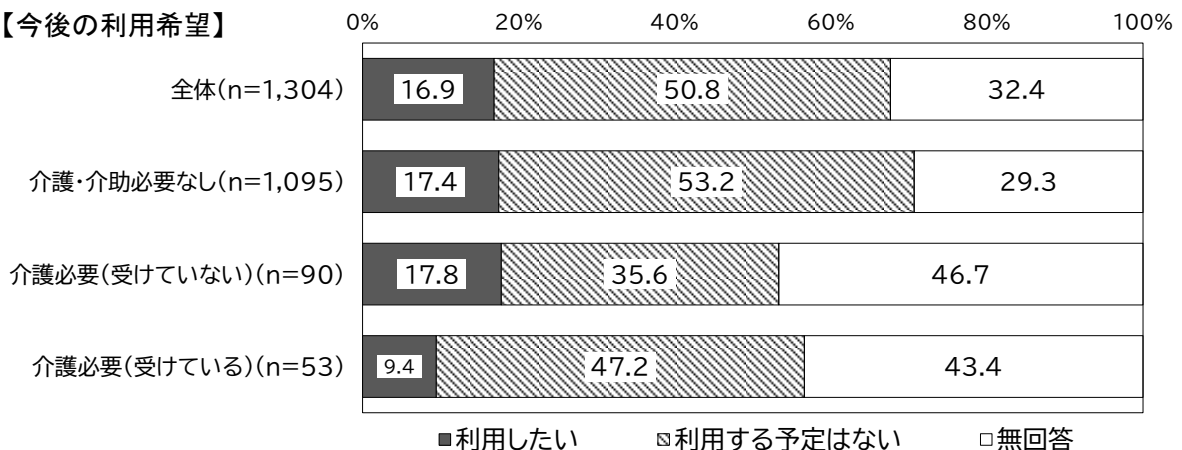
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が14.1%、「知らない」の割合が61.4%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が14.8%、「知らない」の割合が64.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が14.4%、「知らない」の割合が48.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が5.7%、「知らない」の割合が64.2%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が16.9%、「利用する予定はない」の割合が50.8%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が17.4%、「利用する予定はない」の割合が53.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が17.8%、「利用する予定はない」の割合が35.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が9.4%、「利用する予定はない」の割合が47.2%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

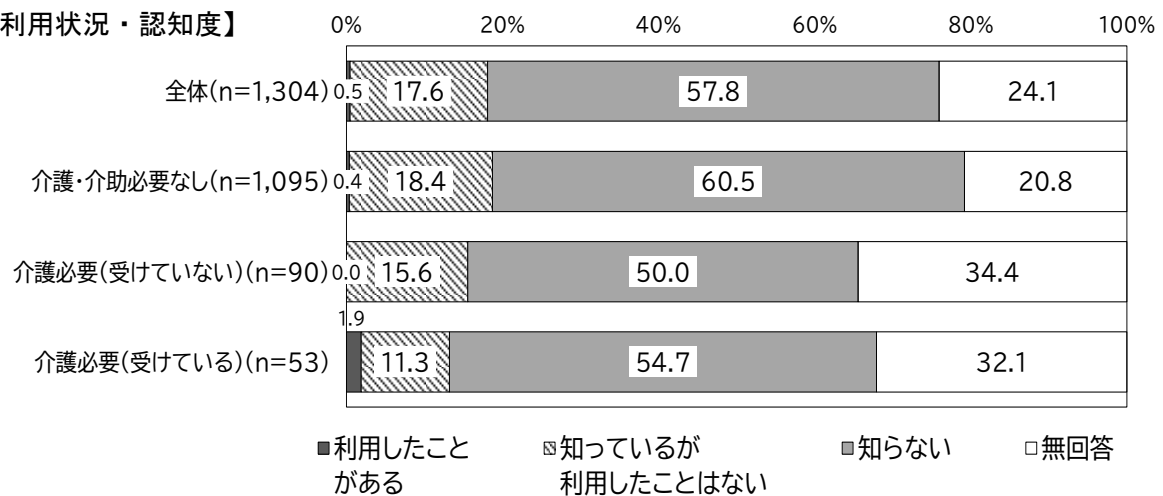


⑪ 「救急通報システム」の利用状況・認知度、今後の利用希望

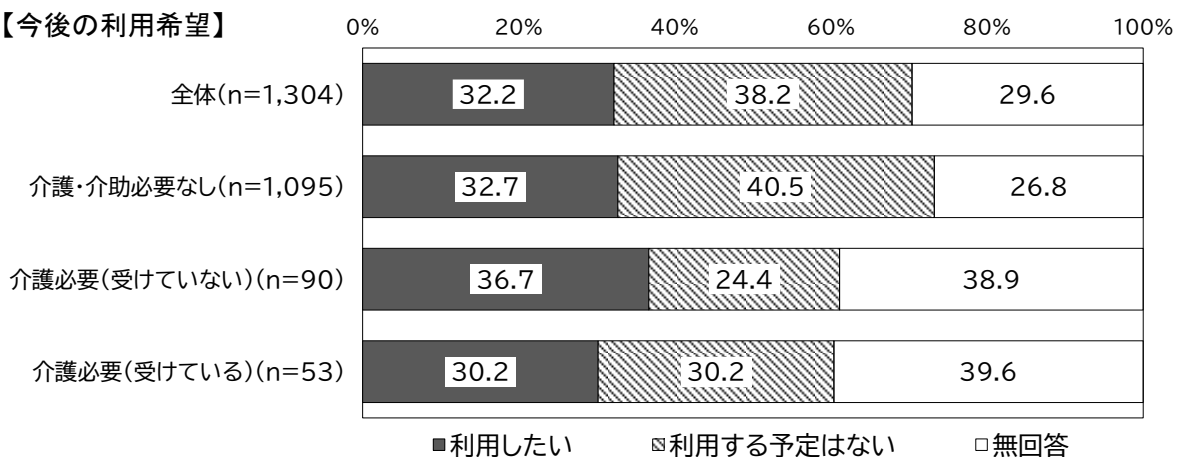
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が17.6%、「知らない」の割合が57.8%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が18.4%、「知らない」の割合が60.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が15.6%、「知らない」の割合が50.0%となっています。また、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が1.9%、「知っているが利用したことはない」の割合が11.3%、「知らない」の割合が54.7%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が32.2%、「利用する予定はない」の割合が38.2%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が32.7%、「利用する予定はない」の割合が40.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が36.7%、「利用する予定はない」の割合が24.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が30.2%、「利用する予定はない」の割合が30.2%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

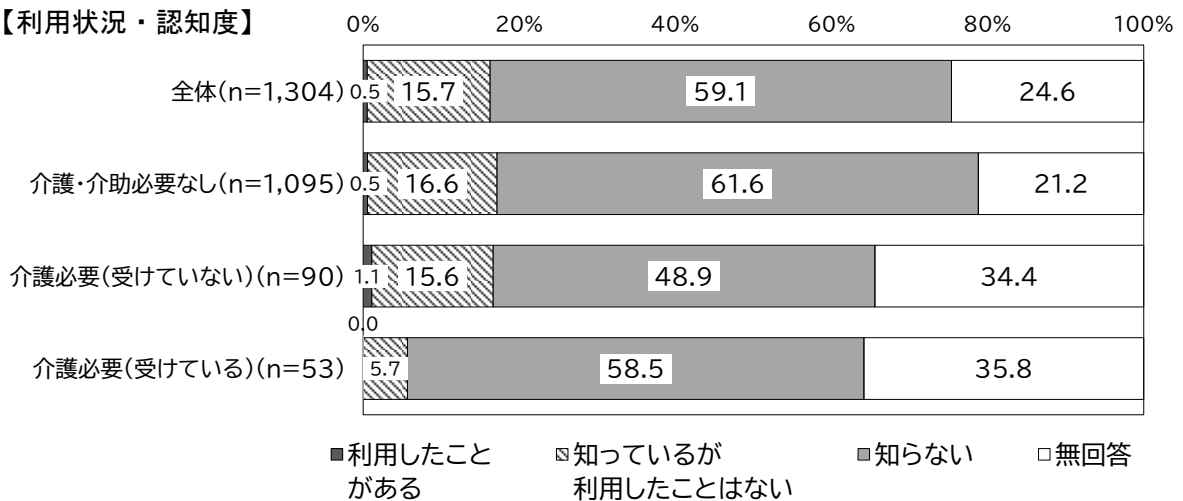


⑫ 「火災安全システム」の利用状況・認知度、今後の利用希望

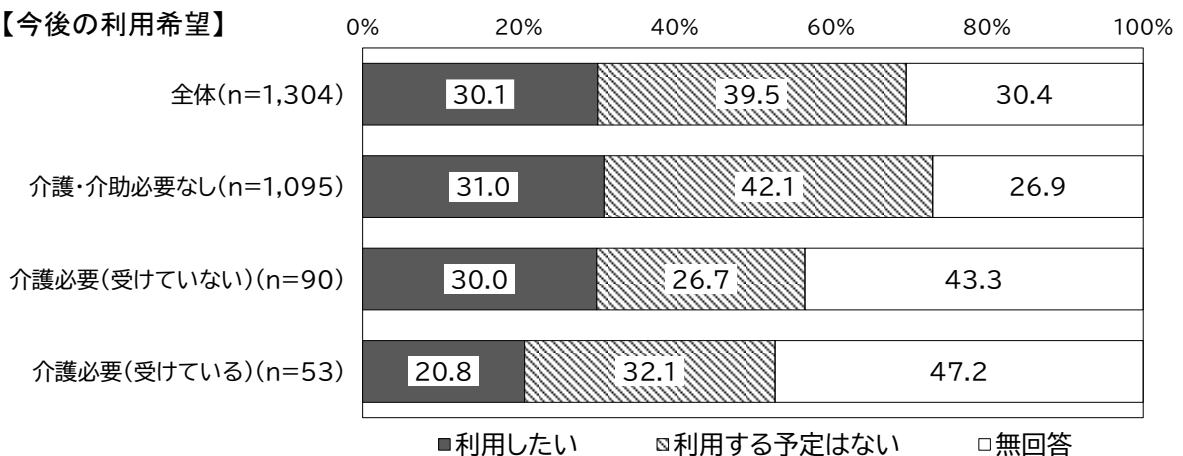
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が15.7%、「知らない」の割合が59.1%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が16.6%、「知らない」の割合が61.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が1.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が15.6%、「知らない」の割合が48.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が5.7%、「知らない」の割合が58.5%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が30.1%、「利用する予定はない」の割合が39.5%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が31.0%、「利用する予定はない」の割合が42.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が30.0%、「利用する予定はない」の割合が26.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が20.8%、「利用する予定はない」の割合が32.1%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

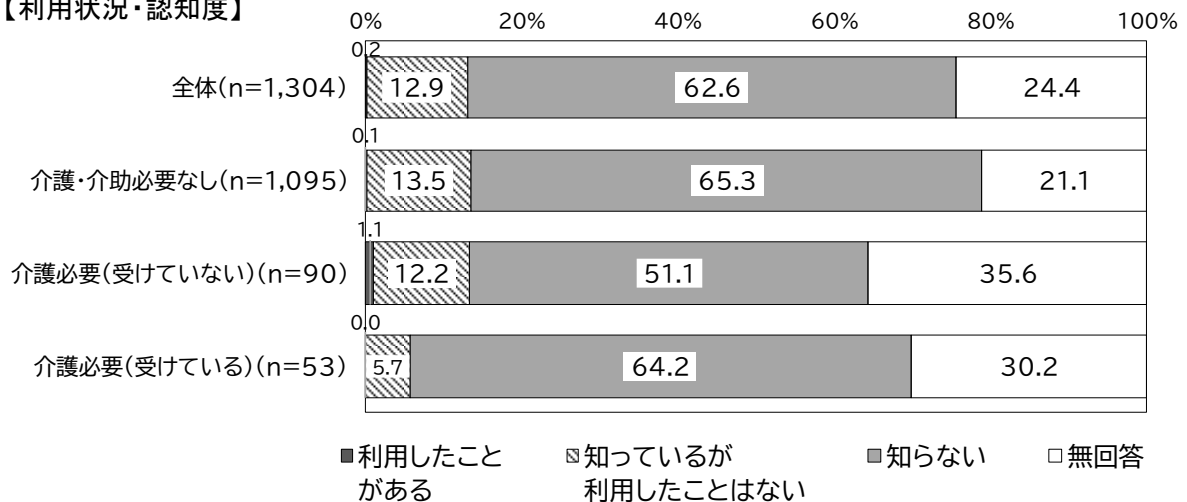


⑬ 「徘徊高齢者等家族支援サービス」の利用状況・認知度、今後の利用希望

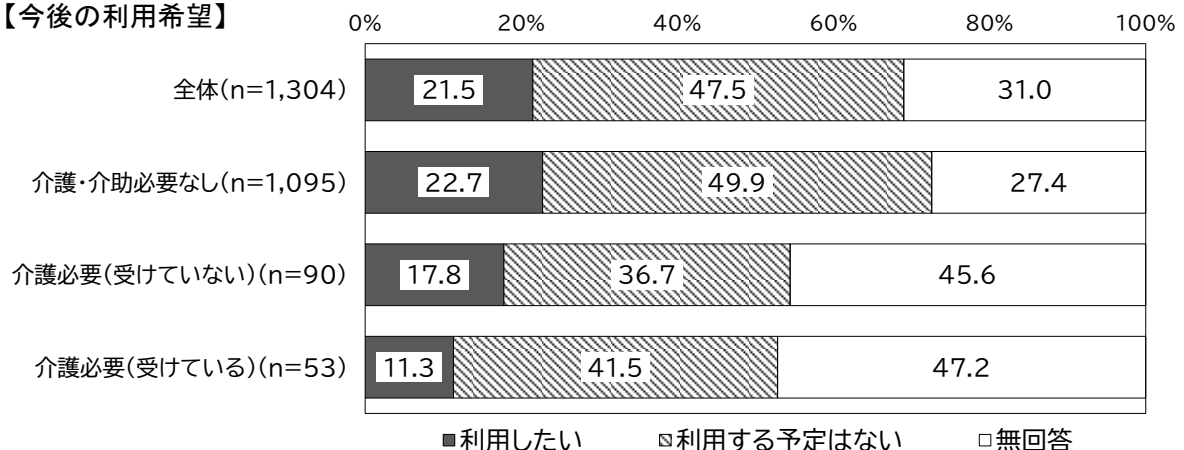
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が12.9%、「知らない」の割合が62.6%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が13.5%、「知らない」の割合が65.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が1.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が12.2%、「知らない」の割合が51.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が5.7%、「知らない」の割合が64.2%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が21.5%、「利用する予定はない」の割合が47.5%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が22.7%、「利用する予定はない」の割合が49.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が17.8%、「利用する予定はない」の割合が36.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が11.3%、「利用する予定はない」の割合が41.5%となっています。

【利用状況・認知度】



【今後の利用希望】

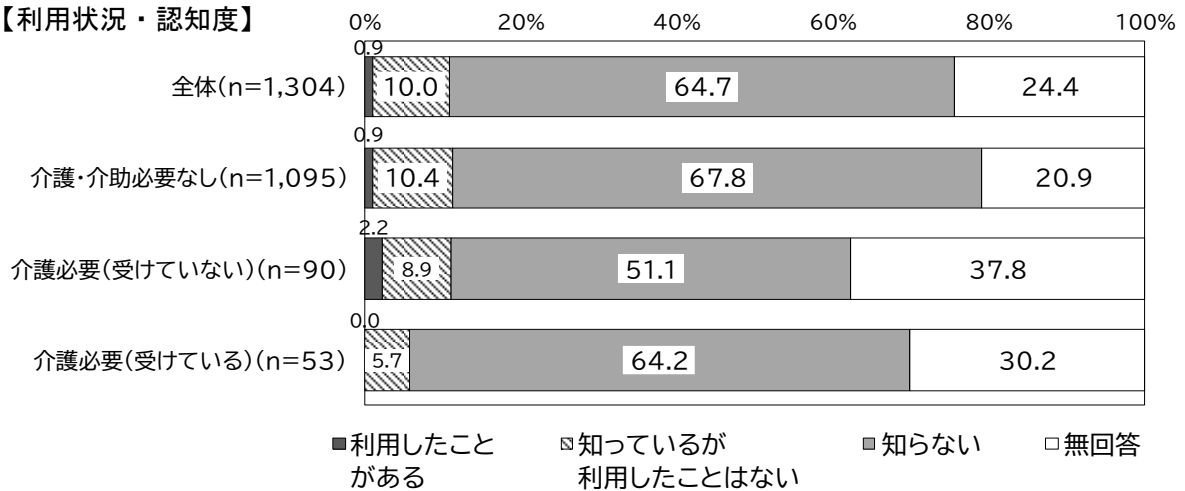


⑭ 「老人性白内障用特殊眼鏡等購入費助成」の利用状況・認知度、今後の利用希望

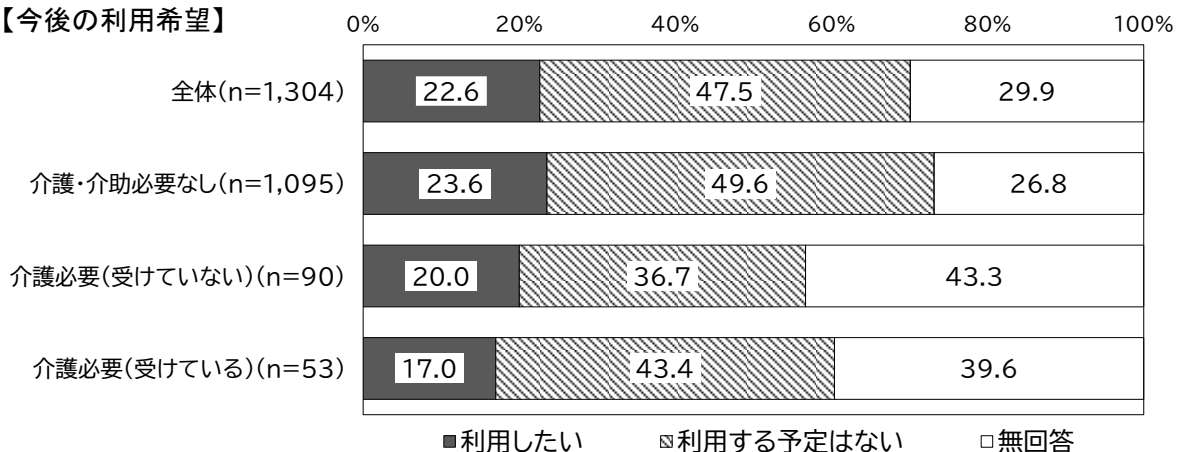
利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.9%、「知っているが利用したことはない」の割合が10.0%、「知らない」の割合が64.7%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.9%、「知っているが利用したことはない」の割合が10.4%、「知らない」の割合が67.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が2.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が8.9%、「知らない」の割合が51.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が5.7%、「知らない」の割合が64.2%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が22.6%、「利用する予定はない」の割合が47.5%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が23.6%、「利用する予定はない」の割合が49.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が20.0%、「利用する予定はない」の割合が36.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が17.0%、「利用する予定はない」の割合が43.4%となっています。

【利用状況・認知度】

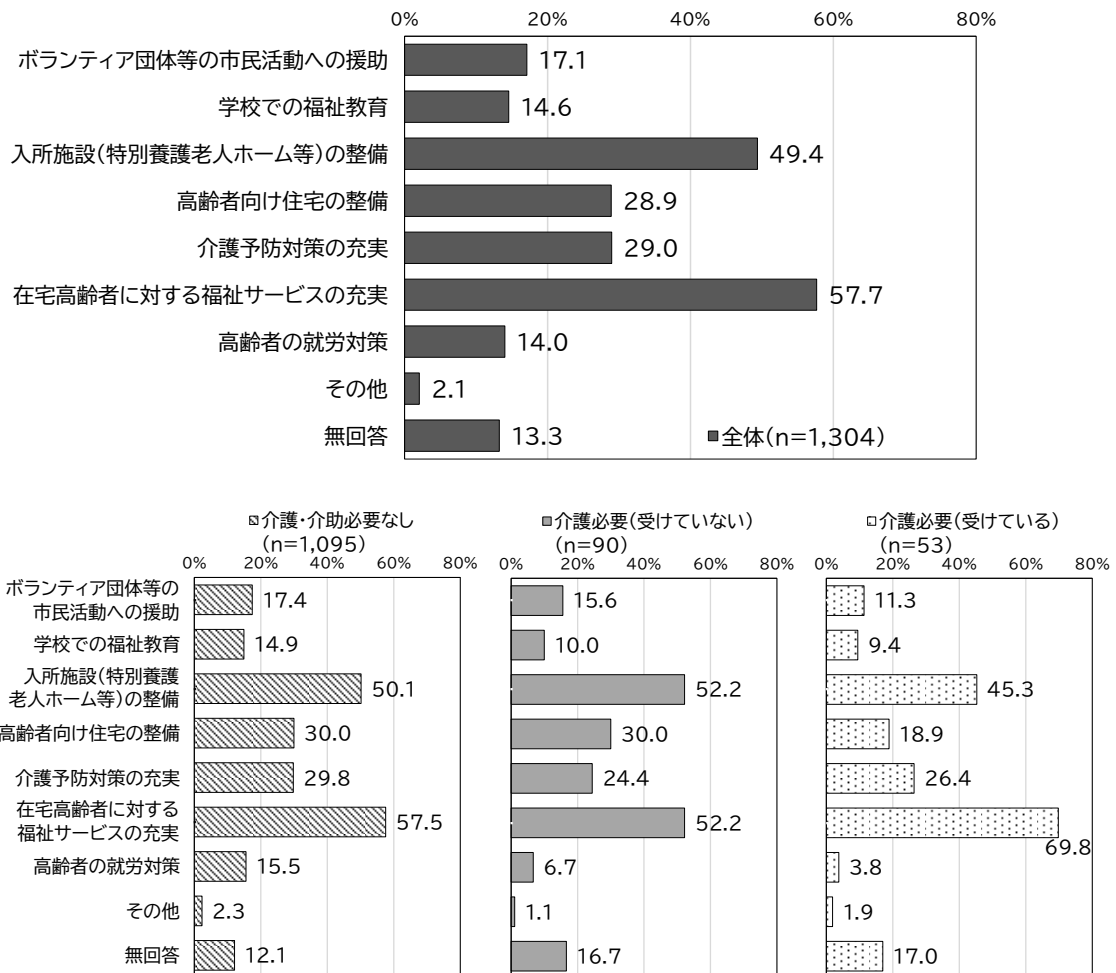


【今後の利用希望】



問 80 今後、市が取り組むべき高齢者に関する福祉施策について、優先して充実させるべき施策はどれになるとお考えですか。(複数選択可)

高齢者福祉施策について、優先して充実させるべき施策では、すべての分類において、「在宅高齢者に対する福祉サービスの充実」の割合が最も高く、全体は57.7%、介護・介助の必要がない方は57.5%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方は52.2%、現在、何らかの介護を受けている方は69.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方は、「入所施設（特別養護老人ホーム等）の整備」も最も高くなっています。次いで全体、介護・介助の必要がない方及び現在、何らかの介護を受けている方では「入所施設（特別養護老人ホーム等）の整備」の割合が、それぞれ49.4%、50.1%、45.3%となっています。



Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

1 機能別リスク該当者割合の分析

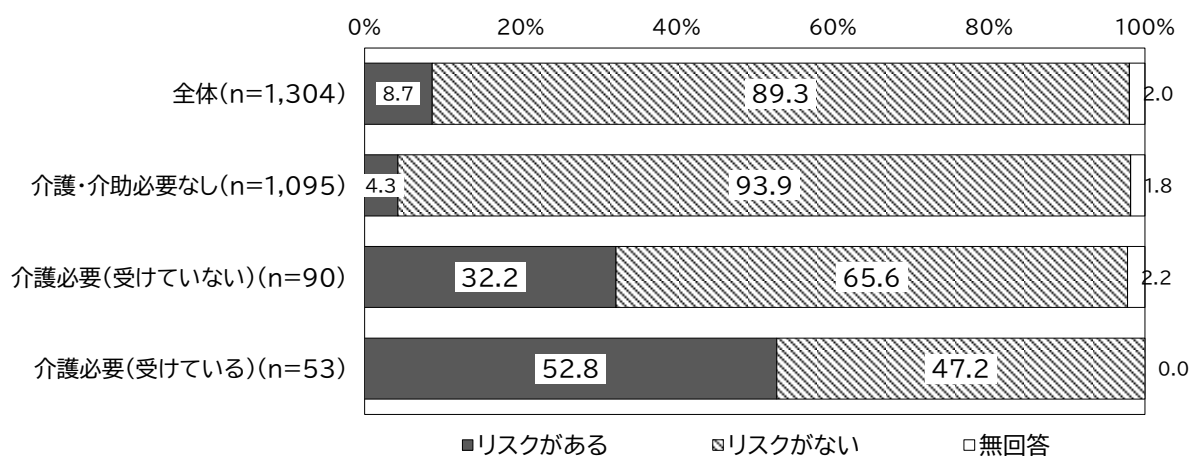
(1) 運動器

【判定基準：以下の5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
問6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問8	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問9	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問10	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体の8.7%、介護・介助の必要がない方の4.3%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の32.2%、現在、何らかの介護を受けている方の52.8%の方が運動器の機能低下リスク該当者となっています。



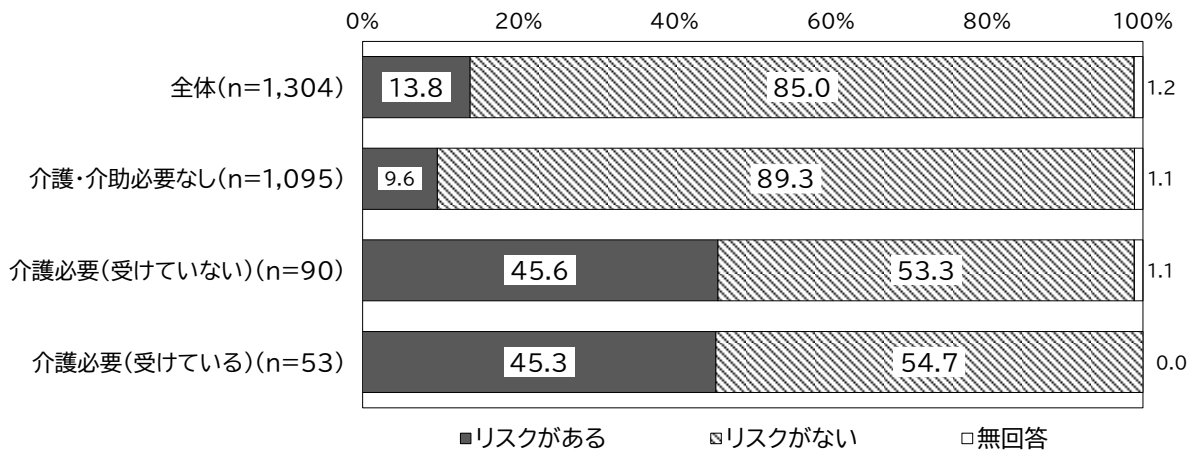
(2) 閉じこもり

【判定基準：以下の項目に該当する人を閉じこもりリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
問 11	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体の13.8%、介護・介助の必要がない方の9.6%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の45.6%、現在、何らかの介護を受けている方の45.3%の方が閉じこもりのリスク該当者となっています。



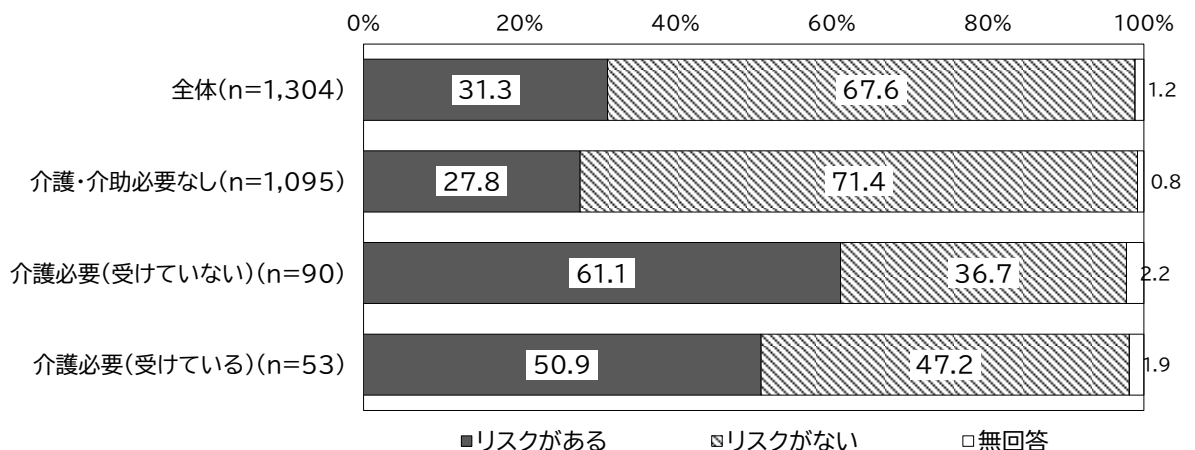
(3) 転倒

【判定基準：以下の項目に該当する人を転倒のリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
問 9	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体の31.3%、介護・介助の必要がない方の27.8%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の61.1%、現在、何らかの介護を受けている方の50.9%の方が転倒のリスク該当者となっています。



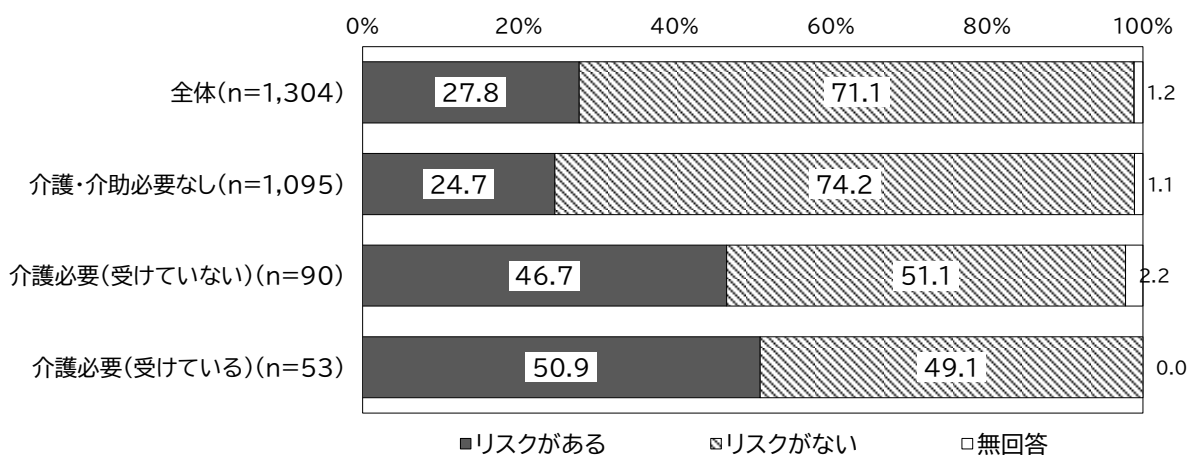
(4) 口腔

【判定基準：以下の3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
問 15	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問 16	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問 17	口の渇きが気になりますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体の27.8%、介護・介助の必要がない方の24.7%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の46.7%、現在、何らかの介護を受けている方の50.9%の方が口腔のリスク該当者となっています。



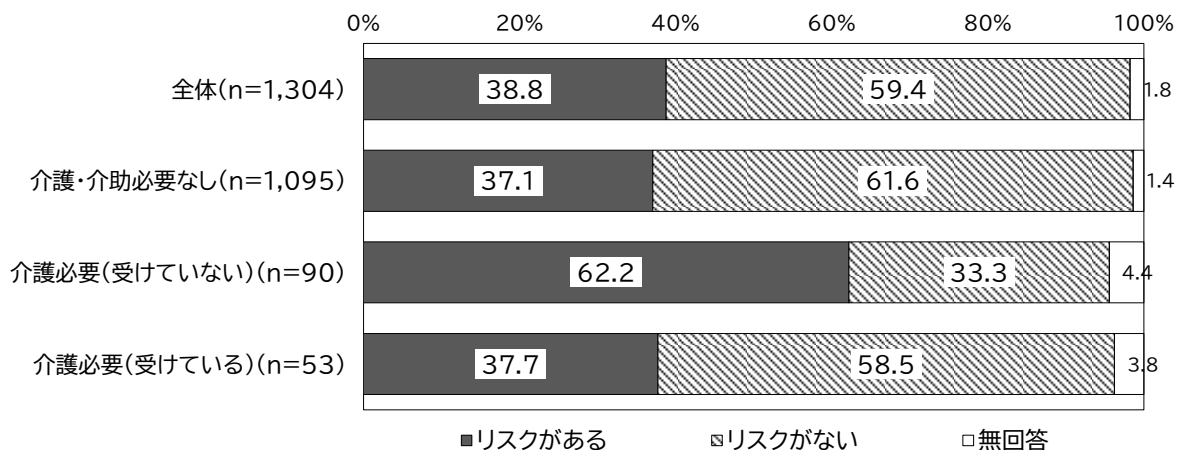
(5) 認知

【判定基準：以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
問 21	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体の38.8%、介護・介助の必要がない方の37.1%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の62.2%、現在、何らかの介護を受けている方の37.7%の方が認知のリスク該当者となっています。



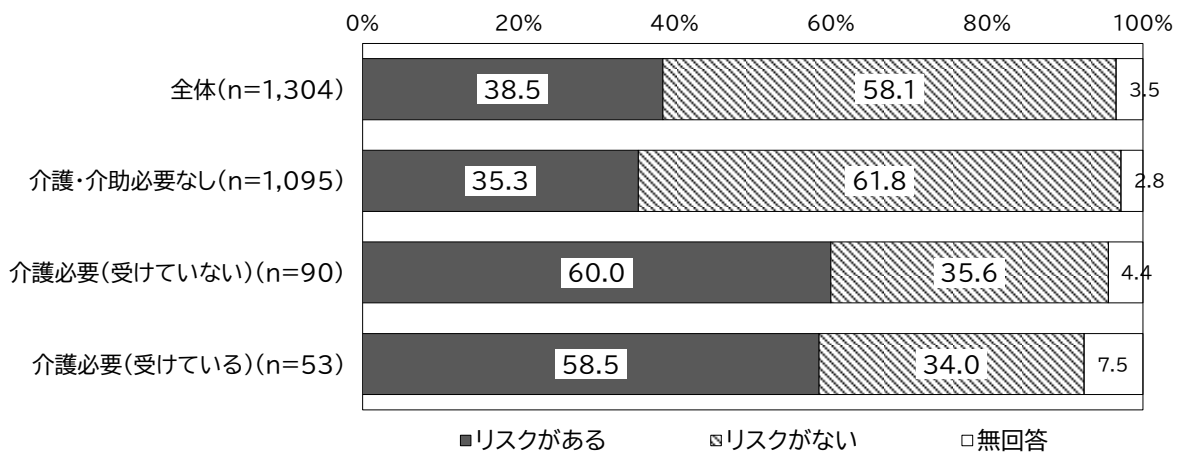
(6) うつ

【判定基準：以下の2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
問 50	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問 51	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づくうつの評価結果をみると、全体の38.5%、介護・介助の必要がない方の35.3%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の60.0%、現在、何らかの介護を受けている方の58.5%の方がうつのリスク該当者となっています。



2 日常生活

(1) 手段的自立度 (IADL)

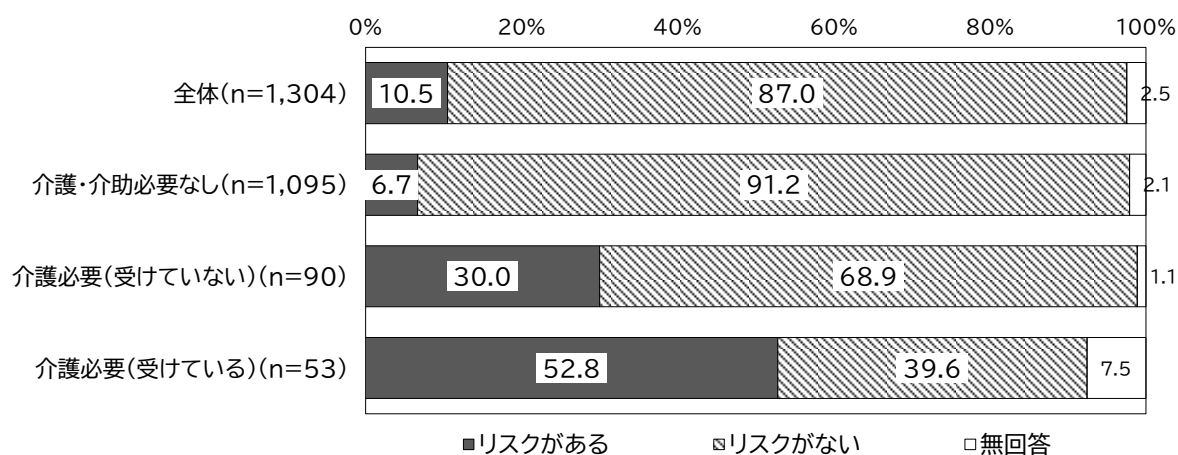
【判定基準：以下の設問において「1」又は「2」を回答した場合を1点として5点満点で評価】

問番号	設問	該当する選択肢
問 22	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
問 23	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
問 24	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
問 25	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
問 26	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点

※5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価し、4点以下を手段的自立度 (IADL) の低下者と評価 (老研式活動能力指標)

【リスク該当状況】

老研式活動能力指標に基づく手段的自立度 (IADL) の評価結果をみると、全体の10.5%、介護・介助の必要がない方の6.7%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の30.0%、現在、何らかの介護を受けている方の52.8%の方が手段的自立度 (IADL) のリスク該当者となっています。

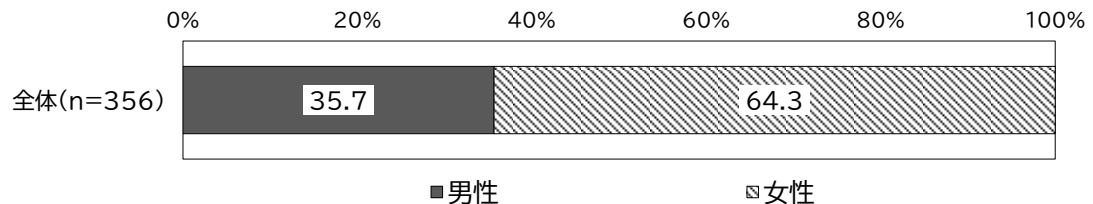


IV 在宅介護実態調査

1 調査対象者の基本属性

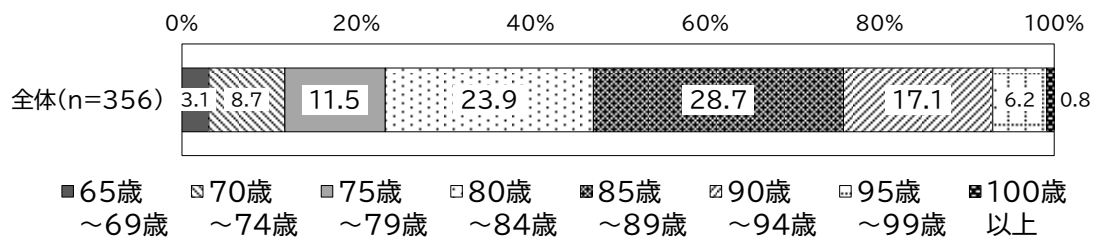
(1) 性別

調査対象者の性別について、「男性」の割合が 35.7%、「女性」の割合が 64.3%となっています。



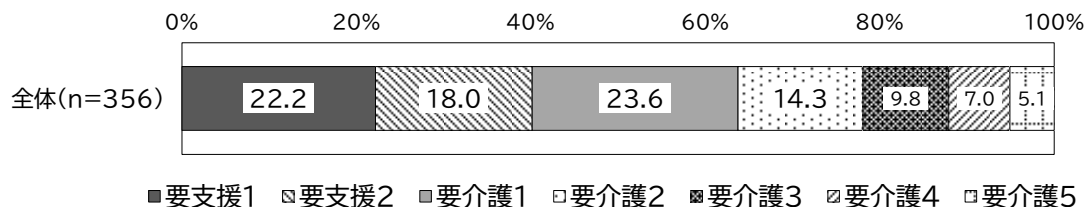
(2) 年齢区分

調査対象者の年齢について、「85～89 歳」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「80～84 歳」の割合が 23.9%、「90～94 歳」の割合が 17.1%となっています。



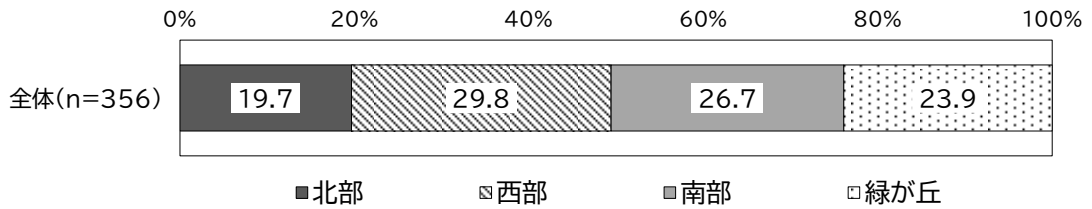
(3) 要介護認定者

要介護認定者について、「要介護1」の割合が 23.6%と最も高く、次いで「要支援1」の割合が 22.2%、「要支援2」の割合が 18.0%、「要介護2」の割合が 14.3%となっています。



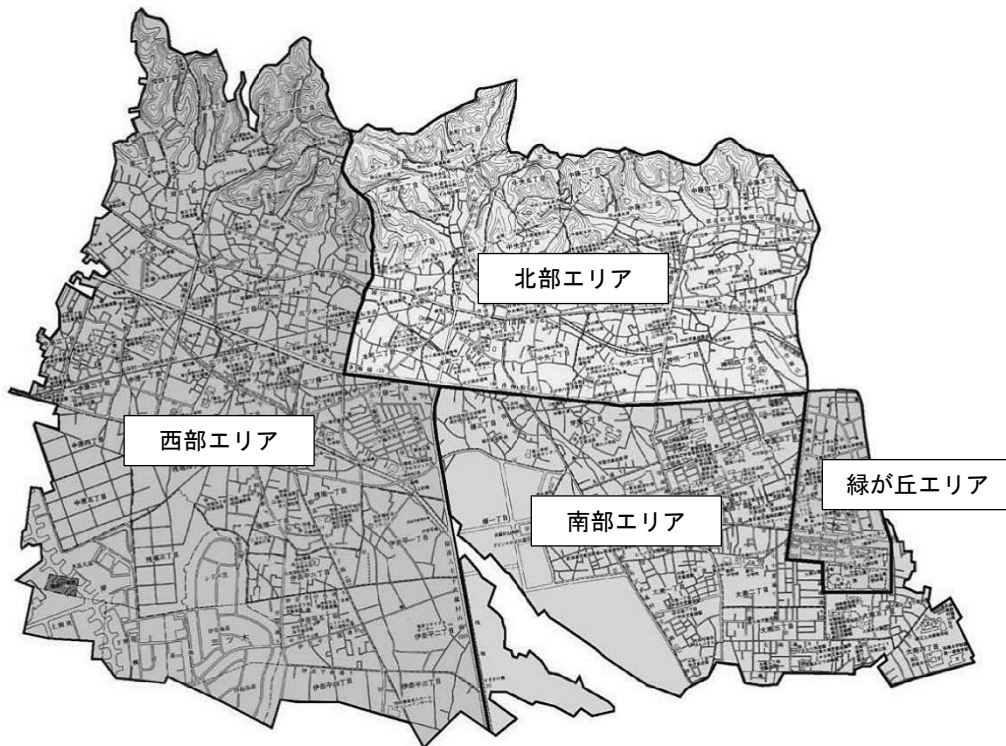
(4) 日常生活圏域

調査対象者の日常生活圏域について、「西部エリア」の割合が29.8%と最も高く、次いで「南部エリア」の割合が26.7%、「緑が丘エリア」の割合が23.6%、「北部エリア」の割合が19.7%となっています。



【日常生活圏域】

エリア名	町名
西部エリア	伊奈平、岸、残堀、中原、三ツ木、三ツ藤、大字三ツ木（横田基地内）
北部エリア	神明、中央、中藤、本町
南部エリア	榎、大南、学園
緑が丘エリア	緑が丘

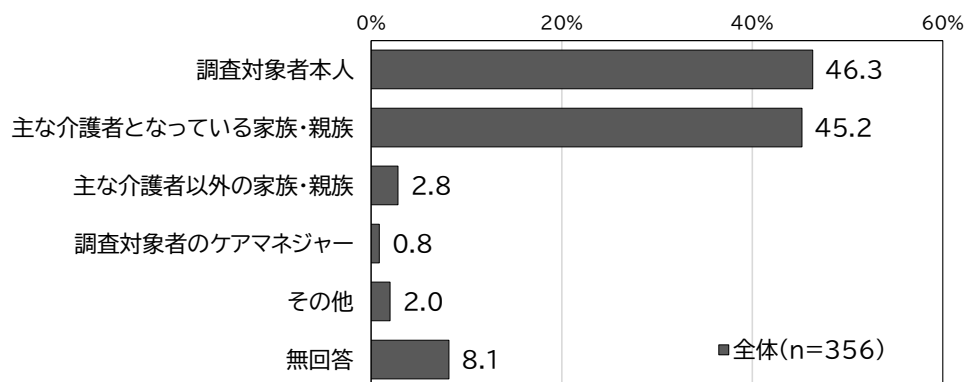


■ 日常生活圏域区分図

2 A票 調査対象者本人について

A票の記入者は、どなたですか。(複数選択可)

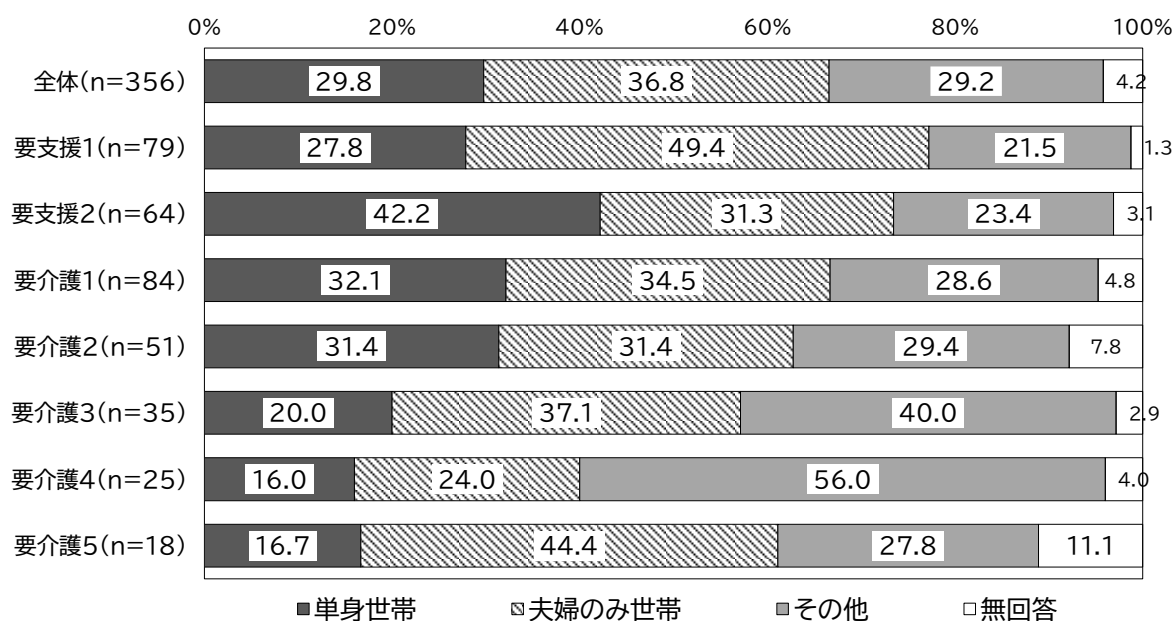
A票の記入者は、「調査対象者本人」の割合が46.3%と最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」の割合が45.2%となっています。



問1 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

全体では、「単身世帯」の割合が29.8%、「夫婦のみ世帯」の割合が36.8%となっています。

要支援・要介護度別にみると、要介護2では「単身世帯」の割合が42.2%と他の要支援・要介護度と比べて高くなっています。

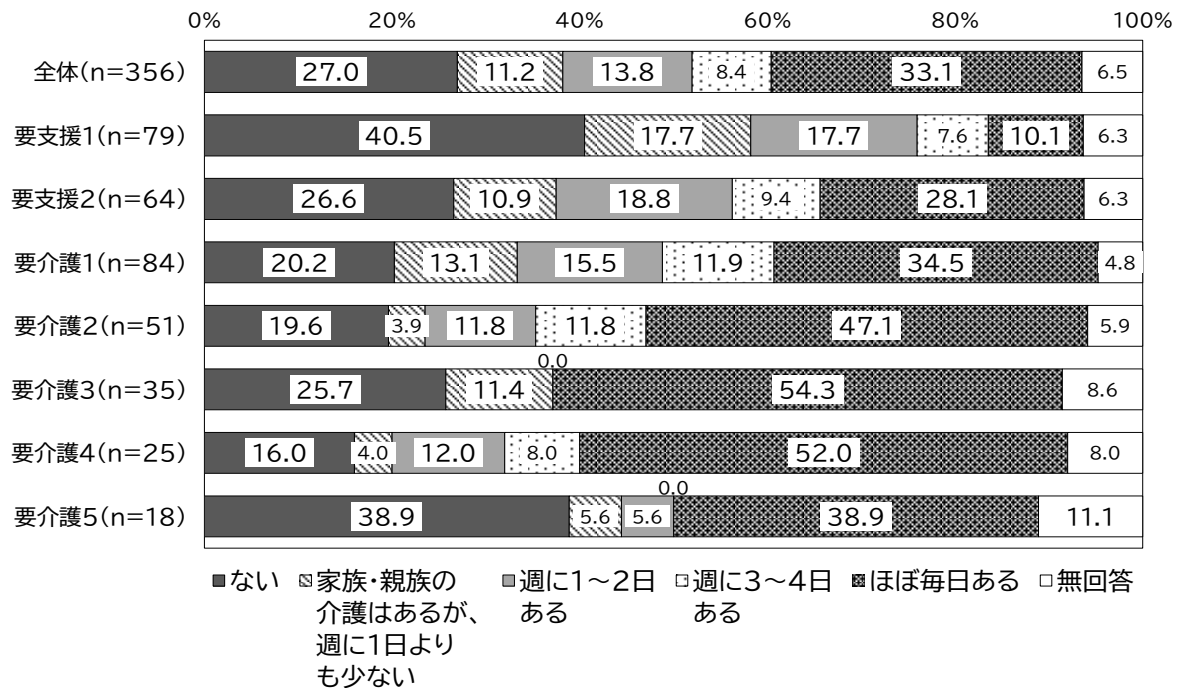


問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。

(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

全体では、「ほぼ毎日ある」の割合が33.1%と最も高く、次いで「ない」の割合が27.0%となっています。

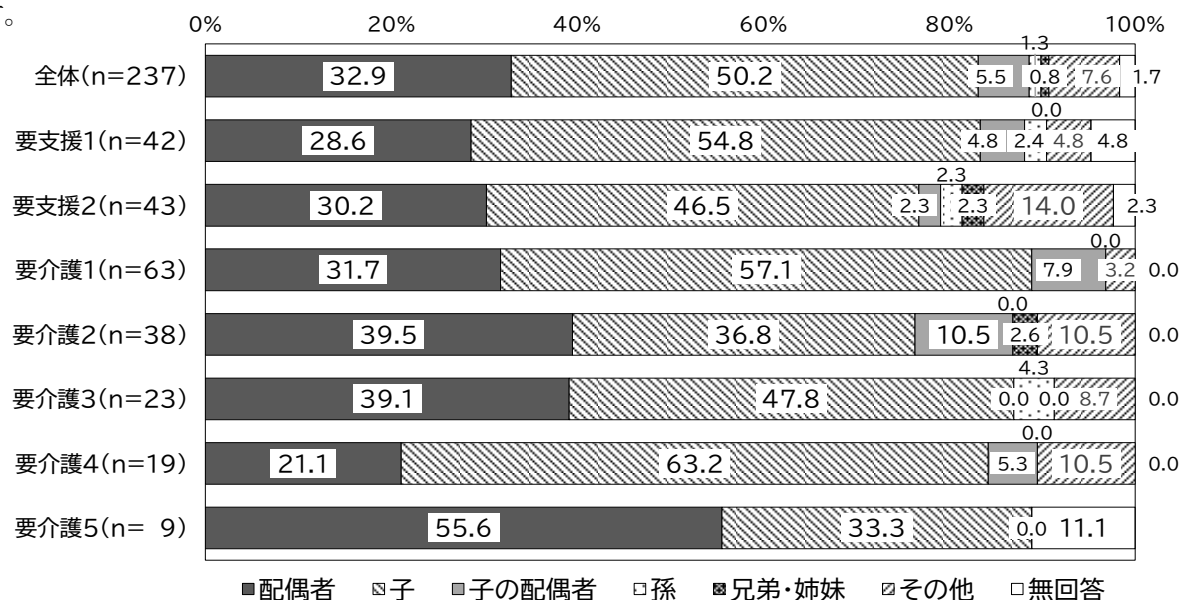
要支援・要介護度別にみると、要支援1と要介護5では「ない」の割合がそれぞれ40.5%、38.9%と約4割となっています。一方、要介護3と要介護4では「ほぼ毎日ある」の割合がそれぞれ54.3%、52.0%で半数を超えています。



問2で「ない」以外を回答した方にお伺いします。

問3 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

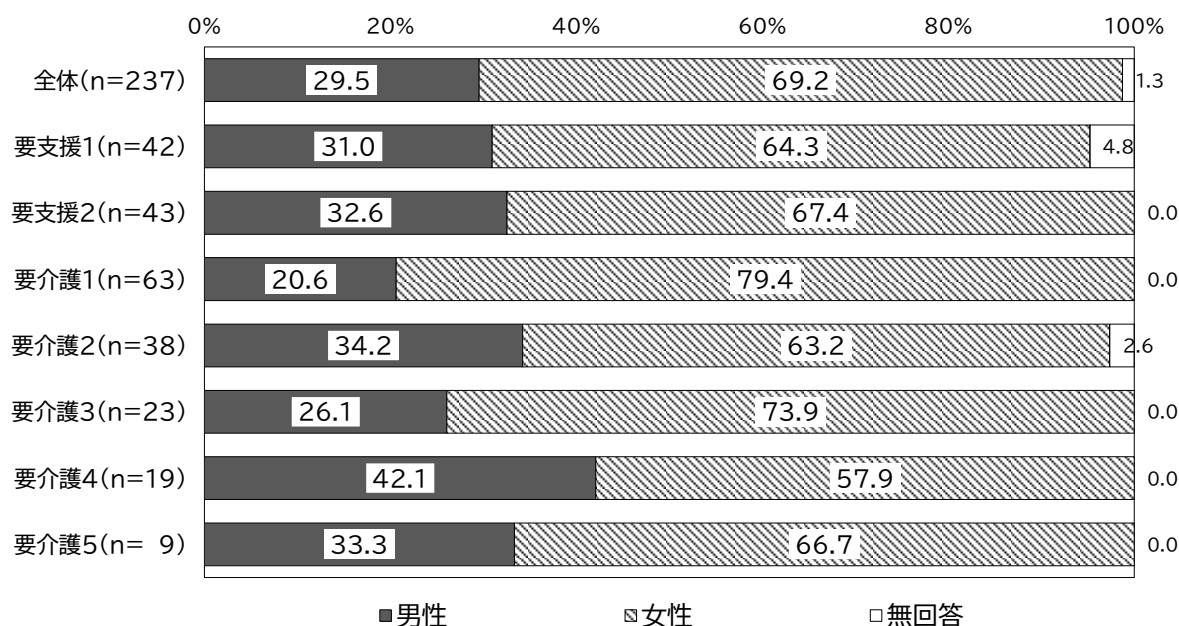
全体では、「子」の割合が50.2%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が32.9%となっています。



問2で「ない」以外を回答した方にお伺いします。

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

全体では、「男性」の割合が29.5%、「女性」の割合が69.2%となっています。



問2で「ない」以外を回答した方にお伺いします。

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

全体では、「60代」の割合が25.7%と最も高く、次いで「50代」の割合が24.5%、「70代」の割合が20.7%となっています。

要支援・要介護度別にみると、要支援1では「60代」の割合が28.6%、要支援2では「50代」の割合が32.6%、要介護1では「60代」の割合が31.7%、要介護2では「70代」の割合が28.9%、要介護3では「70代」の割合が30.4%、要介護4では「50代」と「80歳以上」の割合が同率で31.6%、要介護5では「70代」の割合が44.4%と高くなっています。

単位:%

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全体(n=237)	0.4	0.0	0.8	5.5	24.5	25.7	20.7	19.4	0.8	2.1
要支援1(n=42)	2.4	0.0	0.0	9.5	23.8	28.6	9.5	19.0	0.0	7.1
要支援2(n=43)	0.0	0.0	2.3	9.3	32.6	20.9	20.9	14.0	0.0	0.0
要介護1(n=63)	0.0	0.0	0.0	4.8	22.2	31.7	19.0	19.0	1.6	1.6
要介護2(n=38)	0.0	0.0	0.0	2.6	21.1	23.7	28.9	21.1	2.6	0.0
要介護3(n=23)	0.0	0.0	0.0	4.3	13.0	21.7	30.4	26.1	0.0	4.3
要介護4(n=19)	0.0	0.0	5.3	0.0	31.6	21.1	10.5	31.6	0.0	0.0
要介護5(n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0

問5で「20歳未満」と回答した方にお伺いします。

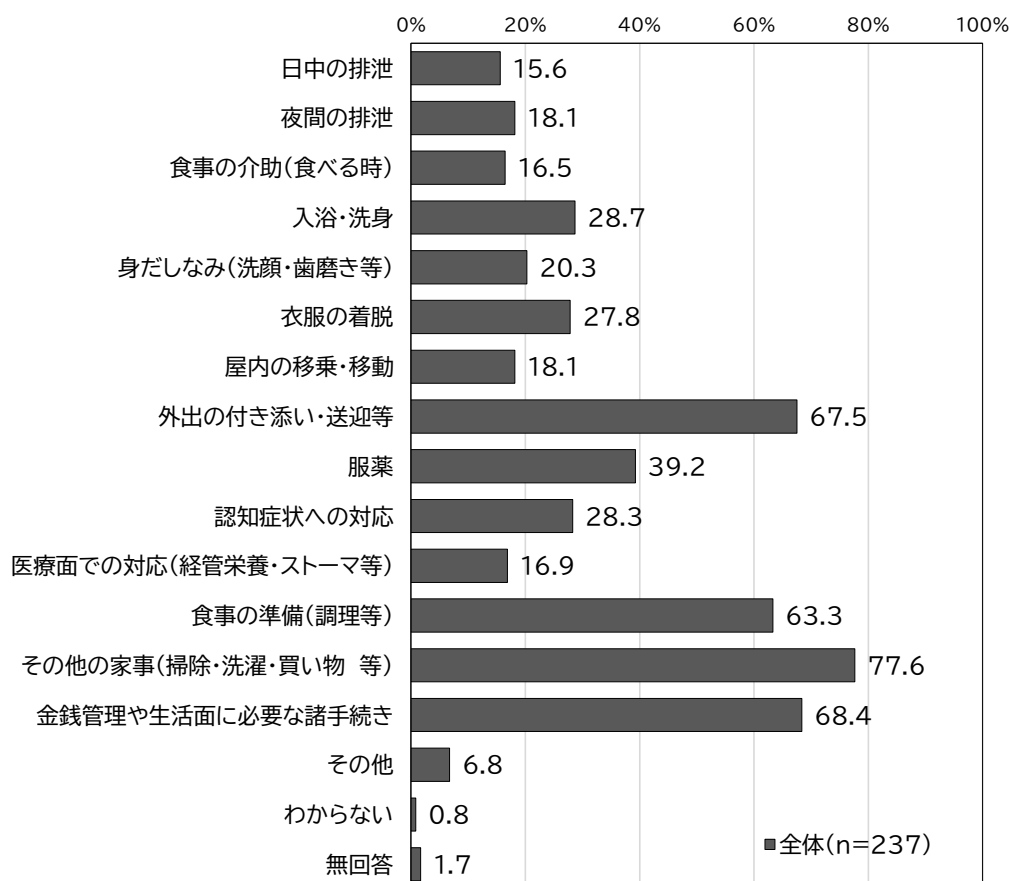
問5-1 介護者について、年齢を記入し当てはまるものを選んでください。

10歳で小学生との回答が1件ありました。

問2で「ない」以外を回答した方にお伺いします。

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

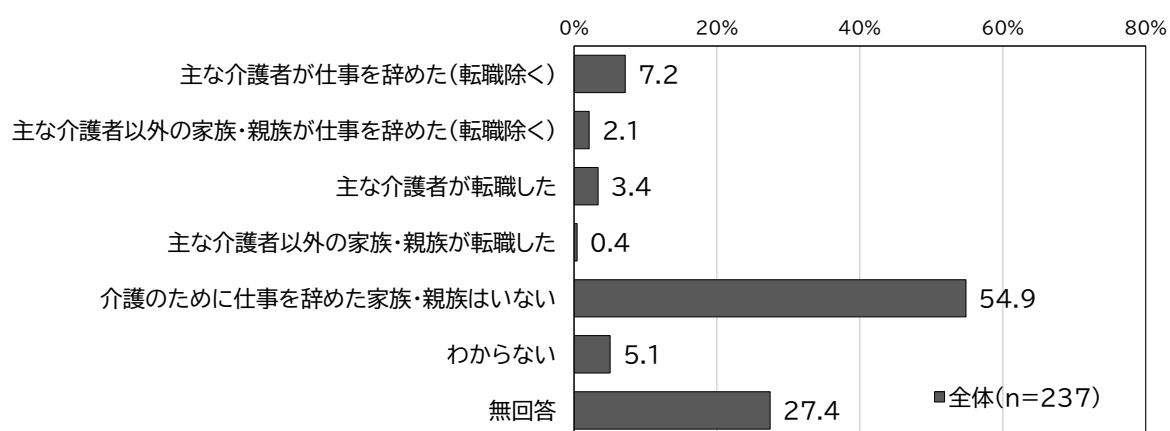
主な介護者の方が行っている介護等では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」の割合が77.6%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が68.4%「外出の付き添い・送迎等」の割合が67.5%、「食事の準備(調理等)」割合が63.3%となっています。



問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。）（複数選択可）

介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が54.9%と最も高くなっています。

また、仕事を辞めた割合（「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」と「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」を合わせた割合）は9.3%、転職した割合（「主な介護者が転職した」と「主な介護者以外の家族・親族が転職した」を合わせた割合）は3.8%となっています。

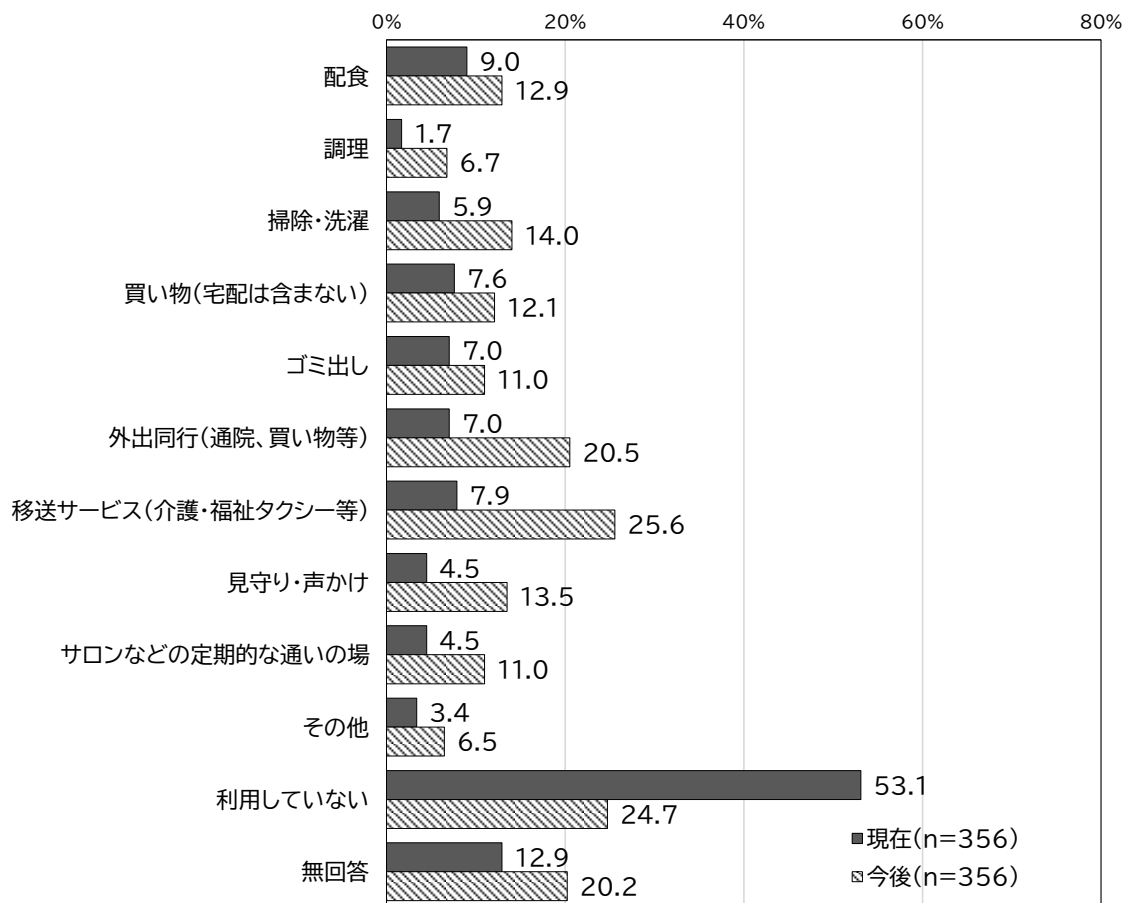


問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数選択可)

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスでは、「利用していない」の割合が53.1%と最も高く、利用しているサービスでは、「配食」の割合が9.0%と最も高くなっています。

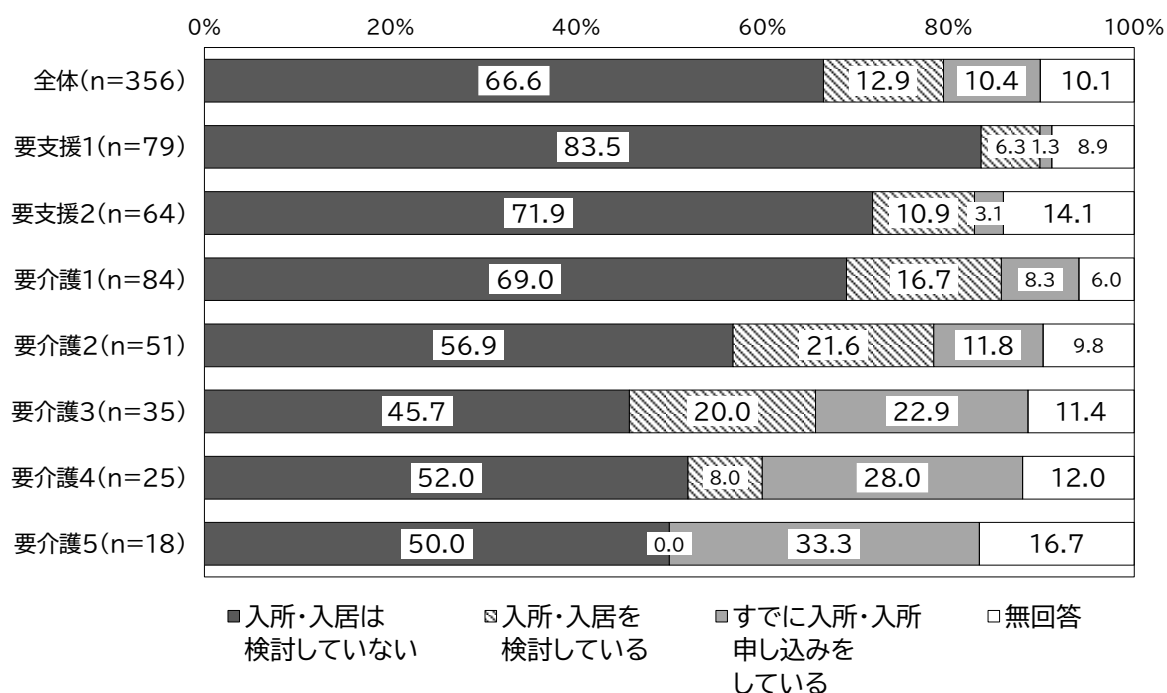
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスでは、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」の割合が25.6%と最も高く、次いで「利用していない」の割合が24.7%、「外出同行(通院、買い物など)」の割合が20.5%となっています。



問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

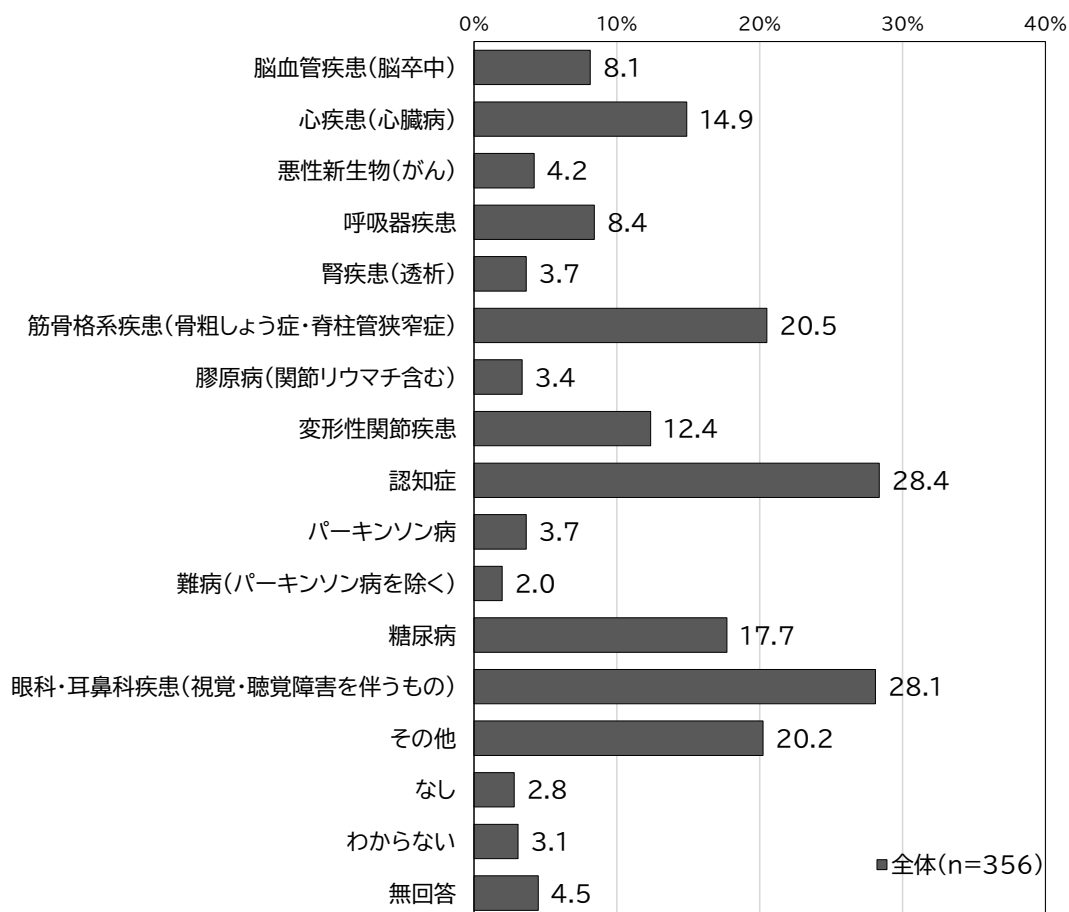
(1つを選択)

全体では、「入所・入居は検討していない」の割合が 66.6%、「入所・入居を検討している」の割合が 12.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が 10.4%となっています。要支援・要介護度別にみると、要支援1から要介護3と高くなるにつれて、「入所・入居は検討していない」の割合が低くなっています。「入所・入居を検討している」の割合は、要支援1から要介護3に高くなるにつれて増加傾向であり、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合では、要介護3から要介護5で2割以上と高くなっています。



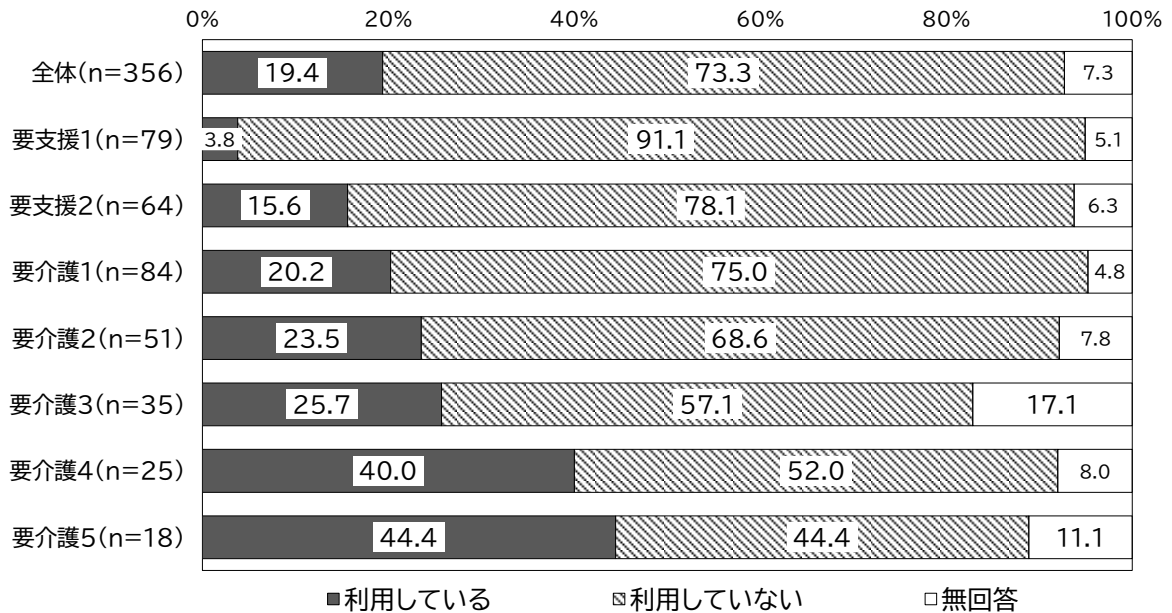
問 11 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
（複数選択可）

現在抱えている傷病では、「認知症」の割合が 28.4%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（聴覚・視覚障害を伴うもの）」の割合が 28.1%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症・脊椎管狭窄症）」の割合が 20.5%となっています。



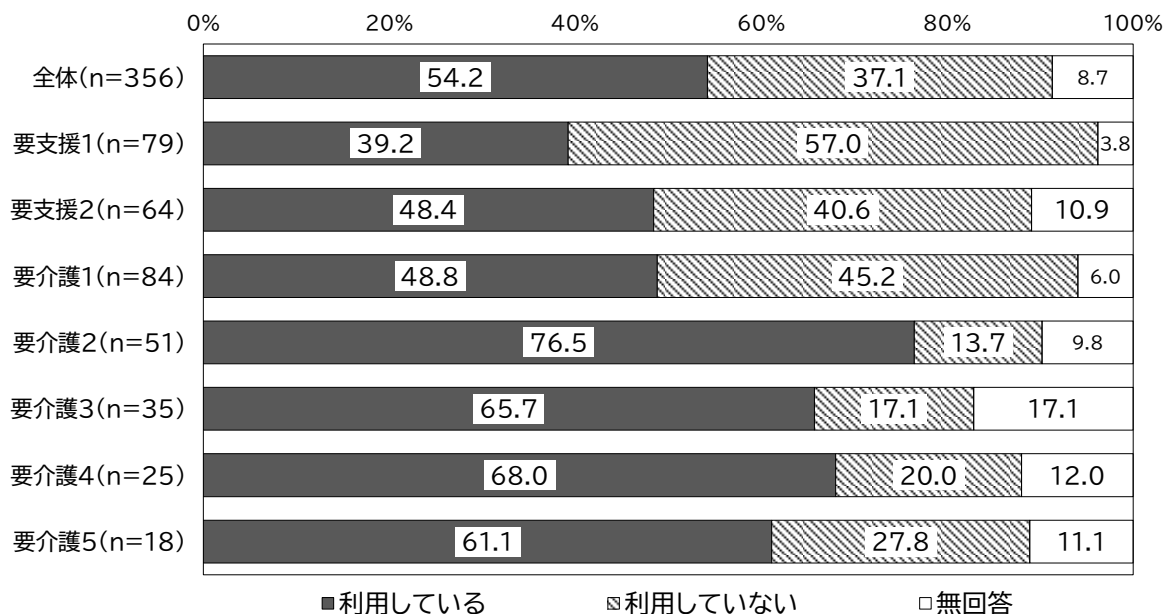
問 12 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）

全体では、「利用している」の割合が19.4%、「利用していない」の割合が73.3%となっており、要支援・要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「利用している」の割合が高くなっています。



問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（1つを選択）

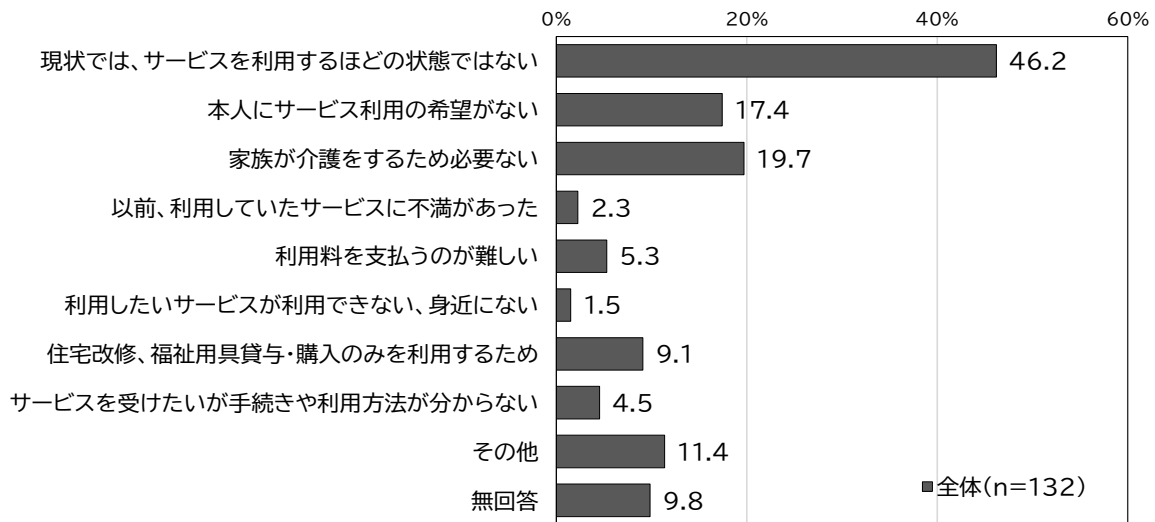
全体では、「利用している」の割合が54.2%、「利用していない」の割合が37.1%となっており、要支援・要介護度別にみると、要介護2では、「利用している」の割合が76.5%と他の要支援・要介護度と比べて高くなっています。また、要介護2から要介護5まで、「利用している」の割合が半数を超えています。



問 13 で「利用していない」を回答した方にお伺いします。

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

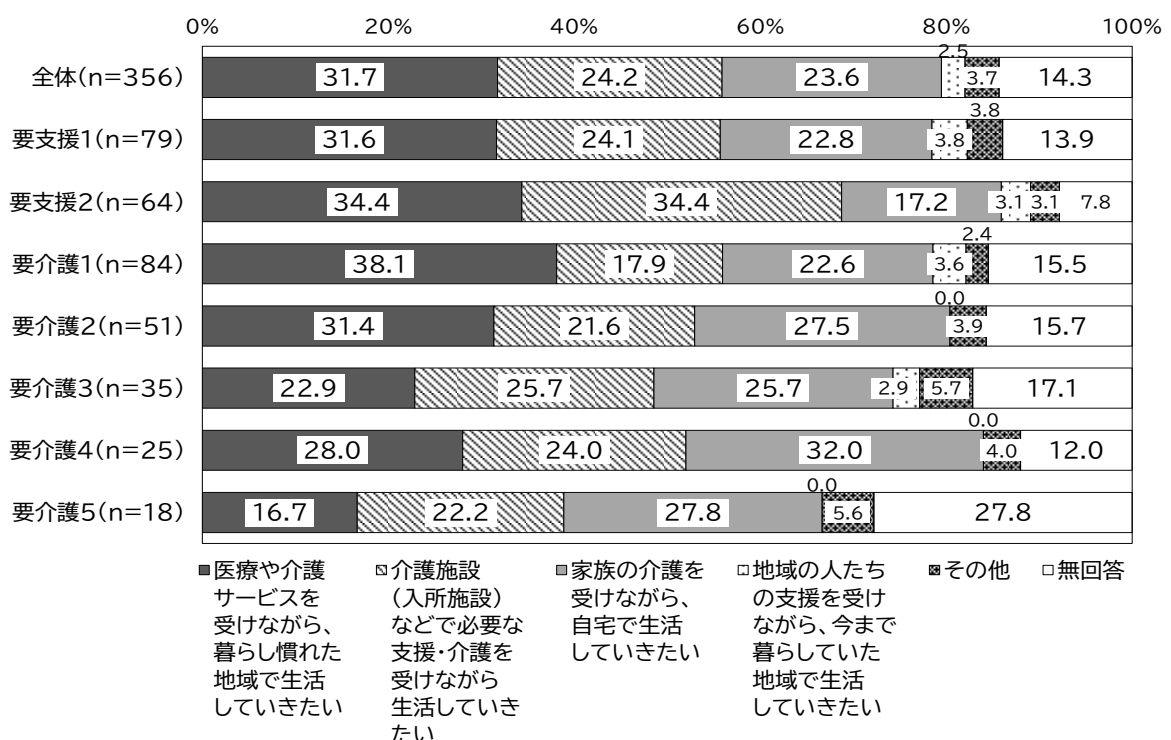
介護保険サービスを利用していない理由では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「家族が介護するため必要ない」の割合が 19.7%、「本人にサービス利用の希望がない」の割合が 17.4%となっています。



問 15 もしあなたが認知症になったら、どのように暮らしたいですか。(1つを選択)

(現在、自身が認知症である場合は、現在の心境に近いと思われる項目を選択してください。)

認知症になった時の暮らしの希望は、全体では、「医療や介護サービスを受けながら、暮らし慣れた地域で生活していきたい」の割合が 31.7%と最も高くなっています。要支援・要介護度別でみると、要介護3と要介護5ではそれぞれ 22.9%、16.7%と他と比べて低くなっています。

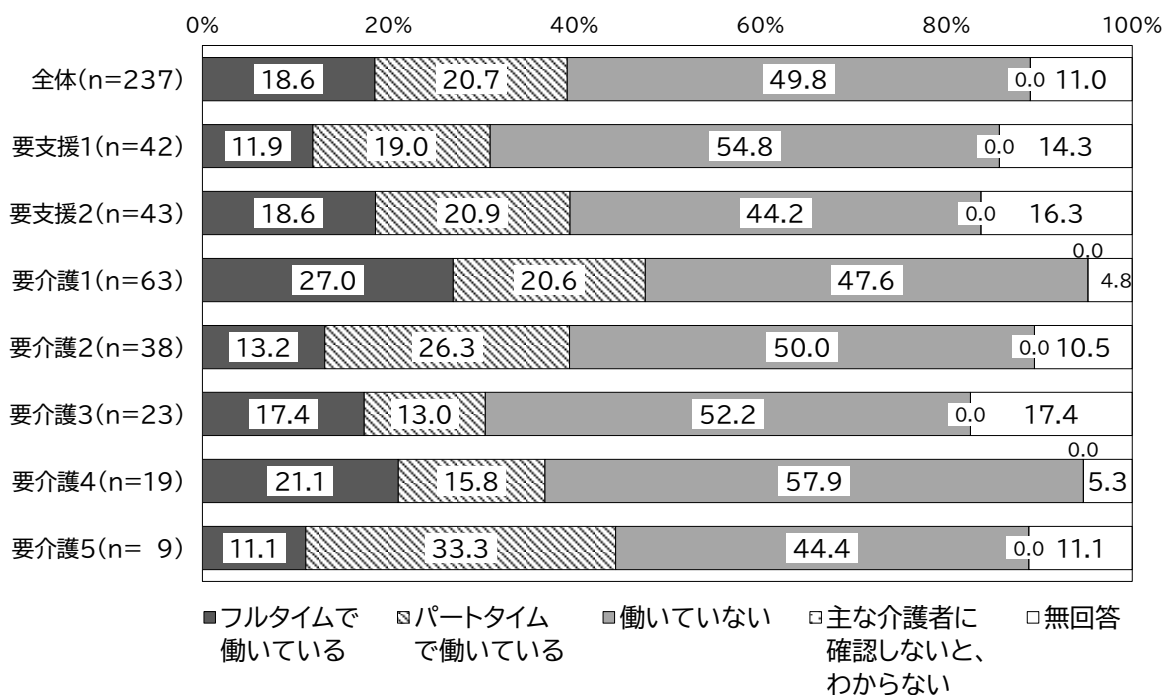


3 B票 主な介護者様、又はご本人様にご回答・ご記入いただく項目

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

全体では、「働いていない」の割合が49.8%と最も高く、次いで「パートタイムで働いている」の割合が20.7%、「フルタイムで働いている」の割合が18.6%となっています。

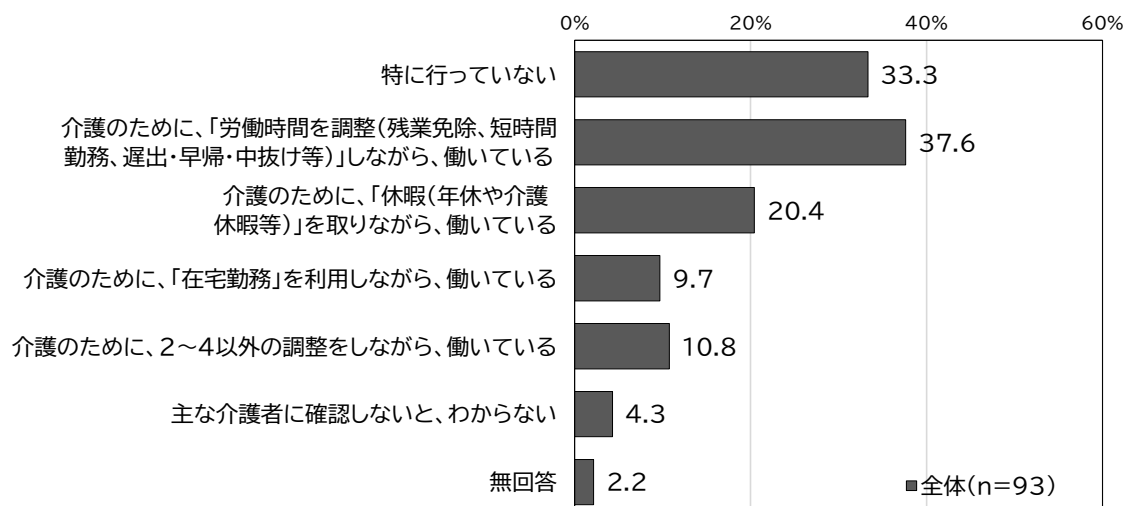
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護1で「フルタイムで働いている」の割合が27.0%、要介護5では、「パートタイムで働いている」の割合が33.3%と高くなっています。



問1で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数選択可)

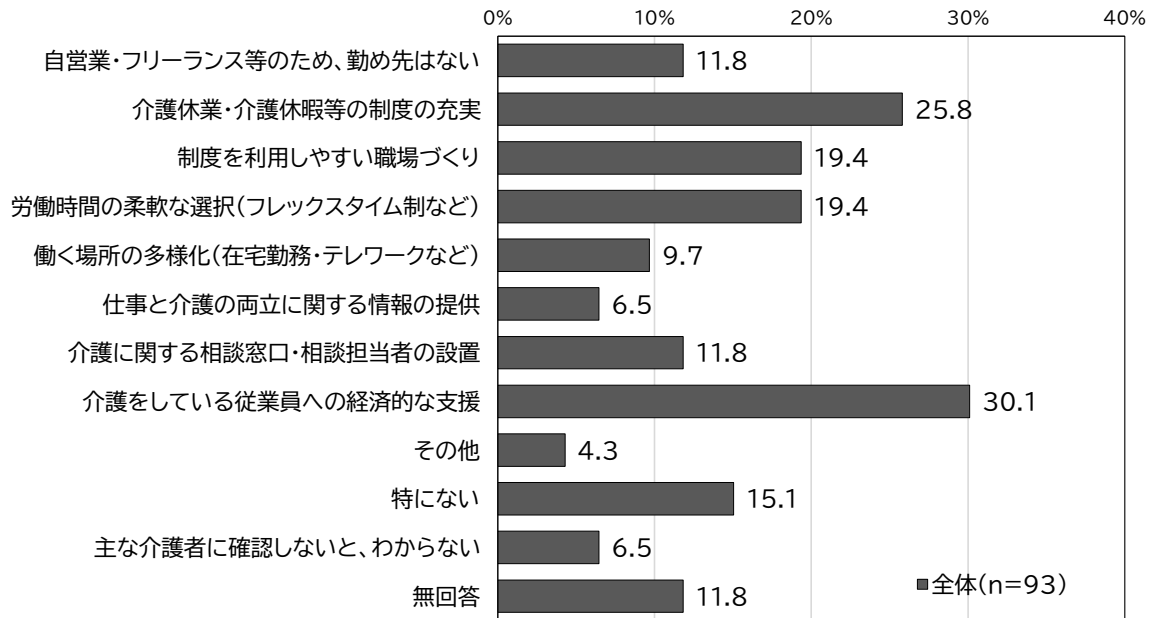
介護をするにあたっての働き方の調整等については、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」の割合が37.6%と最も高く、次いで「特に行っていない」の割合が33.3%となっています。



問1で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

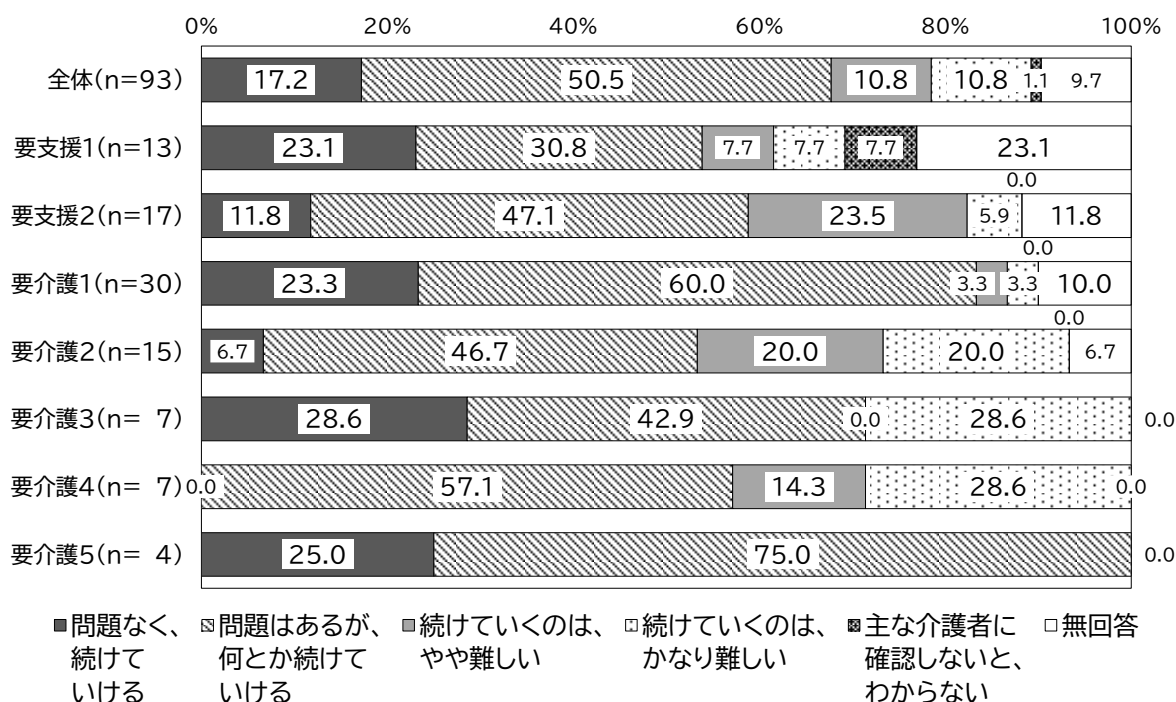
勤め先からの支援については、「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が30.1%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が25.8%となっています。



問1で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つを選択）

全体では、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が50.5%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が17.2%、「続けていくのは、やや難しい」及び「続けていくのは、かなり難しい」の割合が10.8%となっています。



問4-1 上記の回答の理由を教えてください。

回答の主な理由については、以下のとおりです。

【問題なく、続けていける】

- ・週3日の介護なので続けていける
- ・短時間勤務だから
- ・自営業のため時間調整ができる
- ・時間の自由がきくのでやっていける
- ・現在は休みがとりやすい職場なので
- ・早朝パートで突発がなければ続けられる
- ・自営業なので何とか続けている

【問題はあるが、何とか続けていける】

- ・勤務先が理解あるので続けていけている
- ・両親の状況が変わらなければ何とか対応
- ・パート先の理解でシフトを減らして対応
- ・収入のため働く必要がある
- ・仕事で家を空けるのは心配だが様子を見ながら働いている
- ・同居していない家族が手伝ってくれる
- ・会社の制度はあるが使いづらい

- ・子ども2人で交代しながらなんとか続けている
- ・介護者が複数いるため交代で行う
- ・仕事を調整しながらギリギリ続けている
- ・休みや休暇を利用して何とかやっている
- ・シフト調整が必要だが何とかできそう
- ・働く時間を調整している
- ・体調不良時は早退や交代で対応
- ・今の症状なら何とか行える
- ・現状維持なら可能
- ・今のところは時間がある時に訪問で済んでいる
- ・休みの調整をしながら対応
- ・今は何とかやっている

【続けていくのは、やや難しい】

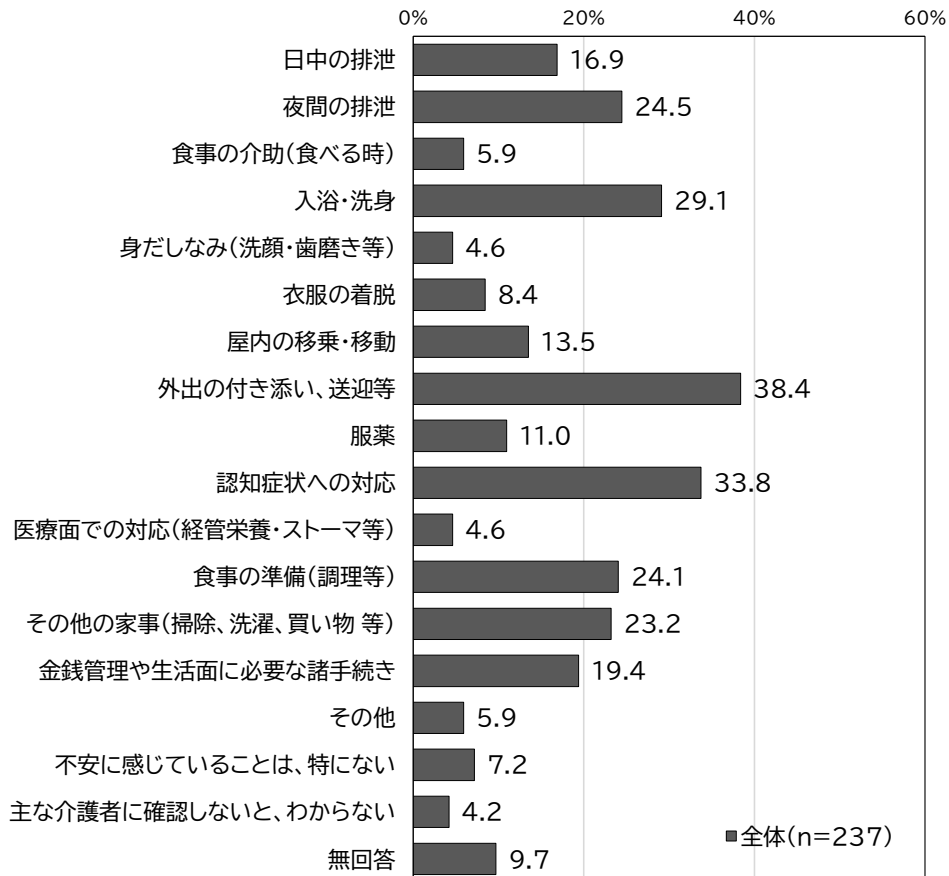
- ・孫の援助はあるが一人で心配
- ・有休が足りない
- ・自分の体力の衰えが心配
- ・仕事と介護の両立がいつまでできるか課題
- ・認知が進みできないことが増えている
- ・介護者も年をとり時間に縛られる
- ・認知症が重くなれば施設を考えている
- ・本人が家族以外の介護を拒否し負担が集中
- ・将来的に不安
- ・介護者の体力がなく両立がきつい
- ・仕事かとぎれとぎれになり集中できない
- ・夜間のトイレ対応で寝不足
- ・交通費負担などで厳しい
- ・デイサービスがない日は遅刻・早退が多い
- ・体調が心配
- ・夫の運転が難しくなり付き添いが増える
- ・今後はわからない
- ・はいかいの兆しがあり今後不明
- ・これ以上認知が進んだ場合は難しい

【続けていくのは、かなり難しい】

- ・四六時中見守りが必要
- ・1日中の介護が必要で働きながらは難しい
- ・希望する介護サービスが受けられず限界
- ・実家が遠く精神的、身体的に限界
- ・介護者の精神面、体力面が疲弊
- ・金銭的に施設入所が難しい
- ・疲れるため
- ・認知症への対応が難しく支援機関の案内が不十分
- ・すでに在宅介護が破綻し施設入所した（在宅継続不可）

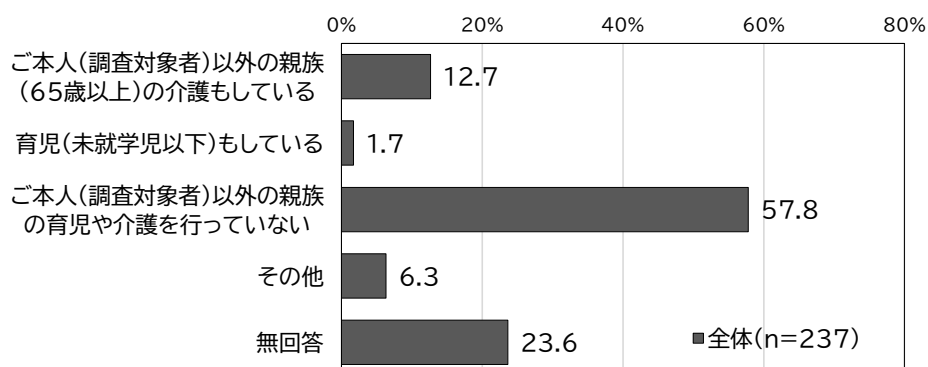
問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

主な介護者の方が不安に感じる介護等では、「外出の付き添い、送迎等」の割合が38.4%と最も高く、次いで「認知症状への対応」の割合が33.8%、「入浴・洗身」の割合が29.1%となっています。



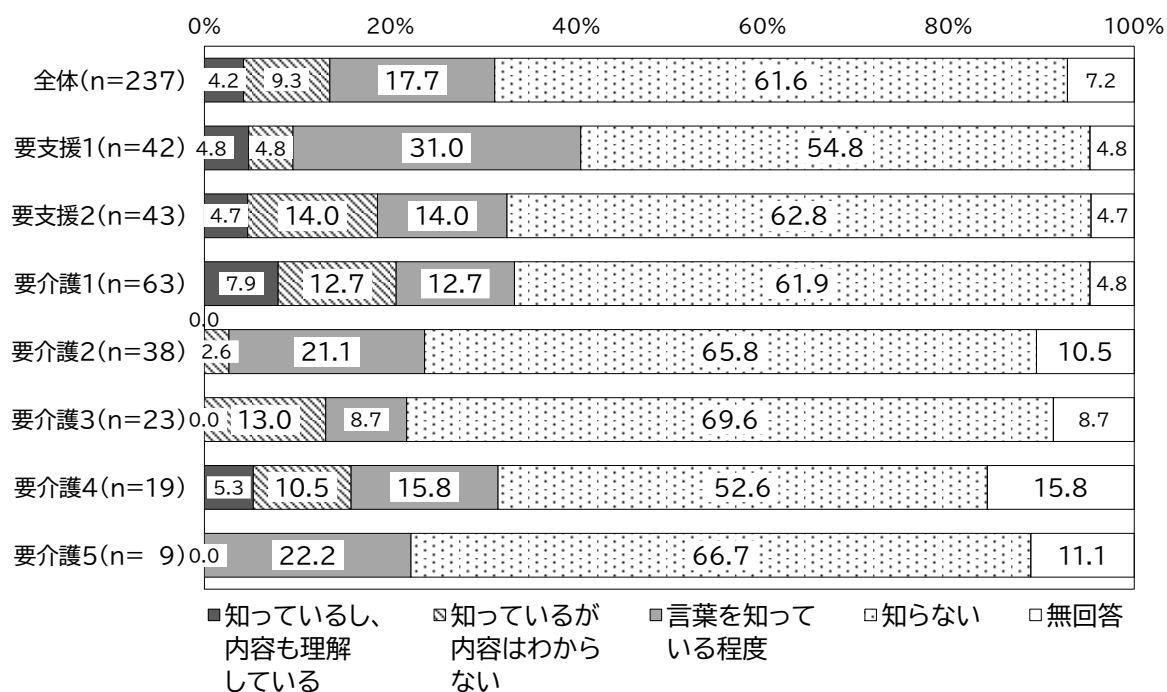
問6 現在、主な介護者の方は、ご本人（調査対象者）以外に親族の育児や介護を行っていますか。（複数回答可）

「ご本人（調査対象者）以外の親族（65歳以上）の介護もしている」の割合が12.7%、「育児（未就学児以下）もしている」の割合が1.7%、「ご本人（調査対象者）以外の親族の育児や介護を行っていない」の割合が57.8%となっています。



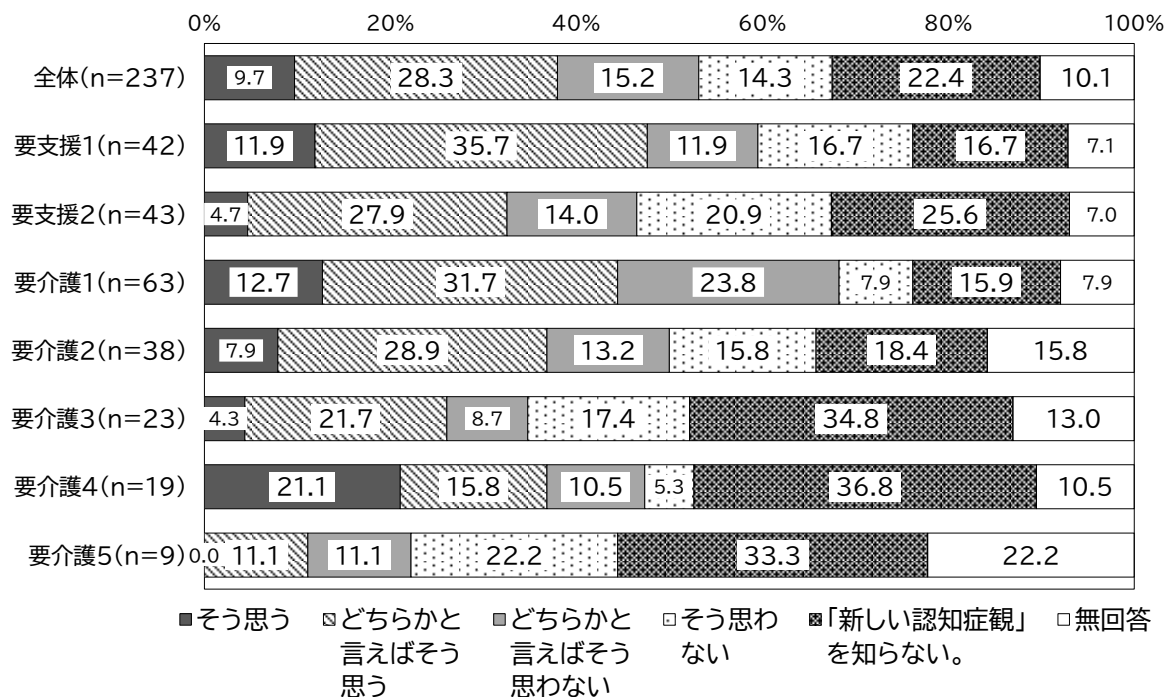
問7 令和6年1月1日に「認知症基本法」が施行されたことを知っていますか。(1つを選択)

全体では、「知っているし、内容も理解している」の割合が4.2%、「知っているが内容は分からない」の割合が9.3%、「言葉を知っている程度」の割合が17.7%、「知らない」の割合が61.6%となっています。要支援・要介護度別でみると、「知っているし、内容も理解している」の割合が、要介護1では7.9%と他と比べて高くなっています。また、「知らない」の割合は要介護3で69.6%と7割近くと高くなっています。



問8 令和6年12月に「認知症施策推進基本計画」において示された、「新しい認知症観」に関してお尋ねします。「認知症になったら何もできなくなるのではなく、住み慣れた地域で仲間等つながりながら、希望を持って暮らすことができる」と思いますか。

全体では、「そう思う」の割合が9.7%、「どちらかと言えばそう思う」の割合が28.3%、「どちらかと言えばそう思わない」の割合が15.2%、「そう思わない」の割合が14.3%、「新しい認知症観」を知らないの割合が22.4%となっています。要支援・要介護度別でみると「そう思う」の割合が要支援4で21.1%と他と比べて高くなっています。また、「新しい認知症観」を知らないの割合が要介護3から要介護5にかけて3割台と高くなっています。



問8-1 上記の回答の理由を教えてください。

回答の主な理由については、以下のとおりです。

【そう思う（「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」）】

- ・認知症は個人差がある
- ・多少の認知症は許容したい
- ・周囲が理解すれば可能
- ・デイサービスで改善している例
- ・住み慣れた地域で暮らしたい
- ・そうなることを願っている
- ・仲間がいれば改善する
- ・できる事、できない事は同時に起きない
- ・希望を持って暮らせるようになれば良い
- ・どちらかと言えばそう思う／そう思いたい
- ・本人の意欲とサポートがあれば可能
- ・住み慣れた地域で仲間と生きたい
- ・生活の変化が少ない方が良い
- ・今現在がそうだか
- ・できる事を続けられている
- ・住み慣れた地域は安心

- ・希望を持って自分らしく生活できる方が良い
- ・デイサービスなどで楽しめている
- ・近所の助け合いがある
- ・当然のこと
- ・本人が望んでいる
- ・新しい認知症観が広まれば良い
- ・希望を持って自分らしく暮らせるのが良い
- ・その通りだと思う
- ・父が認知症だった経験から
- ・近所のつきあいがあり助け合える
- ・本人の理解とサポートがあれば可能
- ・生活の変化がない方が症状は進まない
- ・認知症でも昔からの活動はできる
- ・住み慣れた地域での生活は安心
- ・人とのつながりが大切
- ・認知症観を知れて良かった

【そう思わない（「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」）】

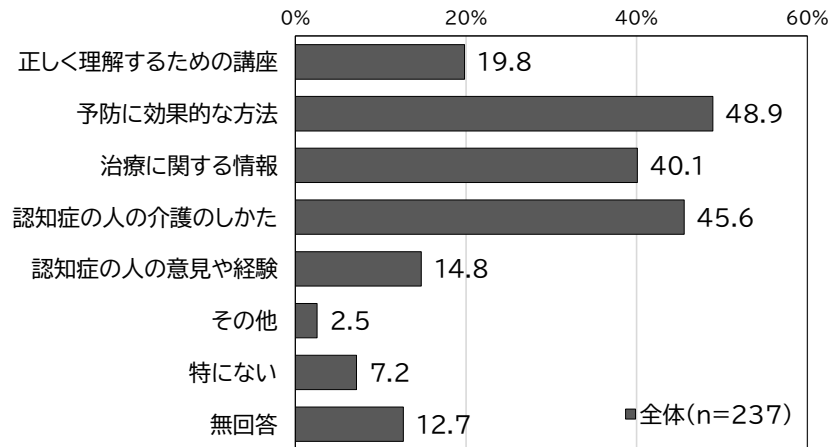
- ・介護者が90歳を超えており現実的でない
- ・知らないので回答できない
- ・誰かがいないと行えない
- ・介護してもらうのも大変
- ・意欲がなくなる
- ・情報が少なく支援が不十分
- ・市や地域のつながりが弱い
- ・本人が自ら輪に入るのは困難
- ・サービスが足りない
- ・コミュニケーションが難しい
- ・家族に迷惑をかけたくない
- ・介護者がいないと無理
- ・介護負担が大きい
- ・タクシーも来ないなど支援不足
- ・支援が弱い／介護保険が不足
- ・住み慣れた環境でも混乱する
- ・どこまでつながれるか不安
- ・住み慣れた地域の必然性はない
- ・施設に入りたいが介護度が上がり無理
- ・人員不足でサポートが難しい
- ・理想と現実が違う
- ・一人では生活できない
- ・地域のつながりが無い
- ・認知症者への理解が得られない
- ・身体的に不可能
- ・仲間が亡くなりやすく難しい
- ・新しい認知症観があるなら認知症ではない（否定）
- ・話がかみ合わない
- ・危険なことが起きる
- ・近所に頼れる人がいない
- ・家族が大変でストレス
- ・情報が少なく実現できるかわからない
- ・人とのつながりを避ける人もいる
- ・社会全体が冷たい
- ・理想と現実
- ・独居は不安
- ・理想だが難しい人もいる
- ・金銭的に希望が持てない
- ・人見知りでつながれない
- ・地域のコミュニケーションが取れない
- ・現状では難しい
- ・人との接触がない
- ・デイサービスに行きたがらない
- ・認知症の人を知らないので不安
- ・理想だがマンパワー不足
- ・本当にできるのか疑問
- ・一人になったら難しい

【わからない】

- ・知らないので回答できない
- ・何とも言えない
- ・分からない
- ・聞いたことがなかった
- ・人によりけりで判断できない

問9 あなたは、認知症についてどのようなことに関心がありますか。(複数選択可)

認知症について関心のあるものは、「予防に効果的な方法」の割合が48.9%と最も高く、次いで「認知症の人の介護のしかた」の割合が45.6%、「治療に関する情報」の割合が40.1%となっています。

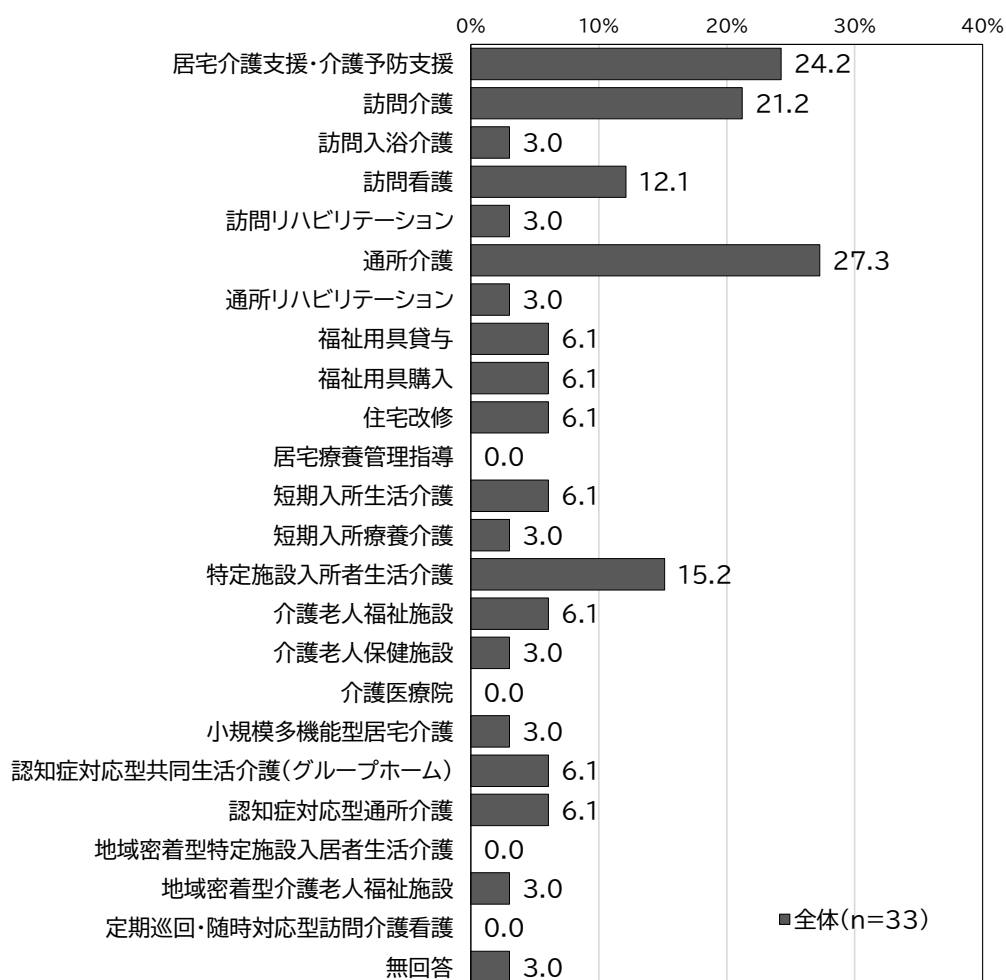


V 事業者アンケート調査

問1 事業所の活動状況について教えてください。

①サービスの種類（あてはまるものすべてに○）

事業所のサービスの種類は、「通所介護」の割合が27.3%と最も高く、次いで「居宅介護支援・介護予防支援」の割合が24.2%、「訪問介護」の割合が21.2%、「特定施設入所者生活介護」の割合が15.2%となっています。なお、「居宅療養管理指導」、「介護医療院」、「地域密着型特定施設入所者生活介護」及び「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を提供していると回答した事業所は、ありませんでした。



「訪問介護」「通所介護」を提供している事業者におたずねします。

②職員・スタッフ（複数の資格を持つ場合は、現に勤務する職種）

「訪問介護」、「通所介護」提供事業者の職員・スタッフの数は、以下のとおりとなっています。

種類	訪問介護		通所介護	
	常 勤	非常勤	常 勤	非常勤
実務者研修修了者(旧ヘルパー1級)	3人	5人	3人	1人
初任者研修修了者(旧ヘルパー2級)	3人	30人	3人	13人
生活援助従事者研修修了者(旧ヘルパー3級)	－	2人	－	－
初任者研修修了者	1人	8人	－	3人
介護支援専門員	2人	1人	1人	－
医師	－	－	－	－
看護師	10人	1人	2人	21人
保健師	－	－	－	－
管理栄養士	－	－	2人	－
栄養士	－	－	－	－
社会福祉士	－	1人	2人	－
社会福祉主事	－	－	－	－
介護福祉士	25人	35人	44人	29人
作業療法士・理学療法士	2人	1人	1人	5人
言語聴覚士	－	－	－	－
管理職・事務職	6人	4人	11人	2人
その他スタッフ	4人	6人	14人	14人

施設サービス系の事業者におたずねします

問2 施設の定員と令和7年10月中の平均利用者数（入所とショートステイ）についてご記入ください。

施設の定員と利用者数は以下のとおりです。

入所について、介護老人福祉施設では、施設定員210人に対して利用者204人、地域密着型介護老人福祉施設では、施設定員11人に対して利用者11人、介護老人保健施設では、施設定員148人に対して利用者142人となっています。なお、利用者数に対する武蔵村山市民の利用率は、介護老人福祉施設で68.1%、地域密着型介護老人福祉施設で100%、介護老人保健施設で48.6%となっています。

ショートステイについて、介護老人福祉施設では、定員16床に対して利用者27床、介護老人保健施設では、定員の回答はありませんでしたが利用者数は2.5床となっています。

種類	入所			ショートステイ		
	施設定員	利用者数	うち武蔵村山市民	ショート定員	利用者数	うち武蔵村山市民
介護老人福祉施設	210人	204人	139人	16床	27床	26床
地域密着型介護老人福祉施設	11人	11人	11人	－	－	－
介護老人保健施設	148人	142人	69人	－	2.5床	1.1床

問3 今後の利用者の見通しについてはどのようにお考えですか。あてはまる番号に○印をつけてください。（それぞれ1つに○）

介護老人福祉施設では、回答数2件で、いずれも「今（令和7）年度見込みと同じくらい提供できる見込み」と回答されています。また、地域密着型介護老人福祉施設では、回答数1件で、「今（令和7）年度見込みと同じくらい提供できる見込み」と回答されています。介護老人保健施設では、回答はありませんでした。

介護老人福祉施設	今(令和7)年度見込みと同じくらい提供できる見込み	2件
地域密着型介護老人福祉施設	今(令和7)年度見込みと同じくらい提供できる見込み	1件
介護老人保健施設	なし	

1 介護サービスについて

問4 介護サービスについて、

(1) 現在提供しているサービス(〇はいくつでも)

(2) 令和7年10月のサービス提供量(武蔵村山市分のみ)についてご記入ください。

現在提供している介護サービスは、以下のとおりです。

種類		提供しているもの	令和7年10月の提供量 (武蔵村山分のみ)
居宅サービス	訪問介護	5 事業所	2,379 時間
	訪問入浴介護	1 事業所	154 回
	訪問看護	4 事業所	1,182 回
	訪問リハビリテーション	1 事業所	240 回
	居宅療養管理指導	0 事業所	- 人
	通所介護	3 事業所	1,520 回
	通所リハビリテーション	1 事業所	636 回
	短期入所生活介護	2 事業所	373 日
	短期入所療養介護	1 事業所	33 日
	特定施設入居者生活介護	4 事業所	101 人
	福祉用具の貸与	2 事業所	104 人
	特定福祉用具販売	2 事業所	2 人
地域密着型サービス	夜間対応型訪問介護	0 事業所	- 回
	認知症対応型通所介護	0 事業所	- 回
	小規模多機能型居宅介護	1 事業所	420 回
	認知症対応型共同生活介護	1 事業所	17 人
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0 事業所	- 人
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0 事業所	- 人
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0 事業所	- 時間
	看護小規模多機能型居宅介護	0 事業所	- 回
	地域密着型通所介護	6 事業所	1,552 回
その他	住宅改修	2 事業所	2 人
	居宅介護支援	7 事業所	587 人

注) 令和7年10月の提供量は、提供事業所の合計値。

問5 問4の各サービスの来年度以降の予定について、それぞれあてはまる番号に○印をつけてください。(それぞれ1つに○)

「令和7年度と同程度」以上の割合（増加と同程度を合わせた割合）が10%を超えているものは、「訪問介護」で15.2%、「通所介護」で12.1%、「特定施設入所者生活介護」で12.1%、地域密着型通所介護で21.2%、「居宅介護支援」で21.2%となっています。

単位:%

種類		令和7年度より増加	令和7年度より同程度	増加+同程度	令和7年度より減少	提供予定なし	未定	無回答
居宅サービス	訪問介護	0.0	15.2	15.2	3.0	12.1	0.0	69.7
	訪問入浴介護	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	81.8
	訪問看護	3.0	6.1	9.1	0.0	18.2	3.0	69.7
	訪問リハビリテーション	0.0	3.0	3.0	3.0	18.2	0.0	75.8
	居宅療養管理指導	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	81.8
	通所介護	0.0	12.1	12.1	0.0	12.1	0.0	75.8
	通所リハビリテーション	0.0	6.1	6.1	0.0	18.2	0.0	75.8
	短期入所生活介護	0.0	6.1	6.1	0.0	12.1	0.0	81.8
	短期入所療養介護	0.0	3.0	3.0	0.0	18.2	0.0	78.8
	特定施設入居者生活介護	3.0	9.1	12.1	0.0	18.2	0.0	69.7
	福祉用具の貸与	3.0	0.0	3.0	0.0	18.2	3.0	75.8
	特定福祉用具販売	3.0	0.0	3.0	0.0	18.2	3.0	75.8
地域密着型サービス	夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	0.0	84.8
	認知症対応型通所介護	0.0	3.0	3.0	0.0	12.1	0.0	84.8
	小規模多機能型居宅介護	0.0	3.0	3.0	0.0	15.2	0.0	81.8
	認知症対応型共同生活介護	0.0	6.1	6.1	0.0	12.1	0.0	81.8
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	0.0	84.8
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0.0	3.0	3.0	0.0	12.1	0.0	84.8
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	0.0	84.8
	看護小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	0.0	84.8
	地域密着型通所介護	0.0	21.2	21.2	0.0	9.1	0.0	69.7
その他	住宅改修	3.0	0.0	3.0	0.0	18.2	3.0	75.8
	居宅介護支援	3.0	18.2	21.2	3.0	6.1	0.0	69.7

全体(n=33)

2 介護予防サービスについて

問6 介護予防サービスについて、

(1) 現在提供しているサービス(〇はいくつでも)

(2) 令和7年10月のサービス提供量(武蔵村山市分のみ)についてご記入ください。

現在提供している介護予防サービスは、以下のとおりです。

種類		提供しているもの	令和7年10月の提供量 (武蔵村山分のみ)
居宅サービス	介護予防訪問入浴介護	0 事業所	- 回
	介護予防訪問看護	4 事業所	131 回
	介護予防訪問リハビリテーション	1 事業所	240 回
	介護予防居宅療養管理指導	0 事業所	- 人
	介護予防通所リハビリテーション	2 事業所	27 回
	介護予防短期入所生活介護	2 事業所	8 日
	介護予防短期入所療養介護	1 事業所	- 日
	介護予防特定施設入居者生活介護	4 事業所	39 人
	介護予防福祉用具の貸与	2 事業所	69 人
	特定介護予防福祉用具販売	2 事業所	1 人
地域密着型	介護予防認知症対応型通所介護	1 事業所	- 回
	介護予防小規模多機能型居宅介護	1 事業所	- 回
	介護予防認知症対応型共同生活介護	2 事業所	- 人
その他	住宅改修	2 事業所	1 人
	介護予防支援	5 事業所	418 人

注) 令和7年10月の提供量は、提供事業所の合計値。

問7 問6の各サービスの来年度以降の予定について、それぞれあてはまる番号に○印をつけてください。(それぞれ1つに○)

「令和7年度と同程度」以上の割合（増加と同程度を合わせた割合）が10%を超えているものは、「介護予防訪問介護」で12.1%、「介護予防支援」18.2%となっています。

単位:%

種 類		令和7年度より増加	令和7年度と同程度	増加+同程度	令和7年度より減少	提供予定なし	未定	無回答
居宅サービス	介護予防訪問入浴介護	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	3.0	81.8
	介護予防訪問看護	3.0	9.1	12.1	0.0	12.1	3.0	72.7
	介護予防訪問リハビリテーション	0.0	0.0	0.0	3.0	15.2	0.0	81.8
	介護予防居宅療養管理指導	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	0.0	84.8
	介護予防通所リハビリテーション	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	81.8
	介護予防短期入所生活介護	0.0	6.1	6.1	0.0	9.1	0.0	84.8
	介護予防短期入所療養介護	0.0	3.0	3.0	0.0	15.2	0.0	81.8
	介護予防特定施設入居者生活介護	0.0	6.1	6.1	0.0	15.2	3.0	75.8
	介護予防福祉用具の貸与	3.0	0.0	3.0	0.0	15.2	3.0	78.8
	特定介護予防福祉用具販売	3.0	0.0	3.0	0.0	15.2	3.0	78.8
地域密着型	介護予防認知症対応型通所介護	0.0	3.0	3.0	0.0	12.1	0.0	84.8
	介護予防小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	3.0	81.8
	介護予防認知症対応型共同生活介護	0.0	3.0	3.0	0.0	12.1	3.0	81.8
その他	住宅改修	3.0	0.0	3.0	0.0	15.2	3.0	78.8
	介護予防支援	6.1	12.1	18.2	0.0	6.1	0.0	75.8

全体(n=33)

問8 介護サービス（介護予防サービスを含む）の地域密着型サービスへの参入について、障害となっていることや行政等に望む支援等があれば、ご記入ください。

障害となっていることや行政に望む支援等として、以下の意見がありました。

- ・近年、株式会社も含めたデイサービス事業所が急速に増加しており、地域全体での人材需要が大幅に高まっております。その結果、介護職員の獲得競争が激しくなり、既存、新規参入事業者にとっては安定した職員の確保、定着が非常に難しい状況。過度な競争ではなく、地域全体のバランスを踏まえた事業展開につながる計画の整備をお願いしたい。
- ・報酬単価が低く対費用効果が悪く、ご利用者様の状況によっては経費で赤字になってしまう
- ・入浴のみのサービス（通所型）がない。
- ・瑞穂にあるも瑞穂の地域密着型のため利用が困難。

3 その他のサービスと事業所の運営について

問9 現在の介護保険制度にあるサービス以外で、

- (1) 現在提供しているもの
- (2) 今後、武蔵村山市に提供したいものがあればご記入ください。

その他のサービスの提供状況は、以下のとおりです。

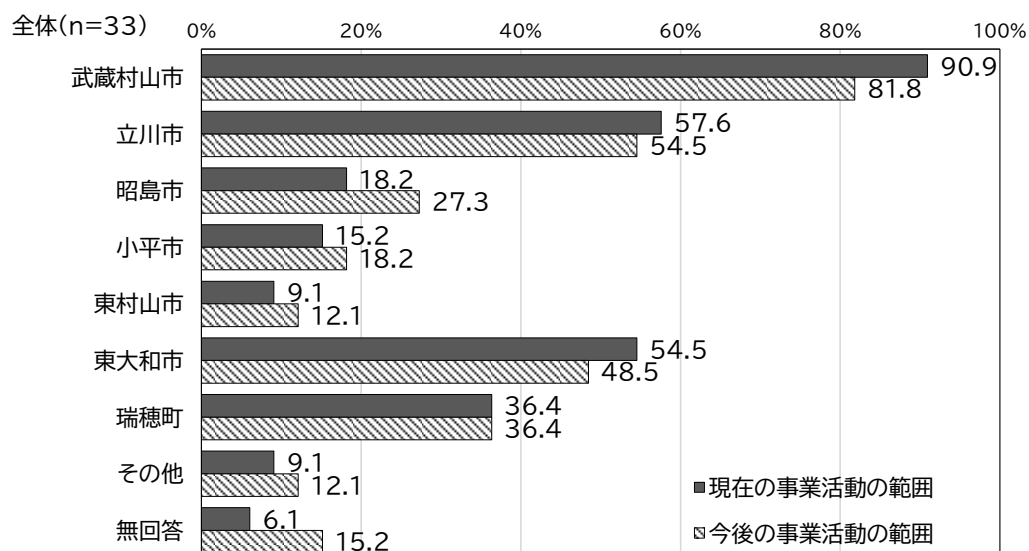
種 類	現在提供している	今後武蔵村山市に提供したい
配食サービス	1 事業所	0 事業所
付添いサービス	3 事業所	1 事業所
庭仕事や力仕事	1 事業所	1 事業所
緊急通報システム	1 事業所	－
介護保険対象外の福祉用具の販売・レンタル	－	－
介護保険対象外の住宅改修	1 事業所	－
リハビリ器具、健康器具の販売・レンタル	0 事業所	－
障害福祉サービス	3 事業所	1 事業所
その他	2 事業所	－

問10 貴事業所の活動の現在の範囲と今後の範囲についてお教えてください。

- (1) 現在の事業活動の範囲 (〇はいくつでも)
- (2) 今後の事業活動の範囲 (〇はいくつでも)

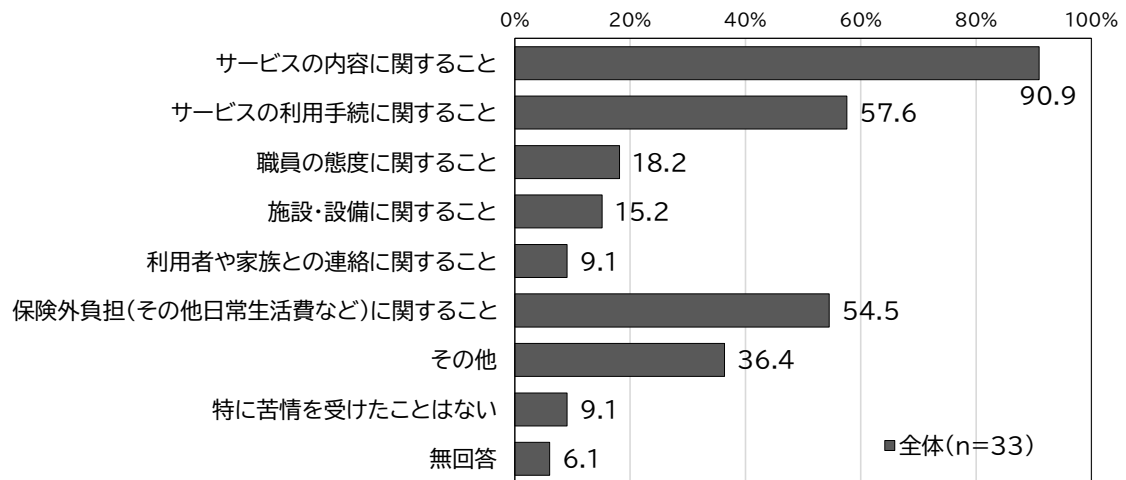
現在の事業活動の範囲では、「武蔵村山市」の割合が90.9%と最も高く、次いで「立川市」の割合が57.6%、「東大和市」の割合が54.5%となっています。

今後の事業活動の範囲では、「武蔵村山市」の割合が81.8%と最も高く、次いで「立川市」の割合が54.5%、「東大和市」の割合が48.5%となっています。



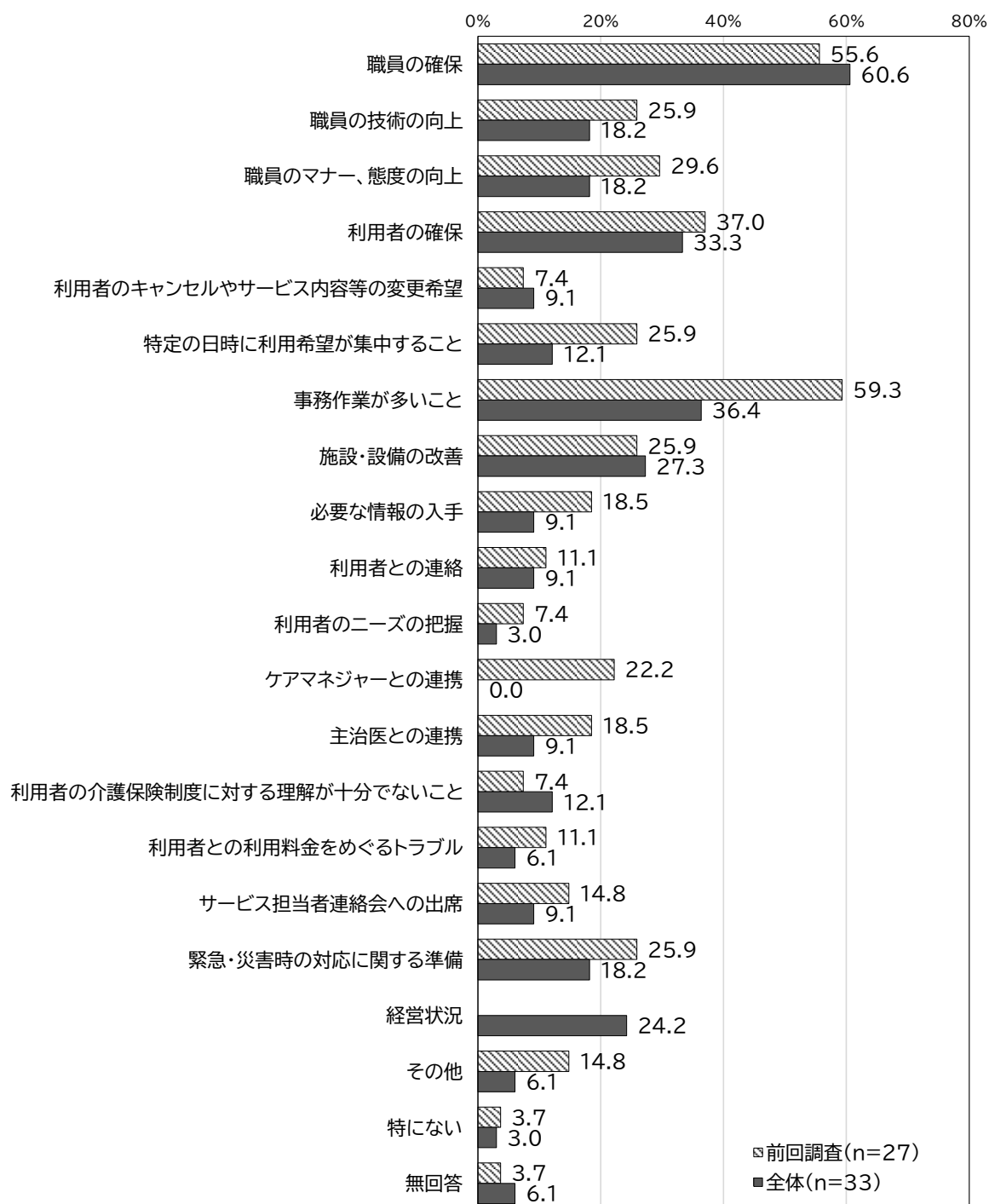
問 11 これまでに、利用者や家族からどのような苦情がありましたか。(〇はいくつでも)

これまでの利用者や家族からの苦情では、「サービスの内容に関すること」の割合が 90.9%と最も高く、次いで「サービスの利用手続に関すること」の割合が 57.6%、「保険外負担（その他日常生活費など）に関すること」の割合が 54.5%となっています。



問 12 事業運営上、どのようなことに苦慮しておられますか。(〇はいくつでも)

事業運営上、苦慮していることでは、「職員の確保」の割合が60.6%と最も高く、次いで「事務作業が多いこと」の割合が36.4%、「利用者の確保」の割合が33.3%、「施設・整備の改善」の割合が27.3%、「経営状況」の割合が24.2%となっています。



問 12-1 上記の回答の理由を教えてください。

事業運営上、苦慮している理由については、以下のとおりです。

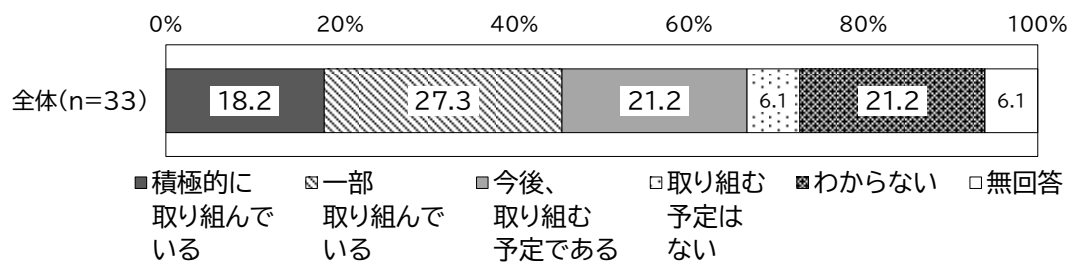
- ・ 午後の利用者が少ない。
- ・ 入退職（離職率）が激しいと職員の質（サービスの質）が低下してしまうため、職員（介護、看護）を安定して確保できない。
- ・ 空き状況と利用者ニーズが一致しない場合は、必然と利用へ繋がることは難しい。独居生活をしている方が多く、何かあった際すぐに連絡事項を伝えられないことがある。
- ・ 小規模事業所であり人員が限られているため、ケアマネジャーが不足している。
- ・ 運営開始より 15 年以上たっているので設備の故障が増えてきた。
- ・ 非常勤ホームヘルパーやデイサービスの送迎ドライバーが確保できない。特養の年間退所者が 40 名程度あり、入所が追い付かない。入所申込者数も以前よりも減少している。建物が老朽化しているが、物価高騰により建て替えることができない。利用料を滞納する方が一定数おり、支払いをお願いしても対応してもらえない時がある。人件費や物価高騰により、特養の赤字が増加。法人全体でも収支が悪化している。
- ・ 厚生労働省をはじめ、生産性の向上が強く推進されておりますが、介護の現場では、業務の特性上、機械や ICT だけでは代替できない「人の関わり」が多く存在する。完全な省力化には限界がある全国的に介護人材の不足が続いており、地域内での採用競争が激化する中で、必要な職員数を安定的に確保すること自体が困難になっている。結果として、生産性向上を図りたくても、その前提となる人材の安定確保が追いつかず、事業運営上の悩みとなっている。
- ・ 求人を出しても人が来ない。斡旋業者から連絡があるが経費が高い。職員の技術向上のための時間をとることが大変。講師をお願いするのも経費が掛かる。処遇改善をはじめ、事務作業が多い。事業収入だけでは経営していくことが難しい。人件費を出すように補助が出ているが人件費だけでなく運営をしていく経費がもっとほしい。このままでは預金を使い果たし倒産してしまう。介護認定が妥当ではないと思われる人がいる。手がかかるのに介護度が低かったり、認知症がすすんでいるのに認知症加算を付けられない（通所）人がいる。
- ・ 医師に連絡をしても返答がなかったり、意見をいただけないことも非常に多い。自宅での生活のことをあまり承知していない医師の意見がサービス利用において最も重要視されている事にも疑問を感じる。介護保険法の古いものがほとんど削除されないにもかかわらず新しい制度が次々と重なり、どの業務が必要で不要なのかの判断が非常に難しく指導もしにくい。伴い、介護支援専門員は負担が大きいと次世代の介護支援専門員が増えていかない。
- ・ 苦情を言われる時は話が長くなる。
- ・ なるべく利用者の希望に沿いたいと考えているが、曜日や時間帯が偏ることが多い。
- ・ ケアマネジャーの資格をもたなければならない。

- ・介護報酬単価が低いことが原因で、月給が上げられない。
- ・障害サービスをメインに対応しているので、件数を増やせない。また、利用者様によって、ケアマネジャー、訪問看護の指示が入らないこともあり、危ないと感じることがある。リクエストが増えたり
- ・現場と事務作業の両立の為、時間内に終わらない。教育にも時間がまわらない。収入（赤字：利用者の減少）不安定。新人（若手）が集まらない。
- ・地域区分6級地。報酬下げられた。衛生用品物価高。初任者研修の資格取得のアプローチ不足。
- ・書類の作成が多い事。
- ・採用が困難。書類が多い。物品購入とその在庫管理作業が負担。収入、支出のバランスが総合的に現状厳しい。

問 13 少子高齢化による介護需要の増加に伴い、2035 年には介護職員が不足することが見込まれています。介護サービスを持続的に提供するためには、DX（デジタルトランスフォーメーション）による業務の効率化が急務となっています。DXについて教えてください。

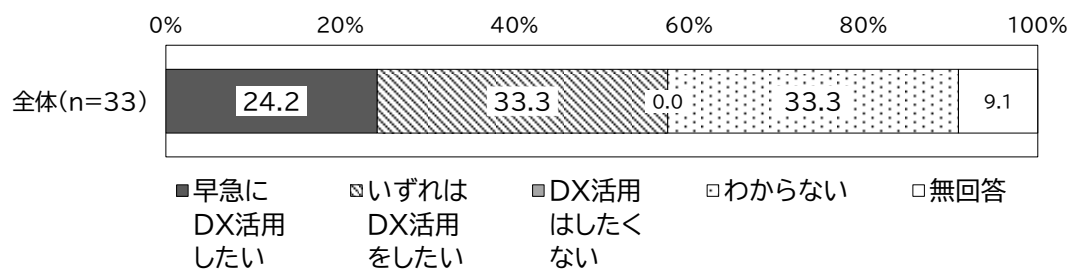
(1) DXへの取組状況について、教えてください。(1つに○)

DXの取組状況について、「一部取り組んでいる」の割合が27.3%と最も高く、次いで「今後取り組む予定である」及び「わからない」の割合が21.2%、「積極的に取り組んでいる」の割合が18.2%となっています。



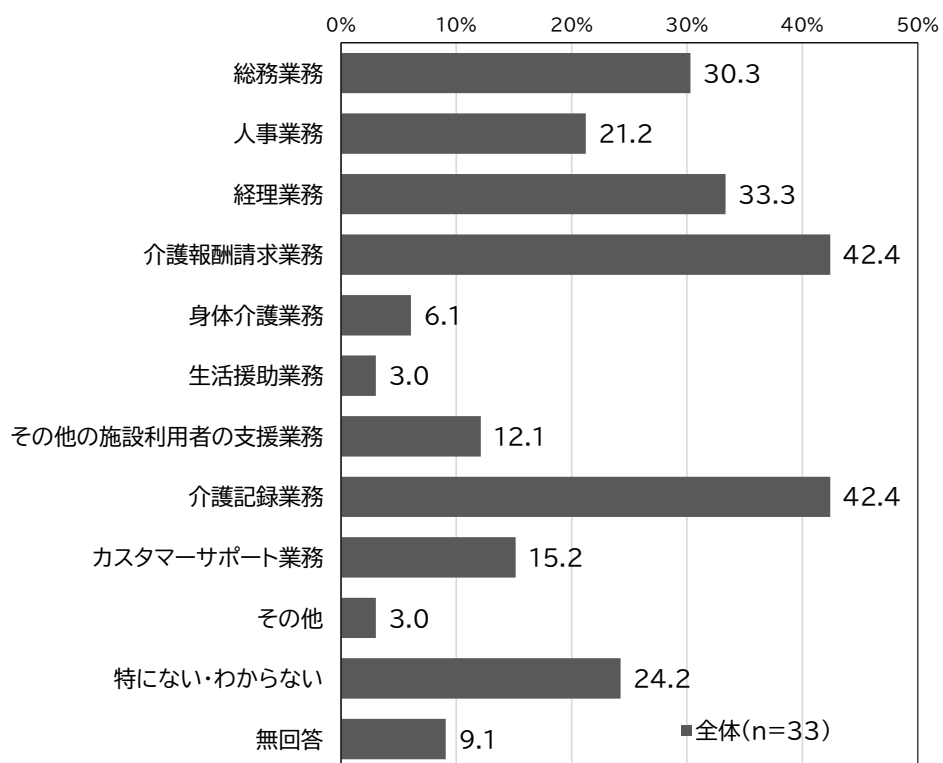
(2) 介護業界の二大課題である「人材不足」解消や「人材定着」のためのDX活用について、どのようにお考えですか。(1つに○)

DXの活用について、「いずれはDX活用したい」及び「わからない」の割合が33.3%と最も高く、次いで「早急にDX活用したい」の割合が24.2%となっています。



(3) 貴事業所内で、DXに取り組みたい分野として、どのようなものがあると思われますか。(〇はいくつでも)

DXに取り組みたい分野では、「介護報酬請求業務」及び「介護記録業務」の割合が42.4%と最も高く、次いで「経理業務」の割合が33.3%、「総務業務」の割合が30.3%、「特にない・わからない」の割合が24.2%となっています。



4 介護職員のことについて

問 14 貴事業所の介護職員のことについてお教えてください。

(1) 令和7年11月1日時点での貴事業所の介護職員の総数を、お教えてください。

介護職員の状況は、以下のとおりです。

正規職員	242人	非正規職員	269人
------	------	-------	------

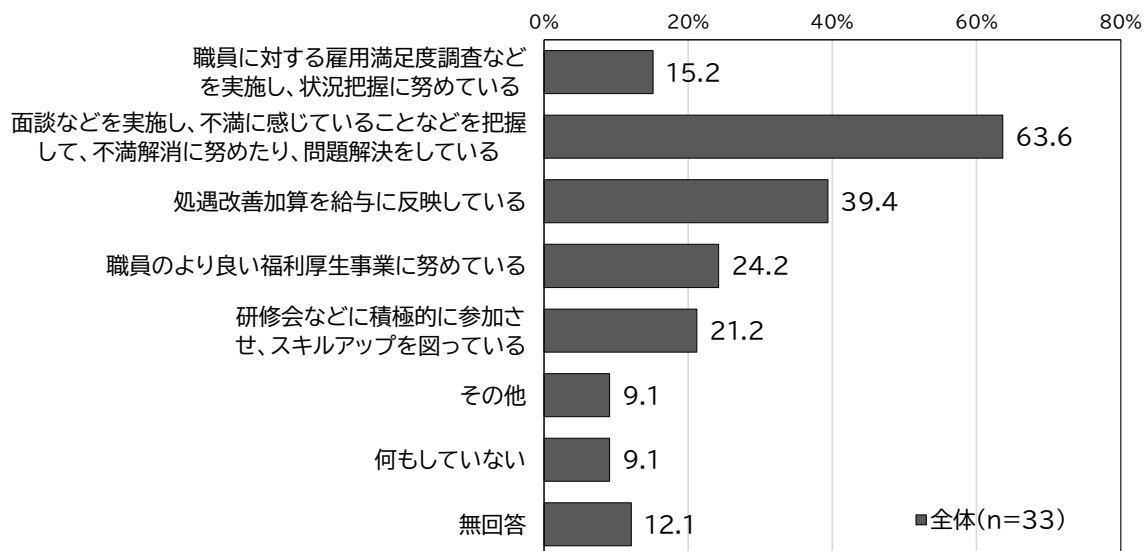
(2) 過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）の介護職員の採用者数と離職者数をお教えてください。（令和7年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所のみ）

過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数の合計は、以下のとおりです。

形態 年齢	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	1人	－	－	－
20～29歳	8人	6人	5人	1人
30～39歳	11人	7人	5人	5人
40～49歳	10人	8人	4人	6人
50～59歳	17人	17人	14人	8人
60～69歳	5人	8人	2人	9人
70～79歳	－	2人	－	2人
年齢不明	－	－	－	－
合計	52人	48人	30人	31人

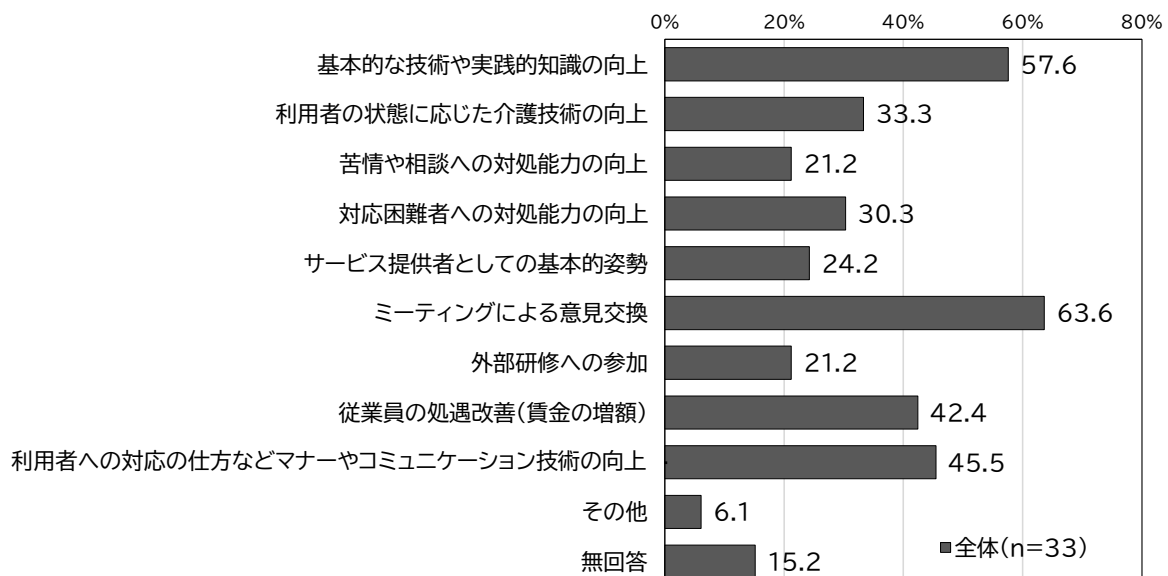
問 15 貴事業所では、職員の離職を防止するための工夫として、どのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

職員の離職を防止するための取組では、「面談などを実施し、不満に感じていることなどを把握して、不安解消に努めたり、問題解決をしている」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「処遇改善加算を給与に反映している」の割合が 39.4%、「職員のより良い福利厚生事業に努めている」の割合が 24.2%となっています。



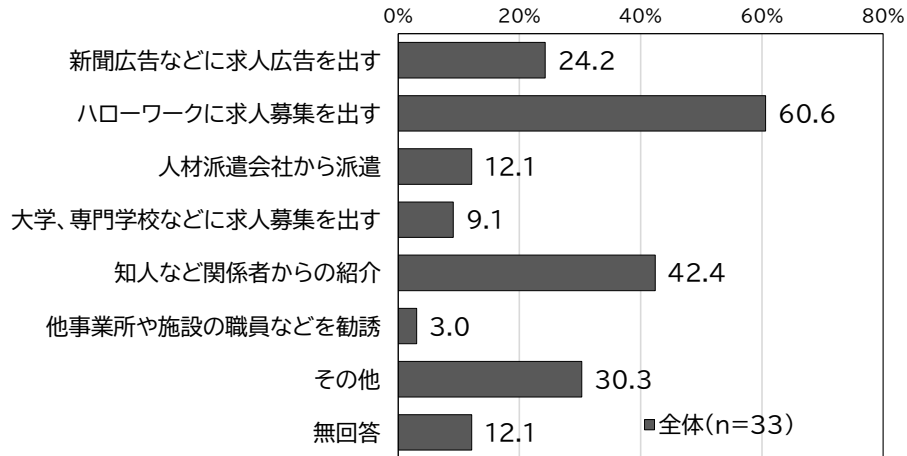
問 16 貴事業所では、職員の資質を向上させるためにどのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

職員の資質を向上させるための取組では、「ミーティングによる意見交換」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「基本的な技術や実践的知識の向上」の割合が 57.6%、「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」の割合が 45.5%、「従業員の処遇改善（賃金の増額）」の割合が 42.4%となっています。



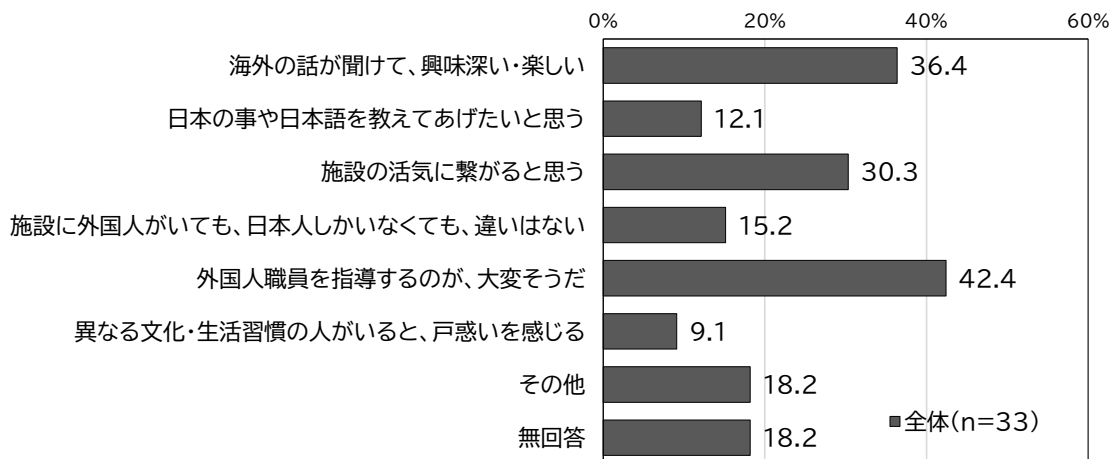
問 17 貴事業所では、介護職員の確保について、どのような取組を行っていますか。
(〇はいくつでも)

介護職員の確保に関する取組では、「ハローワークに求人募集を出す」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「知人など関係者からの紹介」の割合が 42.4%となっています。



問 18 外国人の介護職員について、どう思いますか。(〇はいくつでも)

外国人の活用については、「外国人職員を指導するのが、大変そうだ」の割合 42.4%と最も高く、次いで「海外の話が聞けて、興味深い・楽しい」の割合が 36.4%、「施設の活気に繋がると思う」の割合が 30.3%となっています。

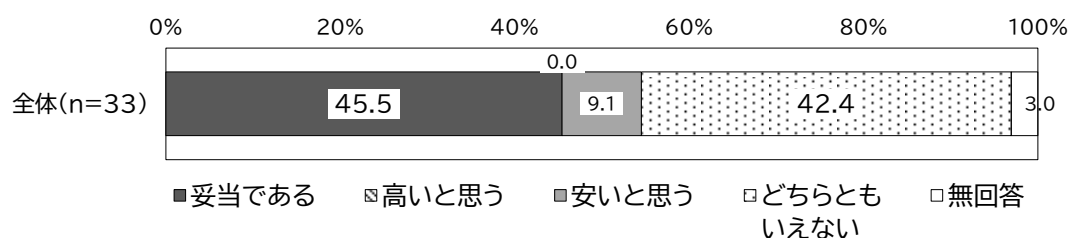


5 介護保険制度について

問 19 現在の武蔵村山市の第1号被保険者の保険料（月額 6,050 円）についてどのように思いますか。（1つに○）また、そう思う理由についてご記入ください。

※「高いと思う」または「安いと思う」を選んだ方は、適切な金額もご記入ください。

現在の保険料については、「妥当である」の割合が45.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が42.4%となっています。また、「高いと思う」の割合が0.0%であるのに対し、「安いと思う」の割合が9.1%となっています。



なお、保険料が「妥当だと思う」、「安いと思う」または「どちらともいえない」と回答された方々の意見は、以下のとおりとなっています。

【「妥当である」と回答された方の意見】

- ・現在は妥当と感じるが、右肩上がりの事を考えると不安。6050 円は平均と思う。
- ・介護保険料（国費含む）は介護サービスの提供にのみ利用されるべきで、介護予防や地域包括支援等の費用は介護保険料以外で確保するべきではないかと思う。基本のご利用者様が負担を強いられるサービスと、負担なく利用できるサービスを一括りにすることに無理があるように思う。
- ・年金暮しの中で出費は痛いと感じる為
- ・応能負担

【「安いと思う」と回答された方の意見】

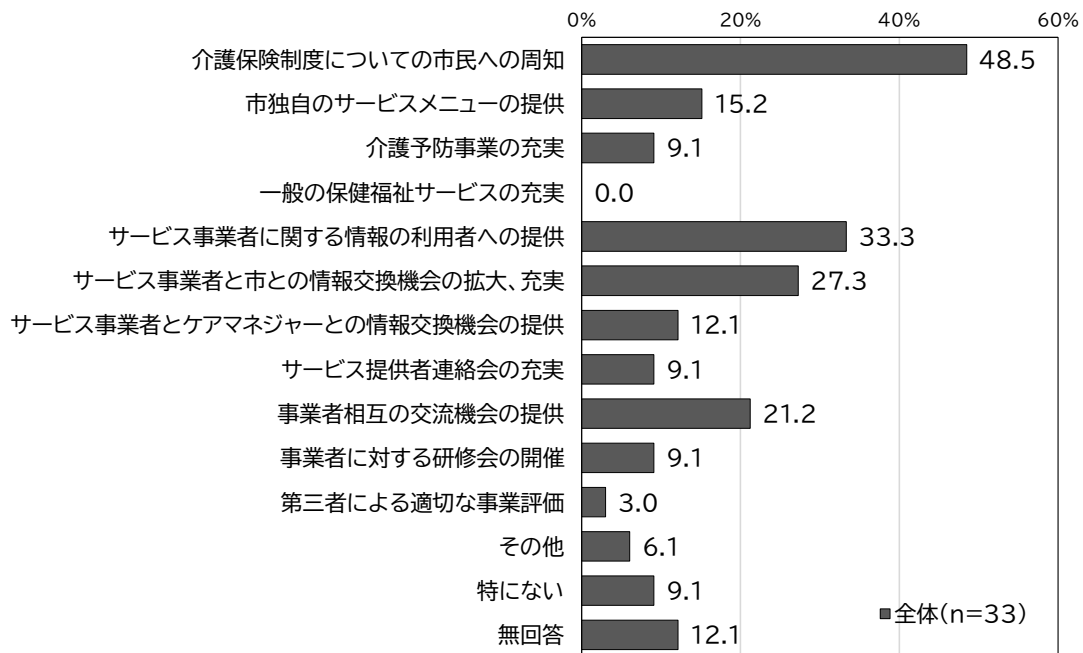
- ・東京都の平均より安いので、今後の介護環境の充実度を上げるためには平均よりも少し多くした方が良くと思います。
- ・保険料の一定の引き上げは地域の介護サービスを守るための必要経費と考え、全国水準、都内水準、市内需要、介護人材確保の観点からも早い段階での引き上げが必要だと考えます。

【「どちらともいえない」と回答された方の意見】

- ・物価高もあり、所得によっては保険料の支払いが厳しい方もいると思う。サービスが使えなくなると困るので、財源が足りないのであれば、保険料が上がるのも仕方がないのかとも思う。

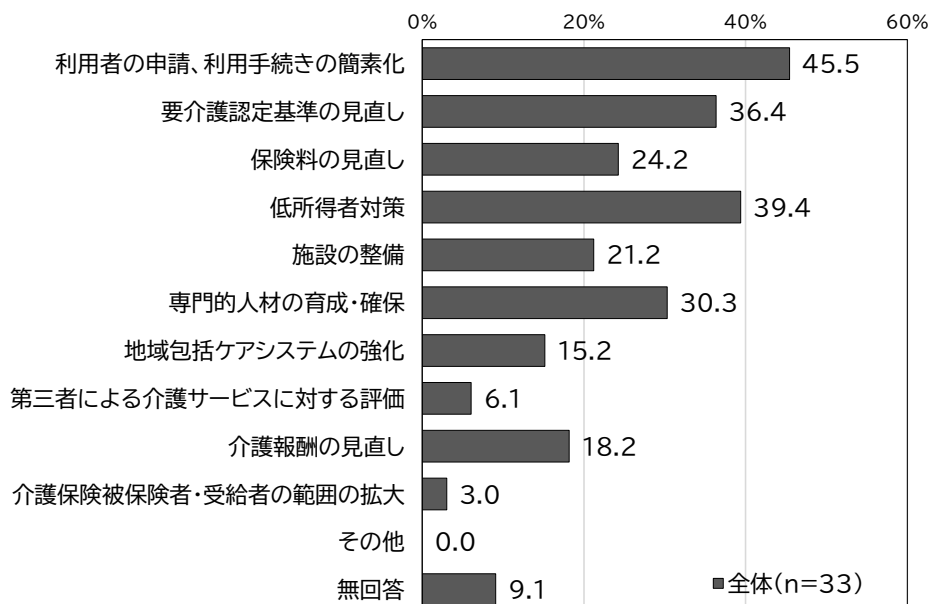
問 20 介護保険制度を円滑に運営していくために、武蔵村山市としてどのようなことが必要だと思われませんか。(〇はいくつでも)

介護保険制度を円滑に運営していくために必要だと思うことでは、「介護保険制度についての市民への周知」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「サービス事業者に関する情報の利用者への提供」の割合が 33.3%、「サービス事業者と市との情報交換機会の拡大、充実」の割合が 27.3%、「事業者相互の交流機会の提供」の割合が 21.2%となっています。



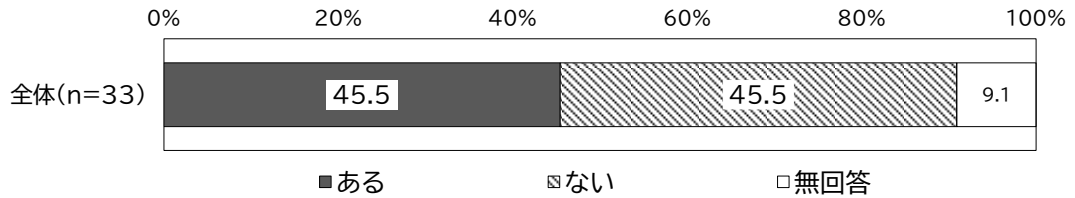
問 21 介護保険制度について、今後どのようなことが検討されるとよいと思いませんか。(〇はいくつでも)

介護保険制度についての今後の検討については、「利用者の申請、利用手続きの簡素化」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「低所得者対策」の割合が 39.4%、「要介護認定基準の見直し」の割合が 36.4%、「専門的人材の育成・確保」の割合が 30.3%となっています。



問 22 武蔵村山市で不足していると感じる介護保険サービスはありますか。(1つに○)

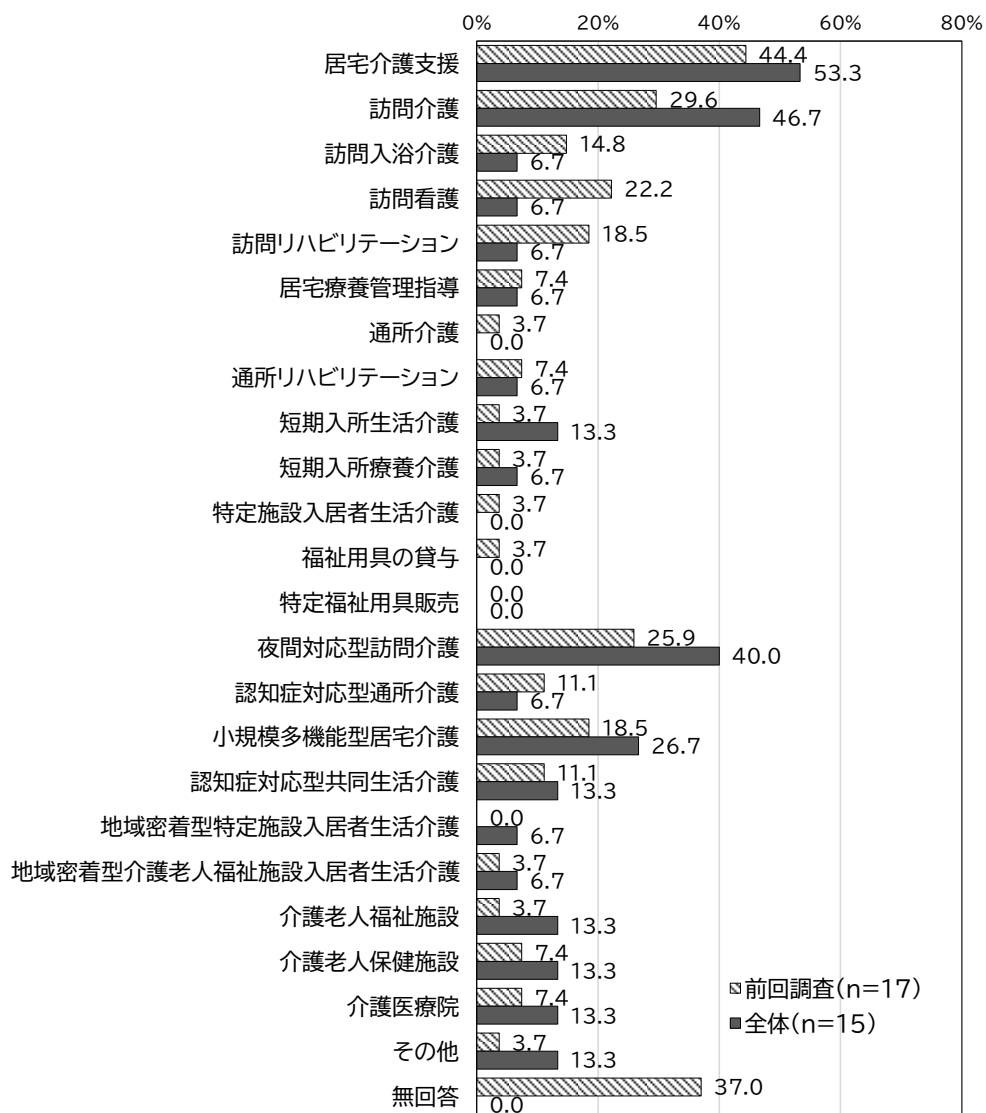
介護保険サービスについて、市で不足しているものが「ある」と感じている方の割合が 45.5%、「ない」と感じている方の割合が 45.5%と同率となっています。



問 22 で「ある」と回答された方のみ回答ください。

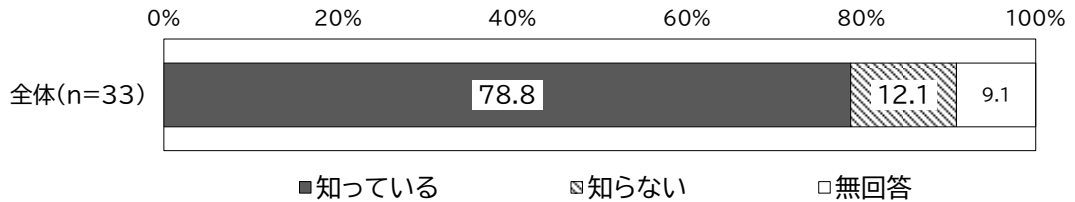
問 23 不足していると思われる介護保険サービスに○をつけてください。(○はいくつでも)

不足していると思われる介護保険サービスでは、「居宅介護支援」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「訪問介護」の割合が 46.7%、「夜間対応型訪問介護」の割合が 40.0%、「小規模多機能型居宅介護」の割合が 26.7%となっています。



問 24 地域包括ケアシステムをご存じですか。(1つに○)

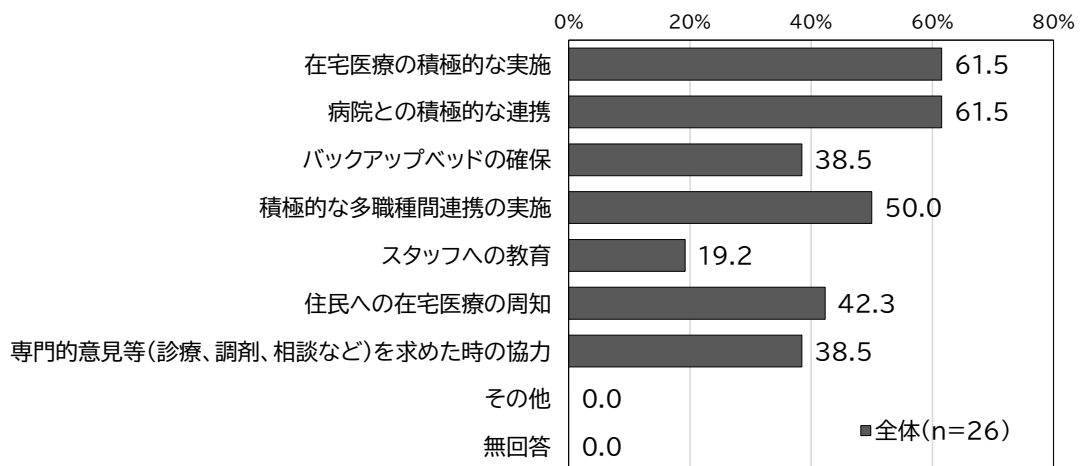
地域包括ケアシステムについて、「知っている」方の割合が 78.8%、「知らない」方の割合が 12.1%となっています。



問 24 で「知っている」と回答された方のみ回答ください。

問 25 地域包括ケアを実現する上で、医療関係者に望む役割は何ですか。(○はいくつでも)

地域包括ケアを実現する上で、医療関係者に望む役割では、「在宅医療の積極的な実施」及び「病院との積極的な連携」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「積極的な多職種間連携の実施」の割合が 50.0%、「住民への在宅医療への周知」の割合が 42.3%となっています。



問 24 で「知っている」と回答された方のみ回答ください。

問 26 これまでの経験から、武蔵村山市で地域包括ケアシステムを構築するにあたり大切なと思われることはなんですか。（ご記入ください）

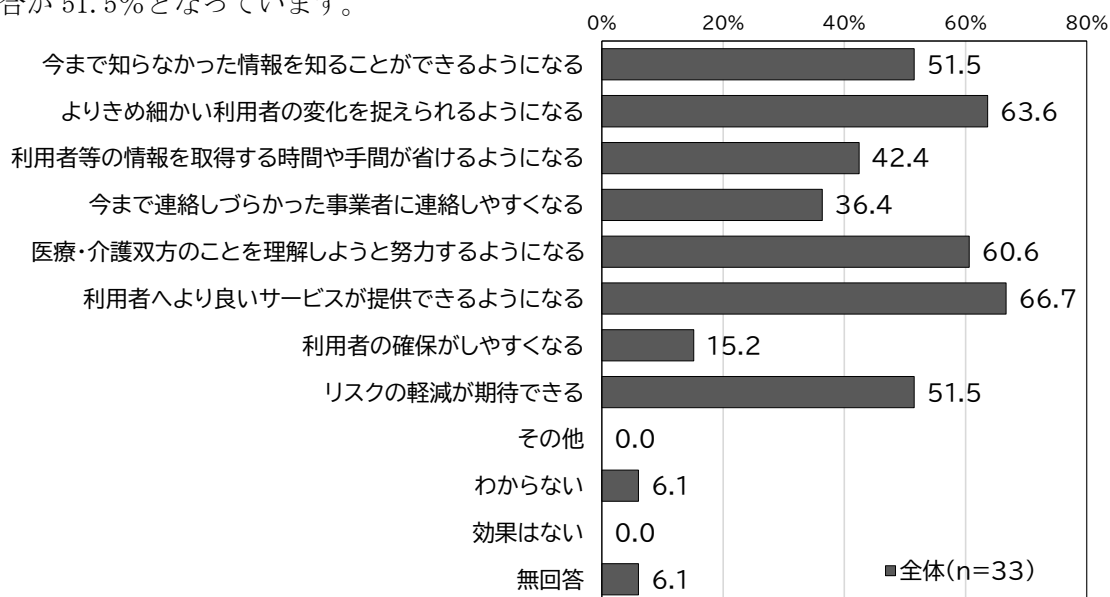
武蔵村山市で地域包括ケアシステムを構築するにあたり大切なことについて、主な意見は以下のとおりです。

- ・地域により根ざした社会資源の開発と醸成。そのために多くの意見を集約し、必要とされるサービスをしばって質を上げていく必要あり、地域のケアマネだけでなく、主任ケアマネも含めた主体的取り組み、仕組み作りが必要。
- ・MCS の拡充。認知症に関する相談窓口の充実…等
- ・交流会（顔の見える会合、リラックスした雰囲気）各部署の特徴?役割などを知ってもらう
- ・包括支援センターと地域の事業所との連携
- ・老健施設として医療機関→老健→在宅生活へ又、在宅生活が継続困難になった場合の相談施設受け入れをおこない地域、医療機関につなげ地域包括ケアの中心的な役割を担っている。施設として役割は果たしているが、地域全体のシステムとしては医療機関、地域包括センター、居宅介護支援事業所などそれぞれの業務範囲のかかわりになっているので一貫とした流れがなく利用者が自分らしい暮らしを行なえているのかなど評価ができずにいる。地域事業者との連携役割の強化、住民からの困りごとの相談をうけたところから自分の生活が取り戻せているのかなどシステムとして構築評価できる市全体の体制整備が必要だと感じている。
- ・高齢者や家族が自主的にサービスを選べるよう、地域の資源を整理し、今まで以上に分かりやすく提示すること
- ・医療と介護の分断が顕著であること。地域包括ケアシステムを構築する中核が自治体と介護支援専門員になっている現状、より多くの専門職やメンバーがそれぞれ役割を担うべき。自助、共助に法人が働きかけを行うことの困難さを解消しないと現状以上に社会資源の創出や発掘等は難しい。
- ・医療機関と福祉の連携促進
- ・システムの周知徹底。知る人少ないため「それ何？」と言われることが多い。

6 医療・介護の連携について

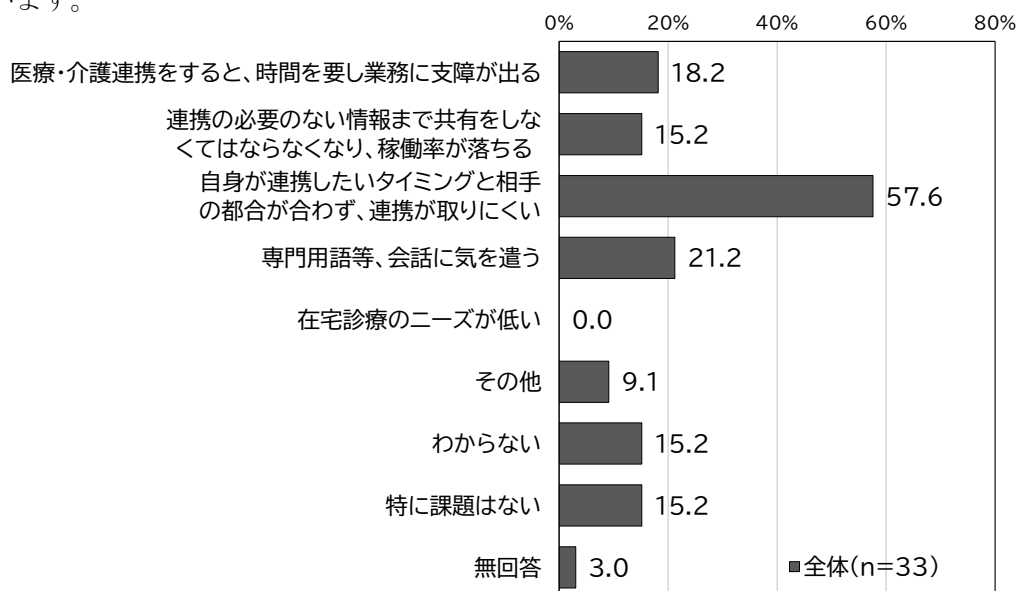
問 27 医療と介護が連携する効果は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

医療と介護が連携する効果では、「利用者へより良いサービスが提供できるようになる」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「よりきめ細かい利用者の変化を捉えられるようになる」の割合が 63.6%、「医療・介護双方のことを理解しようとするようになる」の割合が 60.6%、「今まで知らなかつた情報を知ることができるようになる」及び「リスクの軽減が期待できる」の割合が 51.5%となっています。



問 28 医療・介護連携を行うにあたっての課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

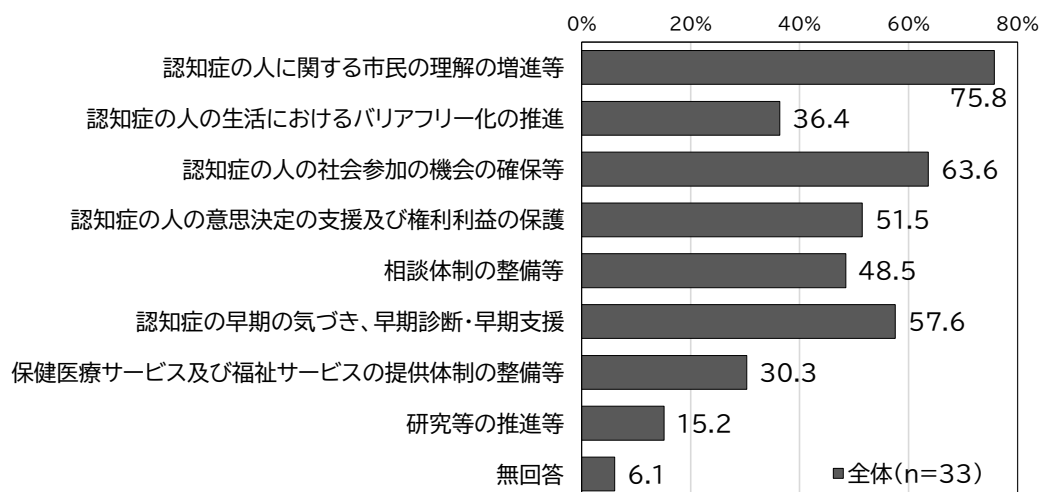
医療・介護連携を行うにあたっての課題では、「自身が連携したいタイミングと相手の都合が合わず、連携が取りにくい」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「専門用語等、会話に気を遣う」の割合が 21.2%、「医療・介護連携すると、時間を要し業務に支障が出る」の割合が 18.2%となっています。



7 認知症のことについて

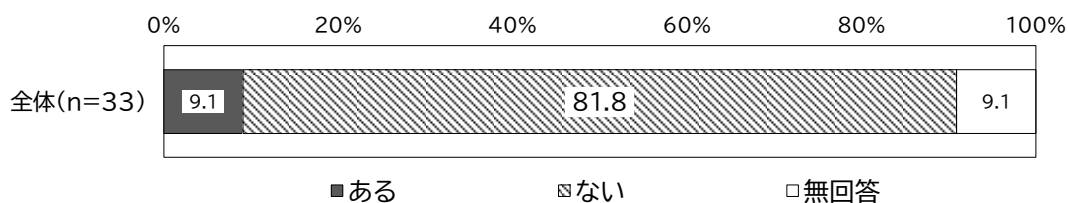
問 29 令和6年12月に「認知症施策推進基本計画」において示された、「新しい認知症観」に立ち、共生社会を実現するために、どのような施策が必要だと考えますか。(複数回答可)

共生社会を実現するための施策として、「認知症の人に関する市民の理解の増進等」の割合が75.8%と最も高く、次いで「認知症の人の社会参加の機会の確保等」の割合が63.6%、「認知症の早期の気づき、早期診断・早期支援」の割合が57.6%、「認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護」の割合が51.5%となっています。



問 30 認知症の周辺症状が原因で、利用者の受入を拒否したことはありますか。(1つに○)

認知症の周辺症状に起因する利用者の受入について、拒否したことが「ある」の割合が9.1%、「ない」の割合が81.8%となっています。



問 30 で「ある」と回答された方のみ回答ください。

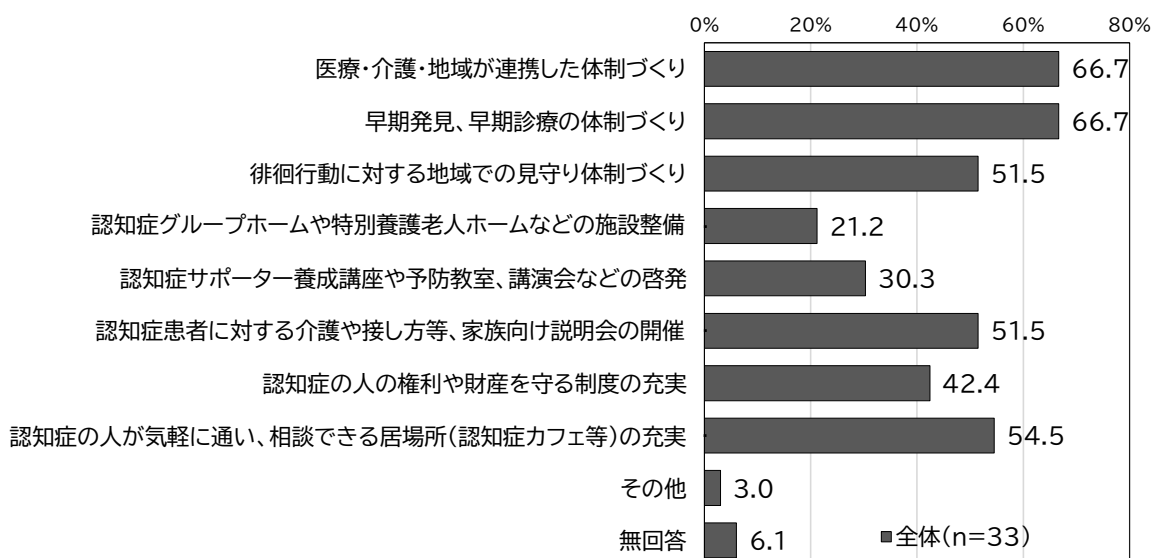
問 31 受入を拒否された理由は何ですか。(〇はいくつでも)

受入を拒否された理由では、「対応が大変だから」が 1 件、「その他」が 2 件の回答がありました。

対応が大変だから	1件
その他	2件

問 32 今後、認知症施策を進めて行くうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

認知症施策を進めるうえで重点を置くべきことでは、「医療・介護・地域が連携した体制づくり」及び「早期発見、早期診療の体制づくり」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「認知症の人が気軽に通い、相談できる居場所（認知症カフェ等）の充実」の割合が 54.5%、「徘徊行動に対する地域での見守り体制づくり」及び「認知症患者に対する介護や接し方等、家族向け説明会の開催」の割合が 51.5%となっています。



資料編

1 主な自由意見の要旨

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

272 件の意見があり、12 項目に整理しました。以下は、公的機関（準ずるものを含む）以外の団体等が特定できる記載を除いたうえで、内容を整理した概要を掲載しています。

【主な意見】

介護予防・健康づくり

- ・歩け歩けと言うが道路、信号の所に休むイスがない。
- ・プールで歩くのが良い。友達もできる。
- ・高齢者の健康維持、増進目的の活動が有料で制限されている。高齢者団体の利用無料化をすすめてほしい。
- ・骨密度対策として運動教室をしてほしい。骨密度検査を入れてほしい。
- ・筋力アップ教室が半年で終了。継続できる仕組みがほしい。
- ・健康チェックのための年2回のアンケートを実施してほしい。
- ・新聞や本を読む、字を書く、若い人と話すことが予防になる。
- ・認知能力検査のようなものが必要では？

生きがい・楽しみ

- ・食事会を主催して74回目。人に会うことを楽しみにみなさんが来てくださる。
- ・70代の手伝いの方が一番生き生きしている。
- ・気軽に楽しめる場所がほしい。今日一日何をして過ごそうか悩まずに済むので。
- ・かたくりの湯を楽しみにしています。
- ・図書館の中心館をつくり、ゆったり読書できる場所が必要です。

高齢者の就労の場の確保

- ・80歳まで働きたかったが年齢で辞めざるを得なかった。
- ・目標を持って働ける場所があれば喜んで働きたい。
- ・高齢者の就労支援にも力を入れてほしい。
- ・資格がなくても実力がある。経験を活かせる場がほしい。
- ・在宅ワークや軽作業など、高齢者でも応募できる仕事情報がほしい。
- ・農業など市が雇用をつくれれば働きたい高齢者もいる。

生活支援

- ・歩いて行けるスーパーや店がない。
- ・身寄りのない一人暮らしの生活保障を望む。
- ・独居高齢者の見守りのため、常時訪問して様子を見てほしい。
- ・火災などのニュースを見ると明日は我が身。安心して聞ける場を提供してほしい。
- ・通帳確認などの防犯啓発が必要です。
- ・在宅美容、買い物支援など足になるものがが必要です。

集いの場

- ・気軽に集まれる場所、機会の提供。
- ・自宅にこもりがちな人をどう引き出すかが先。
- ・「話しをしましょう会」を自治会館で週1~2回。
- ・高齢者と子どもが交流できる場所がほしい。
- ・気楽にお茶が飲めるサロンがほしい。
- ・健康施設の充実化（身体に負担がかからずできる）。

移動手段

- ・バスの本数が少ない。免許返納後が心配です。
- ・市内循環バスルートの充実してほしい。
- ・公共交通利用の無料パス。
- ・自転車で駅に行くのは高齢者には危険です。
- ・MM シャトルの便を増やしてほしい。
- ・病院への送迎が手軽にできるようにしてほしい。

情報提供・相談

- ・どこに相談すればよいか分からない。
- ・地域包括支援センターの働きがよくわからない。
- ・介護が必要になったらどこに連絡すればよいか小冊子がほしい。
- ・サービス内容の周知が足りない。
- ・相談窓口をもっとオープンにして、親切な対応を望みます。
- ・タライ回しにあった。一本化してほしい。
- ・手続きが難しいと利用できない。

地域活動・ボランティア

- ・地域のケアセンターとの連絡、相談がキーポイントになる。
- ・自治会員が減り、近所づきあいが無い。孤立が心配です。
- ・ボランティアが難しいのか？人手が少ないので手伝いたい。
- ・老若協同の社会が来れば楽しい。
- ・地域ごとに介護予防事業を行ってほしい。

医療

- ・病院への送迎がわかりやすくできるようにしてほしい。
- ・武蔵村山病院と東大和病院の連携が早く助かった。
- ・認知症の相談窓口が近くにあると安心。
- ・医師の判断を適時受けられる仕組みを望みます。
- ・骨折時にすぐサービスが使えず困った。

高齢者の将来についての不安

- ・自分が動けなくなったらどうすればよいか不安。
- ・老々介護の現実があり、収入減で支援が受けられない。
- ・孤独死が心配。周囲と交流がない。
- ・最後まで自宅で過ごせるか不安。
- ・安楽死を望む声も（高齢期の不安の強さ）。
- ・災害時の不安、雨水管整備を望みます。

住まい・施設サービス

- ・安心して暮らせる少人数の施設。
- ・特養の数を増やしてほしい。入所の順番待ちが長い。
- ・低所得でも入れる施設がほしい。
- ・夫婦で入院、入所になった場合の行き場が心配です。
- ・保証人なしで入居できる住宅。
- ・施設の質に差がある。市で入所家族への聞き取りを行ってほしい。

介護保険制度・福祉全般について

- ・保険料が高いので軽減措置を増やしてほしい。
- ・介護度が当てはまらずサービスが使えなかった。
- ・認定まで時間がかかるし、要支援では使える支援が少ない。
- ・介護者の負担が大きい。
- ・ヘルパー不足が不安。
- ・制度が複雑でわかりにくい。
- ・高福祉、高負担をもっと前面に出してよい。
- ・介護予防という言葉に不快感。レッテル貼りのように見える。

アンケートについて

- ・アンケートが多い。80問は多すぎる。
- ・同じような質問が多い。
- ・どう施策に反映されるのか分からない。
- ・高齢者には項目が多すぎる。
- ・回答して疲れた。

(2) 事業者アンケート調査

以下は、調査票にご記入いただいたものをカテゴリ分けせず、公的機関（準ずるものを含む）以外の団体等が特定できる記載を除いて原文のまま掲載しています。

- ・地域包括支援センターを現行3箇所（北部地域包括、南部地域包括、緑が丘地域包括）に「東部地域包括」、「西部地域包括」を新たに加え、よりきめ細やかな地域包括ケアシステムを構築する起点づくりを行って欲しい。※勿論、管轄エリアを現行からリセットし、5箇所が近等に分営分担できる体制を作ってほしい。
- ・住宅型の有料老人ホーム施設のため、当てはまる項目がございません。（訪問介護事業所がサービスを行っております。）
- ・もっとスピード感がほしい
- ・認知症の方へ医療行為（インスリン注射）を行なう場合、区分変更時の加点にならないことを見直して欲しい。
- ・有料老人ホーム（サービス付き専用住宅等）に民間の施設紹介会社が誘導してしまう為、市内の包括や事業所に情報が十分に届いていない。また、包括が法人内の事業所へ優先し利用者、利用者ご家族へ情報提供しているので、サービスの選択肢が十分に周知されていない。
- ・介護支援専門員に対する独自の処遇改善を作ってもらいたい。
- ・介護保険制度を継続的に機能させ、地域包括ケアをさらに推進していくためには、行政による柔軟かつ弾力的な制度運用がますます重要になると感じております。現場では、高齢者の状態や家庭環境が多様化し、従来の枠組みでは十分に対応できないケースが増えています。そのため、市として、事業者の声を丁寧を受け止めながら、状況に応じた迅速な判断や運用改善を進めていただけると大変ありがたく存じます。社会福祉法人は、介護保険サービスだけでなく、生活困窮、虐待、地域支え合いの仕組みなど、制度を横断した公益的役割を担っています。しかし、人材不足や経営環境の変動により、こうした公益的活動を安定的に継続することが難しくなっています。地域包括ケアの安定のためにも、公益的活動への支援、補助の充実、職員確保、定着のための市独自の支援策などをご検討いただければ、地域のサービスの質を維持する大きな力になると考えております。今後も、市と事業者が協働しながら、武蔵村山市の高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりに寄与していきたいと考えております。
- ・今回のアンケートで「地域密着型通所介護」の項目がなかったので「通所介護」にチェックをいれました。地域区分が上がってほしいと思っています。
- ・介護報酬を保険として設定する以上、営利目的で参入する事業所との軋轢は消えることはない。利益が出ればそこを削るといふ介護保険の悪しき改定を繰り返してきた結果が、介護人材の不足、事業所の倒産につながっている。介護保険事業所が利益を出してはいけないとい

う報酬改定を繰り返すのであれば、介護サービスは公的事業として運営していくしかないと思う。また、世間では賃上げに資する物価上昇が続いているにもかかわらず、介護保険事業に関しては報酬改定が行われず、売上に対する経費の割合が次第に増大している状況に何も対策を行わなければ、どんなに事業所が努力を重ねても介護離職はなくなり介護人材や事業所の不足は続くと思われ、最終的には在宅復帰が困難な施設難民、退院困難者が溢れる未来が来てしまわないかが懸念される。事業所に対する指導や点検で何か一つは指導をした実績を作らないといけない、という風潮もそろそろ改善されて然るべきではないかと思う。指導が厳しくなればなるほど若年層の介護職員の定着は困難になると思う。

- ・たてわりはもう限界。介護保険のみでは対応しきれません。防災についても。障害や子育て、貧困についてもからまわっています。ぐちゃぐちゃに

2 調査票

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

個人情報取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的】

- 今実施する「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による「高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」策定の目的以外には利用しません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するに当たり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析をするなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。(1つを選択)

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入(あて名のご本人からみられた姉妹)
3. その他()

1 あなたのご家族や生活状況についてお伺いします

問1 家族構成をお教えください。(1つを選択)

1. 1人暮らし
 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
 4. 息子・娘との2世帯
 5. その他()
- * 息子・娘以外の方と同居している場合、3世帯の場合等は、「5. その他」を選択してください

問2 あなたは、普段の生活で何らかの介護・介助が必要ですか。(1つを選択)

1. 介護・介助は必要ない → 問3へ
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない → 問3へ
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) → 問2-1へ

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査ご協力をお願い

皆さんのご意見を計画に反映していきますので、ぜひご協力ください

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を厚くお礼申し上げます。
現在、本市では、高齢者福祉施策を総合的かつ計画的に推進していくために「高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」の見直しに向けた準備を進めております。「高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」は、高齢者が健康で安心して暮らせるよう、介護予防や認知症対策、介護保険サービスの充実などを目指す計画です。つきましては、計画見直しの基礎資料とするため、国から示されたアンケート調査内容を基本として実施し、地域の高齢者の課題等を的確に把握するとともに高齢者福祉施策や介護保険事業への日頃のお考えやご意見、ご要望をうかがうことといたしました。

調査は、市内にお住まいの65歳以上の方の中から約2,700人を対象者としてお願いをしております。お答えいただいた内容や個人情報は、回答者様にとりまして大切な情報であるという認識にたち、適正に取扱いをいたします。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、アンケート調査の趣旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願いいたします。

令和7年12月

武蔵村山市

記入に際してのお願い

- 1 回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。あて名ご本人おひとりの回答が難しい場合は、ご家族や周りの方にお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いた上で代わりに記入していただいてもかまいません。
- 2 回答は、あてはまる項目の番号を○で囲んでいただくもの、数字やご意見を記入していただくものがあります。「その他」に○をつけた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
- 3 ご記入が終わった調査票は、切り替すことなく、送付されたもの全て(表紙も含みます)を同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

令和8年1月9日(金)

までに投函してください。

この調査について、ご不明な点・ご質問がございましたら下記までお問い合わせください。

【調査についてのお問い合わせ先】
武蔵村山市 健康福祉部 高齢福祉課 管理係
電話：042-590-1233 (直通)
FAX：042-562-3966

※本調査はスマートフォンやパソコンからでも回答できます。
下記のURLまたは二次元コードでアクセスし、ID・パスワードを入力の上、ご回答ください。



ID : NW00001
パスワード : 9cipf6

【回答専用サイト】
<https://mussashimurayama.qip.jp/Q/autof/mmm/65/>

問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けていないが家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方にお伺いします。

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(複数選択可)

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
2. 心臓病
3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器の病気（肺炎腫・肺炎等）
5. 関節の病気（リウマチ等）
6. 認知症（アルツハイマー病等）
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患（透析）
10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒
12. 背椎損傷
13. 高齢による衰弱
14. その他（ ）
15. 不明

問3 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つを選択)

1. 持家（一戸建て）
 2. 持家（集合住宅）
 3. 公営賃貸住宅
 4. 民間賃貸住宅（一戸建て）
 5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
 6. 借家
 7. その他（ ）
- *一般的な賃貸借契約のある場合には、「4. 民間賃貸住宅（一戸建て）」または「5. 民間賃貸住宅（集合住宅）」を、それ以外の場合は「6. 借家」を選択してください

問4 あなたやあなたの家族が介護を必要とする状態となった場合に、どのような生活を希望しますか。(1つを選択)

1. 現在の住まいで、介護保険等の公的サービスを利用せずに、家族の介護を中心に受けながら生活したい
2. 現在の住まいで、介護保険等の公的サービスの利用を中心にして生活したい
3. 特別介護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所して生活したい
4. その他（ ）
5. わからない

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つを選択)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ぶつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

2 からだを動かすことについてお伺いします

問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つを選択)

1. できるし、している
2. できるだけしていません
3. できない

問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つを選択)

1. できるし、している
2. できるだけしていません
3. できない

問8 15分位続けて歩いていますか。(1つを選択)

1. できるし、している
2. できるだけしていません
3. できない

問9 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つを選択)

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

問10 転倒に対する不安は大きいですか。(1つを選択)

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安でない
4. 不安でない

問11 週に1回以上は外出していますか。(1つを選択)

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2~4回
4. 週5回以上

問12 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つを選択)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない → 問13へ
4. 減っていない → 問13へ

問12で「1. とても減っている」「2. 減っている」と回答した方にお伺いします。

問12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(複数選択可)

1. 病氣
2. 障害（脳卒中の後遺症など）
3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配（失禁など）
5. 耳の障害（聞こえの問題など）
6. 目の障害
7. 外での楽しみがない
8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない
10. その他（ ）

問13 外出する際の移動手段は何ですか。(複数選択可)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自動車（自分で運転）
5. 自動車（人に乗せてもらう）
6. 電車
7. 路線バス
8. 病院や施設のバス
9. 車いす
10. 電動車いす（カート）
11. 歩行器・シルバーカー
12. タクシー
13. その他（ ）

3 食べることにしてお伺いします

問 14 身長・体重をご記入ください。

①身長 () cm ②体重 () kg

問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つを選択)

1. はい 2. いいえ

問 16 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つを選択)

1. はい 2. いいえ

問 17 口の硬さが気になりますか。(1つを選択)

1. はい 2. いいえ

問 18 歯磨き(人にやってもらってもらう場合も含む)を毎日していますか。(1つを選択)

1. はい 2. いいえ

問 19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)(1つを選択)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 3. 自分の歯は19本以下、入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯の利用なし 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問 20 どのあたかと食事をもにする機会がありますか。(1つを選択)

1. 毎日ある 3. 月に何度かある 5. ほとんどない
2. 週に何度かある 4. 年に何度かある

4 毎日の生活についてお伺いします

問 21 物忘れが多いと感じますか。(1つを選択)

1. はい 2. いいえ

問 22 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つを選択)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 23 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つを選択)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 24 自分で食事の用意をしていますか。(1つを選択)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 25 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つを選択)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 26 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つを選択)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 27 新聞を読んでいますか。(1つを選択)

1. はい 2. いいえ

問 28 本や雑誌を読んでいますか。(1つを選択)

1. はい 2. いいえ

問 29 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つを選択)

1. はい 2. いいえ

問 30 趣味がありますか。ある場合は () 内にご記入ください。(1つを選択)

1. 趣味あり () 2. 趣味がない

問 31 生きがいがありますか。ある場合は () 内にご記入ください。(1つを選択)

1. 生きがいあり () 2. 生きがいがない

問 32 過去5年以内に商品購入やサービスの質、契約上のトラブルなどがありましたか。
(複数選択可)

1. 訪問販売でトラブルがあったことがある
2. 通信販売でトラブルがあったことがある
3. 購入商品でトラブルがあったことがある (質が悪い・量が少ないなど)
4. 投資関係でトラブルがあったことがある
5. 住居リフォーム(改装、改築)でトラブルにあったことがある
6. その他トラブル ()
7. 消費トラブルにあったことはない → 問 33へ

問 32で「1.」～「6.」と回答した方にお伺いします。

問 32-1 トラブルについて相談をしましたか。(1つを選択)

1. はい 2. いいえ → 問 33へ

問 32-1で「1. はい」と回答した方にお伺いします。

問 32-2 トラブルについて、誰またはどこに相談しましたか。()内にご記入ください。
()

問 33 スマートフォン、パソコンなどを日常的に活用していますか。(複数選択可)

1. スマートフォンを活用している
2. タブレットを活用している
3. パソコンを活用している
4. 活用していない
5. 持っているが使い方がわからない
6. 持っていない

問 34へ

問 33で「1. スマートフォンを活用している」「2. タブレットを活用している」「3. パソコンを活用している」と回答した方にお伺いします。

問 33-1 どのようなことができますか。(複数選択可)

1. 電話
2. メール
3. 買い物(インターネットショッピング)
4. 情報収集(インターネットニュース等)
5. アプリゲーム
6. ソーシャルネットワークサービス(Twitter、Facebook、LINE など)
7. Zoom や Teams を活用した人との交流
8. その他()

5 地域での活動についてお伺いします

問 34 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれ1つに○

種類	頻度	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加して いない
①ボランティアのグループ		1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ		1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ		1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル		1	2	3	4	5	6
⑤介護予防のための通いの場(お互いさまサロンなど)		1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ		1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会		1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事		1	2	3	4	5	6

問 34で「5. 年に数回」「6. 参加していない」と回答した方にお伺いします。

問 34-1 記載されている会やグループなどの地域での活動への参加が少ない(していない)のはなぜですか。(複数選択可)

1. 活動場所まで行く手段がない
2. 活動する場所が近所がない
3. 活動自体知らない
4. 個人的な活動が忙しいため
5. 自身の身体機能が低下しているため
6. 人の関わりがおくち
7. 参加の方法がわからない
8. その他()

問 35 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つを選択)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

問 36 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つを選択)

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

6 就労についてお伺いします

問 37 現在のあなたの就労状態はどれですか。(複数選択可)

1. 職に就いたことがない
2. 引退した
3. 常勤(フルタイム)
4. 非常勤(パート・アルバイト等)
5. 自営業
6. 休職中
7. その他

問 37で「2. 引退した」と回答した方にお伺いします。

問 37-1 あなたはいつ引退しましたか

1. 昭和()年
2. 平成()年
3. 令和()年

7 たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします

問 38 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（複数選択可）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問 39 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（複数選択可）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問 40 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数選択可）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問 41 反対に、看病や世話をしてあげる人（複数選択可）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他（ ）
8. そのような人はいない

問 42 ご近所や地域の方との付き合いはどの程度ありますか。（1つを選択）

1. よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ
2. あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない方だ
3. ご近所や地域との付き合いはほとんどない

問 43 日中、1人になることがありますか。（1つを選択）

1. よくある
2. たまにある
3. ない

問 44 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（複数選択可）

1. 自治会・町内会・老人クラブ
2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー
4. 医師・歯科医師・看護師
5. 地域包括支援センター・役所・役場
6. その他（ ）
7. そのような人はいない

問 45 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（1つを選択）

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

問 46 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（複数選択可）

1. 近所・同じ地域の人
2. 幼なじみ
3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人
6. ボランティア等の活動での友人
7. その他
8. いない

問 47 将来、あなたが日常生活で支援を必要とする状態となったときに、有償ボランティアの団体等に手助けをしてもらいたいことはありますか。（複数選択可）

1. 掃除
2. ごみだし
3. 洗濯
4. 衣類の整理
5. 食事の調理
6. 買い物
7. ペットの世話
8. 送迎
9. その他（ ）
10. 手助けはしてほしくない

8 健康についてお伺いします

問 48 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つを選択)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

問 49 あなたは、現在のどの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)

- とても不幸
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点
とても幸せ

問 50 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(1つを選択)

1. はい 2. いいえ

問 51 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つを選択)

1. はい 2. いいえ

問 52 タバコは吸っていますか。(1つを選択)

1. ほぼ毎日吸っている 3. 吸っていたがやめた
2. 時々吸っている 4. もともと吸っていない

問 53 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数選択可)

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病
5. 糖尿病
6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気 (肩組しよう症・関節症等)
11. 外傷 (転倒・骨折等)
12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気
14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等)
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他 ()
20. 筋骨格の病気 (肩組しよう症・関節症等)

問 54 65歳以上の高齢者を対象に、市が実施している以下の一般介護予防事業を知っていますか。また、今後利用したいと思えますか。(①～⑥について、利用状況や認知度、今後の利用希望それぞれ1つに○) ※各事業ごとに、対象者を限定して実施する場合があります。

事業名称	利用状況や認知度			今後の利用希望		
	利用していることがある	知っているが利用したことはない	知らない	利用したい	利用しない	利用する予定はない
① 認知症予防大作戦！ 「脳のパワーアップ教室」 簡単な「読み書き」「計算」等を行うことで認知機能の低下を防ぐ教室を開催することにより、認知機能の維持・向上を図ることを目的としています。	1	2	3	1	2	2
② ひざ痛予防体操教室 家庭でできる、膝の痛みを軽減させる運動方法を習得し、仲間づくりを推進することで、膝の痛みを要因で起こる閉じこもりを防ぐことを目的としています。	1	2	3	1	2	2
③ 健康大権奏教室 深い呼吸法に合わせて体を動かすことで、心身のバランス感覚を養い、転倒予防につながることを目的としています。	1	2	3	1	2	2
④ 介護予防「筋力アップ教室」 マンダトレーニングとストレッチを組み合わせた筋力向上トレーニングを通して身体機能の維持・向上を図ります。	1	2	3	1	2	2
⑤ 楽しく介護予防「お口と食の健康教室」 適切な口腔ケアを行い、口腔衛生状態や摂食嚥下機能を改善する方法や低栄養を予防する食事等について学び、高齢者の心身機能の維持・向上を図ります。	1	2	3	1	2	2
⑥ 介護予防「輝く高齢者介護予防講座」 運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上及び認知機能低下の予防の取組を通して、閉じこもり予防及び仲間づくりを目的としています。	1	2	3	1	2	2

問 54 で「1. 利用していることがある」と回答した方にお伺いします。

問 54-1 介護予防教室などに参加したことにより、成果や効果はありましたか。(複数選択可)

1. 通院回数が減った
2. 葉を飲む量が減った
3. 体力が向上した
4. 家でも体操などをできるようになった
5. 外出の回数が増えた
6. 仲間が増えた
7. 気持ちや前向きになった
8. 成果や効果は感じなかった
9. わからない
10. その他 ()

問 55 健康づくりや介護予防について、左記以外にあればいいと思う事業があれば、ご記入ください。

例) ウォーキング教室、水泳教室 など

問 56 健康づくりや介護予防として、より充実した方がよいと思うことは何ですか。(複数選択可)

1. 認知症予防
2. 相談窓口の充実
3. 生活習慣病の予防
4. 高齢期のうつ予防
5. 食生活(栄養など)改善
6. 口腔機能(のみこむ・かむこと)の向上
7. 気楽に集える場づくり
8. 健康スポーツ推進
9. 趣味・教養教室などの生涯学習の充実
10. 地域活動・ボランティア活動への支援
11. その他()

問 57 介護が必要になった方が、在宅での生活を続けていくために必要なことは何ですか。(3つまで選択可)

1. 市民向けの在宅医療・在宅介護についての情報提供
2. 相談窓口の充実
3. 在宅医療・介護に関わる専門家同士の連携
4. 家族の負担を軽減するためのサービスやショートステイなどの拡充
5. 24時間いつでも診てもらえる体制
6. 病状が悪化したときにいつでも入院できる医療体制の整備
7. 高齢者が安心して住める住居の整備
8. 介護休暇など現職の理解とサポート体制の充実
9. その他()
10. わからない

9 認知症のことについてお伺いします

問 58 令和6年1月1日に「認知症基本法」が施行されたことを知っていますか。(1つを選択)

1. 知っているし、内容も理解している
2. 知っているが内容はわからない
3. 言葉を知っている程度
4. 知らない

問 59 令和6年12月に「認知症施策推進基本計画」において示された、「新しい認知症観」※に關してお尋ねします。「認知症になっても何もできなくなるのではなく、住み慣れた地域で仲間等つながりながら、希望を持って暮らすことができます」と思いますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. 「新しい認知症観」※を知らない

※ 新しい認知症観

認知症になっても何もできなくなるのではなく、認知症になっても、一人一人が個人としてできること、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方のこと。

問 59-1 上記の回答の理由を教えてください。

問 60 あなたが認知症について知っていることは何ですか。(複数選択可)

1. 認知症の原因となる病気(アルツハイマー病など)
2. 認知症の症状(記憶障害、妄想、見当識障害など)
3. 認知症の人に対する接し方(話しかけの仕方など)
4. 認知症の人が入所できる施設やグループホームなど
5. 認知症の人に對するケア(介護)の方法
6. 認知症の人が在宅で利用できるサービス
7. 認知症に關する相談窓口
8. その他()

問 61 あなたが認知症について知りたいことは何ですか。(複数選択可)

1. 認知症の原因となる病気 (アルツハイマー病など)
2. 認知症の症状 (記憶障害、妄想、見当識障害など)
3. 認知症の人に対する接し方 (話しかけの仕方など)
4. 認知症の人が入所できる施設やグループホームなど
5. 認知症の人に対するケア (介護) の方法
6. 認知症の人が在宅で利用できるサービス
7. 認知症に関する相談窓口
8. その他 ()

問 62 あなたは、認知症のどのようなことに関心がありますか。(複数選択可)

1. 正しく理解するための講座
2. 予防に効果的な方法
3. 治療に関する情報
4. 認知症の人の介護のしかた
5. 認知症の人の意見や経験
6. その他 ()
7. 特にない

問 63 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つを選択)

1. はい
2. いいえ

問 64 あなたは、認知症の人に接していますか、または接したことがありますか。(複数選択可)

1. 自身が認知症である
2. 家族 (別居) として接している／接していた
3. 親族 (家族以外) として接している／接していた
4. 同居している／同居していた
5. 隣近所の付き合いを通して接している／接していた
6. 医療・介護などの仕事を通して接している／接していた
7. 医療・介護以外の仕事を通して接している／接していた
8. その他 ()
9. まったくない

問 65 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つを選択)

1. はい
2. いいえ

15

問 65 で「1. はい」と回答した方にお伺いします。

問 65-1 あなた自身やご家族などが認知症になったときに、どこに (誰に) 相談しますか。または、どこに (誰に) 相談しましたか。(複数選択可)

1. かかりつけ医
2. 認知症疾患医療センター
3. 市役所・地域包括支援センター
4. 介護サービス事業所のスタッフ
5. 親族
6. ケアマネジャー
7. 友人・知人
8. その他 ()

問 66 もしあなたが、自分のことを「認知症かもしれない」と思ったり、周りの人から受診を勧められたら、医療機関を受診しますか。(現在、自身や家族が認知症である場合は、現在の心境に近いと思われる項目を選択してください。)

1. 受診すると思う
2. 受診しないと思う
3. まだわからない

問 67 あなたがもし認知症になったらどのように暮らしたいですか。(1つを選択)

1. 医療や介護サービスを受けながら、暮らし慣れた地域で生活していきたい
2. 介護施設 (入所施設) などで必要な支援・介護を受けながら生活していきたい
3. 家族の介護を受けながら、自宅で生活していきたい
4. 地域の人たちの支援を受けながら、今まで暮らしていた地域で生活していきたい
5. その他 ()

問 68 あなたが地域で暮らす認知症の人に行える (できそうな) 支援は何ですか。(複数選択可)

1. 見守り
2. 声掛け
3. ちょっとした道案内
4. 話し相手
5. ゴミ出しなどちょっとした家事の手伝い
6. 買い物代行・同行
7. 外出時の移動支援
8. その他 ()
9. まったくない

16

問 69 認知症に対する取組として必要だと思うことはありますか。(複数選択可)

1. 相談機関の充実
2. 認知症の予防方法の普及
3. 認知症の方の介護方法などの普及
4. 認知症の方本人やその家族の情報交換の場(オレンジカフェなど)
5. 地域社会全体で気づき・見守りができるような仕組み
6. 認知症の方向けの介護等サービスの充実
7. 認知症サポーターの育成
8. その他()
9. 特になし

問 70 今後、認知症施策を進めて行くうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(複数選択可)

1. 医療・介護・地域が連携した体制づくり
2. 早期発見、早期診療の体制づくり
3. 徘徊行動に対する地域での見守り体制づくり
4. 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
5. 認知症サポーター養成講座や予防教室、講演会などの啓発
6. 認知症患者に対する介護や接し方等、家族向け説明会の開催
7. 認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
8. 認知症の人が気軽に通い、相談できる居場所(認知症カフェ等)の充実
9. その他()

10 アドバンス・ケア・プランニング※についてお伺いします

問 71 あなた自身が人生の最終段階で受けたい、あるいは受けたくない医療やケアについて、ご家族や、医療・介護の関係者と、どの程度話し合っておきたいと考えていますか。(〇は1つ)

1. 詳しく話し合いたい
2. 一応話し合いたい
3. 話し合いたいとは思わない

問 72 そのような話し合いをしたことはありますか。(1つを選択)

1. はい
2. いいえ

※ アドバンス・ケア・プランニング
もしものときのために、どんな医療やケアを受けたい、受けたくないと思っているのかを自身で考え、大切な人や周囲の人と共有し、繰り返し話し合っていくプロセスのことです。

11 介護保険制度についてお伺いします

問 73 介護保険制度について知っていることすべてに〇をつけてください。(複数選択可)

1. 40歳以上の人が加入し保険料を納める
2. 65歳以上の方の保険料は、本人の所得や世帯の課税状況によって決める
3. 市に要介護認定の申請をする
4. 要介護度に応じて、利用できる介護サービスの利用限度額が異なる
5. サービス費用の1割を利用者が負担する。(一定の所得のある人は2割又は3割)
6. 利用者が介護度によって必要とするサービスを利用することができる
7. 自己負担額が高額になったときなどに、負担を軽減するしくみがある
8. 知っていることはない

問 74 介護保険料と介護保険サービスのあり方について、あなたのご意見に最も近いものはどれですか。(1つを選択)

1. 保険料が多少高くとも、給付されるサービスが充実していればよい
2. 給付されるサービスを多少抑えても、保険料が低い方がよい
3. その他()

問 79 市が実施している以下の高齢者福祉サービスを利用したことがありますか。また、今後利用したいと思えますか。(①～⑭)について、利用状況や認知度、今後の利用希望それぞれ1つに○) ※各サービスを受けるには一定の要件があります。

サービス名称	利用状況や認知度等		利用状況や認知度		今後の利用希望	
	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	利用したい	利用する予定はない	
①食事サービス 買物や調理の困難な高齢者世帯に、昼食を手渡してお届けします。	1	2	3	1	2	
②風守り安心カード 風守り安心カードに登録し、カードを携帯することで緊急時の身元確認等が容易に行えます。	1	2	3	1	2	
③友愛訪問 訪問員が高齢者世帯を訪問し、話し相手や相談に励みます。	1	2	3	1	2	
④ごみ出し支援 ごみ出しが困難な高齢者等に代わり、家庭ごみを玄関先から集積所まで搬出します。	1	2	3	1	2	
⑤生活支援ヘルパー 週に最大90分まで、ホームヘルパーを派遣し、家事援助を行います。	1	2	3	1	2	
⑥生活支援ショートステイ 市内施設に短期入所することができます。	1	2	3	1	2	
⑦おむつ給付 紙おむつと尿取りパッドを給付します。	1	2	3	1	2	
⑧日常生活用具給付 シルバーカー等の日常生活用具の購入費用を助成します。	1	2	3	1	2	
⑨自立支援住宅改修 手すりの取付け、段差解消・便器取り替え等の住宅改修を行います。	1	2	3	1	2	
⑩福祉電話 電話を貸与し、基本料金を助成します。	1	2	3	1	2	
⑪救急通報システム 緊急時に東京消防庁又は民間コールセンターに直接通報できる機器を設置します。	1	2	3	1	2	
⑫火災安全システム 火災による緊急事態に備えて、住宅用防災機器(火災自動通報器・電磁調理器等)を給付します。	1	2	3	1	2	
⑬徘徊高齢者等家族支援サービス 位置検知システムにより、徘徊高齢者の居場所情報を家族に提供します。希望により個人賠償責任保険を付けることもできます。(原則、自己負担あり)	1	2	3	1	2	
⑭老人性白内障内障用特殊眼鏡等購入費助成 老人性白内障で眼内レンズ挿入術を受けられず水晶体摘出手術をしたがための、特殊眼鏡又はコンタクトレンズ購入費の一部を助成します。	1	2	3	1	2	

問 80 今後、市が取り組むべき高齢者に関する福祉施策について、優先して充実させべき施策はどれになるとお考えですか。(複数選択可)

1. ホランティア団体等の市民活動への援助
2. 学校での福祉教育
3. 入所施設(特別養護老人ホーム等)の整備
4. 高齢者向け住宅の整備
5. 介護予防対策の充実
6. 在宅高齢者に対する福祉サービスの充実
7. 高齢者の就労対策
8. その他()

最後に、市の高齢者施策に関して、ご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

記入した調査票を切の離すことなく、送付されたものすべて（表紙も含みます）を返信用封筒（切手不要）に入れて、**令和8年1月9日(金)**までにお近くのポストに投函してください。

武蔵村山市調査 INN-00001-0001

(2) 在宅介護実態調査

武蔵村山市 在宅介護実態調査

調査ご協力のお願い

皆さんのご意見を計画に反映していきますので、ぜひご協力ください

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 現在、本市では、高齢者福祉施策を総合かつ計画的に推進していくために「高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」の見直しに向けた準備を進めております。「高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」は、高齢者が健康で安心して暮らせるよう、介護予防や認知症対策、介護保険サービスの充実などを目指す計画です。つきましては、計画見直しの基礎資料とするため、国から示されたアンケート調査内容を基本として実施し、高齢者の適切な在宅生活の継続や家族等介護者の就労継続の実現等に関する現状を把握することといたしました。
 調査は、市内にお住まいの在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方を対象者としてお願いをしております。お答えいただいた内容や個人情報等は、回答者様にとりまして大切な情報であるという認識にたち、適正に取扱いをいたします。
 つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、アンケート調査の趣旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願いいたします。

令和7年12月

武蔵村山市

記入に際してのお願い

1. A票については、回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。あて名ご本人おひとりの回答が難しい場合は、ご家族や周りの方にお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いた上で代わりに記入していただいてもかまいません。
 B票については、回答はできる限り、主介護者の方が記入してください。主介護者の方のご回答・ご記入が難しい場合は、あて名ご本人にご回答・ご記入をお願いします（ご本人の回答・記入が難しい場合は、無回答で結構です）。
2. 回答は、あてはまる項目の番号を○で囲んでいただくもの、数字やご意見を記入していただくものがあります。「その他」に○をつけた場合は、() 内に具体的な内容を記入してください。
3. ご記入が終わった調査票は、切り離すことなく、送付されたもの全て（表紙も含みます）を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
令和8年1月9日(金)までに投函してください。
 この調査について、ご不明な点・ご質問がございましたら下記までお問い合わせください。

【調査についてのお問い合わせ先】
 武蔵村山市 健康福祉部 高齢福祉課 管理係
 電話：042-590-1233（直通）
 FAX：042-562-3966

個人情報の取り扱いについて

個人情報保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
 なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的】

- 今回実施する「在宅介護実態調査」は、本市が所有する要介護認定データと結び付け、本市の「高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」策定の検討の基礎資料とすることを目的に使用させていただきます。本調査で得られた情報につきましては適切に管理し、本人の許可なく、目的以外に使用いたしません。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析をするなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

【A票の記入者は、どなたですか】（複数選択可）

1. 調査対象者本人
2. 主介護者となっている家族・親族
3. 主介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他（ ）

A票 調査対象者ご本人様にご回答・ご記入いただく項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他（ ）

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他（ ）

問4 問1で「1.」または「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も動きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける
4. 続けていくのは、かなり難しい
2. 問題はあるが、何とか続けていける
5. 主な介護者に確認しないと、わからない
3. 続けていくのは、やや難しい

問4-1 上記の回答の理由を教えてください。

●ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

- (身体介護)
1. 日中の排泄
 12. 食事の準備 (調理等)
 2. 夜間の排泄
 13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物 等)
 3. 食事の介助 (食べる時)
 14. 金銭管理や生活に必要な諸手続き
 4. 入浴・洗身
 - (その他)
 5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)
 15. その他 ()
 6. 衣服の着脱
 16. 不安に感じていることは、特にない
 7. 屋内の移乗・移動
 17. 主な介護者に確認しないと、わからない
 8. 外出の付き添い、送迎等
 9. 服薬
 10. 認知症状への対応
 11. 医療面での対応 (経管栄養・ストーマ 等)

問6 現在、主な介護者の方は、ご本人(調査対象者)以外に親族の育児や介護を行っていますか。(複数回答可)

1. ご本人(調査対象者)以外の親族(65歳以上)の介護もしている。
2. 育児(未就学児以下)もしている。
3. ご本人(調査対象者)以外の親族の育児や介護を行っていない。
4. その他 ()

問7 令和6年1月1日に「認知症基本法」が施行されたことを知っていますか。(1つを選択)

1. 知っているし、内容も理解している。
3. 言葉を知っている程度
2. 知っているが内容はわからない。
4. 知らない

問8 令和6年12月に「認知症施策推進基本計画」において示された、「新しい認知症観」に関してお尋ねします。「認知症になっても何ともできなくなるのではなく、住み慣れた地域で仲間等つながりながら、希望を持って暮らすことができる」と思えますか。

1. そう思う
4. そう思わない
2. どちらかと言えばそう思う
5. 「新しい認知症観」を知らない。
3. どちらかと言えばそう思わない

※ 新しい認知症観
認知症になっても何ともできなくなるのではなく、認知症になっても、一人一人が個人としてできること、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等つながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるといふ考え方のこと。

問8-1 上記の回答の理由を教えてください

問9 あなたは、認知症についてどのようなことに関心がありますか(複数選択可)

1. 正しく理解するための講座
5. 認知症の人の意見や経験
2. 予防に効果的な方法
6. その他
3. 治療に関する情報
7. 特にない
4. 認知症の人の介護のしかた

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

記入した調査票を切り離すことなく、送付されたものすべて(表紙も含みます)を返信用封筒(切手不要)に入れて、**令和8年1月9日(金)**までにお近くのポストに投函してください。

(3) 事業者アンケート調査

各問は、指定がない場合は令和7年11月1日現在の状況でお答えください。複数の事業所を運営しておられる場合は、武蔵村山市をサービス提供エリアとしている事業所すべてについてお答えください。

問1 事業所の活動状況について教えてください。

①サービスの種類（あてはまるものすべてに○）

- 1. 居宅介護支援・介護予防支援
- 2. 訪問介護
- 3. 訪問入浴介護
- 4. 訪問看護
- 5. 訪問リハビリテーション
- 6. 通所介護
- 7. 通所リハビリテーション
- 8. 福祉用具貸与
- 9. 福祉用具購入
- 10. 住宅改修
- 11. 居宅療養管理指導
- 12. 短期入所生活介護
- 13. 短期入所療養介護
- 14. 特定施設入所者生活介護
- 15. 介護老人福祉施設
- 16. 介護老人保健施設
- 17. 介護医療院
- 18. 小規模多機能型居宅介護
- 19. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
- 20. 認知症対応型通所介護
- 21. 地域密着型特定施設入居者生活介護
- 22. 地域密着型介護老人福祉施設
- 23. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

「2. 訪問介護」「6. 通所介護」を提供している事業者におたずねします。

②職員・スタッフ（複数の資格を持つ場合は、現に勤務する職種）

種類	訪問介護		通所介護	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
実務者研修修了者(旧ヘルパー1級)	人	人	人	人
初任者研修修了者(旧ヘルパー2級)	人	人	人	人
生活援助従事者研修修了者(旧ヘルパー3級)	人	人	人	人
初任者研修修了者	人	人	人	人
介護支援専門員	人	人	人	人
医師	人	人	人	人
看護師	人	人	人	人
保健師	人	人	人	人
管理栄養士	人	人	人	人
栄養士	人	人	人	人
社会福祉士	人	人	人	人
社会福祉主事	人	人	人	人
介護福祉士	人	人	人	人
作業療法士・理学療法士	人	人	人	人
言語聴覚士	人	人	人	人
管理職・事務職	人	人	人	人
その他スタッフ	人	人	人	人

調査用紙-00001-0001

武蔵村山市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画 見直しに向けた事業者アンケート調査

調査ご協力のお願い

サービス提供事業者の皆様には、市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
本市では、市民の皆様と市、関係機関が一体となり、高齢者福祉施策を総合かつ計画的に推進していくために、「高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」の見直しに向けた準備を進めております。計画見直しの基礎資料とするため、このたびアンケート調査を実施し、本市のサービス提供の様子、問題点や今後の意向、ご要望などを伺うことといたしました。

調査は、市内で介護（予防）サービスを提供している事業者の中から本市被保険者の利用実績のある事業者を選び、お願いをいたしております。お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、事業所名が出たり、ご迷惑をおかけすることは決ましません。何とぞ、趣意をご理解の上、ご協力賜りますようお願いいたします。

ご記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**令和8年1月9日(金)**までに投函くださいますようお願いいたします。

令和7年12月

武蔵村山市



※本調査はスマートフォンやパソコンからでも
回答できます。
右記のURL または2次コードでアクセスし、
ID・パスワードを入力の上、ご回答ください。【回答専用サイト】
<https://musashimurayama.qkr.jp/Quanto/ja/munap/poh/>

【調査についての問い合わせ先】武蔵村山市 健康福祉部 高齢福祉課 管理係
電話：042-590-1233（直通） FAX：042-562-3966

※しよえを付ければ算定業務等をご記入ください。（任意記載欄）

事業所・団体名	
電話番号	
FAX番号	
担当者名	

施設サービス系の事業者におたずねします

問2 施設の定員と令和7年10月中の平均利用者数(入所とショートステイ)についてご記入ください。

種類	入所		ショートステイ	
	施設定員	利用者数	うち武蔵村山市民 利用者数	うち武蔵村山市民 利用者数
介護老人福祉施設	人	人	人	人
地域密着型介護老人福祉施設	人	人	人	人
介護老人保健施設	人	人	人	人

問3 今後の利用者の見通しについてはどのようにお考えですか。あてはまる番号に○印をつけてください。(それぞれ1つに○)

種類	今(令和7)年度 見込みより増える見込み	今(令和7)年度 見込みと同じく見込み 見込み	今(令和7)年度 見込みより減る見込み	今後は提供 しない予定
介護老人福祉施設	1	2	3	4
介護老人保健施設	1	2	3	4
介護医療院	1	2	3	4

すべての事業者におたずねします

介護サービスについて

問4 介護サービスについて、
 (1) 現在提供しているサービス(○はいくつでも)
 (2) 令和7年10月のサービス提供量(武蔵村山市のみ)についてご記入ください。
 【記入例】

種類	提供しているものに○	令和7年10月の提供量 (武蔵村山市のみ)
①訪問介護	○	100 時間

種類	提供しているものに○	令和7年10月の提供量 (武蔵村山市のみ)
①訪問介護		時間
②訪問入浴介護		回
③訪問看護		回
④訪問リハビリテーション		回
⑤居宅療養管理指導		人
⑥通所介護		回
⑦通所リハビリテーション		回
⑧短期入所生活介護		日
⑨短期入所療養介護		日
⑩特定施設入居者生活介護		人
⑪福祉用具の貸与		人
⑫特定福祉用具販売		人
⑬夜間対応型訪問介護		回
⑭認知症対応型通所介護		回
⑮小規模多機能型居宅介護		回
⑯認知症対応型共同生活介護		人
⑰地域密着型特定施設入居者生活介護		人
⑱地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		人
⑲定額巡回・随時対応型訪問介護看護		時間
⑳看護小規模多機能型居宅介護		回
㉑地域密着型通所介護		回
㉒住宅改修		人
㉓居宅介護支援		人

問5 問4の各サービスの来年度以降の予定について、それぞれあてはまる番号に○印をつけてください。(それぞれ1つに○)

種類	提供予定あり		提供予定なし	未定
	令和7年度より増加	令和7年度と同程度		
①訪問介護	1	2	3	5
②訪問入浴介護	1	2	3	5
③訪問看護	1	2	3	5
④訪問リハビリテーション	1	2	3	5
⑤居宅療養管理指導	1	2	3	5
⑥通所介護	1	2	3	5
⑦通所リハビリテーション	1	2	3	5
⑧短期入所生活介護	1	2	3	5
⑨短期入所療養介護	1	2	3	5
⑩特定施設入居者生活介護	1	2	3	5
⑪福祉用具貸与	1	2	3	5
⑫特定福祉用具販売	1	2	3	5
⑬夜間対応型訪問介護	1	2	3	5
⑭認知症対応型通所介護	1	2	3	5
⑮小規模多機能型居宅介護	1	2	3	5
⑯認知症対応型共同生活介護	1	2	3	5
⑰地域密着型特定施設入居者生活介護	1	2	3	5
⑱地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	2	3	5
⑲定額巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	5
⑳看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	5
㉑地域密着型通所介護	1	2	3	5
①住宅改修	1	2	3	5
②居宅介護支援	1	2	3	5

介護予防サービスについて

問6 介護予防サービスについて、
 (1) 現在提供しているサービス (○はいくつでも)
 (2) 令和7年10月のサービス提供量 (武蔵村山市分のみ) についてご記入ください。
 【記入例】

種類	提供しているものに○	令和7年10月の提供量 (武蔵村山市分のみ)
①介護予防訪問入浴介護	○	10回

種類	提供しているものに○	令和7年10月の提供量 (武蔵村山市分のみ)
①介護予防訪問入浴介護		回
②介護予防訪問看護		回
③介護予防訪問リハビリテーション		回
④介護予防居宅療養管理指導		人
⑤介護予防通所リハビリテーション		回
⑥介護予防短期入所生活介護		日
⑦介護予防短期入所療養介護		日
⑧介護予防特定施設入居者生活介護		人
⑨介護予防福祉用具の貸与		人
⑩特定介護予防福祉用具販売		人
⑪介護予防認知症対応型通所介護		回
⑫介護予防小規模多機能型居宅介護		回
⑬介護予防認知症対応型共同生活介護		人
⑭住宅改修		人
⑮介護予防支援		人

問7 問6の各サービスの来年度以降の予定について、それぞれあてはまる番号に○印をつけてください。(それぞれ1つに○)

種 類	提供予定あり		提供予定なし	未定
	令和7年度より増加	令和7年度と同程度		
①介護予防訪問入浴介護	1	2	3	5
②介護予防訪問看護	1	2	3	5
③介護予防訪問リハビリテーション	1	2	3	5
④介護予防居宅療養管理指導	1	2	3	5
⑤介護予防通所リハビリテーション	1	2	3	5
⑥介護予防短期入所生活介護	1	2	3	5
⑦介護予防短期入所療養介護	1	2	3	5
⑧介護予防特定施設入居者生活介護	1	2	3	5
⑨介護予防福祉用具貸与	1	2	3	5
⑩特定介護予防福祉用具販売	1	2	3	5
①介護予防認知症対応型通所介護	1	2	3	5
②介護予防小規模多機能型居宅介護	1	2	3	5
③介護予防認知症対応型共同生活介護	1	2	3	5
①住宅改修	1	2	3	5
②介護予防支援	1	2	3	5

問8 介護サービス(介護予防サービスを含む)の地域密着型サービスへの参入について、障害となつていることや行政等に望む支援等があれば、ご記入ください。

その他のサービスと事業所の運営について

問9 現在の介護保険制度にあるサービス以外で、

- (1) 現在提供しているもの
- (2) 今後、武蔵村山市に提供したいものがあればご記入ください。(○はいくつでも)

種 類	(1)現在提供している	(2)今後武蔵村山市に提供したい
①配食サービス		
②付添いサービス		
③庭仕事やカ仕事		
④緊急通報システム		
⑤介護保険対象外の福祉用具の販売・レンタル		
⑥介護保険対象外の住宅改修		
⑦リハビリ器具、健康器具の販売・レンタル		
⑧障害福祉サービス	()	()
⑨その他	()	()

問10 貴事業所の活動の現在の範囲と今後の範囲についてお教えてください。

(1) 現在の事業活動の範囲は。(○はいくつでも)

- 1. 武蔵村山市 3. 昭島市 5. 東村山市 7. 瑞穂町
- 2. 立川市 4. 小平市 6. 東大和市 8. その他()

(2) 今後の事業活動の範囲は。(○はいくつでも)

- 1. 武蔵村山市 3. 昭島市 5. 東村山市 7. 瑞穂町
- 2. 立川市 4. 小平市 6. 東大和市 8. その他()

問11 これまでに、利用者や家族からどのような苦情がありましたか。(○はいくつでも)

- 1. サービスの内容に関する事 7. その他()
- 2. サービスの利用手続に関する事 8. 特に苦情を受けたことはない
- 3. 職員の態度に関する事
- 4. 施設・設備に関する事
- 5. 利用者や家族との連絡に関する事
- 6. 保険外負担(その他日常生活費など)に関する事

問 12 事業運営上、どのようなことに苦慮しておられますか。(〇はいくつでも)

1. 職員の確保
2. 職員の技術の向上
3. 職員のマナー、態度の向上
4. 利用者の確保
5. 利用者のキャンセルやサービス内容等の変更希望
6. 特定の日時にご利用希望が集中すること
7. 事務作業が多いこと
8. 施設・設備の改善
9. 必要な情報の入手
10. 利用者との連絡
11. 利用者のニーズの把握
12. ケアマネジャーとの連携
13. 主治医との連携
14. 利用者の介護保険制度に対する理解が十分でないこと
15. 利用者との利用料金をめぐるトラブル
16. サービス担当者連絡会への出席
17. 緊急・災害時の対応に関する準備
18. 経営状況
19. その他()
20. 特になし

問 12-1 上記の回答の理由を教えてください。

問 13 少子高齢化による介護需要の増加に伴い、2035年には介護職員が不足することが見込まれています。介護サービスを持続的に提供するためには、D X（デジタルトランスフォーメーション）による業務の効率化が急務となっております。D Xについて教えてください。

(1) D X への取組状況について、お教えてください。(1つに〇)

1. 積極的に取り組んでいる
2. 一部取り組んでいる
3. 今後、取り組む予定である
4. 取り組む予定はない
5. わからない

(2) 介護業界の二大課題である「人材不足」解消や「人材定着」のためのD X活用について、どのようにお考えですか。(1つに〇)

1. 早急にD X活用したい
2. いずれはD X活用をしたい
3. D X活用はしたくない
4. わからない

(3) 貴事業所内で、D Xに取り組みたい分野として、どのようなものがあると思われるか。(〇はいくつでも)

1. 総務業務
2. 人事業務
3. 経理業務
4. 介護報酬請求業務
5. 身体介護業務
6. 生活援助業務
7. その他の施設利用者の支援業務
8. 介護記録業務
9. カスタマーサポート業務
10. その他()
11. 特になし・わからない

介護職員のことについて

問 14 貴事業所の介護職員のことについてお教えてください。

(1) 令和7年11月1日時点での貴事業所の介護職員の総数を、お教えてください。

正規職員	人	非正規職員	人
------	---	-------	---

(2) 令和7年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所におたずねします。

(令和7年11月1日時点で、開設から1年未満の事業所 → 問15へ)

過去1年間(令和6年11月1日～令和7年10月31日)の介護職員の採用者数と離職者数をお教えてください。

形態	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
年齢				
20歳未満	人	人	人	人
20～29歳	人	人	人	人
30～39歳	人	人	人	人
40～49歳	人	人	人	人
50～59歳	人	人	人	人
60～69歳	人	人	人	人
70～79歳	人	人	人	人
年齢不明	人	人	人	人

問 15 貴事業所では、職員の離職を防止するための工夫として、どのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 職員に対する雇用満足度調査などを実施し、状況把握に努めている
2. 面談などを実施し、不満に感じていることなどを把握して、不満解消に努めたり、問題解決をしている
3. 処遇改善加算を給与に反映している
4. 職員のより良い福利厚生事業に努めている
5. 研修会などに積極的に参加させ、スキルアップを図っている
6. その他()
7. 何もしていない

問 16 貴事業所では、職員の資質を向上させるためにどのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 基本的な技術や実践的知識の向上
2. 利用者の状態に応じた介護技術の向上
3. 苦情や相談への対応能力の向上
4. 対応困難者への対応能力の向上
5. サービス提供者としての基本的姿勢
6. ミーティングによる意見交換
7. 外部研修への参加
8. 従業員の処遇改善(賞金の増額)
9. 利用者への対応の仕方など
10. マナーやコミュニケーション技術の向上

問 17 貴事業所では、介護職員の確保について、どのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 新聞広告などに求人広告を出す
2. ハローワークに求人募集を出す
3. 人材派遣会社から派遣
4. 大学、専門学校などに求人募集を出す
5. 知人など関係者からの紹介
6. 他事業所や施設の職員などを勧誘
7. その他()

問 18 外国人の介護職員について、どう思いますか。(〇はいくつでも)

1. 海外の話が聞けて、興味深い・楽しい
2. 日本の事や日本語を教えてあげたいと思う
3. 施設の活気が繋がると思う
4. 施設に外国人がいても、日本人しかいなくても、違いはない
5. 外国人職員を指導するのが、大変そう
6. 異なる文化・生活習慣の人がいると、戸惑いを感じる
7. その他()

介護保険制度について

問 19 現在の武蔵村山市の第1号被保険者の保険料(月額6,050円)についてどのように思いますか。(1つに〇)また、そう思う理由についてご記入ください。
※2または3を選んだ方は、適切な金額もご記入ください。

1. 妥当である
 2. 高いと思う → () 円ぐらいが適当)
 3. 安いと思う → () 円ぐらいが適当)
 4. どちらともいえない
- 保険料に対する考え方の理由をご記入ください。

問 20 介護保険制度を円滑に運営していくために、武蔵村山市としてどのようなことが必要だと考えられますか。(〇はいくつでも)

1. 介護保険制度についての市民への周知
2. 市独自のサービスメニューの提供(具体的に:)
3. 介護予防事業の充実(具体的に:)
4. 一般の保健福祉サービスの充実(具体的に:)
5. サービス事業者に関する情報の利用者への提供
6. サービス事業者と市との情報交換機会の拡大、充実
7. サービス事業者とケアマネジャーとの情報交換機会の提供
8. サービス提供者連絡会の充実
9. 事業者相互の交流機会の提供
10. 事業者に対する研修会の開催
11. 第三者による適切な事業評価
12. その他()
13. 特になし

問 21 介護保険制度について、今後どのようなことが検討されるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 利用者の申請、利用手続きの簡素化
2. 要介護認定基準の見直し
3. 保険料の見直し(具体的に:)
4. 低所得者対策
5. 施設の整備
6. 専門的人材の育成・確保(具体的に:)
7. 地域包括ケアシステムの強化
8. 第三者による介護サービスに対する評価
9. 介護報酬の見直し
10. 介護保険被保険者・受給者の範囲の拡大
11. その他(具体的に:)

問 22 武蔵村山市で不足していると感じる介護保険サービスはありますか。(1つに○)

1. ある → 問 23へ 2. ない → 問 24へ

前問で「1. ある」と回答された方のみ回答ください。

問 23 不足していると思われる介護保険サービスに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|----------------------|--------------------------|
| 1. 居宅介護支援 | 10. 短期入所療養介護 | 19. 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 |
| 2. 訪問介護 | 11. 特定施設入居者生活介護 | 施設入居者生活介護 |
| 3. 訪問入浴介護 | 12. 福祉用具の貸与 | 20. 介護老人福祉施設 |
| 4. 訪問看護 | 13. 特定福祉用具販売 | 21. 介護老人保健施設 |
| 5. 訪問リハビリテーション | 14. 夜間対応型訪問介護 | 22. 介護医療院 |
| 6. 居宅療養管理指導 | 15. 認知症対応型通所介護 | 23. その他 () |
| 7. 通所介護 | 16. 小規模多機能型居宅介護 | |
| 8. 通所リハビリテーション | 17. 認知症対応型共同生活介護 | |
| 9. 短期入所生活介護 | 18. 地域密着型特定施設入居者生活介護 | |

問 24 地域包括ケアシステムをご存じですか。(1つに○)

1. 知っている → 問 25へ 2. 知らない → 問 27へ

前問で「1. 知っている」と回答された方のみ回答ください。

問 25 地域包括ケアを実現する上で、医療関係者に望む役割は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 在宅医療の積極的な実施 | 6. 住民への在宅医療の周知 |
| 2. 病院との積極的な連携 | 7. 専門的意見等(診療、調剤、相談など)を求めた時の協力 |
| 3. バックアップハブの確保 | 8. その他 () |
| 4. 積極的な多職種間連携の実施 | |
| 5. スタッフへの教育 | |

問 26 これまでの経験から、武蔵村山市で地域包括ケアシステムを構築するにあたり大切だと思われることはなんですか。(ご記入ください)

医療・介護の連携について

問 27 医療と介護が連携する効果は何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 今まで知らなかった情報を知ることができるようになる
2. よりきめ細かい利用者の変化を捉えられるようになる
3. 利用者等の情報を取得する時間や手間が省けるようになる
4. 今まで連絡しづらかった事業者に連絡しやすくなる
5. 医療・介護双方のことを理解しようと努力するようになる
6. 利用者へより良いサービスが提供できるようになる
7. 利用者の確保がしやすくなる
8. リスクの軽減が期待できる
9. その他 ()
10. わからない
11. 効果はない

問 28 医療・介護連携を行うにあたっての課題は何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 医療・介護連携をする、時間を要し業務に支障が出る
2. 連携の必要のない情報まで共有をしなければならなくなり、稼働率が落ちる
3. 自身が連携したいタイミングと相手の都合が合わず、連携が取りにくい
4. 専門用語等、会話に気が遣う
5. 在宅診療のニーズが低い
6. その他 ()
7. わからない
8. 特に課題はない

認知症のことについて

問 29 令和6年12月に「認知症施策推進基本計画」において示された、「新しい認知症観」に立ち、共生社会を実現するために、どのような施策が必要だと考えますか。(複数回答可)

1. 認知症の人に関する市民の理解の増進等
2. 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進
3. 認知症の人の社会参加の機会の確保等
4. 認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護
5. 相談体制の整備等
6. 認知症の早期の気づき、早期診断・早期支援
7. 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等
8. 研究等の推進等

※ 新しい認知症報

認知症になったら何でも悪くなるのではなく、認知症になっただけから、一人一人が個人としてできること、やりたいことがある、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方のこと。

問 30 認知症の周辺症状が原因で、利用者の受入を拒否したことはありますか。(1つに○)

1. ある → 問31△ 2. ない → 問32△

前問で「1. ある」と回答された方のみ回答ください。

問 31 受入を拒否された理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 対応が大変だから
2. 認知症に関する知識を持った職員がいらないから
3. 過去に認知症の利用者と問題が生じたから
4. その他 ()

問 32 今後、認知症施策を進めて行くうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 医療・介護・地域が連携した体制づくり
2. 早期発見、早期診療の体制づくり
3. 徘徊行動に対する地域での見守り体制づくり
4. 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
5. 認知症サポーター養成講座や予防教室、講演会などの啓発
6. 認知症患者に対する介護や接し方等、家族向け説明会の開催
7. 認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
8. 認知症の人が気軽に通い、相談できる居場所（認知症カフェ等）の充実
9. その他 ()

最後に、介護保険制度や武蔵村山市の取組などについて、ご自由にご意見、ご要望などをお書きください。

調査にご協力いただきありがとうございます。

記入もれないか、今一度お確かめください。
記入した調査票を切り離すことなく、送付されたものすべて（表紙も含みます）を返信用封筒（切手不要）に入れて、**令和8年1月9日(金)**までにお近くのポストに投函してください。

武蔵村山市第七次高齢者福祉計画及び
第十期介護保険事業計画策定に向けた
アンケート調査報告書

発行年月 令和8年3月
発行 武蔵村山市
編集 武蔵村山市健康福祉部高齢福祉課
〒208-8502
武蔵村山市学園四丁目5番地の1
武蔵村山市民総合センター内
TEL：(042) 590-1233（直通）
